

教育課程

(履修要項)

(令和5年度)



SEITOKU

聖徳大学

教養科目配当表（別表Ⅲ－３）	99
外国語科目配当表（別表Ⅲ－４）	100
健康教育科目配当表（心理学科）（別表Ⅲ－５）	101
健康教育科目配当表（社会福祉学科）（別表Ⅲ－６）	101
情報活用科目配当表（別表Ⅲ－７）	101
帰国子女科目配当表（別表Ⅲ－８）	101

② 心理・福祉学部 専門教育科目（Ｂ類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

心理学科（別表Ⅲ－９）	103
社会福祉学科 社会福祉コース（別表Ⅲ－１０）	112
社会福祉学科 介護福祉コース（別表Ⅲ－１１）	123
社会福祉学科 養護教諭コース（別表Ⅲ－１２）	133
教職課程履修について 高等学校一種免許状（福祉）（別表Ⅲ－１３、１４）	144
教職課程履修について 養護教諭一種免許状（別表Ⅲ－１５、１６）	145

Ⅳ 文学部

① 文学部 全学共通科目（Ａ類）履修要項、配当表

文学部 全学共通科目 履修要項	151
聖徳教育科目配当表（別表Ⅳ－１）	152
教養科目配当表（別表Ⅳ－２、４）	152
専門基礎科目配当表（別表Ⅳ－３）	152
外国語科目配当表（別表Ⅳ－５）	153
健康教育科目配当表（別表Ⅳ－６）	154
情報活用科目配当表（別表Ⅳ－７）	154
帰国子女科目配当表（別表Ⅳ－８）	154

② 文学部 専門教育科目（Ｂ類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

英語・英文学コース（別表Ⅳ－９）	156
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状（英語）（別表Ⅳ－１０、１１）	158
日本語・日本文学コース（別表Ⅳ－１２）	166
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状、高等学校一種免許状（国語）（別表Ⅳ－１３、１４）	168
歴史文化コース（別表Ⅳ－１５）	176
教職課程履修について 中学校一種免許状（社会）（別表Ⅳ－１６、１７）	178
教職課程履修について 高等学校一種免許状（地歴）（別表Ⅳ－１８、１９）	179
書道文化コース（別表Ⅳ－２０）	188
教職課程履修について 高等学校一種免許状（書道）（別表Ⅳ－２１、２２）	190
図書館情報コース（別表Ⅳ－２３）	198
教養デザインコース（別表Ⅳ－２４）	208

Ⅴ 人間栄養学部

① 人間栄養学部 全学共通科目（Ａ類）履修要項、配当表

人間栄養学部 全学共通科目 履修要項	220
聖徳教育科目配当表（別表Ⅴ－１）	221
教養科目配当表（別表Ⅴ－２）	221
専門基礎科目配当表（別表Ⅴ－４）	222
外国語科目配当表（別表Ⅴ－５）	222
健康教育科目配当表（別表Ⅴ－６）	222
情報活用科目配当表（別表Ⅴ－７）	222
帰国子女科目配当表（別表Ⅴ－８）	223

② 人間栄養学部 専門教育科目（Ｂ類）履修要項、配当表、履修モデル、

カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

人間栄養学科（別表Ⅴ－９）	225
教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状（家庭）（別表Ⅴ－１０、１１）	227
教職課程履修について 中学校一種免許状、高等学校一種免許状（保健）（別表Ⅴ－１２、１３）	228

VI 看護学部

① 看護学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

看護学部 全学共通科目 履修要項……………	242
聖徳教育科目配当表（別表VI-1）……………	243
外国語科目配当表（別表VI-2）……………	243
情報活用科目配当表（別表VI-3）……………	244
帰国子女科目配当表（別表VI-4）……………	244
教養科目配当表（別表VI-5）……………	244
学部共通科目配当表（別表VI-6）……………	244

② 看護学部 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、履修モデル、カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

看護学科（別表VI-8）……………	246
-------------------	-----

VII 音楽学部

① 音楽学部 全学共通科目（A類）履修要項、配当表

音楽学部 音楽学科 全学共通科目 履修要項……………	258
聖徳教育科目配当表（別表VII-1）……………	259
教養科目配当表（別表VII-2）……………	259
外国語科目配当表（別表VII-3）……………	260
健康教育科目配当表（別表VII-4）……………	261
情報活用科目配当表（別表VII-5）……………	261
帰国子女科目配当表（別表VII-6）……………	261

② 音楽学部 音楽学科 専門教育科目（B類）履修要項、配当表、カリキュラムマップ、学びで得られる成果（Learning Outcomes）

音楽学科（別表VII-7）……………	263
音楽療法士（1種）資格取得に関する科目配当表（別表VII-8）……………	266
認定音楽療法士に関する科目配当表（別表VII-9）……………	267
教職課程履修について 中学校教諭一種免許状（音楽） 高等学校一種免許状（音楽）（別表VII-10、11、12）……………	277

VIII 資格関係科目について

各種免許・資格関係課程の履修について……………	279
司書及び司書教諭関係科目配当表（別表VIII-1）……………	281
社会教育主事任用資格関係科目配当表（別表VIII-2）……………	282
学芸員関係科目配当表（別表VIII-3）……………	283
レクリエーション関係科目配当表（別表VIII-4）……………	284
日本語教員養成講座（別表VIII-5）……………	285

はじめに

この教育課程（履修要項）は、令和5年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法について説明が記載されています。本冊子は入学時に一度しか配布しませんので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学部・学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の種類

別表は、次の3つに分類されます。

- (1) 全学共通科目（A類）＝聖徳教育科目・教養科目・（基礎専門科目）・外国語科目・健康教育科目・情報活用科目・（帰国子女科目）
- (2) 専門教育科目（B類）＝各学科・コースに設置された専門教育科目
- (3) 教職・資格関係科目＝免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に含まれない科目

特に（1）、（2）については必修科目（卒業する為に必ず履修しなければならない科目）や選択必修科目（卒業するために、必ず決められた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目）が多数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

みなさんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「学習について」の項目も熟読して学習に取り組んでください。

学期	春学期										秋学期												
項目	入学・新学年	⇒	春学期授業開始	⇒	履修登録・確認	履修取消	⇒	課程登録	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	秋学期授業開始	⇒	履修登録・確認	履修取消	⇒	試験	⇒	成績発表・追再試	⇒	進級・卒業
時期			4月上旬		4月下旬	5月10日		6月中		7月下旬		8月下旬		9月下旬		10月下旬	11月10日		1月下旬		3月中旬		3月下旬

①学期

1年間の学期は、春学期（4月～9月末）・秋学期（9月末～3月末）の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学習量を単位として表わし、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目の単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目の授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、100点を満点として60点以上（S・A・B・C評価）の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は90分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には135分で行われるものもあります。

④履修登録

授業科目を履修するためには、各学期始めに必ず履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修登録の方法については学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間内に限り認めます（春学期：5月10日まで 秋学期11月10日までいかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません）。履修登録に際しては、慎重に履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。

なお、再履修科目と必修科目の受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦履修登録の上限

各年次において履修登録できる単位数は、1年間で40単位を上限とします。ただし、教員免許状及び諸資格を取得する場合は、1年間で40単位を超えて履修登録することができます。

⑧進級基準について

2年次から3年次へ進級するには、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

進級基準

2年次から3年次への進級

修得単位数	卒業要件単位数が50単位以上であること。
修得科目の要件	①聖徳教育Ⅲ（SEITOKU Academic Literacy I、SEITOKU Academic Literacy II）を修得していること。 ②人間栄養学部の学生にあつては、①に加えて2年次までに修得すべき管理栄養士指定科目のうち、未修得科目が10科目以内であること。 ③看護学部の学生にあつては①に加えて2年次までに修得すべき専門科目のうち、公衆衛生看護学総論を除く原論・総論の7科目及び実習4科目のうち1科目を修得していること。

⑨卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 4年以上在学していること。（休学期間は含まれません。）
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件をみたしていること。
- (4) 授業料等校納金を完納していること。

この冊子に出てくる用語について解説します。

(出典 大学ポートレート、高等教育に関する質保証関係用語集 より)

・アクティブラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育ではなく、学生の能動的な学習への参加を取り入れた学習方法です。例えば、グループ・ディスカッションやディベート、グループ・ワークなどを取り入れた授業のことです。学習者が能動的に学習することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図ります。

・アセスメント・テスト

ペーパーテスト等の直接評価により学生の知識、技能、態度等を測定する方法の総称。学習到達度を測る他の調査を組み合わせるなどして実施され、結果は教育効果や課題の確認に用いられる。また、学生個人の学習指導等に活用される場合もある。

・アドミッションポリシー

入学者の受入れ方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、アドミッションポリシーは、どのような学生を受け入れるかという方針です。大学やその学部等が、どのような教育活動を行い、また、どのような能力や適性等を有する学生を求めているのかなどの考え方をまとめたものであり、入学者の選抜方法や入試問題の出題内容等にはこの方針が反映されています。

・学習成果

学生が、授業科目、プログラム、教育課程等における所定の学習期間終了時に獲得し得る知識、技術、態度等の成果を指す。学位授与の方針において、具体的で測定可能な学習成果を定め、学習成果を評価し、その結果を公表することによって、大学の社会に対する説明責任が高まると考えられている。

卒業率、共通テストの成績、学生の満足度、学生による自己評価、就職率・進学率等によって、教育プログラムに関する学習成果を測定している。

・カリキュラムポリシー

教育課程編成・実施の方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、カリキュラムポリシーは、どのような教育を行うかという方針です。各大学が、カリキュラムポリシーを明確にすることで、教育課程の改善を図っていくことが求められています。

・コンピテンシー

知識や技能を有することに加えて、様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求(課題)に対応することができる力を指すことが多い。

・ディプロマポリシー

学位授与の方針です。どのような学生を受け入れて、どのような教育を行い、どのような人材として社会に送り出すかは、大学の個性・特色の根幹ですが、ディプロマポリシーは、どのような人材として社会に送り出すかという方針です。各大学が、ディプロマポリシーを明確にすることで、大学のいわゆる「出口管理」の強化を図っていくことが求められています。

・ポートフォリオ

学生が授業で作成したレポートや論文、課題達成のために収集した資料や成績表などの学修成果と、学修の過程において学んだ点や気付いた点などを記録していくものです。学期毎に自分が履修した授業の記録を残し、学期末に自分自身の成長を振り返って来学期の目標を立てるように活用したり、大学における学修の記録をすべて残しておく、大学で何を学んだか、そのときにどのようなことを考えたかなどを振り返ることで、就職活動のときに、自分自身を振り返るために活用されます。

・ルーブリック

「学生が何を学習するのか」または「学習活動に応じた学習目標」を縦軸(評価規準)に置き、それに対し「学生が到達しているレベルを示す特徴を記述したもの」を数段階にわけて横軸(評価基準)に置き、マトリクスにしたものを使って学生の学習成果を評価する方法です。アメリカで開発された学習成果の評価方法の一つです。テストによる学習成果の評価では、知識や理解度は評価できますが、思考・判断、関心・意欲、態度、技能・表現については評価しづらかったために、このような評価方法が導入されています。あらかじめ評価の基準が示されていることから、評価する側と評価される側の認識が共有される、複数の評価者による評価のズレを防ぐことができるなどの長所があります。大学では、例えば、レポートの評価、学生の活動や作品・演出・実験の評価、プレゼンテーションやグループ活動の評価などで活用されることがあります。アメリカでは、複数の大学間で共通に活用することが可能な評価指標の開発が進められています。

聖徳大学

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

聖徳大学は、1933年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 他者を思いやる協調性ととともに、凛として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイデアや洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの価値を見だし、自らの意思で一步を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学習成果】

1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
4. 個別学問領域を超えたアイデアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。
6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をもって、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。

できる。

聖徳大学では、以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

聖徳大学では、学習成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイデアや学際的かつ多面的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

II 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学習成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 「到達目標」、「学習成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び他の授業科目との関連を明示しています。
3. 授業方法として能動的な学び（アクティブ・ラーニング）を導入し、深い学びを促進しています。
4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

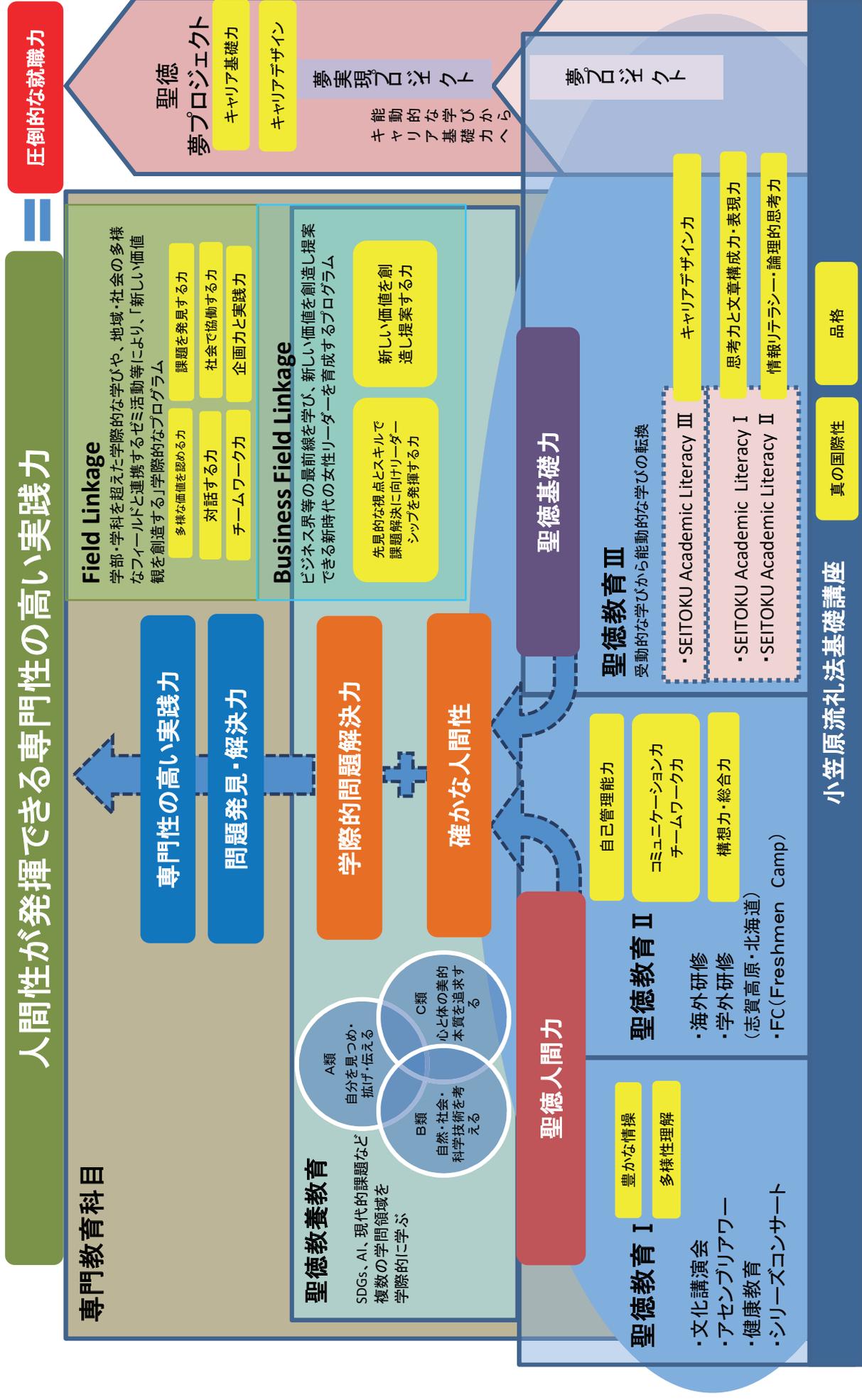
聖徳大学は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイデアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。具体的には、次のような人を求めています。

1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせ総合的に評価します。

聖徳大学の教育プログラムと学びで得られる成果 (Student Learning Outcomes)



教育学部 児童学科

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

現代社会は急速な変化を続けており、乳幼児の成長に関する新たな問題が次々と生じています。乳幼児に関する深い知識や技能をもち、創造的な思考力等を身につけ、他と協働しながら様々な問題を解決できる力量が今日求められています。聖徳大学では主として幼稚園教諭・保育士の養成に全国トップクラスの実績をあげてきました。

教育学部児童学科は、4つのコース（「幼稚園教員養成コース」「保育士養成コース」「児童心理コース」「児童文化コース」）を擁し、乳幼児をはじめとする子どもを多面的に研究する児童学をベースに、今後さらなる発展を目指します。乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児の発達などの側面に光を当てながら、乳幼児やその保護者などから信頼される豊かな人間性と専門性の高い実践力を備えた人材の育成を目指して、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

1. 芸術や文化に関する教養を深め、礼節や思いやりをもって多様な価値観を受け入れられる人間性を育成する
2. 児童学の学びを通して、乳幼児の可塑性に富んだ活動に対応できる専門的な知識及び技能、豊かな創造性を育成する。
3. 高いコミュニケーション・スキルやリーダーシップ等を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を育成する。

【学習成果】

上記の教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

1. 礼節や思いやり、豊かな乳幼児観などをもって乳幼児に接するとともに、自律的に学び続けながら教育・保育の発展に貢献することができる。
2. 乳幼児の心とからだの成長と発達に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、乳幼児に関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
3. 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。

以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士（児童学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

教育学部児童学科は、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学科共通科目群

- (1) 児童学の学びを通して、乳幼児の多面的な活動に対する理解を深め、具体化するための技能を身につけます。
- (2) 学問的背景をふまえた折り紙や手遊び、ピアノなど多彩な表現力や教材作成の技能を身につけた上で実習を通して教育現場が求める実践力を磨きます。
- (3) 4年間の学び、そして卒業後の活躍を具体的にデザインするとともに、乳幼児及びその周辺に関する問題について、3年次ゼミ、4年次の卒業研究ゼミを通して専門的な問題解決力を高めます。

2. コース別専門科目群

(1) 幼稚園教員養成コース

「幼稚園教育は学校教育の始まり」ととらえ、幼児一人一人を理解し、豊かな成長を促すために必要な幼児教育をデザインする力や保護者を支援する力、地域や小学校と連携する力などの専門性が身につく、「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。理論、実践科目、附属幼稚園や外部の幼稚園で行う実習を通して、幼児の発達を支え、地域や保護者から信頼される、優れた実践力と教材研究の力を身につけます。

(2) 保育士養成コース

乳幼児をはじめとする子どもとその家族の保育ニーズに対応できる実践力を身につける「保育の聖徳®」にふさわしい教育課程を編成します。子どもの貧困、子育て支援、病児保育、インクルーシブ保育など、保育現場における課題を深く学びます。保育所や他の施設で行われる実習を通して、子どもに対する理解を深め、子どもや子育て家庭の実態や社会の状況をとらえながら、子どもだけでなくその家族や地域社会を支える確かな実践力を培います。

(3) 児童心理コース

乳幼児をはじめとする子どもの心を多角的にとらえ、成長や発達を支える実践力を身につけるとともに、幼稚園教諭一種免許や保育士資格の取得が可能な教育課程を編成します。心理学を専門的に学び、乳幼児やその保護者の心の理解と適切な支援ができる実践力を身につけます（認定心理士取得が可能）。

(4) 児童文化コース

乳幼児をはじめとする子どもの遊びと文化を学び、地域に貢献できる実践力を身につけるとともに、幼稚園教諭一種免許や保育士資格の取得が可能な教育課程を編成します。造形・音楽・身体などの表現や児童文化財を通して地域交流をし、協働する力を身につけます。地域社会をはじめ幅広い子どもを取り巻くビジネスフィールドでも活躍できる専門的な実践力を身につけます。

【教育課程実施の方針】

1. 学生が自ら主体的に学ぶ授業を展開するとともに、小集団での協働の学びを通して、学習成果の向上を図ります。
2. ルーブリック評価を導入し、評価結果を教員と学生で共有しながら学びを改善・充実します。

3. 幼児教育実習・保育実習では、本学教員並びに附属幼稚園教諭等による事前・事後指導を実施し、教育課題に即応できる実践力の向上を図ります。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部児童学科では、乳幼児に関わる専門的な実践力をもち、主体的に地域社会に貢献できる人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めています。

1. 乳幼児の成長や発達に関心があり、乳幼児及びその保護者の心に寄り添うことができる人。
2. 自分を見つめ、自己の課題に向き合い、よりよい自分になるよう努力する人。
3. 心身ともに健全で、乳幼児や保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、各種実習等を継続できる人。
4. 学科における専門教育を学べる素養を備えた人。

教育学部児童学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な意欲や学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。

教育学部 児童学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

学外研修ルーブリック	1春・夏、3秋
児童学科DPルーブリック	各学年春・4秋
実習ルーブリック	各実習後
各科目の振り返りシート	毎学期末
卒業論文・卒業研究ルーブリック	4秋
豊かな乳幼児観を育む科目群のGPA	毎学期末
実習評価表	各実習後

1. 礼節や思いやり、豊かな乳幼児観などをもって乳幼児に接するとともに、自律的に学び続けながら教育・保育の発展に貢献することができる。

実習ルーブリック	各実習後
児童学科DPルーブリック	各学年春・4秋
各科目の振り返りシート	毎学期末
卒業研究・卒業論文ルーブリック	4秋
乳幼児の心とからだの成長と発達を学ぶ科目群のGPA	毎学期末
実習評価表	各実習後

2. 乳幼児の心とからだの成長と発達に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、乳幼児に関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。

学外研修ルーブリック	1春・夏、3秋
児童学科DPルーブリック	各学年春・4秋
実習ルーブリック	各実習後
各科目の振り返りシート	毎学期末
卒業研究・卒業論文ルーブリック	4秋
豊かな表現方法を学ぶ科目群のGPA	毎学期末
実習評価表	各実習後

3. 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。

教育学部 教育学科

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

近年、学校や社会においては、高い専門性と豊かな人間性をもち、グローバル化と情報通信技術（ICT）の急速な発達による社会の変化に対応する現場実践力を発揮できる人材が求められています。

教育学部教育学科は、学校や社会におけるこのような期待に応え、多様な子どもの発達を支援できる「教育学の理論と教科の専門性」、「高い英語指導力と ICT 活用能力」、「子どもの心身の発達に関する科学的洞察力」、「多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮できる力」を備えた教育者・指導者を育成します。

そのため、教育学部教育学科は、「小学校教員養成コース」「特別支援教育コース」「スポーツ教育コース」の 3 コースとし、教育学、特別支援教育学、スポーツ諸科学等をベースに、高い専門性と豊かな人間性を基盤とした現場実践力を備えた人材の育成を目指して教育を行います。

【教育目標】

1. 教育学の理論と教科の専門性、高い英語指導力と ICT 活用能力を修得することにより、グローバルかつローカルな視点に立った問題解決力と現場実践力を育成する。
2. 子どもの心身の発達に関する科学的洞察力を修得することにより、子ども一人ひとりの可能性を支援する現場実践力を育成する。
3. 多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮できる力を修得することにより、思いやりと協調性をもって多様な他者との信頼関係を築く豊かな人間性を育成する。

【学習成果】

上記の教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

1. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学習した結果として、理論と実践を結びつけ、課題を主体的に解決し、現場実践力を発揮することができる。
2. 子どもの心身の発達に関する科学的洞察力を修得した結果として、グローバルかつローカルな視点をもって、複雑多様な課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。
3. 多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮する力を修得した結果として、思いやりと協調性をもって多様な他者との信頼関係を築くことができる。

以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した者に、卒業を認定し、学士（教育学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

教育学部教育学科は、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目(全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目で教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学科共通科目群

- (1) 教育学、特別支援教育学、スポーツ諸科学等の学びを通して、子どもの多面的な活動を理論的に深め、かつそれを具体化するための技能を身につけます。
- (2) 最新の理論と実践を踏まえた知識と技能並びに現場実践力を、演習および実習を通して磨きます。
- (3) 4年間の学びを、卒業後の活躍を具体的にデザインしながら、3年次ゼミと4年次の卒業研究ゼミを通して卒業研究としてまとめ、専門性を基盤とした高い問題解決力にまで高めます。

2. コース別専門科目群

(1) 小学校教員養成コース

中学校・高等学校等との系統性を重視し、高い英語指導力と情報通信技術(ICT)を活用できる教科指導力を身につける教育課程を編成します。また、3、4年次には教科等を選択して専門性を深めます。さらに、各教科等の内容と指導方法に加え、附属小学校での観察実習や公立小学校での教育実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる現場実践力を身につけます。

(2) 特別支援教育コース

通常学級に在籍する子どもを含め障害のある子どもを理解し、保護者に信頼され、地域社会と連携しながら適切に指導・支援ができる専門的な実践力を身につける教育課程を編成します。各種の障害についての理論と指導方法に加え、特別支援学校での実習を通して、高い授業力と教育課題を解決できる現場実践力を身につけます。

(3) スポーツ教育コース

子ども達にスポーツの楽しさを伝える実践力を身につけるとともに、資格・免許取得の可能な教育課程を編成します。ジュニア期(幼児期～児童期)の発育発達に応じた運動遊びやスポーツ指導に関する理論や技術を学び、児童期から生涯にわたる健康づくりを通して地域に貢献できる現場実践力を身につけます。

【教育課程実施の方針】

1. 学生が自ら主体的に学ぶ授業を展開するとともに、学生がともに学び合う対話的な授業を通して、学びの質的な向上を図ります。
2. ルーブリック評価を導入し、評価結果を教員と学生で共有しながら学生の学びを改善・充実します。
3. 教員免許取得に係る教育実習では、本学教員並びに関係諸機関の教員・指導者による事

前・事後指導を実施し、教育課題に即応できる現場実践力の向上を図ります。また、スポーツ系資格取得に係る現場実習では、本学教員並びに関係諸機関の指導者による指導を実施し、スポーツ現場の課題に即応できる現場実践力の向上を図ります。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部教育学科では、子どもに関わる専門性を基盤とした実践力をもち、地域社会に貢献できる人材を育成するために、次のような能力をもつ入学者を求めています。

1. 子どもの成長や発達に関心があり、子どもの心に寄り添うことができる人。
2. 自己の人間性や教養を高め、調和ある社会の発展に貢献しようとする人。
3. 心身ともに健全で、子どもや保護者、地域の人などと積極的に交流するとともに、教育実習等を継続できる人。
4. 学科における専門教育を学べる素養を備えた人。

教育学部教育学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意し、様々な入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な意欲や学力、コミュニケーション力、課題解決力などについて、書類審査、作文や小論文、学力試験、面接などを多面的に組み合わせて総合的に評価します。

教育学部 教育学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る手法と時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

各科目の振り返りシート	毎学期末
実習ルーブリック	各実習後
教職履修カルテ	毎学年末
卒業研究ルーブリック	4毎学期末
教育学の基礎を探究する科目群GPA	毎学期末
各コースの専門力・実践力を身に付ける科目群GPA 【小学校教員養成コース】魅力ある授業づくりと学級経営力を身に付ける 【特別支援教育コース】魅力ある授業づくりと学級経営力を身に付ける 特別支援教育を推進する専門力を身に付ける 【スポーツ教育コース】多様なスポーツ活動に対応できる資質を高める	毎学期末
現場実践力を養う科目群GPA	各実習後
各科目の振り返りシート	毎学期末
教職履修カルテ	毎学年末
卒業研究ルーブリック	4毎学期末
子どもの心身の発達を学ぶ科目群GPA	毎学期末
学びの基礎力を身に付ける科目群GPA	毎学期末
キャリア・アセスメントテスト	3春
学外研修ルーブリック	学外研修後
実習ルーブリック	各実習後
卒業研究ルーブリック	4毎学期末
人間性を高める科目群GPA	毎学期末

1. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学習した結果として、理論と実践を結びつけ、課題を主体的に解決し、現場実践力を発揮することができる。

2. 子どもの心身の発達に関する科学的洞察力を修得した結果として、グローバルかつローカルな視点をもって、複雑多様な課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。

3. 多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮する力を修得した結果として、思いやりと協調性をもって多様な他者との信頼関係を築くことができる。

教育学部 児童学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
幼稚園教員養成コース	30単位	94単位	124単位
保育士養成コース	30単位	94単位	124単位
児童心理コース	30単位	94単位	124単位
児童文化コース	30単位	94単位	124単位

- ② 全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全学共通科目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、及び外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 全学共通科目 (A類) については、別表Ⅱ-1、2、3、4、5、6、7のとおり履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目 (別表Ⅱ-1) はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目 (別表Ⅱ-2) は12単位以上が必修です。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～C類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。D類の「日本国憲法」は、教員免許状・保育士資格を取得する者は必修です。
- ⑥ 外国語科目 (別表Ⅱ-3) は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ (4単位) 及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語のうち1ヶ国語 (4単位)、計8単位以上を修得してください。
- ⑦ 健康教育科目 (別表Ⅱ-4、Ⅱ-5) は、コースごとに別表Ⅱ-4または別表Ⅱ-5の欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑧ 情報活用科目 (別表Ⅱ-6) は別表Ⅱ-6の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合 (成績表にS・A・B・Cと表記される) には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考		
					1	2	3	4			
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋			
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○		●	●			● 春学期または秋学期に開講	
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ		1	○	○	○	○	○	○	○	△ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅰ)		1	○	○						
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)		1	○	○						
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	○	○						
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	○		●	●				
	計		7								

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	A類 自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域)		2		○	○	○			△ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。(外国語は8単位以上必修)
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>		自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2		○	○	○		
<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	2					○	○	
<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	B類 自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2		○	○	○			△ 教養科目は表中のA類、B類、C類 各類から1科目以上履修すること。
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>	C類 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2		○	○	○			△ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○			
<input type="checkbox"/>	D類 日本国憲法		2		●	●				△ 日本国憲法は教育職員免許状及び保育士資格を取得する者は必修。
	計		34							

Business Field Linkageプログラム

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
						1	2	3	4		
						春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※									
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専攻	国際社会問題を考える		2			●	●	●	●	いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2			●	●	●	●	いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication I		2		○					
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication II		2			○				
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	ビジネス・データ サイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2		●	●	●	●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2				○			

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目

「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。

②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。

(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)

③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。

④履修する科目はキャップ制の対象外とします。

⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

外国語科目

別表Ⅱ-3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1	2	3	4						
					春秋	春秋	春秋	春秋						
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									△ 外国語科目については、卒業必修科目として英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ(4単位)及び選択外国語として(英語Ⅴ～Ⅷ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ)のうち1か国語(4単位)、計8単位以上必修。 △ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。 △ 「フランス語」及び「ドイツ語」は各学期に週2回開講されるのでⅠとⅡ、ⅢとⅣを同一学期に履修すること。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	英語Ⅲ	演	1	○			○							
<input type="checkbox"/>	英語Ⅳ	演	1	○				○						
<input type="checkbox"/>	英語Ⅴ	演	1	※					○					
<input type="checkbox"/>	英語Ⅵ	演	1	※						○				
<input type="checkbox"/>	英語Ⅶ	演	1	※							○			
<input type="checkbox"/>	英語Ⅷ	演	1	※								○		
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅰ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅳ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅴ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅷ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅰ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅳ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅴ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅷ	演	1								○			
			24											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目（幼稚園教員養成コース、保育士養成コース）

別表Ⅱ-4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1	注	○					
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1	注		○				
			2							

【授業の方法】演：演習、無印：講義、※：講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 幼稚園教員養成コース、保育士養成コースの学生は基礎専門体育Ⅰ・Ⅱを履修すること。

健康教育科目（児童心理コース、児童文化コース）

別表Ⅱ-5

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	注2	○					
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	注2		○				
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1	注1	○					
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1	注1		○				
			2							

【授業の方法】演：演習、無印：講義、※：講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 1) 児童心理コース、児童文化コースで幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得しようとする学生は基礎専門体育Ⅰ・Ⅱを履修すること。

2) 上記以外の学生はスポーツと健康Ⅰ、Ⅱを履修すること。

情報活用科目

別表Ⅱ-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○					△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	注		○				
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1					○		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1				○			
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1					○		
			5							

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 情報活用演習(基礎)が必修です。

教育職員免許状を取得する学生は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも修得すること。

帰国子女科目

別表Ⅱ-7

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春 秋	春 秋	春 秋	春 秋		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○					△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○				
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○			
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○	
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2					○		
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2						○	
			10							

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教育学部 児童学科 幼稚園教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 幼稚園教員養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	B類計
75	19	94

- ③ 幼稚園教員養成コースの専門教育科目については、別表Ⅱ-8の卒業必修欄に○印の付いている科目65単位、専門領域科目の中からいずれか1領域10単位の合計75単位と、別表Ⅱ-8の選択科目及び別表Ⅱ-9～12に記載されている科目から19単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、幼一免欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）又は保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）の組み合わせで2科目3単位選択履修してください。
- ⑥ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅱ-12のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑧ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑨ 同一授業科目について卒業必修欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑩ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	履修年次								備考			
							1		2		3		4					
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
学部共通科目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2				○											
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2							○								
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2							●	●	●						
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2									○						
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2									●	●	●	●			
学科共通科目	<input type="checkbox"/> 児童学概論		2	○			○											
	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○							○	○					通年	
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ		3	○									○	○			通年	
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○				○										
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○					○									
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅰ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	医療保育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅱ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自然科学入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅲ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	食育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅳ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	子育て支援ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅴ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育・保育ボランティア演習
<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅵ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地域支援ボランティア演習	
<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅶ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育場面演習	
<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅷ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	保育場面演習	
必修科目	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	○	○										わらべ歌を含む	
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅱ	演	1	○	○	○	○										わらべ歌を含む	
	<input type="checkbox"/> 音楽実技	演	2	○	○	○	○	○	○								ピアノ(2年通年)	
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅲ	演	2	○	○	○					○	○	○	○			ピアノ(2年通年)	
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○									
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅱ	演	1	○	○	○				○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○									
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅱ	演	1	○	○	○				○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と健康		1	○	○		○											
	<input type="checkbox"/> 幼児と人間関係		1	○	○				○									
	<input type="checkbox"/> 幼児と環境		1	○	○			○										
	<input type="checkbox"/> 幼児と言葉		1	○	○					○								
	<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○	○	●	●										
	<input type="checkbox"/> 教育原理		2	○	○	○	●	●										
	<input type="checkbox"/> 発達心理学		2	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2	○	○		●	●										
	<input type="checkbox"/> 教育社会学		1	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 教育方法学		2	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 保育・教育課程論		2	○	○	○			●	●								
	<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ		2	○	○	○				○								
	<input type="checkbox"/> 保育内容総論	演	1	○	○	○	○											
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅰ(健康)	演	1	○	○	○			○									健康
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅱ(健康)	演	1	○	○	○				○								健康
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅲ(人間関係)	演	1	○	○	○					○							人間関係
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅳ(人間関係)	演	1	○	○	○						○						人間関係
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅴ(環境)	演	1	○	○	○				○								環境
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅵ(環境)	演	1	○	○	○					○							環境
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅶ(言葉)	演	1	○	○	○						○						言葉
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅷ(言葉)	演	1	○	○	○							○					言葉
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅸ(音楽表現)	演	1	○	○	○						○						音楽
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演Ⅹ(音楽表現)	演	1	○	○	○							○					音楽
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導演ⅩⅠ(造形表現)	演	1	○	○	○							○					造形
<input type="checkbox"/> 保育内容指導演ⅩⅡ(造形表現)	演	1	○	○	○								○				造形	
<input type="checkbox"/> 幼児理解,保育相談		2	○	○		○												
<input type="checkbox"/> 教育相談		2	○	○							●	●						
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅰ~1	演	1	○		○	●	●										人形劇	
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅰ~2	演	1	○		○	●	●										折紙	
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅱ~1	演	1	○		○					●	●						表現あそび	
<input type="checkbox"/> 保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○	○									○				
<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅰ	実	1	○	○				○			○						事前・事後オリエンテーション等	
<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅱ	実	2	○	○				○									附属幼実習	
<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅲ	実	2	○	○							○						外部幼実習	

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	履修年次				備考				
							1		2			3		4	
							春	秋	春	秋		春	秋	春	秋
	【幼児教育指導法開発領域】														
<input type="checkbox"/>	幼児と自然体験		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	文芸創作演習		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	遊具と遊び		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	行事運営実践		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	危機管理演習		2								●	●			
	【音楽表現領域】														
<input type="checkbox"/>	音遊び・手遊び		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	オペレッタ・ミュージカル		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	歌唱指導・わらべうた		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	ボディパーカッション・楽器遊び		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	リトミック		2								●	●			
	【造形表現領域】														
<input type="checkbox"/>	立体表現		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	平面表現		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	造形表現デザイン		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	幼児と文化財		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	造形指導法		2								●	●			
	【インクルーシブ保育領域】														
<input type="checkbox"/>	障害児・者の権利論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	障害文化論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	ライフステージ支援研究		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	医療・保育連携論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	インクルーシブ保育研究		2								●	●			
	【多文化保育領域】														
<input type="checkbox"/>	保育における多文化理解		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	世界の子どもの生活と文化		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	異文化間コミュニケーション論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	保育における外国語活動		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	世界の就学前教育		2								●	●			
	【運動・健康領域】														
<input type="checkbox"/>	子どもの発達・発育と運動論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	運動遊び研究		2								●	●	運動遊び・伝承遊び・リズム遊び		
<input type="checkbox"/>	遊具での運動遊びと安全		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	子どもの自然活動基礎論		2								●	●			
<input type="checkbox"/>	運動行事研究		2								●	●			

チ ェ ツ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	幼 一 免	保 育 士	履 修 年 次								備 考		
							1		2		3		4				
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
コ ー ス 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 子ども家庭福祉		2			○	●	●									
	<input type="checkbox"/> 社会福祉学Ⅰ		2			○	●	●									
	<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅰ		2			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 社会的養護Ⅱ	演	1			○					●	●					
	<input type="checkbox"/> 保育の心理学		2			○	●	●									
	<input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助	演	1			○					●	●					
	<input type="checkbox"/> 子どもの保健		2			○	●	●									
	<input type="checkbox"/> 子どもの健康と安全	演	1			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養	演	2			○					●	●					
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学		2			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援論		2			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 子育て支援	演	1			○					●	●					
	<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅰ		2			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 乳児保育Ⅱ	演	1			○					●	●					
	<input type="checkbox"/> 障害児保育	演	2			○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(保育所)	実	2			○							○				保育所実習
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(施設)	実	2			○						○					施設実習
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅱ(保育所)	実	2			△								○			保育所実習(選択)
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅲ(施設)	実	2			△									○		施設実習(選択)
	<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅰ	演	2			○					○	○					必修事前・事後指導
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1			△									○		選択事前・事後指導	
<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1			△									○		選択事前・事後指導	
計				75	51	70											

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。
 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期
 いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。

- ◆ 保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)
 いずれかの組合せを選択すること。

令和5年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 幼稚園教員養成コース

カリキュラムマップ

目標
内容
幼児教育の理論と実践の基礎を学ぶ
幼児教育の理論と実践を学ぶ

幼児教育の理論と実践を身につけよう
幼児教育の理論と実践を学ぶ

幼児教育の実践力を伸ばそう
幼児教育の理論と実践力を磨く

幼児教育の専門性を深めよう
専門分野を強みに変える

	1年生	2年生	3年生	4年生
実践力を養う ※DP1～3に該当	事前・事後指導 附属幼稚園実習	事前・事後指導 附属幼稚園実習	事前・事後指導 外部幼稚園実習	
児童学を深める ※DP1～3に該当	児童学概論 幼児と健康 保育内容総論 特別支援教育総論 幼児理解、保育相談	キャリアデザインⅡ 幼児と人間関係 発達心理学 教育方法学 幼児と造形表現Ⅰ (健康) 保育内容指導演法Ⅰ (健康) 保育内容指導演法Ⅴ (環境)	3年次ゼミ 教育社会学 児童学特論Ⅲ (人間関係) 保育内容指導演法Ⅲ (人間関係) 保育内容指導演法Ⅳ (言葉) 教育相談	卒業研究ゼミ 購書児・者の件理論 世界の子どもの生活と文化 児童学特論Ⅶ 幼児と自然体験 文芸創作演習 児童文化論 保育における多文化理解 子どもの発達・養育と運動論 音楽(ト)手あそび オペラ/タムシカ 平面表現 造形指導演法 異文化間コミュニケーション論 運動遊びの研究
豊かな表現方法を学ぶ DP3	児童学特論Ⅳ (1～4年次開講) 児童学特論Ⅵ (1～4年次開講) 幼児と音楽表現Ⅰ 児童文化演習Ⅰ-1	幼児と音楽表現Ⅱ 児童文化演習Ⅰ-2	保育内容指導演法Ⅸ (音楽表現) 保育内容指導演法Ⅹ (造形表現) 児童文化演習Ⅱ-2	歌唱指導・わらべうた ボディパーカッション・楽遊び リトミック 立体表現 造形表現デザイン 幼児と文化財 医療・保育連携論 遊具での運動遊びと安全 運動行事研究 保育・教職実践演習 (幼稚園)
豊かな教養を高める ※DP1～3に該当	英語Ⅰ～Ⅳ 選択外国語 (ドイツ語・フランス語)Ⅰ～Ⅳ (幼児)基礎専門体育Ⅱ 情報活用演習 (基礎) 日本国憲法 (D類) 教養科目 (A類 B類 C類)	英語Ⅰ～Ⅳ 選択外国語 (ドイツ語・フランス語)Ⅰ～Ⅳ (幼児)基礎専門体育Ⅱ 情報活用演習 (教職)	幼児と音楽表現Ⅲ 選択外国語 (ドイツ語・フランス語)Ⅴ～Ⅷ	
人間性を高める ※DP1～3に該当	聖徳教育Ⅱ (FC) 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅡ	聖徳教育Ⅰ (シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 小笠原流社法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ	聖徳教育Ⅱ (海外研修)	

※保育士資格を取得する場合は保育士養成コースのキャリアマップを参照

地域や保護者から信頼される、優れた実践力と教材研究の力を身につけた幼稚園教員になろう



	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
目標 内容	幼児教育の基礎を学ぶ 幼児教育の理論と実践を学ぶ	幼児教育の理論と実践を学ぶ 身に付けよう 幼児教育の理論と実践を学ぶ	幼児教育の実践力を伸ばそう 幼児教育の理論と実践力を高める	幼児教育の専門性を深めよう 専門分野を強みに変える	
実践力を養う ※DP1~3に該当	春学期 秋学期 幼稚園実習を通して、幼児の実態や幼稚園教育、幼稚園教員の役割について理解することができる。	春学期 秋学期 幼稚園実習を通して、幼児理解や具体的な指導法を考えることができる。	春学期 秋学期 幼稚園実習を通して、子どもの特性、様々な保育の方法、幼稚園教員としての職務を理解することができる。	春学期 秋学期 幼稚園教員としての専門性を身につけ、多様な職務と職業倫理について理解することができる。	DP1~3の学習成果に該当
児童学を深める ※DP1~3に該当	春学期 秋学期 児童学について総合的・体系的にとらえ、児童学の意義を理解し、乳幼児の最善の利益について考えることができる。	春学期 秋学期 理論的思考を基礎とし、自己課題や問題点を発見し、考究することができる。	春学期 秋学期 児童学を主体的に学ぶことで、キャリアアビリティを明確にすることができる。	春学期 秋学期 これまでの学修を生かし、卒業後の自身を見据えた学びを展開し、教育・保育の発展に貢献する姿勢ができる。	[DP1] 礼節や思いやり、豊かな乳幼児観などをもち乳幼児に接するとともに、自律的に学び続けながら教育・保育の発展に貢献することができる。
豊かな乳幼児観を育む DP1	春学期 秋学期 乳幼児への愛情をもち、保護・養育・教育についての基本的な考え方を理解することができる。	春学期 秋学期 乳幼児の発達と環境、人間関係について理解し、教育・保育を構想することができる。	春学期 秋学期 乳幼児が心身ともに健やかに育つための地域や家庭との連携について学び、実践する方法を理解できる。	春学期 秋学期 乳幼児の人格を尊重し、最善の利益を希求する教育・保育の在り方について実践的に学び続けることができる。	[DP2] 乳幼児の心とからだの成長と発達に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、乳幼児に関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
乳幼児の心とからだの成長と発達を学ぶ DP2	春学期 秋学期 乳幼児及び乳幼児を取り巻く諸課題を理解し、学びの基礎を形成することができる。	春学期 秋学期 幼児教育・保育の理論や実践の方法を理解することができる。	春学期 秋学期 幼児教育・保育を構想し、多様な実践の方法を考えることができる。	春学期 秋学期 各専門領域の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができる。	[DP3] 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。
豊かな表現方法を学ぶ DP3	春学期 秋学期 身体表現や音楽、造形などの表現に関する発達を理解することができる。	春学期 秋学期 身体表現や音楽、造形などの表現方法の基礎を学び、理解することができる。	春学期 秋学期 様々な表現方法を乳幼児の発達に応じて指導する実践力を主体的に身につけることができる。	春学期 秋学期 乳幼児との関わりを深め、乳幼児の表現力の向上を図るとともに、創造性を培う指導について学び続けることができる。	
豊かな教養を高める ※DP1~3に該当	春学期 秋学期 基礎的な学力や語学力、ICT活用力を形成することができる。	春学期 秋学期 基礎的な学力を身につけ、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけることができる。	春学期 秋学期 高度な語学力や国際感覚を形成するとともに、より高いコミュニケーション能力を身につけることができる。	春学期 秋学期 幅広い視野に立ち、多様な価値を受け止め、自己の生き方をデザインすることができる。	DP1~3の学習成果に該当
人間性を高める ※DP1~3に該当	春学期 秋学期 子どもに対する深い愛情をもち、幼稚園教員になろうとする意欲をもちつことができる。	春学期 秋学期 礼法やグループワークを通して、対人関係を適切に形成することができる。	春学期 秋学期 海外の教養や文化に直接触れながら、教師としての教養や人間性を高めることができる。	春学期 秋学期 様々な芸術や文化に触れ、教師としての人間性を磨くことができる。	

地域や保護者から信頼される、優れた実践力と教材研究の力を身につけた幼稚園教員になろう

児童学科 免許・資格取得履修モデル
 児童学科幼稚園教員養成コース (幼稚園教諭+保育士資格)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II ドイツ語 I ドイツ語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習 (教職) 日本国憲法 教養科目	英語 III ドイツ語 III ドイツ語 IV 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	4	8	5	5
学部 共通 科目	現代教育課題論			環境問題入門
科目数	1			1
学科 共通 科目	児童学概論	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	児童学特論 V 幼児教育・保育ボランティア演習
科目数	1	1	1	1
コ ー ス 必 修 科 目	幼児と音楽表現 I 音楽実技 幼児と健康 保育内容総論 児童文化演習 I～1 幼児理解, 保育相談 特別支援教育総論	幼児と音楽表現 II 音楽実技 幼児と環境 教職入門 保育原理 I 児童文化演習 I～2 教育原理	幼児と造形表現 I 音楽実技 幼児と身体表現 I 幼児と人間関係 保育内容指導法 I (健康) 保育内容指導法 V (環境) 発達心理学 教育方法学	幼児と造形表現 II 音楽実技 幼児と身体表現 II 幼児と言葉 保育内容指導法 II (健康) 保育内容指導法 VI (環境) 教育社会学 保育・教育課程論
科目数	7	7	8	8
保 育 士 科 目	子ども家庭福祉 子どもの保健	社会福祉学 I 保育の心理学	子ども家庭支援の心理学 社会的養護 I 障害児保育	子どもの家庭支援論 乳児保育 I 子どもの健康と安全
科目数	2	2	3	3
実 習		附属幼稚園実習		
科目数計	15	18	17	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目				
科目数				
学部 共通 科目				
科目数				
学科 共通 科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ 児童学特論 VII 幼児教育場面演習	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	2	1
コ ー ス 必 修 科 目	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 III (人間関係) 保育内容指導法 VII (言葉) 保育内容指導法 IX (音楽表現) 保育内容指導法 X I (造形表現) 教育相談	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 IV (人間関係) 保育内容指導法 VIII (言葉) 保育内容指導法 X (音楽表現) 保育内容指導法 X II (造形表現) 児童文化演習 II～1	幼児と音楽表現 III 領域科目 領域科目 領域科目	幼児と音楽表現 III 保育・教職実践演習 (幼稚園) 領域科目 領域科目
科目数	6	6	4	4
保 育 士 科 目	社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	子どもの食と栄養 乳児保育 II		
科目数	3	2		
実 習	外部幼稚園実習 施設実習	保育所実習	保育所実習	
科目数計	10	9	6	5

※ 4年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

教育学部 児童学科 保育士養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 保育士養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	B類計
89	5	94

- ③ 保育士養成コースの専門教育科目については、別表Ⅱ-9の卒業必修欄に○印の付いている科目76単位、△印の付いている科目から、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）の組み合わせで3単位、専門領域科目の中からいずれか1領域10単位の合計89単位と、別表Ⅱ-9の選択科目及び別表Ⅱ-8、10～12に記載されている科目から5単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 保育士の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）又は保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）の組み合わせで2科目3単位選択履修してください。
- ⑤ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、幼一免欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑥ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅱ-12のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑧ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑨ 同一授業科目について卒業必修欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑩ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チ ェ ツ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	保 育 士	幼 一 免	履 修 年 次								備 考		
							1		2		3		4				
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
学 部 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2				○										
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2						○								
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2						●	●	●						
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2								○						
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2								●	●	●	●			
学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 児童学概論		2	○			○										
	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○						○	○					通年	
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ		3	○								○	○			通年	
	<input type="checkbox"/> キャリアデザイン I	演	1	○			○										
	<input type="checkbox"/> キャリアデザイン II	演	1	○				○									
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 I		2				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	医療保育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 II		2				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自然科学入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 III		2				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	食育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 IV	演	1				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	子育て支援ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 V	演	1				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育・保育ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論 VI	演	1				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地域支援ボランティア演習
<input type="checkbox"/> 児童学特論 VII	演	1				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育場面演習	
<input type="checkbox"/> 児童学特論 VIII	演	1				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	保育場面演習	
コ ー ス 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 子ども家庭福祉		2	○	○		●	●									
	<input type="checkbox"/> 社会福祉学 I		2	○	○		●	●									
	<input type="checkbox"/> 社会的養護 I		2	○	○				●	●							
	<input type="checkbox"/> 社会的養護 II	演	1	○	○						●	●					
	<input type="checkbox"/> 保育の心理学		2	○	○		●	●									
	<input type="checkbox"/> 子どもの理解と援助	演	1	○	○						●	●					
	<input type="checkbox"/> 子どもの保健		2	○	○		●	●									
	<input type="checkbox"/> 子どもの健康と安全	演	1	○	○				●	●							
	<input type="checkbox"/> 子どもの食と栄養	演	2	○	○						●	●					
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援の心理学		2	○	○				●	●							
	<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援論		2	○	○				●	●							
	<input type="checkbox"/> 子育て支援	演	1	○	○						●	●					
	<input type="checkbox"/> 保育・教育課程論		2	○	○	○			●	●							
	<input type="checkbox"/> 乳児保育 I		2	○	○				●	●							
	<input type="checkbox"/> 乳児保育 II	演	1	○	○						●	●					
<input type="checkbox"/> 障害児保育	演	2	○	○				●	●								

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	保育士	幼一免	履修年次								備考
							1		2		3		4		
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
コース必修科目	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(保育所)	実	2	○	○										保育所実習
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅰ(施設)	実	2	○	○					○					施設実習
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅱ(保育所)	実	2	△	△								○		保育所実習(選択)
	<input type="checkbox"/> 保育実習Ⅲ(施設)	実	2	△	△								○		施設実習(選択)
	<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅰ	演	2	○	○					○	○				必修事前・事後指導
	<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1	△	△								○		選択事前・事後指導
	<input type="checkbox"/> 保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1	△	△								○		選択事前・事後指導
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	○									わらべ歌を含む
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅱ	演	1	○	○	○	○								わらべ歌を含む
	<input type="checkbox"/> 音楽実技	演	2	○	○	○	○	○	○						ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅲ	演	2	○	○	○				○	○	○	○		ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅱ	演	1	○	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅰ	演	1	○	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅱ	演	1	○	○	○			○						
	<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○	○	●	●							
	<input type="checkbox"/> 教育原理		2	○	○	○	●	●							
	<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ		2	○	○	○		○							
	<input type="checkbox"/> 保育内容総論	演	1	○	○	○	○								
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅰ(健康)	演	1	○	○	○			○						健康
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅱ(健康)	演	1	○	○	○			○						健康
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	演	1	○	○	○					○				人間関係
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	演	1	○	○	○							○		人間関係
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅴ(環境)	演	1	○	○	○			○						環境
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅵ(環境)	演	1	○	○	○			○						環境
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅶ(言葉)	演	1	○	○	○					○				言葉
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅷ(言葉)	演	1	○	○	○						○			言葉
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	演	1	○	○	○					○				音楽
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	演	1	○	○	○						○			音楽
	<input type="checkbox"/> 保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	演	1	○	○	○					○				造形
<input type="checkbox"/> 保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	演	1	○	○	○						○			造形	
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅰ～1	演	1	○	○		●	●							人形劇	
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅰ～2	演	1	○	○		●	●							折紙	
<input type="checkbox"/> 児童文化演習Ⅱ～1	演	1	○	○						●	●			表現あそび	
<input type="checkbox"/> 保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○	○								○		
コース選択科目	<input type="checkbox"/> 幼児と健康		1			○	○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と人間関係		1			○		○							
	<input type="checkbox"/> 幼児と環境		1			○		○							
	<input type="checkbox"/> 幼児と言葉		1			○				○					
	<input type="checkbox"/> 発達心理学		2			○			●	●					
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2			○				○					
	<input type="checkbox"/> 教育社会学		1			○			●	●					
	<input type="checkbox"/> 教育方法学		2			○			●	●					
	<input type="checkbox"/> 幼児理解,保育相談		2			○	○								
	<input type="checkbox"/> 教育相談		2			○					●	●			
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅰ	実	1			○			○				○		事前・事後オリエンテーション等
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅱ	実	2			○			○						附属幼実習
	<input type="checkbox"/> 幼児教育実習Ⅲ	実	2			○							○		外部幼実習

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	保育士	幼一免	履修年次								備考		
							1		2		3		4				
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
	【医療保育領域】																
<input type="checkbox"/>	医療保育概論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	保育士に必要な医学的知識		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	病棟保育の実践		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	病児保育の実践		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	医療保育とセーフティマネジメント		2										●	●			
	【乳児保育領域】																
<input type="checkbox"/>	赤ちゃん学概論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	現代保育課題研究		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	乳児保育の実践演習		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	乳児期とメディア		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	子育て支援と現代育児論		2										●	●			
	【音楽表現領域】																
<input type="checkbox"/>	音遊び・手遊び		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	オペレッタ・ミュージカル		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	歌唱指導・わらべうた		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	ボディパーカッション・楽器遊び		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	リトミック		2										●	●			
	【造形表現領域】																
<input type="checkbox"/>	立体表現		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	平面表現		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	造形表現デザイン		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	幼児と文化財		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	造形指導法		2										●	●			
	【インクルーシブ保育領域】																
<input type="checkbox"/>	障害児・者の権利論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	障害文化論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	ライフステージ支援研究		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	医療・保育連携論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	インクルーシブ保育研究		2										●	●			
	【多文化保育領域】																
<input type="checkbox"/>	保育における多文化理解		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	世界の子どもの生活と文化		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	異文化間コミュニケーション論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	保育における外国語活動		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	世界の就学前教育		2										●	●			
	【運動・健康領域】																
<input type="checkbox"/>	子どもの発育・発達と運動論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	運動遊び研究		2										●	●			運動遊び・伝承遊び・リズム遊び
<input type="checkbox"/>	遊具での運動遊びと安全		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	子どもの自然活動基礎論		2										●	●			
<input type="checkbox"/>	運動行事研究		2										●	●			
	計			89	70	51											

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。
 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。
 ◆ 保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択すること。

令和5年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 保育士養成コース

カリキュラムマップ

目標内容

保育・養護の基礎を学ぼう
保育・養護の理論と実践の基礎を学ぶ

保育・養護の実践力を身につけよう
保育・養護の理論と実践を学ぶ

保育・養護の実践力を伸ばそう
保育・養護の理論と実践力を高める

保育・養護の専門性を深めよう
専門分野を強め、将来に活かす

	1年生	2年生	3年生	4年生
美観力を養う ※DP1～3に該当	<p>保育原理</p> <p>保育内容総論</p> <p>児童学特論Ⅰ(1～3年次開講)</p> <p>子ども家庭福祉</p> <p>保育の心理学</p>	<p>キャリアデザインⅡ</p> <p>保育内容指導演法Ⅰ(健康)</p> <p>保育内容指導演法Ⅴ(環境)</p> <p>子ども家庭支援の心理学</p> <p>子ども家庭支援論</p> <p>保育・教育課程論</p> <p>幼児と遊戯表現Ⅰ</p> <p>乳児保育Ⅰ</p>	<p>キャリアデザインⅠ</p> <p>保育原理Ⅰ</p> <p>社会福祉学Ⅰ</p> <p>教職入門</p> <p>児童学特論Ⅱ(人間関係)</p> <p>保育内容指導演法Ⅳ(言葉)</p> <p>保育内容指導演法Ⅶ(言葉)</p> <p>子育て支援</p> <p>乳児保育Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅲ</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>
豊かな乳幼児を育む DP1	<p>児童学特論Ⅳ(1～4年次開講)</p> <p>児童学特論Ⅵ(1～4年次開講)</p>	<p>児童学特論Ⅴ(2～4年次開講)</p> <p>幼児と身体表現Ⅰ</p>	<p>保育内容指導演法Ⅲ(人間関係)</p> <p>保育内容指導演法Ⅷ(言葉)</p> <p>子育て支援</p> <p>乳児保育Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅲ</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>
乳幼児の心とからだの成長と発達を学ぶ DP2	<p>児童学特論Ⅰ(1～4年次開講)</p> <p>児童学特論Ⅱ(健康)</p> <p>児童学特論Ⅲ(環境)</p> <p>児童学特論Ⅳ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅴ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅵ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅶ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅷ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅷ(言葉)</p> <p>児童学特論Ⅷ(言葉)</p>	<p>児童学特論Ⅴ(2～4年次開講)</p> <p>幼児と身体表現Ⅰ</p> <p>幼児と身体表現Ⅱ</p>	<p>保育内容指導演法Ⅳ(人間関係)</p> <p>保育内容指導演法Ⅶ(言葉)</p> <p>保育内容指導演法Ⅷ(言葉)</p> <p>子育て支援</p> <p>乳児保育Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅲ</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>
豊かな表現方法を学ぶ DP3	<p>児童学特論Ⅳ(1～4年次開講)</p> <p>児童学特論Ⅵ(1～4年次開講)</p>	<p>児童学特論Ⅴ(2～4年次開講)</p> <p>幼児と身体表現Ⅰ</p> <p>幼児と身体表現Ⅱ</p>	<p>保育内容指導演法Ⅲ(人間関係)</p> <p>保育内容指導演法Ⅶ(言葉)</p> <p>保育内容指導演法Ⅷ(言葉)</p> <p>子育て支援</p> <p>乳児保育Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅱ</p> <p>児童学特論Ⅲ</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>
豊かな教養を高める ※DP1～3に該当	<p>英語Ⅰ～Ⅳ</p> <p>選外外国語(ドイツ語・フランス語)Ⅰ～Ⅳ</p> <p>(幼児)基礎専門体育Ⅱ</p> <p>情報活用演習(基礎)</p> <p>日本国憲法(D類)</p>	<p>英語Ⅰ～Ⅳ</p> <p>選外外国語(ドイツ語・フランス語)Ⅰ～Ⅳ</p> <p>(幼児)基礎専門体育Ⅱ</p> <p>情報活用演習(基礎)</p> <p>日本国憲法(D類)</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>
人間性を高める ※DP1～3に該当	<p>聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅠ</p> <p>聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅡ</p>	<p>小笠原流礼法基礎講座</p> <p>聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic LiteracyⅢ</p>	<p>聖徳教育Ⅱ(海外研修)</p>	<p>保育実習Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)</p>

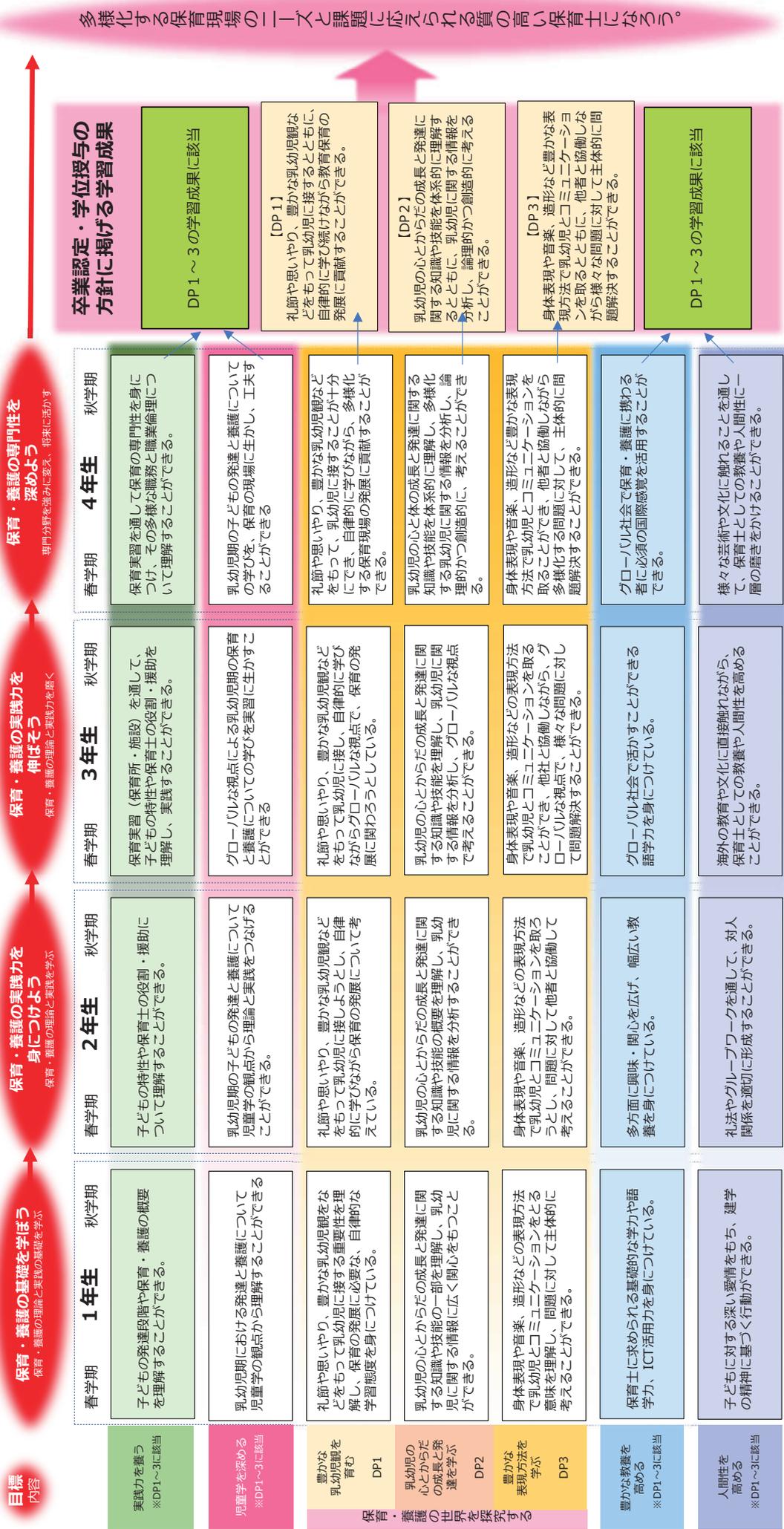
※幼稚園教諭一種免許状を取得する場合は幼稚園教員養成コースのカリキュラムマップを参照

保育・養護の世界を探究する

子どもとその家族、地域社会を支える実践力のある保育士に

令和5年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 保育士養成コース

Learning Outcomes (学びで得られる成果)



児童学科 免許・資格取得履修モデル
 児童学科保育士養成コース (保育士資格+幼稚園教諭)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II フランス語 I フランス語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習 (教職) 日本国憲法 教養科目	英語 III フランス語 III フランス語 IV 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	4	8	5	5
学部 共通 科目				
科目数				
学科 共通 科目	児童学概論	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	児童学特論 IV 子育て支援ボランティア演習
科目数	1	1	1	1
コ ー ス 必 修 科 目	幼児と音楽表現 I 音楽実技 社会福祉学 I 保育の心理学 児童文化演習 I～1 子ども家庭福祉 保育内容総論	幼児と音楽表現 II 音楽実技 教職入門 保育原理 I 児童文化演習 I～2 子どもの保健 教育原理	幼児と造形表現 I 音楽実技 幼児と身体表現 I 保育内容指導演法 I (健康) 保育内容指導演法 V (環境) 乳児保育 I 保育・教育課程論 子どもの健康と安全 社会的養護 I	幼児と造形表現 II 音楽実技 幼児と身体表現 II 保育内容指導演法 II (健康) 保育内容指導演法 VI (環境) 子ども家庭支援論 子ども家庭支援の心理学 障害児保育
科目数	7	7	9	8
幼 稚 園 科 目	幼児と健康 幼児理解, 保育相談	幼児と環境	幼児と人間関係 教育社会学	幼児と言葉 発達心理学 教育方法学
科目数	2	1	2	3
実 習			附属幼稚園実習	
科目数計	14	17	17	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目				
科目数				
学部 共通 科目	発達支援場面研究			
科目数	1			
学科 共通 科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ 児童学特論 VII 保育場面演習	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	2	1
コ ー ス 必 修 科 目	幼児と音楽表現 III 保育内容指導演法 III (人間関係) 保育内容指導演法 VII (言葉) 保育内容指導演法 IX (音楽表現) 保育内容指導演法 X I (造形表現) 子どもの食と栄養 乳児保育 II 社会的養護 II	幼児と音楽表現 III 保育内容指導演法 IV (人間関係) 保育内容指導演法 VIII (言葉) 保育内容指導演法 X (音楽表現) 保育内容指導演法 X II (造形表現) 児童文化演習 II～1 子どもの理解と援助 子育て支援	幼児と音楽表現 III 領域科目 領域科目 領域科目	幼児と音楽表現 III 保育・教職実践演習 (幼稚園) 領域科目 領域科目
科目数	8	8	4	4
幼 稚 園 科 目	教育相談 特別支援教育総論			
科目数	2			
実 習	施設実習	保育所実習	保育所実習 外部幼稚園実習	
科目数計	12	9	6	5

※ 4年次に履修する領域科目の履修方法については、3年次のガイダンスで説明します。

教育学部 児童学科 児童心理コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童心理コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
45	49	94

- ③ 児童心理コースの専門教育科目については、別表Ⅱ-10の卒業必修欄に○印の付いている科目45単位と別表Ⅱ-10の選択科目及び別表Ⅱ-8、9、11、12に記載されている科目から49単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-10の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、幼一免欄に○印の付いている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-10の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）又は保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ 認定心理士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-10の認定心理士欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に必修科目として算入されます）
- ⑦ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表Ⅱ-10の卒業必修欄に○印の付いている科目を履修することにより条件が満たされます。（別表Ⅱ-12）
- ⑧ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑩ 同一授業科目について卒業必修欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑪ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

児童学科 児童心理コース授業科目配当表 (B類)

別表Ⅱ-10

チ ェ ン ク 種	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	幼 一 免	保 育 士	認 定 心 理 士	履 修 年 次								備 考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学 部 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2					○									
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2								○						
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2								●	●	●				
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2										○				
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2									●	●	●	●		
学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 児童学概論		2	○				○									
	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○								○	○			通年	
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ		3	○			○							○	○	通年	
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○					○								
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○						○							
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅰ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	医療保育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅱ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	自然科学入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅲ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	食育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅳ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	子育て支援ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅴ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育・保育ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅵ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	地域支援ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅶ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育場面演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅷ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	保育場面演習
コ ー ス 必 修 科 目	【子ども発達理解フィールド】																
	<input type="checkbox"/> 心理学概論		2	○				○									
	<input type="checkbox"/> 心理学基礎実験Ⅰ	実	1	○				○		○							
	<input type="checkbox"/> 心理学基礎実験Ⅱ	実	1	○				○		○							
	<input type="checkbox"/> 心理学研究法Ⅰ		2	○				○			○						
	<input type="checkbox"/> 心理学研究法Ⅱ		2	○				○				○					
	<input type="checkbox"/> 心理統計法Ⅰ		2	○				○		○							
	<input type="checkbox"/> 心理統計法Ⅱ	演	1	○				○			○						
	<input type="checkbox"/> 乳幼児心理学		2	○				○	○								
	<input type="checkbox"/> 児童心理学		2	○				○		○							
	<input type="checkbox"/> 青年心理学		2	○				○	●	●							
	<input type="checkbox"/> 社会心理学		2	○				○		○							
	<input type="checkbox"/> 認知心理学		2	○				○			○						
	<input type="checkbox"/> 人格心理学		2	○				○				○					
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2	○	○			○	●	●							
	<input type="checkbox"/> 臨床心理学		2	○				○			○						
	<input type="checkbox"/> カウンセリング心理学		2	○				○			○						
	<input type="checkbox"/> 心理療法面接実習Ⅰ	演	1	○				○				○					
	<input type="checkbox"/> 心理療法面接実習Ⅱ	演	1	○				○					○				
	<input type="checkbox"/> 心理検査法実習Ⅰ	演	1	○				○					○				
<input type="checkbox"/> 心理検査法実習Ⅱ	演	2	○				○						○				
<input type="checkbox"/> 教育心理学		2	○				○						○				

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	認定心理士	履修年次								備考
								1		2		3		4		
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	家族心理学		2				○							○	【子ども発達理解フィールド】	
<input type="checkbox"/>	神経心理学		2										●	●	【子ども発達理解フィールド】	
<input type="checkbox"/>	児童精神医学		2									○			【子ども発達支援フィールド】	
<input type="checkbox"/>	発達臨床心理学		2									○			【子ども発達支援フィールド】	
<input type="checkbox"/>	心理英語		2										○		【子ども発達理解フィールド】	
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現Ⅰ	演	1		○	○	○								わらべ歌を含む	
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現Ⅱ	演	1		○	○	○								わらべ歌を含む	
<input type="checkbox"/>	音楽実技	演	2		○	○	○	○							ピアノ(2年通年)	
<input type="checkbox"/>	幼児と音楽表現Ⅲ	演	2		○	○	○			○	○	○	○		ピアノ(2年通年)	
<input type="checkbox"/>	幼児と造形表現Ⅰ	演	1		○	○	○									
<input type="checkbox"/>	幼児と造形表現Ⅱ	演	1		○	○	○									
<input type="checkbox"/>	幼児と身体表現Ⅰ	演	1		○	○	○									
<input type="checkbox"/>	幼児と身体表現Ⅱ	演	1		○	○	○									
<input type="checkbox"/>	幼児と健康		1		○		○									
<input type="checkbox"/>	幼児と人間関係		1		○		○									
<input type="checkbox"/>	幼児と環境		1		○		○									
<input type="checkbox"/>	幼児と言葉		1		○		○									
<input type="checkbox"/>	教職入門		2		○	○	●	●								
<input type="checkbox"/>	教育原理		2		○	○	●	●								
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2		○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育社会学		1		○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育方法学		2		○			●	●							
<input type="checkbox"/>	保育・教育課程論		2		○	○		●	●							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2		○					●	●					
<input type="checkbox"/>	保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2		○	○								○		
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅰ		2		○	○		○								
<input type="checkbox"/>	保育内容総論	演	1		○	○		○								
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅰ(健康)	演	1		○	○		○							健康	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅱ(健康)	演	1		○	○		○							健康	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	演	1		○	○				○					人間関係	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	演	1		○	○					○				人間関係	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅴ(環境)	演	1		○	○		○							環境	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅵ(環境)	演	1		○	○		○							環境	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅶ(言葉)	演	1		○	○				○					言葉	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅷ(言葉)	演	1		○	○					○				言葉	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	演	1		○	○				○					音楽	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	演	1		○	○					○				音楽	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	演	1		○	○				○					造形	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	演	1		○	○					○				造形	
<input type="checkbox"/>	幼児理解,保育相談		2		○			○								

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	認定心理士	履修年次								備考
								1		2		3		4		
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅰ	実	1		○					○						事前・事後オリエンテーション等
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅱ	実	2		○				○							附属幼実習
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅲ	実	2		○								○			外部幼実習
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅰ～1	演	1			○		●	●							人形劇
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅰ～2	演	1			○		●	●							折紙
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅱ～1	演	1			○				●	●					表現あそび
<input type="checkbox"/>	子ども家庭福祉		2			○		●	●							
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅰ		2			○		●	●							
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅰ		2			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅱ	演	1			○				●	●					
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2			○		●	●							
<input type="checkbox"/>	子どもの理解と援助	演	1			○				●	●					
<input type="checkbox"/>	子どもの保健		2			○		●	●							
<input type="checkbox"/>	子どもの健康と安全	演	1			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	子どもの食と栄養	演	2			○				●	●					
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援の心理学		2			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援論		2			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	子育て支援	演	1			○				●	●					
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅰ		2			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅱ	演	1			○				●	●					
<input type="checkbox"/>	障害児保育	演	2			○			●	●						
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2			○						○				保育所実習
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(施設)	実	2			○						○				施設実習
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2			△							○			保育所実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅲ(施設)	実	2			△							○			施設実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅰ	演	2			○					○	○				必修事前・事後指導
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1			△							○			選択事前・事後指導
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1			△							○			選択事前・事後指導
	計			45	51	70	36									

- 【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。
- 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。
- ◆1 幼一免を取得しようとする者は、教育相談の代わりに、カウンセリング心理学の単位取得をもって履修の免除をすることができる。
 - ◆2 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。

令和5年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 児童心理コース

カリキュラムマップ

目標
内容

心のしくみを知ろう
心理学の基礎を知る

心のはたらきを探ろう
心理学の研究方法を学ぶ

心理学を实践につなごう
心理学の専門性を深める

心理学を实践で使おう
心理学の活用力を高める

心理学をベースに、乳幼児とその保護者を支援できる人になる

	1年生	2年生	3年生	4年生
児童学を深める ※DP1～3に該当	(学域共通選択科目) 現代教育概論 教育法規概論 現場問題入門 児童学概論 (学科必修科目) 児童学概論	キャリアデザインI	児童学特論I～II (児童学科共通選択科目) 児童学特論I～II	卒業研究ゼミ
豊かな乳幼児観を育む DP1 乳幼児の心とからだの成長と発達を学ぶ	乳幼児心理学 社会心理学	認知心理学 児童心理学 心理学基礎実験I カウンセリング心理学	児童学特論III 人格心理学 心理統計法II 心理学研究法I 心理療法面接実習I 児童精神医学(選択)	児童学特論VII 児童学特論VIII 心理検査法実習II 家族心理学(選択) 心理英語(選択)
心のメカニズムを学ぶ DP2	特別支援教育総論	児童学特論I(2・3年次開講) 心理統計法I 心理学基礎実験II 臨床心理学	教育心理学 神経心理学(選択) 心理学研究法II 心理検査法実習I 心理療法面接実習II 発達臨床心理学(選択)	
豊かな表現方法を学ぶ DP3	児童学特論IV(1～4年次開講) 児童学特論VI(1～4年次開講)	児童学特論V(2～4年次開講)		
豊かな教養を高める ※DP1～3に該当	英語I～IV 選択外国語(ドイツ語・フランス語)I～IV 日本語法(D類) スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)		選択英語V～Ⅷ 選択外国語(ドイツ語・フランス語)V～Ⅷ	
人間性を高める ※DP1～3に該当	聖徳教育II(FC) 聖徳教育II(志望高限) 聖徳教育III SEITOKU Academic Literacy I, II SEITOKU Academic Literacy II	聖徳教育I(シリーズコンサート・アゼンブリアワー) 小笠原流社基礎講座 聖徳教育III SEITOKU Academic Literacy III	聖徳教育II(海外研修)	

備考

※幼稚園教諭第一種免許状を取得する場合は幼稚園教員養成コースのカリキュラムマップ、保育士資格を取得する場合は保育士養成コースのカリキュラムマップを参照

令和5年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 児童心理コース Learning Outcomes (学びで得られる成果)

目標 内容	心のしくみを知ろう 心理学の基礎を知る		心のはたらきを探ろう 心理学の研究方法を知る		心理学を实践につなごう 心理学の専門性を深める		心理学を实践で使おう 心理学の活用力を高める	
	1年生	2年生	3年生	4年生	1年生	2年生	3年生	4年生
児童学を深める ※DP1～3に該当	人の生涯の発達段階とその特徴を児童学の観点から理解することができる	子どもの心理とその探求方法について児童学の観点から理解することができる	乳幼児期の心身の発達についての学びを深め、実習に生かすことができる	乳幼児期の子どもの心身の発達について学び、子どもの支援に生かすことができる	豊かな乳幼児観を育む DP1	子どもの心理を理解した上での豊かな乳幼児観を形成し、育むことができる	心理学に裏付けされた乳幼児観を形成し、多様な子どもへの支援に生かすことができる	DP1～3の学習成果に該当
心のメカニズムを知る	保育に必要な豊かな乳幼児観の基礎を学び、保育に必要な態度を説明できる	幼児教育・保育で求められる心理学の基礎的な知識や心理学における基本的なデータの扱い方を身につけている。	心理学に裏付けされた乳幼児観を形成し、子どもにかかわる実践に生かすことができる	心理学に裏付けされた乳幼児観をもとに、多様な子どもへの支援に生かすことができる	自己や他者、社会を心理学的に捉え直し、生涯発達の観点で乳幼児の発達を説明できる。	幼児教育・保育の実践で求められる心理学的な支援を説明できるとともに、心理学研究に必要なデータ解析の仕方を身につけている。	【DP1】 礼節や思いやり、豊かな乳幼児観などをもって乳幼児に接するとともに、自律的に学び続けることが教育・保育の発展に貢献することができる。	【DP2】 乳幼児の心とからだの成長と発達に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、乳幼児に関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
豊かな表現方法を学ぶ DP3	乳幼児の発達に合わせた表現方法を学び、豊かな表現を理解できる	乳幼児の発達と心理に合わせた表現方法の基礎を学び、豊かな表現を理解できる	乳幼児の発達と心理に合わせた表現方法を実践の場で生かし、より適切な表現を学ぶことができる。	乳幼児の発達と心理に合わせた表現方法を活用し、支援につなげることができる。	【DP3】 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。	グローバル社会で活かすことができる	【DP3】 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。	DP1～3の学習成果に該当
豊かな教養を高める ※DP1～3に該当	幼児教育・保育領域において求められる常識を身につけている。	幼児教育・保育領域に限らずさまざまな領域で必要とされる常識を身につけている。	グローバル社会で活かすことができる	グローバル社会で子どもや保護者の支援に携わるために必須の国際感覚を活用することができる。	仲間と支え合い、協調して課題解決を試みる力を身につける。	海外の教育や文化に直接触れながら、国際的な視野で子どもや保護者の心理支援を考えることができる。	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通じて、子どもや保護者の心理支援の場で活躍するための人間性を高めようとしている。	
人間性を高める ※DP1～3に該当	子どもに対する深い愛情をもち、子どもや保護者の支援に心理学を生かして貢献する意欲をもつことができる。							

児童学科 免許・資格取得履修モデル
 児童学科児童心理コース (幼稚園教諭+保育士資格)

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 英語 II フランス語 I フランス語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習 (教職) 教養科目	英語 III フランス語 III フランス語 IV 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	4	8	5	5
学部 共通 科目				
科目数				
学科 共通 科目	児童学概論	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	1	1	
コース 必修 科目	心理学概論 特別支援教育総論	青年心理学 社会心理学 乳幼児心理学	心理学基礎実験 I 認知心理学 児童心理学 カウンセリング心理学	心理学基礎実験 II 心理統計法 I 臨床心理学
科目数	2	3	4	3
幼稚園・ 保育士 科目	幼児と音楽表現 I 音楽実技 幼児と健康 保育内容総論 児童文化演習 I～1 幼児理解・保育相談 子ども家庭福祉 社会福祉学 I 保育の心理学	幼児と音楽表現 II 音楽実技 幼児と環境 保育原理 I 教職入門 児童文化演習 I～2 教育原理 子どもの保健	幼児と造形表現 I 音楽実技 幼児と身体表現 I 幼児と人間関係 保育内容指導法 I (健康) 保育内容指導法 V (環境) 教育社会学 保育・教育課程論 社会的養護 I	幼児と造形表現 II 音楽実技 幼児と身体表現 II 幼児と言葉 保育内容指導法 II (健康) 保育内容指導法 VI (環境) 子どもの健康と安全 障害児保育 子ども家庭支援論 乳児保育 I
科目数	9	8	9	10
実 習			附属幼稚園実習	
科目数計	16	20	19	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目				
学部 共通 科目				発達支援場面研究
科目数				1
学科 共通 科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ 児童学特論 VIII 保育場面演習	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	2	1
コース 必修 科目	心理統計法 II 心理学研究法 I 人格心理学 心理療法面接実習 I	心理学研究法 II 心理療法面接実習 II 心理検査法実習 I 教育心理学	心理検査法実習 II	
科目数	4	4	1	
幼稚園・ 保育士 科目	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 III (人間関係) 保育内容指導法 VII (言葉) 保育内容指導法 IX (音楽表現) 保育内容指導法 X I (造形表現) 児童文化演習 II～1 子どもの食と栄養 教育方法学 子ども家庭支援の心理学	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 IV (人間関係) 保育内容指導法 VIII (言葉) 保育内容指導法 X (音楽表現) 保育内容指導法 X II (造形表現) 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援	幼児と音楽表現 III	幼児と音楽表現 III 保育・教職実践演習 (幼稚園)
科目数	9	9	1	2
実 習	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習 保育所実習	
科目数計	14	14	4	4

教育学部 児童学科 児童文化コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 児童文化コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
45	49	94

- ③ 児童文化コースの専門教育科目については別表Ⅱ-11の卒業必修欄に○印の付いている科目43単位及び★印の付いている科目から2単位以上と、別表Ⅱ-11の選択科目及び別表Ⅱ-8～10、12に記載されている科目から49単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-11のコース必修科目に加えて幼一免欄に○印の付いている科目と※印の付いている科目から2科目を選択履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 保育士の資格を取得しようとする者は、別表Ⅱ-11のコース必修科目に加えて保育士欄に○印の付いている科目と、△印の付いている科目から、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）又は保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）の組み合わせで2科目履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑥ ピアヘルパー認定試験を受験しようとする者は、別表Ⅱ-11のコース必修科目に加えて、別表Ⅱ-12のとおり履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑦ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑧ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑨ 同一授業科目について卒業必修欄、幼一免欄又は保育士欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑩ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

テ ニ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	幼 一 免	保 育 士	履 修 年 次								備 考			
							1		2		3		4					
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
学 部 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2				○											
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2							○								
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2							●	●	●						
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2									○						
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2									●	●	●				
学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 児童学概論		2	○			○											
	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○							○	○					通年	
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ	演	3	○									○	○			通年	
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○				○										
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○					○									
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅰ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	医療保育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅱ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自然科学入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅲ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	食育入門
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅳ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	子育て支援ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅴ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育・保育ボランティア演習
	<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅵ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地域支援ボランティア演習
<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅶ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼児教育場面演習	
<input type="checkbox"/> 児童学特論Ⅷ	演	1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	保育場面演習	
コ ー ス 必 修 科 目	【子ども環境・交流フィールド】																	
	<input type="checkbox"/> 野外活動論		2	○			○											レクリエーションインストラクター科目
	<input type="checkbox"/> 生涯学習とボランティア活動		2	○			○											
	<input type="checkbox"/> 子どものための地域活動	演	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> レクリエーション基礎演習	演	1	○					○									レクリエーションインストラクター科目
	<input type="checkbox"/> 生涯学習論		2	○								○						
	<input type="checkbox"/> 子どもビジネスの世界	演	2	○					○									
	【子ども文化・表現フィールド】																	
	<input type="checkbox"/> 児童文化概論		2	○				○										
	<input type="checkbox"/> 絵本		2	○				○										
	<input type="checkbox"/> 昔話・わらべうた		2	○					○									
	<input type="checkbox"/> 伝承遊び	演	1	○					○									
	<input type="checkbox"/> 児童文化実習	実	2	○						○	○							通年
	<input type="checkbox"/> 児童文学		2	○							○							
	<input type="checkbox"/> 玩具・遊具		2	○								○						
	<input type="checkbox"/> 造形ワークショップ	演	1	○				○										
	<input type="checkbox"/> 絵画表現基礎		2	○						○								
	<input type="checkbox"/> 写真・映像表現	演	1	○							○							
	<input type="checkbox"/> マンガ・アニメ論Ⅰ		2	○							○							
	<input type="checkbox"/> リズム遊び	演	1	○					○									
<input type="checkbox"/> 身体とリズム	演	1	○						○									
<input type="checkbox"/> 児童文化実践演習	演	2	○														○	
<input type="checkbox"/> 舞台芸術演習	演	1	★									●		●			★の科目から3年次に1科目以上、4年次に1科目以上を選択履修し、合計2科目以上を選択履修すること。	
<input type="checkbox"/> 子どものための演奏	演	1	★									●		●				
<input type="checkbox"/> 子どもとことば	1	★										●		●				
<input type="checkbox"/> マンガ・アニメ論Ⅱ	演	1	★									●		●				
コ ー ス 選 択 科 目	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅰ	演	1		○	○	○											わらべ歌を含む
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅱ	演	1		○	○	○											わらべ歌を含む
	<input type="checkbox"/> 音楽実技	演	2		○	○	○	○										ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 幼児と音楽表現Ⅲ	演	2		○	○	○	○					○	○	○	○		ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅰ	演	1		○	○			○									
	<input type="checkbox"/> 幼児と造形表現Ⅱ	演	1		○	○				○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅰ	演	1		○	○				○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と身体表現Ⅱ	演	1		○	○					○							
	<input type="checkbox"/> 幼児と健康	1		○	○			○										
	<input type="checkbox"/> 幼児と人間関係	1		○	○					○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と環境	1		○	○					○								
	<input type="checkbox"/> 幼児と言葉	1		○	○						○							
	<input type="checkbox"/> 教職入門	2		○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 教育原理	2		○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 発達心理学	2		○	○					●	●							
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論	2		○	○							○						
	<input type="checkbox"/> 教育社会学	1		○	○						●	●						
	<input type="checkbox"/> 教育方法学	2		○	○						●	●						
	<input type="checkbox"/> 保育・教育課程論	2		○	○						●	●						
<input type="checkbox"/> 教育相談	2		○	○								●	●					
<input type="checkbox"/> 保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2		○	○												○	
<input type="checkbox"/> 保育原理Ⅰ	2		○	○					○									
<input type="checkbox"/> 保育内容総論	演	1		○	○													

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	幼一免	保育士	履修年次								備考
							1		2		3		4		
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅰ(健康)	演	1		○	○			○						健康
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅱ(健康)	演	1		○	○			○						健康
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅲ(人間関係)	演	1		○	○				○					人間関係
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅳ(人間関係)	演	1		○	○				○					人間関係
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅴ(環境)	演	1		○	○			○						環境
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅵ(環境)	演	1		○	○			○						環境
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅶ(言葉)	演	1		○	○				○					言葉
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅷ(言葉)	演	1		○	○				○					言葉
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅸ(音楽表現)	演	1		○	○				○					音楽
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法Ⅹ(音楽表現)	演	1		○	○				○					音楽
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法ⅩⅠ(造形表現)	演	1		○	○				○					造形
<input type="checkbox"/>	保育内容指導演法ⅩⅡ(造形表現)	演	1		○	○				○					造形
<input type="checkbox"/>	幼児理解,保育相談		2		○		○								
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅰ	実	1		○				○				○		事前・事後オリエンテーション等
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅱ	実	2		○				○						附属幼実習
<input type="checkbox"/>	幼児教育実習Ⅲ	実	2		○								○		外部幼実習
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅰ～1	演	1			○	●	●							人形劇
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅰ～2	演	1			○	●	●							折紙
<input type="checkbox"/>	児童文化演習Ⅱ～1	演	1			○				●	●				表現あそび
<input type="checkbox"/>	子ども家庭福祉		2			○	●	●							
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅰ		2			○	●	●							
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅰ		2			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅱ	演	1			○				●	●				
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2			○	●	●							
<input type="checkbox"/>	子どもの理解と援助	演	1			○				●	●				
<input type="checkbox"/>	子どもの保健		2			○	●	●							
<input type="checkbox"/>	子どもの健康と安全	演	1			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	子どもの食と栄養	演	2			○				●	●				
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援の心理学		2			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援論		2			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	子育て支援	演	1			○				●	●				
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅰ		2			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅱ	演	1			○				●	●				
<input type="checkbox"/>	障害児保育	演	2			○			●	●					
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2			○					○				保育所実習
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(施設)	実	2			○					○				施設実習
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2			△						○			保育所実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅲ(施設)	実	2			△						○			施設実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅰ	演	2			○				○	○				必修事前・事後指導
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1			△						○			選択事前・事後指導
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1			△						○			選択事前・事後指導
	計			45	51	70									

- 【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。
 【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。
 ◆ 保育士資格を取得しようとする者は、保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)又は保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択履修すること。

子どもと遊ぶ・交流するスキルを身につけよう
児童文化の基礎の理解

子どもと遊ぶ・交流するスキルを
実践で活かそう
児童文化による支援の理解

子ども文化を創造し、地域に提案
していこう
得意分野をもち深める

子どもがよりよく生きる地域社会
を考えよう
児童文化の広く深い理解

子どもの遊び（造形、音楽、身体表現など）や文化に強い先生になって、
豊かな地域社会を創造しよう

	1年生	2年生	3年生	4年生
春学期	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論
秋学期	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論
必修科目	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論
選択科目	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論
卒業研究	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論
備考	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論	児童文化概論 児童文化概論 児童文化概論

※幼稚園教諭第一種免許状を取得する場合は幼稚園教員養成コースのカリキュラムマップ、保育士資格を取得する場合は保育士養成コースのカリキュラムマップを参照

令和4年度 聖徳大学 教育学部 児童学科 児童文化コース Learning Outcomes (学びで得られる成果)



	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
実践力を養う ※DP1～3に該当	児童学の基礎を理解することができる 児童学の基礎を学び、研究の方向性を考える	児童学の学びと自分のキャリアを結びつけて考えることができる 2年次には、より深く児童学に拘る興味を持つよう学習を深める	児童学の学びのなかで自分の専門性を深めることができる 1・2年次で、児童学の基礎を学び3年次のゼミでより深く、主体的に学ぶ	児童学の学びの成果として、研究や制作をおこなうことができる ゼミで深めた児童学の問題意識を根拠にして、卒業研究をより深化させる	DP1～3の学習成果に該当
豊かな表現方法を学ぶ DP1	児童文化の概略と基礎を理解する	児童文化の実践方法を理論と実践の両面から理解する	社会における児童文化の意義を理解する	児童文化について学んだことを活用し研究や実践で表現することができる	【DP1】 礼節や思いやり、豊かな乳幼児観などをもって乳幼児に接するとともに、自律的に学び続けるなかから教育・保育の発展に貢献することができる。
豊かな表現方法を学ぶ DP2	子どもの発達に匹敵した児童文化の特性を理解する	児童文化を通し、多様な文化や伝統を理解する	子ども心とからだの成長に応じた児童文化を創造することができる	児童文化及び児童学について理論に基づいた研究や創造的活動をおこなうことができる	【DP2】 乳幼児の心とからだの成長と発達に関する知識や技能を体系的に理解するとともに、乳幼児に関する情報を分析し、論理的かつ創造的に考えることができる。
豊かな表現方法を学ぶ DP3	身体的発現や、音楽や造形など豊かな表現方法を理解する	児童文化についての学びを活かし乳幼児とコミュニケーションをとることができる	自らの表現力を高め児童文化の得意分野を深める	児童文化の得意分野を深め、地域社会に活かせる	【DP3】 身体表現や音楽、造形など豊かな表現方法で乳幼児とコミュニケーションを取るとともに、他者と協働しながら様々な問題に対して主体的に問題解決することができる。
豊かな教養を高める ※DP1～3に該当	社会人に求められる基本的な常識を身につけている。	子どもや地域との交流を通して社会人としての常識を身につけている。	英語力を高め表現力を身につける。	英語力を高め文化交流できる力を身につける。	DP1～3の学習成果に該当
人間性を高める ※DP1～3に該当	様々な芸術や文化に触れ、子どもや地域社会を支援する意欲を持つことができる。	様々な芸術や文化に触れ、子どもや地域社会を支援する意欲を高く持つことができる。	海外の教育や文化に直接触れながら、国際人としての教養や人間性を高めようとしている。	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して社会人としての教養や人間性を高めようとしている。	DP1～3の学習成果に該当

子どもの遊び（造形、音楽、身体表現など）や文化に強い先生になって、豊かな地域社会を創造しよう

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II フランス語 I フランス語 II 基礎専門体育 II 情報活用演習 (教職) 日本国憲法 教養科目	英語 III フランス語 III フランス語 IV 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	4	8	5	5
学部 共通 科目				
科目数				
学科 共通 科目	児童学概論	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数	1	1	1	
コース 必修 科目	児童文化概論 絵本 野外活動論 造形ワークショップ 生涯学習とボランティア活動	昔話・わらべうた 伝承遊び リズム遊び 子どものための地域活動	児童文化実習 絵画表現基礎 レクリエーション基礎演習 身体とリズム 子どもビジネスの世界	児童文化実習 児童文学 写真・映像表現 マンガ・アニメ論 I
科目数	5	4	5	4
幼稚園・ 保育士 科目	幼児と音楽表現 I 音楽実技 幼児と健康 保育内容総論 児童文化演習 I～1 子ども家庭福祉 社会福祉学 I 保育の心理学 幼児理解・保育相談	幼児と音楽表現 II 音楽実技 幼児と環境 保育原理 I 児童文化演習 I～2 教育原理 子どもの保健 教職入門	幼児と造形表現 I 音楽実技 幼児と身体表現 I 幼児と人間関係 保育内容指導法 I (健康) 保育内容指導法 V (環境) 教育社会学 保育・教育課程論 社会的養護 I	幼児と造形表現 II 音楽実技 幼児と身体表現 II 幼児と言葉 保育内容指導法 II (健康) 保育内容指導法 VI (環境) 発達心理学 子ども家庭支援論 子どもの健康と安全 障害児保育 乳児保育 I
科目数	9	8	9	11
実 習			附属幼稚園実習	
科目数計	19	21	20	20

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目				
科目数				
学部 共通 科目		環境問題入門		
科目数		1		
学科 共通 科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース 必修 科目	玩具・遊具 舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II★	生涯学習論	舞台芸術演習★ 子どものための演奏★ 子どもとことば★ マンガ・アニメ論 II★	児童文化実践演習
科目数	5	1	4	1
幼稚園・ 保育士 科目	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 III (人間関係) 保育内容指導法 VII (言葉) 保育内容指導法 IX (音楽表現) 保育内容指導法 X I (造形表現) 児童文化演習 II～1 教育相談 子どもの食と栄養 特別支援教育総論 教育方法学 子ども家庭支援の心理学	幼児と音楽表現 III 保育内容指導法 IV (人間関係) 保育内容指導法 VIII (言葉) 保育内容指導法 X (音楽表現) 保育内容指導法 X II (造形表現) 乳児保育 II 社会的養護 II 子どもの理解と援助 子育て支援 特別支援教育総論	幼児と音楽表現 III	幼児と音楽表現 III 保育・教職実践演習 (幼稚園)
科目数	11	10	1	2
実 習	施設実習	保育所実習	外部幼稚園実習 保育所実習	
科目数計	17	13	6	4

※★印の付された科目は3年次、4年次ともに1科目以上履修(同じ科目の重複履修は不可)。

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	ピアヘルパー	履修年次								備 考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	児童心理学		2	☆			○							カウンセリング心理学および、心理療法面接実習ⅠまたはⅡから1科目は必修。その他☆印より2科目選択必修。 (●の時期は年度やコースによって異なるので注意)
<input type="checkbox"/>	青年心理学		2	☆	●	●								
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	☆						○				
<input type="checkbox"/>	臨床心理学		2	☆			○							
<input type="checkbox"/>	児童精神医学		2	☆					○					
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	☆	●	●			●	●				
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2	☆	●	●								
<input type="checkbox"/>	カウンセリング心理学		2	必			○							
<input type="checkbox"/>	心理療法面接実習Ⅰ	演	1	いずれか					○					
<input type="checkbox"/>	心理療法面接実習Ⅱ	演	1	1科目必修						○				

教育学部 教育学科 全学共通科目 履修要項

① 卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
小学校教員養成コース	30単位	94単位	124単位
特別支援教育コース	30単位	94単位	124単位
スポーツ教育コース	30単位	94単位	124単位

② 全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全学共通科目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目 及び外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 全学共通科目 (A類) については、別表Ⅱ-13～20のとおり履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目 (別表Ⅱ-13) はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目 (別表Ⅱ-14) は12単位以上 (小学校教員養成コースは8単位以上) が必修です。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～C類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、教員免許状を取得する者は必修です。また、企業系就職希望者は、**Business Field Linkage** 科目を履修することが望まれます。
- ⑥ 専門基礎科目 (別表Ⅱ-15) 「基礎数学」、「基礎科学」は、小学校教員養成コースは必修です (4単位)。また、小学校教員養成コース以外で小学校教諭免許状を取得しようとする者は履修することが望まれます。これらの単位を修得した場合は、教養科目の修得単位として算入されます。
- ⑦ 外国語科目 (別表Ⅱ-16) は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ (4単位) 及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語のうち1ヶ国語 (4単位)、計8単位以上を修得してください。なお、小学校教員養成コース及び特別支援教育コースの選択外国語は、英語Ⅴ～英語Ⅷが必修となります。
- ⑧ 健康教育科目 (別表Ⅱ-17、Ⅱ-18) は、コースごとに別表Ⅱ-17または別表Ⅱ-18の欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 情報活用科目 (別表Ⅱ-19) は別表Ⅱ-19の受講区分に従い履修してください。
- ⑩ 単位を修得した場合 (成績表にS・A・B・Cと表記される) には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表Ⅱ-13

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考				
					1		2			3		4	
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○		●	●					● 春学期または秋学期に開講 △ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。	
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ		1	○	○	○	○	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ		1	○	○	○	○	○	○	○			
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅠ)		1	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)		1	○	○								
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅢ)		1	○		●	●						
	計		7										

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表Ⅱ-14

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考				
					1		2			3		4	
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋
<input type="checkbox"/>	A類 自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ) 自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)		2		○	○	○					△ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。(外国語は8単位以上必修) ※小学校教員養成コースは、教養科目と外国語科目を併せて16単位以上と専門基礎科目4単位必修(外国語科目は8単位以上必修)	
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>		演	2					○	○				
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>	B類 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 自然・社会・科学技術を考える(健康領域)		2		○	○	○					△ 教養科目は表中のA類、B類、C類 各から1科目以上履修すること。	
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>	C類 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 心とからだの美的本質を追求する(ケア領域)		2		○	○	○					△ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。	
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2		○	○	○						
<input type="checkbox"/>	D類 日本国憲法		2		●	●						△ 日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必修。	
	計		34										

Business Field Linkageプログラム

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考				
						1		2			3		4	
						春	秋	春	秋		春	秋	春	秋
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※												
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専攻	国際社会問題を考える		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2		○	○	○	○			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		Practical English CommunicationⅠ		2		○	○	○	○					
<input type="checkbox"/>		Practical English CommunicationⅡ		2		○	○	○	○					
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>	ビジネス・データ サイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2		●	●	●	●			いずれかの学期で履修		
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2		○	○	○	○					

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目

「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。

②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。

(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)

③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。

④履修する科目はキャップ制の対象外とします。

⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

専門基礎科目

別表Ⅱ-15

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	基礎数学		2		○				△ 小学校教員養成コースは基礎数学及び基礎科学は必修。
<input type="checkbox"/>	基礎科学		2			○			
	計		4						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

外国語科目

別表Ⅱ-16

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考
					1	2	3	4	
					春秋	春秋	春秋	春秋	
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○				△ 外国語科目については、卒業必修科目として英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ(4単位)及び選択外国語として(英語Ⅴ～Ⅷ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ)のうち1か国語(4単位)、計8単位以上必修。 ※ ただし小学校教員養成コース及び特別支援教育コースは英語Ⅴ～英語Ⅷの8単位必修。 △ 教養科目と外国語科目を併せて20単位以上必修。ただし、小学校教員養成コースは、教養科目と外国語科目と専門基礎科目を併せて20単位以上必修。 △ 「フランス語」及び「ドイツ語」は各学期に週2回開講されるのでⅠとⅡ、ⅢとⅣを同一学期に履修すること。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○				
<input type="checkbox"/>	英語Ⅲ	演	1	○		○			
<input type="checkbox"/>	英語Ⅳ	演	1	○		○			
<input type="checkbox"/>	英語Ⅴ	演	1	※			○		
<input type="checkbox"/>	英語Ⅵ	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	英語Ⅶ	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	英語Ⅷ	演	1	※				○	
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅰ	演	1		○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅱ	演	1		○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅲ	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅳ	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅴ	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅵ	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅶ	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅷ	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅰ	演	1		○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅱ	演	1		○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅲ	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅳ	演	1			○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅴ	演	1				○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅵ	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅶ	演	1					○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅷ	演	1					○	
			24						

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目（小学校教員養成コース、特別支援教育コース）

別表Ⅱ-17

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ(小教)	※	1	注	○					
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ(小教)	※	1	注		○				
			2							

【授業の方法】演:演習、無印:講義、※:講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 小学校教員養成コース、特別支援教育コースの学生はスポーツと健康Ⅰ・Ⅱ(小教)を履修すること。

健康教育科目（スポーツ教育コース）

別表Ⅱ-18

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	○	○					
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	○		○				
			2							

【授業の方法】演:演習、無印:講義、※:講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表Ⅱ-19

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考	
					1	2	3	4		
					春秋	春秋	春秋	春秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○					△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	注		○				
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1					○		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1				○			
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1					○		
			5							

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

注 情報活用演習(基礎)が必修です。

教育職員免許状を取得する学生は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも履修すること。

帰国子女科目

別表Ⅱ-20

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○									△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2						○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2							○				
			10											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教育学部 教育学科 小学校教員養成コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 小学校教員養成コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
71	23	94

- ③ 小学校教員養成コースの専門教育科目については、別表Ⅱ-21の卒業必修欄に○印の付いている科目から26単位、☆印の付いている科目から15単位、★印の付いている科目から20単位、専修科目の中からいずれか1専修10単位の合計71単位と、別表Ⅱ-21の選択科目及び別表Ⅱ-22～24に記載されている科目から23単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、小一免欄に○印の付いている科目を選択履修してください。
- ⑤ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-21の卒業必修欄に○印の付いている科目に加え、別表Ⅱ-24のとおり履修してください。（小学校教諭一種免許状と併せて履修してください。卒業所要単位数に選択科目として算入されます。）
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑧ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑨ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。
- ⑩ 小学校教員養成コースにおいては「介護等体験実習（1単位）」を修得してください。（教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です）

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	履修年次								備考				
						1		2		3		4						
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋					
学部共通科目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2			○												
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2						○									
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2							○								
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2								○							
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2											○				
学科共通科目	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○						○	○				○	通年		
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ		3	○								○	○		○	通年		
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○		○												
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○			○											
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅰ		2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	量的研究法入門	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅱ		2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	質的研究法入門	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅲ		2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	人文系科目の理論と応用	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅳ		2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	理数系科目の理論と応用	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅴ		2			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	小学校等教育実践研究	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅵ		1			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	学校教育とスポーツ	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅶ		1			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	教職教養探究(教科を含む)	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅷ		1			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	幼小中高の連携と移行支援	
コース必修科目	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・国語(書写を含む)		2	☆	○	●	●											
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・社会		1	☆	○			○								○		
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・算数		2	☆	○	●	●									○		
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・理科		1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・生活		2	☆	○					●	●							
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽実技Ⅰ	演	2	☆	○	○	○	○	○							○	ピアノ(2年通年)	
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	演	2							○	○	○	○				○	ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽理論Ⅰ	演	1	☆	○	○												
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・図画工作Ⅰ	演	1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	☆	○				○									
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・家庭		1	☆	○			●	●								○	
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・体育Ⅰ	演	1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・体育Ⅱ	演	1	☆	○				○									
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・外国語		1	☆	○				○									
	<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○	●	●											
	<input type="checkbox"/> 教育原理		2	○	○	●	●											
	<input type="checkbox"/> 教育心理学		2	○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2	○	○	○												
	<input type="checkbox"/> 教育社会学		1	○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 教育課程論		2	○	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 教育学研究入門	演	2	○				○										
	<input type="checkbox"/> 道徳教育の指導法		2	★	○			●	●									
	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間の指導法		2	★	○					●	●							
	<input type="checkbox"/> 特別活動の指導法		1	★	○					●	●						○	
	<input type="checkbox"/> 国語科教育法Ⅰ	演	1	★	○				○									
	<input type="checkbox"/> 国語科教育法Ⅱ	演	1	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 社会科教育法	演	2	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 算数科教育法Ⅰ	演	1	★	○				○									
	<input type="checkbox"/> 算数科教育法Ⅱ	演	1	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 理科教育法	演	2	★	○				○									
	<input type="checkbox"/> 生活科教育法	演	2	★	○								○					
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法	演	2	★	○			●	●										
<input type="checkbox"/> 図画工作科教育法	演	2	★	○						●	●							
<input type="checkbox"/> 家庭科教育法	演	2	★	○						●	●							
<input type="checkbox"/> 体育科教育法	演	2	★	○						●	●							
<input type="checkbox"/> 外国語教育法	演	2	★	○					○									
<input type="checkbox"/> 生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			●	●										
<input type="checkbox"/> 教育相談		2	○	○						●	●							
<input type="checkbox"/> 初等教育実習Ⅰ	実	1			○	○				○	○							
<input type="checkbox"/> 初等教育実習Ⅱ	実	4			○	○					○							
<input type="checkbox"/> 教職実践演習(小)	演	2			○											○		
<input type="checkbox"/> 介護等体験実習	実	1			○				○	○								

テ レ ビ シ ス ト リ イ ン テ リ エ ン ス	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	小 一 免	履 修 年 次								備 考		
						1		2		3		4				
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
	【学校教育実践専修】															
	<input type="checkbox"/> 現代教育課題解決論		2							●	●					教育行政特論
	<input type="checkbox"/> カリキュラムマネジメント論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 生徒指導・教育相談演習	演	2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 学級経営論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> カリキュラムデザイン演習	演	2							●	●	●	●			
	【英語教育専修】															
	<input type="checkbox"/> 英語教育教材づくり論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 英語教育評価論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 異文化・国際理解教育		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> ストーリーテリング		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 英語科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【国語科専修】															
	<input type="checkbox"/> 現代文学概論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 古典文学概論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 日本語学概論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 日本語表現概論		2							○						
	<input type="checkbox"/> 国語科実践場面演習		2							○						
	【社会科専修】															
	<input type="checkbox"/> 地理学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 歴史学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 政治学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 社会学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 社会科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【算数・数学科専修】															
	<input type="checkbox"/> 初等代数学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 初等幾何学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 初等解析学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 基礎確率・統計		2							○						
	<input type="checkbox"/> 算数科実践場面演習		2							○						
	【理科専修】															
	<input type="checkbox"/> エネルギー		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 粒子		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 生命		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 地球		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 理科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【音楽科専修】															
	<input type="checkbox"/> ソルフェージュ	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 歌唱法基礎演習	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 合奏	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 音楽科教育内容研究		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 音楽科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【図画工作・美術科専修】															
	<input type="checkbox"/> 絵画		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> デザイン	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 彫刻	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 工芸	演	2							●	●	●	●	◎		
	<input type="checkbox"/> 図画工作科・美術科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【体育科専修】															
	<input type="checkbox"/> スポーツ基礎理論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 学校保健		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 運動生理学		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 体育原理		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 体育科実践場面演習		2							●	●	●	●			
	【道徳科専修】															
	<input type="checkbox"/> 道徳教育原論		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 道徳教育思想史		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 道徳教育方法学Ⅰ(教材開発演習)		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 道徳教育方法学Ⅱ(指導方法演習)		2							●	●	●	●			
	<input type="checkbox"/> 道徳科実践場面演習(道徳科教育学)		2							●	●	●	●			
	計				71	68										

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする
備考欄◎印の科目は、演習15コマで2単位とする。
【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期
いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合があるので時間割を特に確認すること

令和5年度 聖徳大学 教育学部 教育学科 小学校教員養成コース

Learning Outcomes (学びで得られる成果)

目標内容

子どもを理解しよう
小学校教育の基礎を学ぶ

指導法を理解しよう
教材研究や指導法を深く学ぶ

実践力を身につけよう
教育実習で力を試す

授業力のある教師になろう
得意分野を学ぶ将来に活かす

目標内容	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
現場実践力を養う	子どもの発達段階や小学校教育の概要を理解することができる。附属小観察実習を通して、教師の仕事や子どもとのかかわり方を学ぶ。	介護学体験を通して子どもや保護者等とのかかわり方を理解することができる。	指導方法や指導技術を駆使して教科指導や学級経営の力を身につけている。外部小学校実習を通し、授業実践力を高めることができる。	学級集団づくりの方法や保護者・地域住民との関係について理解を深め、適切に対応する力を身につけている。	[DP1] 小学校教育に関する知識・技能を体系的に学習し、理論と実践を結びつけ、様々な教育課題を主体的に解決し、現場実践力を発揮することができる。
魅力ある授業づくりと学級経営の力を身につける	学習指導要領の位置づけや基準性、各教科等の目標・内容等について理解している。ICT機器の活用を身につけている。	教材研究・教材解釈の意義を理解し、指導方法等を工夫した授業づくりをすることができる。ICT機器を各教科等の授業で活用する基本を身につけている。	児童理解力を高めながら個性の伸長を図る指導方法を工夫した授業づくりを身につけている。	指導方法や指導内容等についてより専門性を高め、現場実践力を身につけている。	[DP2] 子どもの心身の発達に関する科学的洞察力を修得し、グローバルかつローカルな視点をもって、複雑多様な課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。
教育学の基礎を探究する	教育学・教育原理・現代教育課題の基礎的な知識を身につけている。	教育課程・教育社会学・教育方法・教育法規の基礎的な知識を身につけている。	環境問題・情報科学の基礎的な知識を身につけている。	教育学の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができる。	[DP3] 多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮する力を修得し、思いやりと協調性をもち多様な他者との信頼関係を築くことができる。
子どもの心身の発達を学ぶ	特別支援教育の基礎的な知識を身につけている。	教育心理学の基礎的な知識を身につけている。	教育相談やカウンセリングの基礎的な知識を身につけている。	個々の子どもの発達や場の状況に応じた支援を行うことができる。	
学びの基礎力を身に付ける	教員や社会人に求められる常識を身につけている。	基礎的な学力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけている。	海外に通用する語学力と国際感覚を形成するとともに、教育指導に活用する力を身につけている。	語学力とICTを教育指導に活用する能力を高め、様々な場面で効果的に活用することができる。	
人間性を高める	子どもや多様な人々に対する深い愛情をもち、建学の精神に基づく行動ができる。	礼法を通じて品格ある立ち居振る舞いに付けるとともに、子ども一人一人の美態や状況を把握し、良さや可能性を引き出し伸ばすことができる。	海外の教育や文化に直接触れながら、教師や社会人としての教養や人間性を高めている。	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して教師や社会人としての教養や人間性を高めている。	

子どもや保護者に信頼され問題解決力を身につけた実践力のある先生になろう

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I (小教) 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 日本国憲法 基礎数学 英語 II スポーツと健康 II (小教) 情報活用演習 (教職)	基礎科学 英語 III	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語 IV
科目数	4	9	2	3
学科科目必修		キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数		1	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 (書写を含む) 初等教科研究・算数 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・理科 教職入門 教育学研究入門	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・体育 I 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 教育方法・情報通信技術活用論 教育課程論 道徳教育の指導法 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 生徒指導 (進路指導を含む)	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・体育 II 初等教科研究・外国語 教育社会学 教育心理学 国語科教育法 II 社会科教育法 算数科教育法 II 音楽科教育法 国語科実践場面演習
科目数	6	5	12	11
選択、特支科目	現代教育課題論		障害者教育論 知的障害者の心理 知的障害者の教育 視覚障害者の教育 視覚障害者の心理・生理・病理	教育法規概論 知的障害者の生理・病理 聴覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理 発達障害者の教育 発達障害者の心理・生理・病理
科目数	1		5	6
実習		附属小学校観察実習	介護体験実習 (春・秋どちらか)	介護体験実習 (春・秋どちらか)
科目数	11	15	20	20

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
学科科目必修	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 日本語表現概論 基礎確率・統計 総合的な学習の時間の指導法 外国語教育法	特別活動の指導法 生活科教育法 現代文学概論	古典文学概論	教職実践演習 (小) 日本語学概論
科目数	9	3	1	2
選択、特支科目	情報科学入門 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理 肢体不自由者の教育	病弱者の生理・病理 病弱者の教育 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理		
科目数	5	4		
実習		小学校教育実習		特別支援学校教育実習
科目数	16	9	3	4

※ 3、4年次に履修する専修制科目の履修方法については、2、3年次のガイダンスで説明します。

教育学部 教育学科 特別支援教育コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② 特別支援教育コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
72	22	94

- ③ 特別支援教育コースの専門教育科目については、別表Ⅱ-22の卒業必修欄に○印の付いている科目から37単位、☆印の付いている科目から15単位、★印の付いている科目から20単位、の合計72単位と、別表Ⅱ-22の選択科目及び別表Ⅱ-21、23、24に記載されている科目から22単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-22のコース必修科目に加えて小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-22のとおり履修してください。（小学校教諭一種免許状と併せて履修してください。卒業所要単位数に選択科目として算入されます。）
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加え、別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑧ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑨ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

チ ェ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	小 一 免	特 支 一 免	履 修 年 次								備 考			
							1		2		3		4					
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
学 部 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 現代教育課題論		2				○											
	<input type="checkbox"/> 教育法規概論		2							○								
	<input type="checkbox"/> 環境問題入門		2								○							
	<input type="checkbox"/> 情報科学入門		2									○						
	<input type="checkbox"/> 発達支援場面研究		2											○				
学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/> 3年次ゼミ	演	2	○							○	○					通年 通年	
	<input type="checkbox"/> 卒業研究ゼミ		3	○									○	○				
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ	演	1	○				○										
	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ	演	1	○				○										
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅰ		2				●	●	●	●	●	●	●	●			量的研究法入門	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅱ		2				●	●	●	●	●	●	●	●			質的研究法入門	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅲ		2				●	●	●	●	●	●	●	●			人文系科目の理論と応用	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅳ		2				●	●	●	●	●	●	●	●			理数系科目の理論と応用	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅴ		2				●	●	●	●	●	●	●	●			小学校等教育実践研究	
	<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅵ		1				●	●	●	●	●	●	●	●			学校教育とスポーツ	
<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅶ		1				●	●	●	●	●	●	●	●			教職教養探究(教科を含む)		
<input type="checkbox"/> 教育学特論Ⅷ		1				●	●	●	●	●	●	●	●			幼小中高の連携と移行支援		
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・国語(書写を含む)		2	☆	○		●	●										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・社会		1	☆	○				○								○	
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・算数		2	☆	○		●	●									○	
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・理科		1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・生活		2	☆	○						●	●						
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽実技Ⅰ	演	2	☆	○		○	○	○	○								ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽実技Ⅱ	演	2								○	○	○	○				ピアノ(2年通年)
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽理論Ⅰ	演	1	☆	○		○											
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1	☆	○			○										
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・図画工作Ⅰ	演	1	☆	○				○									
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1	☆	○					○								
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・家庭		1	☆	○					●	●							○
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・体育Ⅰ	演	1	☆	○				○									
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・体育Ⅱ	演	1	☆	○					○								
	<input type="checkbox"/> 初等教科研究・外国語	演	1	☆	○					○								
	<input type="checkbox"/> 教職入門		2	○	○		●	●										
	<input type="checkbox"/> 教育原理		2	○	○		●	●										
	<input type="checkbox"/> 教育心理学		2	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育総論		2	○	○		○											
	<input type="checkbox"/> 教育社会学		1	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 教育課程論		2	○	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 特別支援教育研究入門		2	○	○			○										
	<input type="checkbox"/> 道徳教育の指導法		2	★	○				●	●								
	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間の指導法		2	★	○						●	●						
	<input type="checkbox"/> 特別活動の指導法		1	★	○						●	●						○
	<input type="checkbox"/> 国語科教育法Ⅰ	演	1	★	○				○									
	<input type="checkbox"/> 国語科教育法Ⅱ	演	1	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 社会科教育法	演	2	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 算数科教育法Ⅰ	演	1	★	○				○									
	<input type="checkbox"/> 算数科教育法Ⅱ	演	1	★	○					○								
	<input type="checkbox"/> 理科教育法	演	2	★	○				○									
<input type="checkbox"/> 生活科教育法	演	2	★	○								○						
<input type="checkbox"/> 音楽科教育法	演	2	★	○				●	●									
<input type="checkbox"/> 図画工作科教育法	演	2	★	○							●	●						
<input type="checkbox"/> 家庭科教育法	演	2	★	○							●	●						
<input type="checkbox"/> 体育科教育法	演	2	★	○							●	●						
<input type="checkbox"/> 外国語教育法	演	2	★	○						○								
<input type="checkbox"/> 生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○				●	●									
<input type="checkbox"/> 教育相談		2	○	○							●	●						

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	小一免	特支一免	履修年次								備考		
							1		2		3		4				
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
コース必修科目	<input type="checkbox"/> 障害者教育論		2	○		○											
	<input type="checkbox"/> 知的障害者の教育		2	○		○											
	<input type="checkbox"/> 肢体不自由者の教育		2	○		○					○						
	<input type="checkbox"/> 病弱者の教育		2	○		○						○					
	<input type="checkbox"/> 発達障害者の教育		1	○		○						○					
	<input type="checkbox"/> インクルーシブ教育論		2	○									●	●			
特別支援教育科目群	<input type="checkbox"/> 視覚障害者の教育		1			○	○										
	<input type="checkbox"/> 視覚障害者の心理・生理・病理		1			○	○										
	<input type="checkbox"/> 聴覚障害者の教育		1			○		○									
	<input type="checkbox"/> 聴覚障害者の心理・生理・病理		1			○		○									
	<input type="checkbox"/> 発達障害者の心理・生理・病理		1			○			○								
	<input type="checkbox"/> 重複障害者の教育		1			○						○					
	<input type="checkbox"/> 重複障害者の心理・生理・病理		1			○						○					
	<input type="checkbox"/> 知的障害者の心理		2			○			○								
	<input type="checkbox"/> 知的障害者の生理・病理		2			○				○							
	<input type="checkbox"/> 肢体不自由者の心理		2			○					○						
	<input type="checkbox"/> 肢体不自由者の生理・病理		2			○					○						
	<input type="checkbox"/> 病弱者の心理		2			○					○						
	<input type="checkbox"/> 病弱者の生理・病理		2			○					○						
<input type="checkbox"/> 特別支援学校教育実習	実	3			○					○	○	○	○			事前事後指導を含む	
<input type="checkbox"/> 脳科学・遺伝学からみた特別支援教育		2										○					
<input type="checkbox"/> 特別支援教育教材・教具制作演習		1									○						
	<input type="checkbox"/> 教職実践演習(小)	演	2		○												○
	<input type="checkbox"/> 初等教育実習Ⅰ	実	1		○		○				○	○					事前・事後オリエンテーション等
	<input type="checkbox"/> 初等教育実習Ⅱ	実	4		○		○				○						1年附属小, 3年小学校教育実習
	<input type="checkbox"/> 介護等体験実習	実	1		○			●	●								教育行政特論 小免取得希望者は履修することが望ましい
	<input type="checkbox"/> 現代教育課題解決論		2							●	●						
	<input type="checkbox"/> 日本語表現概論		2								○						
	<input type="checkbox"/> 国語科実践場面演習		2								○						
	<input type="checkbox"/> 基礎確率・統計		2								○						
	<input type="checkbox"/> 算数科実践場面演習		2								○						
計				72	68	31											

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。又、備考欄○印の科目は、講義15コマで1単位とする。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。

令和5年度 聖徳大学 教育学部 教育学科 特別支援教育コース

特別なニーズのある人々と「共に生きる」人を育てる先生になる

子どもを知らう
幼稚園・小学校教育の基礎を学ぶ

障害のある子どもの理解と
専門知識を身につけよう
教科研や指導法を深く学ぶ

実践力を身につけよう
小学校教育実習で実践力を高める

専門的な実践力を磨こう
特別支援教育に関する専門的な実践力を磨く

	1年生	2年生	3年生	4年生
現場実践力を養う	事前・事後指導 附属小学校観察実習 キャリアデザインⅠ	介護等体験実習 キャリアデザインⅡ	事前・事後指導 小学校教育実習	事前・事後指導 特別支援学校教育実習
特別支援教育の専門性を高める	視覚障害者の教育 聴覚障害者の教育 知的障害者の心理・生理・病理 特別支援教育研究入門	発達障害者の教育 知的障害者の教育 知的障害者の心理 知的障害者の生理・病理 特別支援教育研究入門	3年次ゼミ 肢体不自由者の教育 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 重聴障害者の教育 重聴障害者の心理・生理・病理 特別支援教育教材・教員制作演習	卒業研究ゼミ インクルーシブ教育論 脳科学から見た特別支援教育
魅力ある授業づくりと学級経営力を身に付ける	初等教育研究・国語(筆写を含む) 初等教育研究・算数 初等教育研究・音楽理論Ⅰ	国語科教育法Ⅰ 初等教育研究・社会 算数科教育法Ⅰ 理科教育法 初等教育研究・図画工作Ⅰ 初等教育研究・家庭 初等教育研究・体育Ⅰ	初等教育研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法	初等教育研究・音楽実技Ⅱ
教育学の基礎を探究する	教育入門 現代教育課題論 教育学特論Ⅰ～Ⅳ	教育課程論 教育方法・情報通信技術活用論 教育心理学	環境問題入門 現代教育課題問題解決論	情報科学入門
子どもの心身の発達を学ぶ	特別支援教育総論	教育心理学	教育相談	発達支援場面演習
学びの基礎力を身に付ける	英語Ⅰ 日本語読法(D種) スポーツと健康Ⅰ(小教) 情報活用演習(基礎)	英語Ⅱ スポーツと健康Ⅱ(小教) 情報活用演習(教職) 教養科目(A類 B類 C類)	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ	英語Ⅷ
人間性を高める	聖徳教育Ⅱ(FC) 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic LiteracyⅠ	聖徳教育Ⅱ(志望高専) 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic LiteracyⅡ	聖徳教育Ⅰ(シリーズコンサート・文化講演会・アセスリアワー) 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育Ⅲ SETOKU Academic LiteracyⅢ	聖徳教育Ⅱ(海外研修)

各コースの専門力・実践力を身に付ける

令和5年度 聖徳大学 教育学部 教育学科 特別支援教育コース

Learning Outcomes (学びで得られる成果)

目標内容

子どもを知ろう
小学校教育の基礎を学ぶ

障害のある子どもの理解と
専門知識を身につけよう
教材研究や指導法を深く学ぶ

実践力を身につけよう
理論と実践を結びつける

専門的な実践力を磨こう
特別支援教育に関する専門的な
実践力を磨き得るに活かす

	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
現場実践力を養う	子どもの発達段階や小学校教育の概要を理解することができる。	介護等体験を通して障害のある人や高齢者への理解を深めるとともに、かわり方を理解することができる。	指導方法や指導技術を駆使して教科指導や学習指導の力を身につけている。	子どもの実態を的確に把握し個々の発達や障害の状態等に応じた授業を進める力を身につけている。	
各コースの専門力・実践力を身に付ける	視覚障害及び聴覚障害についての専門知識、指導法の概要を理解している。	特別支援教育の理念や歩みを理解するとともに、障害についての専門知識、指導法の概要を理解している。	障害についての専門知識を深め、指導計画や学習指導案の作成に生かすことができる。	インクルーシブ教育の考え方やその実際について理解し、組織的・計画的に推進する意義を理解している。	[DP1] 小学校学習及び特別支援教育に関する知識・技能を体系的に学習し、理論と実践を結び付け、様々な教育課題を主体的に解決し、現場実践力を発揮することができる。
教育学の基礎を探究する	学習指導要領の位置づけや基準性、各教科等の目標・内容等について理解している。	教材研究・教材解釈の意義を理解し、指導方法を工夫した授業づくりをすることができる。	児童理解力を高めながら個性の伸長を図る指導方法を工夫した授業づくりができる。	指導方法や指導内容等についてより専門性を高め、現場実践力を身につけている。	
子どもの心身の発達を学ぶ	学習指導要領の基礎・基本について理解することができる。	望ましい学習指導を促すために効果的な方法について理解することができる。	様々な学習指導上の問題への対応力を身につけている。	子どもも安心して楽しく過ごすことができる学習指導を実践する力を身につけている。	
学びの基礎力を身に付ける	教育学・教育原理・現代教育課題の基礎的な知識を身につけている。	教育課程・教育社会学・教育方法・教育法親の基礎的な知識を身につけている。	環境問題・情報科学の基礎的な知識を身につけている。	教育学の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができる。	
人間性を高める	特別支援教育の基礎的な知識を身につけている。	教育心理学の基礎的な知識を身につけている。	教育相談やカウンセリングの基礎的な知識を身につけている。	個々の子どもの発達や場の状況に応じた支援を行うことができる。	
	教員や社会人に求められる常識を身につけている。	基礎的な学力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけている。	海外に通用する語学力と国際感覚を形成するとともに、教育指導に活用する力を身につけている。	語学力とICTを教育指導に活用する能力を高め、様々な場面で効果的に活用することができる。	
	子どもや多様な人々に対する深い愛情をもち、建学の精神に基づいた行動ができる。	礼法を通して品格ある立ち居振る舞いに付けるとともに子ども一人一人の実態や状況把握し、よさや可能性を引き出し伸ばすことができる力を身につけることができる。	海外の教育や文化に直接触れながら、教師や社会人としての教養や人間性を高める。	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通じて教師や社会人としての教養や人間性を高める。	[DP3] 多様性を有する集団の中でリーダーシップを発揮する力を修得し、思いやりと協調性をもち、多様な他者との信頼関係を築くことができる。

特別なニーズのある人々と「共に生きる」人を育てる先生になること

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語 I スポーツと健康 I (小教) 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 基礎数学 英語 II スポーツと健康 II (小教) 情報活用演習 (教職)	教養科目 基礎科学 英語 III	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	5	8	3	4
学科必修科目		キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	
科目数		1	1	
コース必修科目	初等教科研究・音楽理論 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・国語 (書写を含む) 初等教科研究・算数 教育原理 特別支援教育総論	初等教科研究・音楽理論 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・理科 教職入門 特別支援教育研究入門	初等教科研究・図画工作 I 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・体育 I 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 教育方法・情報通信技術活用論 教育課程論 道徳教育の指導法 国語科教育法 I 算数科教育法 I 理科教育法 生徒指導 (進路指導を含む) 障害者教育論 知的障害者の教育	初等教科研究・図画工作 II 初等教科研究・音楽実技 I 初等教科研究・体育 II 教育社会学 教育心理学 国語科教育法 II 社会科教育法 算数科教育法 II 音楽科教育法 初等教科研究・外国語 発達障害者の教育
科目数	6	5	14	11
選択、特支科目	現代教育課題論 視覚障害者の教育 視覚障害者の心理・生理・病理	聴覚障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理	知的障害者の心理	教育法規概論 知的障害者の生理・病理 発達障害者の心理・生理・病理 国語科実践場面演習 算数科実践場面演習
科目数	3	2	1	5
実習		附属小学校観察実習	介護等体験実習 (春・秋どちらか)	介護等体験実習 (春・秋どちらか)
科目数	14	16	19	20

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	初等教科研究・生活 図画工作科教育法 家庭科教育法 体育科教育法 教育相談 外国語教育法 総合的な学習の時間の指導法 肢体不自由者の教育	特別活動の指導法 生活科教育法 病弱者の教育	インクルーシブ教育論	教職実践演習 (小)
科目数	8	3	1	1
選択、特支科目	情報科学入門 肢体不自由者の心理 肢体不自由者の生理・病理 病弱者の心理	病弱者の生理・病理 重複障害者の教育 重複障害者の心理・生理・病理 特別支援教育教材・教具制作演習	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育	発達支援場面研究
科目数	4	4	1	1
実習		小学校教育実習		特別支援学校教育実習
科目数	14	9	4	4

教育学部 教育学科 スポーツ教育コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上となります。
- ② スポーツ教育コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
45	49	94

- ③ スポーツ教育コースの専門教育科目については別表Ⅱ-23の卒業必修欄に○印の付いている科目41単位及び※印の付いている科目から4単位以上の合計45単位と、別表Ⅱ-23の選択科目及び別表Ⅱ-21、22、24に記載されている科目から49単位以上を履修してください。（同一科目を重複して履修することはできません）
- ④ 小学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-23のコース必修科目に加えて小一免欄に○印の付いている科目を履修してください。（卒業所要単位数に選択科目として算入されます）
- ⑤ 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、別表Ⅱ-23のコース必修科目に加えて、別表Ⅱ-24のとおり履修してください。（小学校教諭一種免許状と併せて履修してください。卒業所要単位数に選択科目として算入されます。）
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、③による卒業要件科目の履修に加えて別表Ⅷ-1、2、3、4、5のとおり履修してください。（卒業所要単位数には算入されません）
- ⑧ 同一授業科目について卒業必修欄、小一免欄に○印が付いている場合は重複して履修する必要はありません。
- ⑨ 単位を修得（成績表にS・A・B・C）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等体験実習（介護等の体験）

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

学部	デ モ ス ト ラ シ ョ ン コ ー ス	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	J S 指	健 運 指	P S 指	レ ク	キ ャ ン プ	小 一 免	履修年次								備 考						
												1年		2年		3年		4年								
												春	秋	春	秋	春	秋	春	秋							
学 部 共 通 科 目	<input type="checkbox"/>	現代教育課題論		2								○														
	<input type="checkbox"/>	教育法規概論		2											○											
	<input type="checkbox"/>	環境問題入門		2													○									
	<input type="checkbox"/>	情報科学入門		2														○								
	<input type="checkbox"/>	発達支援場面研究		2																				○		
学 科 共 通 科 目	<input type="checkbox"/>	3年次ゼミ	演	2	○												○	○								
	<input type="checkbox"/>	卒業研究ゼミ	演	3	○														○	○						
	<input type="checkbox"/>	キャリアデザイン I	演	1	○									○												
	<input type="checkbox"/>	キャリアデザイン II	演	1	○									○												
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 I		2									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	量的研究法入門 質的研究法入門 人文系科目の理論と応用 理数系科目の理論と応用 小学校等教育実践研究 学校教育とスポーツ 教職教養探究(教科を含む) 幼小中高の連携と移行支援
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 II		2									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 III		2									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 IV		2									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 V		2									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	<input type="checkbox"/>	教育学特論 VI		1									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
<input type="checkbox"/>	教育学特論 VII		1									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
<input type="checkbox"/>	教育学特論 VIII		1									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コ ー ス 共 通 科 目	<input type="checkbox"/>	体育原理		2	○	○							○													
	<input type="checkbox"/>	生涯スポーツ論		2	○	○							○													
	<input type="checkbox"/>	子どもの発育発達論と運動論	演	2	○	○							○													
	<input type="checkbox"/>	スポーツコーチング論		2	○	○			○					○												
	<input type="checkbox"/>	スポーツ基礎理論	演	2	○	○							○													
	<input type="checkbox"/>	スポーツ栄養学		2	○	○	○								○											
	<input type="checkbox"/>	衛生学・公衆衛生学		2	○												○									
	<input type="checkbox"/>	運動生理学		2	○	○	○							○												
	<input type="checkbox"/>	スポーツバイオメカニクス		2	○		○											○								
	<input type="checkbox"/>	スポーツ心理学		2	○	○	○												○							
	<input type="checkbox"/>	運動処方論	演	2	○	○	○											○								
	<input type="checkbox"/>	スポーツトレーニング	実	1	○	○	○											○								
	<input type="checkbox"/>	スポーツ医学	演	2	○	○	○												○							
	<input type="checkbox"/>	スポーツ現場実習 I	演	2	○	○									○											
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 I ~1(表現・ダンス)	実	1	○											○										
	<input type="checkbox"/>	スポーツ社会学		2	○															○						
	<input type="checkbox"/>	学校保健		2	○																○					
<input type="checkbox"/>	体育科実践場面演習	演	2	○																			○			
選 択 必 修 科 目	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 II ~1(陸上運動)	実	1	※1		○						○											※1より4科目以上選択必修		
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 III ~1(体操・器械運動)	実	1	※1		○							○												
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 IV ~1(水泳)	実	1	※1		○							○												
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 V ~1-1(球技) ネット型	実	1	※1		○							○												
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 V ~1-2(球技) ゴール型	実	1	※1										○											
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 VI ~1(エアロビック・エクササイズ)	実	1	※1		○									○										
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 VII(体づくり運動)	実	1	※1																	○		※2、※3印を付された科目をどちらか1科目履修。		
	<input type="checkbox"/>	レクリエーション実習 I(夏季野外スポーツ)	実	1	※1																					
<input type="checkbox"/>	レクリエーション実習 II(冬季野外スポーツ)	実	1	※1																						
コ ー ス 選 択 科 目	<input type="checkbox"/>	スポーツ解剖学		2																					※4 ※4印を付された科目は、それぞれ「1」の履修が必須	
	<input type="checkbox"/>	スポーツ経営学		2																						
	<input type="checkbox"/>	アダプテッドスポーツ論		2					○																	
	<input type="checkbox"/>	オリンピック・パラリンピック概論		2																						
	<input type="checkbox"/>	レクリエーション概論		2						○																
	<input type="checkbox"/>	レクリエーション基礎演習	実	1						○																
	<input type="checkbox"/>	レクリエーション事業参加		1						○																
	<input type="checkbox"/>	スポーツ現場実習 II	演	2																						
	<input type="checkbox"/>	武道	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 I ~2(表現・ダンス)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 II ~2(陸上運動)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 III ~2(体操・器械運動)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 IV ~2(水泳)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 V ~2(球技) ベースボール型	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 VI ~2(エアロビック・エクササイズ)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 VIII(ヨガ・ピラティス)	実	1																						
	<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 IX(レクリエーションスポーツ)	実	1						○																
<input type="checkbox"/>	スポーツ実技 X(ゴルフ)	実	1																							
<input type="checkbox"/>	野外活動実習 I(アクアティックスポーツ)	実	1																							
<input type="checkbox"/>	野外活動実習 II(スクーバダイビング)	実	1																							

ナンバリング	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	JS指	健運指	PS指	レク	キャンプ	小一免	履修年次								備考				
											1年		2年		3年		4年						
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋					
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・国語(書写を含む)		2							○	●	●											
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・社会		1							○		○											
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・算数		2							○	●	●											
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・理科		1							○		○											
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・生活		2							○				●	●								
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・音楽実技Ⅰ	演	2							○	○	○	○										
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・音楽実技Ⅱ	演	2											○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・音楽理論Ⅰ	演	1							○	○												
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・音楽理論Ⅱ	演	1							○		○											
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・図画工作Ⅰ	演	1							○			○										
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・図画工作Ⅱ	演	1							○				○									
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・家庭		1							○			●	●									
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・体育Ⅰ	演	1							○			○										
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・体育Ⅱ	演	1							○				○									
<input type="checkbox"/>	初等教科研究・外国語		1							○				○									
選択科目	<input type="checkbox"/>	教職入門		2						○	●	●											
	<input type="checkbox"/>	教育原理		2						○	●	●											
	<input type="checkbox"/>	教育心理学		2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	教育社会学		1						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2						○					○								
	<input type="checkbox"/>	教育課程論		2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	道德教育の指導法		2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		1						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅰ	演	1						○			○										
	<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅱ	演	1						○				○									
	<input type="checkbox"/>	社会科教育法	演	2						○				○									
	<input type="checkbox"/>	算数科教育法Ⅰ	演	1						○				○									
	<input type="checkbox"/>	算数科教育法Ⅱ	演	1						○					○								
	<input type="checkbox"/>	理科教育法	演	2						○				○									
	<input type="checkbox"/>	生活科教育法	演	2						○						○							
	<input type="checkbox"/>	音楽科教育法	演	2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	図画工作科教育法	演	2						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	家庭科教育法	演	2						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	体育科教育法	演	2						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	外国語教育法		2						○					○								
	<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2						○			●	●									
	<input type="checkbox"/>	教育相談		2						○					●	●							
	<input type="checkbox"/>	初等教育実習Ⅰ	実	1						○				○	○						○	○	
	<input type="checkbox"/>	初等教育実習Ⅱ	実	4						○			●	●								○	○
	<input type="checkbox"/>	教職実践演習(小)	演	2						○												○	
<input type="checkbox"/>	介護等体験実習	実	1						○				○	○									
計										68													

【授業の方法】 演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。また●印の付された授業科目は、春学期または秋学期いずれかに配当される。諸事情により開講時期が変更する場合がありますので時間割を特に確認すること。

【資格名称】

- JS指:ジュニアスポーツ指導員
- 健運指:健康運動実践指導者
- PS指:初級パラスポーツ指導員
- レク:レクリエーションインストラクター
- キャンプ:キャンプインストラクター

【小学校一種免許状取得希望者は以下の科目を取得すること】

体育原理、スポーツ基礎理論、運動生理学、体育科実践場面演習、学校保健、スポーツ実技Ⅰ-1

カリキュラムマップ

令和5年度 聖徳大学 教育学部 教育学科 スポーツ教育コース



目標内容	1年生	2年生	3年生	4年生
現場実践力を養う	キャリアデザインI	キャリアデザインII	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
各一人の専門力・実践力を身に付ける	生涯スポーツ論 子どもの発達論と運動論 スポーツ基礎理論 レクリエーション概論 (トレーニング学)	運動処方論 (含：測定・評価) スポーツ栄養学 オリンピック・パラリンピック概論	スポーツバイオメカニクス スポーツ経営学 アダプテッドスポーツ論	学校保健(健康管理論) 体育科実務場面演習 (体育科教育学)
教育学の基礎を探究する	英語 I ~ IV 選校外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~ IV 日本国憲法 (D類) スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	スポーツ実技 I-1 (表現・ダンス) スポーツ実技 I-2 (表現・ダンス) スポーツ実技 I-3 (表現・ダンス) レクリエーション実習 I (夏季野外スポーツ) 集中 スポーツ実技 I-4 (ネット型) スポーツ実技 I-5 (エアロビクス)	スポーツ実技 II-1 (陸上運動) スポーツ実技 II-2 (陸上運動) スポーツ実技 II-3 (陸上運動) スポーツ実技 II-4 (エアロビクス・エクササイズ) 野外交渉実習 2 (スクワット/ハイベンチ)	スポーツ実技 III-1 (ヨカ・ヒラテイス) スポーツ実技 III-2 (ヨカ・ヒラテイス) スポーツ実技 III-3 (ヨカ・ヒラテイス) スポーツ実技 III-4 (ヨカ・ヒラテイス)
学びの基礎力を身に付ける	英語 I ~ IV 選校外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~ IV 日本国憲法 (D類) スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	英語 I ~ IV 選校外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~ IV 日本国憲法 (D類) スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	英語 I ~ IV 選校外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~ IV 日本国憲法 (D類) スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	英語 I ~ IV 選校外国語 (ドイツ語・フランス語) I ~ IV 日本国憲法 (D類) スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)
人間性を高める	聖徳教育 II (志賀高原) 聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy I	聖徳教育 I (シリーズコンサート・文化講演会・アセンブリアワー) 小笠原流礼法基礎講座 聖徳教育 III SEITOKU Academic Literacy III	聖徳教育 II (海外研修)	聖徳教育 II (海外研修)

令和5年度 聖徳大学 教育学部 教育学科 スポーツ教育コース

Learning Outcomes (学びで得られる成果)



目標
内容

スポーツとは何かを
理解しよう
スポーツに関する基礎的知識を学ぶ

スポーツ指導方法を
理解しよう
スポーツ指導方法を深く理解する

スポーツ指導の実践力を
高めよう
様々なスポーツ活動を通して
実践力を培く

社会に貢献できるスポーツ指導者
を目指そう
スポーツ活動の実践力ある指導者として社会貢献
できる将来を考えよう

目標内容	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
現場実践力を養う	子どもの発達段階の理解や実践能力を高めながら、スポーツ現場実習等を通して、その指導概要を理解することができる。	子どもの発達段階の理解や実践能力を高めながら、スポーツ現場実習等を通して、人々とスポーツとのかわり方を理解することができる。	スポーツに関する各資格に応じた指導方法や指導技術を身につけながら、スポーツの果たす社会的貢献を理解することができる。	スポーツに関する各資格に応じた子どもや地域の人々との関係性について理解を深め、これまでの理論や実践における学びを生かすことができる。	【DP1】 スポーツ・健康科学に関する知識・技能を体系的に学習し、理論と実践を結びつけて、現場実践課題を解決し、現場実践力を発揮することができる。
各コースの専門力・実践力を身に付ける	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけている。	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、実践力を身につけている。	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、他者とスポーツの楽しさを共有しようとする力を身につけている。	スポーツ・健康科学に関する基礎的理論やこれに基づく実践能力を高める方法を身につけ、自己課題解決と多様なスポーツ活動に対応する力を身につけている。	【DP2】 子どもの心身の発達に関する科学的洞察力を修得し、グローバルかつローカルな視点をもって、複雑多様な課題に、主体的に、かつ協働して取り組むことができる。
教育学の基礎を探究する	教育学・教育原理・現代教育課題の基礎的な知識を身につけている。	教育課程・教育社会学・教育方法・教育法規の基礎的な知識を身につけている。	環境問題・情報科学の基礎的な知識を身につけている。	教育学の学びを生かし、多様な教育課題について学び続けることができる。	【DP3】 一流の文化・芸術・スポーツがもつ普遍性と固有性を感じ、思いやりと協調性をもって多様な他者との信頼関係を築くことができる。
学びの基礎力を身に付ける	教員や社会人に求められる基本的な常識を身につけている。	基礎的な学力を身につけるとともに、多方面に興味・関心を広げ、幅広い教養を身につけている。	海外に通用する語学力と国際感覚を形成するとともに、教育指導に活用する力を身につけている。	語学力やICTを教育指導に活用する能力を高め、様々な場面で効果的に活用することができる。	
人間性を高める	子どもや多様な人々に対する深い愛情をもち、建学の精神に基づく行動ができる。	礼法を通して品格ある立ち居振る舞い身に付けるとともに、子ども一人一人の実態や状況を把握し、よさや可能性を引き出し伸ばすことができる力を身につけることができる。	海外の文化に直接触れながら、国際的な視野を持ち、教師や社会人としての教養や人間性を高めている。	様々な芸術や文化に積極的に触れることを通して教師や社会人としての教養や人間性を高めている。	

スポーツの指導方法を深く学び、社会に貢献できる指導者になろう

□の数字は1週間割りの授業科目数

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 日本国憲法 英語Ⅰ スポーツと健康Ⅰ 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 教養科目 教養科目 英語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スポーツと健康Ⅱ 情報活用演習(教職)	教養科目 教養科目 英語Ⅲ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	SEITOKU Academic Literacy III 小笠原流礼法基礎講座 英語Ⅳ
科目数	5	9	5	3
学科必修科目		キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	
科目数		1	1	
コース共通科目	生涯スポーツ論 子どもの発育発達論と運動論 スポーツ基礎論 ※スポーツ実技Ⅱ-1(陸上運動) ※スポーツ実技Ⅳ-1(水泳) ※スポーツ実技Ⅴ-1(球技)ネット型	1 体育原理 スポーツコーチング論 運動生理学 スポーツ現場実習Ⅰ スポーツトレーニング ※スポーツ実技Ⅲ-Ⅰ(器械運動) ※スポーツ実技Ⅴ-1(球技)ゴール型	1 運動処方論(測定・評価) スポーツ栄養学 スポーツ実技Ⅰ-1(表現・ダンス) ※スポーツ実技Ⅵ-1(エアロビ・エクササイズ) ※レクリエーション実習Ⅰ(夏季野外実習)	スポーツ心理学 スポーツ医学 ※レクリエーション実習Ⅱ(冬季野外実習)
科目数	3	5	3	2
選択科目	現代教育課題論	教育学特論Ⅰ～Ⅷ		教育法規概論
科目数	1			1
小免科目	初等教科研究・音楽理論Ⅰ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・国語(書写を含む) 教育原理	初等教科研究・音楽理論Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・理科 初等教科研究・算数 教職入門	初等教科研究・図画工作Ⅰ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・体育Ⅰ 初等教科研究・社会 初等教科研究・家庭 国語科教育法Ⅰ 算数科教育法Ⅰ 理科教育法 教育課程論 生徒指導(進路指導を含む)	初等教科研究・図画工作Ⅱ 初等教科研究・音楽実技Ⅰ 初等教科研究・体育Ⅱ 初等教科研究・外国語 国語科教育法Ⅱ 算数科教育法Ⅱ 社会科教育法 音楽科教育法 教育心理学 教育社会学 教育方法・情報通信技術活用論 道徳教育の指導法
科目数	4	5	10	12
実習			附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護等体験実習(春・秋どちらか)	附属小学校観察実習(春・秋どちらか) 介護等体験実習(春・秋どちらか)
科目数計	13	20	19	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数				
学科必修科目	3年次ゼミ	3年次ゼミ	卒業研究ゼミ	卒業研究ゼミ
科目数	1	1	1	1
コース共通科目	衛生学・公衆衛生学 スポーツバイオメカニクス		学校保健 ※スポーツ実技Ⅶ(体づくり運動)	体育科教育学 体育科実践場面演習
科目数	2		1	2
選択科目	情報科学入門	教育学特論Ⅰ～Ⅷ		
科目数	1			
小免科目	初等教科研究・生活 体育科教育法 図画工作科教育法 外国語教育法 家庭科教育法 教育相談 総合的な学習の時間の指導法 特別支援教育総論	生活科教育法 特別活動の指導法		教職実践演習(小)
科目数	8	2		1
実習				小学校教育実習
科目数計	12	3	2	4

※の付されたスポーツ実技科目で、健康運動実践指導員資格には、陸上運動、水泳、エアロビクスが必修となる。
 ※の付されたスポーツ実技科目から、4科目以上は選択必修となる。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	特支一免	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
特別支援教育の基礎理論に関する科目													
<input type="checkbox"/>	障害者教育論		2	○			○						
特別支援教育領域に関する科目													
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目													
<input type="checkbox"/>	知的障害者の心理		2	○			○						
<input type="checkbox"/>	知的障害者の生理・病理		2	○			○						
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の心理		2	○				○					
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の生理・病理		2	○				○					
<input type="checkbox"/>	病弱者の心理		2	○				○					
<input type="checkbox"/>	病弱者の生理・病理		2	○					○				
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目													
<input type="checkbox"/>	知的障害者の教育		2	○			○						
<input type="checkbox"/>	肢体不自由者の教育		2	○				○					
<input type="checkbox"/>	病弱者の教育		2	○					○				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目													
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目													
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目													
<input type="checkbox"/>	視覚障害者の教育		1	○			○						
<input type="checkbox"/>	視覚障害者の心理・生理・病理		1	○			○						
<input type="checkbox"/>	聴覚障害者の教育		1	○				○					
<input type="checkbox"/>	聴覚障害者の心理・生理・病理		1	○				○					
<input type="checkbox"/>	発達障害者の教育		1	○				○					
<input type="checkbox"/>	発達障害者の心理・生理・病理		1	○				○					
<input type="checkbox"/>	重複障害者の教育		1	○					○				
<input type="checkbox"/>	重複障害者の心理・生理・病理		1	○					○				
<input type="checkbox"/>	特別支援教育教材・教具制作演習※		1						○				
<input type="checkbox"/>	脳科学・遺伝学からみた特別支援教育※		2							○			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習													
<input type="checkbox"/>	特別支援学校教育実習	実	3	○					○	○	○	○	
	計		34										

左記※印の2科目は、選択履修することが可能。ただし、特別支援学校教諭1種免許状取得の要件とはならない。
【特別支援学校教育実習について】
 実習時期は4年秋学期となります。実習事前・事後指導は3年春学期～4年秋学期までの期間で実施します。

[注]

- 特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、特支一免欄に○印を付された科目を修得しなければならない。
- 授業の方法欄に演印を付された科目は演習科目、実印を付された科目は実習科目、無印は講義科目。
- 履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
- 特別支援学校教諭一種免許状の課程履修は、原則として教育学科の学生のみを対象とする。
- 原則として小学校教諭一種免許状を取得する者を対象とする。

心理・福祉学部 心理学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理・福祉学部心理学科は、心理学を基礎から幅広く学び、社会における様々な問題に向き合い解決に取り組む力をもつ人材を多く輩出してきました。

現代社会において心理学の知識や技能が求められるフィールドは拡大し続けており、他者と協働しながら自分自身で考え行動する実践力を備えた人材が求められています。

このような社会的要請に応えるため、心理・福祉学部心理学科では、豊かな感性と相互扶助の心を備え、心理学の知識と技能をもって、課題を発見し、解決することのできる女性を育成し、社会に貢献していきます。

以上の理念を具現化していくために、以下の四つの教育目標を設けます。

【教育目標】

1. 広く社会に関心を持ち、自他の文化や価値観を尊重できる豊かな教養を備えた人材を育成する。
2. 自他を理解し、他者と協調して諸課題の解決に取り組むことができる人間力を備えた人材を育成する。
3. 心理学の専門的な知識と技能を備え、社会生活における諸課題の解決のために応用できる人材を育成する。
4. 心理学の科学的な実証的態度を備え、自分の考えを論理的に他者に提示できる人材を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

【学習成果】

1. 豊かな感性を持ち自国以外の文化や価値観も受け入れ理解しながら活躍する素養を身につけることができる。
2. 社会人としての基礎力を発揮し、自らの知識と技能を社会に還元することができる。
3. 社会生活における諸課題解決のために心理学の知識と技能を応用できる。
4. 心の働きを科学的に検証し、適切な手法で提示することができる。

上記の学習成果に基づく教育課程において所定の単位を修得した人に学士（心理学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）を基礎とし、相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門基礎科目および専修科目の教育課程を、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 全学共通科目を通して、豊かな感性をもち自国以外の文化や価値観も受け入れ理解しながら活躍する力を育成します。
2. 社会人としての基礎力を発揮するために必要な科目群を設定し、自らの知識と技能を社会に還元する力を育成します。
3. 専門的な心理学の知識と技能を高める科目群を設定し、社会生活における諸課題を解決する力を育成します。
4. 心の働きを科学的に検証するための科目群を設定し、適切な手法で提示する力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部心理学科では、学習成果を効果的に達成するために、授業計画に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 一年次には心理学の基礎を学び、二、三年次には科学的態度を身につけるとともに心理学の専門性を深め、四年次には研究を遂行し成果をまとめられるように、科目間の連携を図ります。
2. 講義や実習、演習科目を効果的に配置して、実践的な心理学の学びを促進します。
3. ディスカッションやグループワークを通して、協働的な学びを展開し、学生の主体的、能動的な学習を促進します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

心理・福祉学部心理学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、心理学の知識と技能をもって、他者と協働しながら課題を解決する力を備えた人材を育成するために、以下の資質をもった入学者を求めています。

1. 人や社会の現象に関心をもっている人。
2. これまでの学びを通して、心理学を学習するのに必要な知識、技能、論理的思考力、主体性をもっている人。
3. 演習や実習等に参加するために、他者と協働して取り組むことができる人。
4. 心理学の知識と技能をもって、社会に貢献する意欲をもっている人。

心理・福祉学部心理学科ではこのような人を受け入れるために、多くの受験機会を設け、多種類の入学試験を行っています。こうした試験を通して、本学科では、学びに必要な基礎的な文章読解力や表現力、情報を収集したり活用したりする技能、自分の考えや感情を伝える力、周囲との協働力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、小論文、作文、面接などによって多面的・総合的に評価します。

心理・福祉学部 心理学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

心理学科学修ルーブリック (A項目・グローバルルーブリック)	毎学年4月
海外研修ルーブリック	2年 末
A科目群のGPA 聖徳教育、教養科目、外国語 他	毎学期末

1. 豊かな感性を持ち自国以外の文化や価値観も受け入れ理解しながら活躍する素養を身に着けることができる。

心理学科学修ルーブリック (B項目)	毎学年4月
社会人基礎力テスト	毎学年4月
B科目群のGPA フィールド学習、キャリアデザイン、ビジネスフィールドリンケージ 他	毎学期末
キャリア・アセスメントテスト	3年 春

2. 社会人としての基礎力を発揮し、自らの知識とスキルを社会に還元することができる。

心理学科学修ルーブリック (C項目)	毎学年4月
C科目群のGPA 心理学概論、心理学基礎講座 他	毎学期末

3. 社会生活における諸課題解決のために心理学の知識と技能を応用できる

心理学の専門的な知識とスキルを身につけることができる

心理学科学修ルーブリック (D項目)	毎学年4月
D科目群のGPA 臨床心理学概論、心理学アセスメント 他	毎学期末

社会生活における諸課題の解決のために基本的な心理学の知識と技能を応用できる

心理学科学修ルーブリック (E項目)	毎学年4月
卒論・ゼミルーブリック	3年、4年 末
E科目群のGPA 心理学研究法、心理学実験、心理学ゼミ 他	毎学期末

4. 心理学の知識及びスキルに基づいて、心の働きを科学的に検証し、適切な手法で提示することができる

心理・福祉学部 社会福祉学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理・福祉学部社会福祉学科では、現代社会の福祉・教育問題の解決に必要な専門的知識と高度な技術を取得し、福祉・教育分野で活躍する人材の養成を目的として社会福祉コース、介護福祉コース、養護教諭コースの三コースを設け、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士などとして活躍する人材を社会に輩出してきました。

現在我が国は少子高齢化、グローバル化(地球規模化)が進行する中で福祉・教育ニーズが複雑化・多様化しています。このような複雑化・多様化する福祉・教育ニーズに対応するためには個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、社会と個人の生活のかかわりについて深く洞察し、福祉社会づくりに寄与できる幅広い知識・能力、感性を持った専門職の養成が求められています。心理・福祉学部社会福祉学科では、このような社会の要請に応えるため、個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として、女性の立場から生活の視点を持ち、それを福祉・教育分野で活躍する専門職の養成を目指し、福祉社会づくりに貢献します。

以上の教育理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、人々の生活を支援することができる人間力を備えた人材を育成する。
2. 社会福祉学の専門的知識・技術・態度を身につけ、それに基づいた判断力と課題解決力をもった人材を育成する。
3. 人々の個別の福祉・教育ニーズに応じたサービスを提供することができる実践力を備えた人材を育成する。
4. 保健・医療など他業種と連携を図りながら、福祉社会づくりに貢献できる人材を育成する。

上記の学科共通の教育目標をもとに、各コースに次のような具体的目標を設定します。

- (1) 社会福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、生活の総合相談ができる能力をもったソーシャルワーカーを育成する。
- (2) 介護福祉コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、高齢者・障害者など介護を必要とする人びとの介護福祉の実践ができる介護福祉士を育成する。
- (3) 養護教諭コースでは、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら女性の立場から生活の視点を持ち、子どもの心身の発達・成長の支援と生涯にわたる健康づくりに貢献できる養護教諭を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

【学習成果】

1. 確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている。
2. 社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら福祉・教育課題を探求し課題解決策を提示することができる。
3. 福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個々人の福祉・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる。
4. 他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる。

以上のような学習成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士（社会福祉学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科は、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 社会福祉分野の基礎となる個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本とした専門基礎科目群を設定し、福祉・教育の実践に必要な基礎的能力を養成します。
2. 社会福祉分野の専門的知識・技術・態度を高めるための科目群を設定し、現代的課題に対応した判断力や課題解決力を育成します。そこで学習した内容をもとに演習科目や実習科目を配置し、福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、課題解決に向けた実践力を育成します。
3. 福祉・教育の課題解決のための科目群を設定し、専門職業人として自立し、卒業後の各種福祉現場、学校、地域社会で他職種との連携の下、幅広く活躍できる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

心理・福祉学部社会福祉学科では、学生自ら課題を発見し解決するという主体的、創造的な方法で教育課程を実施します。また、福祉的な問題を科学的に理解するための文献やデータを収集分析し、少人数で討論するなどの演習形式の授業やフィールドワークやインタビューを行うなど、問題発見・解決型学習（Problem-Based Learning）を取り入れながら実施します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

現代社会の福祉ニーズに対応するための人材育成が急務となっています。心理・福祉学部社会福祉学科では、それに応えるため個人の尊厳と基本的人権の尊重を基本として「一人ひとり」を支え、守り、育てる福祉・教育の専門職の養成を目指しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質を持った人を心理・福祉学部社会福祉学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

1. 主体的に福祉・教育を学習する意欲があり、授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。
2. 社会福祉の基礎的・基本的な知識・技能を習得しようと考えている人。
3. 現代社会の課題に関心を持ち社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、養護教諭、保育士など福祉・教育の専門家として社会に貢献する夢を持っている人。

心理・福祉学部社会福祉学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での修学に必要な基礎学力、知識、技術、コミュニケーション力、他者と協働する能力などについて、書類審査、学力試験、小論文、作文、面接などを組み合わせて多面的・総合的に評価します。

心理・福祉学部 社会福祉学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

社会福祉学科GWルーブリック	FT,聖徳教育 I、II 前後 卒業時
社会福祉学科学士カールーブリック	毎学期末
各実習評価票	実習終了後
実践能力を養う科目群GPA	毎学期末

4. 他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる。

社会福祉学科GWルーブリック	FT,聖徳教育 I、II 前後 卒業時
社会福祉学科学士カールーブリック	毎学期末
理論を学び技術を身につける科目群GPA	毎学期末
各実習評価票	実習終了後

3. 福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個々人の福祉・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる。

法学・職業倫理を学ぶ科目の総合GPA	毎学期末
専門的知識を学ぶ科目群GPA	毎学期末
各実習評価票	実習終了後
社会福祉学科学士カールーブリック	毎学期末

2. 社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基本的な人権を尊重しながら福祉・教育課題を探索し課題解決策を提示することができる。

社会福祉学科コンピテンシー	毎学年初め 卒業時
社会福祉学科GWルーブリック	FT,聖徳教育 I、II 前後 卒業時
人間性・学びの基礎・基礎的知識科目群GPA	毎学期末
各実習評価票	実習終了後

1. 確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている。

心理・福祉学部 全学共通科目 履修要項

- ① 心理・福祉学部各学科の卒業所要単位数は、下表のとおりです。

学科名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
心理学科	30 単位	94 単位	124 単位
社会福祉学科	30 単位	96 単位	126 単位

- ② 心理・福祉学部の全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全学共通科目 (A類)				
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	計
7	20	2	1	30

- ③ 心理・福祉学部の学生は、全学共通科目（A類）については、別表Ⅲ-1、2、3、4、5、6、7 のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④ 聖徳教育科目（別表Ⅲ-1）はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表Ⅲ-2）は外国語科目と併せて 20 単位以上を修得すること（外国語は 8 単位以上）。1 年次秋学期から開講しますので、各学期 2 科目程度を、A類～D類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、教員免許状・保育士資格を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 外国語科目（別表Ⅲ-4）は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳを含む合計 8 単位が必修です。
- ⑦ 健康教育科目（別表Ⅲ-5、Ⅲ-6）及び情報活用科目（別表Ⅲ-7）は備考に記載のとおり履修してください。
- ⑧ 単位を修得した場合（成績表に S・A・B・C・N と表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目(心理学科)

別表Ⅲ-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●						● 春学期または秋学期に開講 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。 (通年履修)
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅰ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	○			●	●						
	計		7											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

聖徳教育科目(社会福祉学科)

別表Ⅲ-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●						● 春学期または秋学期に開講 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅰ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	○			●	●						
	計		7											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表Ⅲ-2

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	A類	自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○					教養科目と別表Ⅲ-4の外国語科目を併せて20単位以上修得すること(外国語は8単位以上)。 教養科目は表中のA類、B類、及びC類から1科目以上選択し、12単位以上を修得すること。 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。 日本国憲法は、教育職員免許状及び社会福祉学科で保育士資格を取得する者は必ず修得すること。	
<input type="checkbox"/>		自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域)		2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>		自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>		自分を見つめ・広げ・伝える(看護領域)		2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	2						○	○					
<input type="checkbox"/>	B類	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		自然・社会・科学技術を考える(健康領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>	C類	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>	D類	心とからだの美的本質を追求する(ケア領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>		日本国憲法		2		●	●								

Business Field Linkageプログラム

別表Ⅲ-3

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※												
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専攻	国際社会問題を考える		2				●	●	●	●		いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2				●	●	●	●			
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication I		2			○							
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication II		2				○						
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生副専攻	Practical English Communication III		2					○					
<input type="checkbox"/>		新時代のリーダーシップデザイン		2			●	●	●	●			いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2			●	●	●	●				
<input type="checkbox"/>	顧客価値を創出するマーケティング		2			●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>	ビジネス・データ サイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2			●	●	●	●			いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2		●	●	●	●					
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2			●	●	●	●			いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修 いずれかの学期で履修	
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2					○					
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2										

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

- ①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。
- ②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)
- ③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。
- ④履修する科目はキャップ制の対象外とします。
- ⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

外国語科目配当表

別表Ⅲ-4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	英語 I	演	1	○	○									外国語科目は、卒業必修科目として英語 I、英語 II、英語 III、英語 IV (4単位) 及び選択外国語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、韓国語) として4単位、計8単位以上が必修です。 「フランス語」、「ドイツ語」、「イタリア語」、「中国語」、及び「韓国語」は各学期に週2回開講されるため I と II、III と IV を同一学期に履修すること。 ※ 詳細につきましては、学部・学科より説明がありますので、その指示に従ってください。
<input type="checkbox"/>	英語 II	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	英語 III	演	1	○			○							
<input type="checkbox"/>	英語 IV	演	1	○				○						
<input type="checkbox"/>	英語 V	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	英語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	英語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	英語 VIII	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	フランス語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 V	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	フランス語 VIII	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 V	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VIII	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	イタリア語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	イタリア語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	イタリア語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 V	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VIII	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	中国語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	中国語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	中国語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語 V	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	中国語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	中国語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	中国語 VIII	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	韓国語 I	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	韓国語 II	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	韓国語 III	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 IV	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 V	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	韓国語 VI	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	韓国語 VII	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	韓国語 VIII	演	1									○		
	計		48											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目（心理学科）

別表Ⅲ-5

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	○	○									スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを履修すること。
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅲ		2											
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅳ～1	※	1											
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅳ～2	※	1											
	計		6											

【授業の方法】無印：講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目（社会福祉学科）

別表Ⅲ-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1		○								1) 社会福祉学科で保育士資格を取得しようとする者は、基礎専門体育Ⅰ・Ⅱを履修すること。 2) 上記以外の学生は、スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを履修すること。
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅲ		2										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅳ～1	※	1										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅳ～2	※	1										
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅰ	※	1		○								
<input type="checkbox"/>	基礎専門体育Ⅱ	※	1		○								
	計		8										

【授業の方法】無印：講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表Ⅲ-7

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○								1) 情報活用演習(基礎)必修。 2) 教育職員免許状を取得しようとする者は情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも修得すること。
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1					○					
	計		5										

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

帰国子女科目

別表Ⅲ-8

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○								帰国子女科目は、教養科目又は外国語科目の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2					○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2						○				
	計		10										

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

心理学科 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目 30 単位以上、専門教育科目 94 単位以上、計 124 単位以上です。
- ② 専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
62	32	94

- ③ 専門教育科目（B類）については、別表Ⅲ－9 のとおり卒業必修に○の付された科目 64 単位と、選択科目（学部共通科目、基礎科目、専門科目、専修科目）を 30 単位以上履修してください。
- ④ 公認心理師受験資格取得に必要な科目の履修を希望する人は、別表Ⅲ－9 の「公認心理師」欄に○のついた科目すべてを履修してください。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑤ 認定心理士の資格取得を希望する人（認定心理士資格取得に必要な単位は、必修科目を履修することで満たされます）は、申請の仕方を 2 年次および 3 年次のオリエンテーションで説明します。
- ⑥ 准学校心理士を取得しようとする者は、別表Ⅲ－9 の「准学校心理士」欄に○のついた科目すべてを履修してください。履修の仕方は、毎年度最初のオリエンテーションで説明します。
- ⑦ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ－1、2、3、4、5 により、履修してください（卒業要件に算入することはできません）。
- ⑧ 単位を修得した場合（成績表に S・A・B・C・N と表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	公認心理師	准学校心理士	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学部共通科目	<input type="checkbox"/>	法学		2					○								
	<input type="checkbox"/>	社会学		2				○									
	<input type="checkbox"/>	倫理学		2					○								
	<input type="checkbox"/>	環境論		2					○								
		小計		8													
基礎科目	<input type="checkbox"/>	心理学概論		4	○	○		○									
	<input type="checkbox"/>	心理学基礎講座Ⅰ		2	○			○									
	<input type="checkbox"/>	心理学基礎講座Ⅱ		2	○			○									
	<input type="checkbox"/>	心理学統計法		2	○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	心理学統計法演習	演	2	○					○							
	<input type="checkbox"/>	データ解析		2	○						○						
	<input type="checkbox"/>	データ解析演習	演	2	○							○					
	<input type="checkbox"/>	心理学英語講読		2							○						
	<input type="checkbox"/>	心理学英語演習	演	2								○					
	<input type="checkbox"/>	心理学研究法		2	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	心理学調査法		2	○						○						
	<input type="checkbox"/>	心理学実験Ⅰ	実	1	○	○					○						オムニバス
	<input type="checkbox"/>	心理学実験Ⅱ	実	1	○	○					○						オムニバス
	<input type="checkbox"/>	心理的アセスメントⅠ		2	○	○	○					○					
	<input type="checkbox"/>	心理的アセスメントⅡ	実	2	○	○	○					○					
	<input type="checkbox"/>	キャリアデザイン		2	○					○							
	<input type="checkbox"/>	フィールド学習（目標の設定）	演	2	○				○								
	<input type="checkbox"/>	フィールド学習（解決策の提案）	演	2	○					○							
	<input type="checkbox"/>	フィールド学習（解決策の実行）	演	2	○						○						
	<input type="checkbox"/>	フィールド学習（解決策の評価）	演	2	○						○						
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅰ（環境心理学）		2							○							
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅱ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅲ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅳ		2					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅴ（キャリア実践演習）		1							◎	◎						◎通年集中
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅵ（心理学応用演習）		1									◎					◎集中
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅶ		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<input type="checkbox"/>	心理学特講Ⅷ		1					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		小計		52	36	14	4										

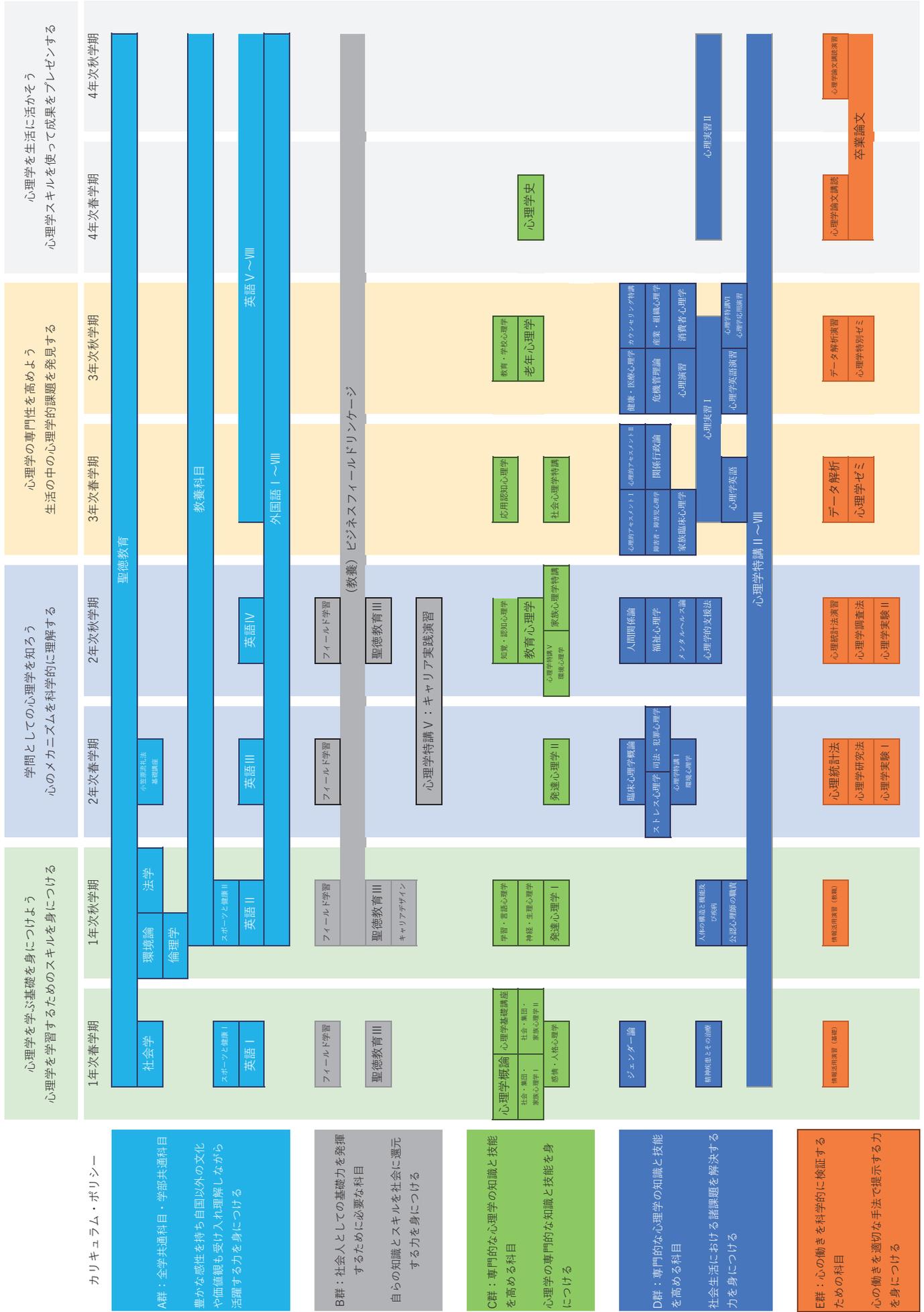
●春学期または秋学期のいずれかに配当される。開講時期が変更される場合があるため時間割を特に確認すること。
◎通年集中
◎集中

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	公認心理師	准学校心理士	履修年次								備考		
								1		2		3		4				
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
専門科目	<input type="checkbox"/>	障害者・障害児心理学		2		○	○					○						
	<input type="checkbox"/>	学習・言語心理学		2	○	○			○									
	<input type="checkbox"/>	知覚・認知心理学		2	○	○				○								
	<input type="checkbox"/>	応用認知心理学		2							○							
	<input type="checkbox"/>	神経・生理心理学		2			○		○									
	<input type="checkbox"/>	心理学ゼミ	演	2	○						○							
	<input type="checkbox"/>	心理学特別ゼミ	演	2	○							○						
	<input type="checkbox"/>	卒業論文		4	○								○	○				
	<input type="checkbox"/>	心理学論文講読		2	○								○					
	<input type="checkbox"/>	心理学論文講読演習	演	2	○									○				
	<input type="checkbox"/>	臨床心理学概論		2	○	○				○								
	<input type="checkbox"/>	社会・集団・家族心理学Ⅰ		2	○	○			○									
	<input type="checkbox"/>	社会・集団・家族心理学Ⅱ		2	○	○			○									
	<input type="checkbox"/>	感情・人格心理学		2	○	○			○									
	<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅰ		2	○	○	○		○									
	<input type="checkbox"/>	精神疾患とその治療		2			○		○									
	<input type="checkbox"/>	健康・医療心理学		2			○						○					
	<input type="checkbox"/>	心理学史		2										○				
<input type="checkbox"/>	人体の構造と機能及び疾病		2			○		○										
<input type="checkbox"/>	公認心理師の職責		2			○		○										
<input type="checkbox"/>	心理実習Ⅰ	実	1			○						◎	◎				◎通年集中	
心理 専修 支援	<input type="checkbox"/>	カウンセリング特講		2									○					
	<input type="checkbox"/>	心理学的支援法		2		○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	心理演習	演	2		○							○					
	<input type="checkbox"/>	心理実習Ⅱ	実	1		○								◎	◎		◎通年集中	
教育 専修 発達	<input type="checkbox"/>	教育・学校心理学		2		○	○						○					
	<input type="checkbox"/>	福祉心理学		2		○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	教育心理学		2						○								
	<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅱ		2		○	○		○									
危 専修 機 修 管 理	<input type="checkbox"/>	危機管理論		2									○					
	<input type="checkbox"/>	ストレス心理学		2					○									
	<input type="checkbox"/>	司法・犯罪心理学		2		○			○									
	<input type="checkbox"/>	関係行政論		2		○					○							
家 専修 族 修 支 援	<input type="checkbox"/>	家族臨床心理学		2								○						
	<input type="checkbox"/>	老年心理学		2									○					
	<input type="checkbox"/>	ジェンダー論		2				○										
	<input type="checkbox"/>	家族心理学特講		2						○								
産 専修 業 修 組 織	<input type="checkbox"/>	産業・組織心理学		2		○							○					
	<input type="checkbox"/>	人間関係論		2						○								
	<input type="checkbox"/>	社会心理学特講		2					○									
	<input type="checkbox"/>	メンタルヘルス論		2						○								
	<input type="checkbox"/>	消費者心理学		2									○					
計				84	26	44	12											

【授業の方法】演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

聖徳大学心理・福祉学部 心理学科 カリキュラムマップ



カリキュラム・ポリシー

A群：全学共通科目・学部共通科目
豊かな感性を持ち自国以外の文化や価値観も受け入れ理解しながら活躍する力を身につける

B群：社会人としての基礎力を発揮するために必要な科目
自らの知識とスキルを社会に還元する力を身につける

C群：専門的な心理学の知識と技能を高める科目
心理学の専門的な知識と技能を身につける

D群：専門的な心理学の知識と技能を高める科目
社会生活における諸課題を解決する力を身につける

E群：心の働きを科学的に検証するための科目
心の働きを適切な手法で提示する力を身につける

心理学科 メンタルヘルス・マネジメント検定取得 履修モデル
(産業組織専修+危機管理専修)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必修科目	心理学概論 心理学基礎講座 I 心理学基礎講座 II フィールド学習 (目標の設定) 社会・集団・家族心理学 I 社会・集団・家族心理学 II 感情・人格心理学	キャリアデザイン フィールド学習 (解決策の提案) 学習・言語心理学 発達心理学 I	心理学統計法 心理学研究法 心理学実験 I フィールド学習 (解決策の実行) 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験 II フィールド学習 (解決策の評価) 知覚・認知心理学
科目数	7	4	5	5
選択科目	社会学	法学 倫理学 環境論 神経・生理心理学	ストレス心理学 司法・犯罪心理学 社会心理学特講 心理学特講 V (キャリア実践演習)	心理学的支援法 人間関係論 メンタルヘルス論 心理学特講 V (キャリア実践演習)
科目数	1	4	4	4
科目数計	13	13	13	13

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
必修科目	データ解析 心理的アセスメント I 心理的アセスメント II 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	4	2	2	2
選択科目	関係行政論 障害者・障害児心理学 応用認知心理学	健康・医療心理学 産業・組織心理学 危機管理論 消費者心理学		
科目数	3	4	0	0
科目数計	8	7	3	3

心理学科 公認心理師受験資格取得 履修モデル
(心理支援専修+教育発達専修)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I SEITOKU Academic Literacy II 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 教養科目 教養科目
科目数	5	5	4	4
必修科目	心理学概論 心理学基礎講座 I 心理学基礎講座 II フィールド学習 (目標の設定) 社会・集団・家族心理学 I 社会・集団・家族心理学 II 感情・人格心理学	キャリアデザイン フィールド学習 (解決策の提案) 学習・言語心理学 発達心理学 I	心理統計法 心理学研究法 心理学実験 I フィールド学習 (解決策の実行) 臨床心理学概論	心理統計法演習 心理学調査法 心理学実験 II フィールド学習 (解決策の評価) 知覚・認知心理学
科目数	7	4	5	5
選択科目	社会学 精神疾患とその治療	環境論 神経・生理心理学 人体の構造と機能及び疾病 公認心理師の職責	司法・犯罪心理学 発達心理学 II 心理学特講 V (キャリア実践演習)	心理学的支援法 福祉心理学 教育心理学 心理学特講 V (キャリア実践演習)
科目数	2	4	3	4
科目数計	14	13	12	13

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
必修科目	データ解析 心理的アセスメント I 心理的アセスメント II 心理学ゼミ	データ解析演習 心理学特別ゼミ	卒業論文 心理学論文講読	卒業論文 心理学論文講読演習
科目数	4	2	2	2
選択科目	心理学英語講読 カウンセリング特講 関係行政論 心理実習 I	心理学英語演習 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 教育・学校心理学 産業・組織心理学 心理演習 心理実習 I 心理学特講 VI (心理学応用演習)	心理実習 II	心理実習 II
科目数	4	8	1	1
科目数計	9	10	4	4

社会福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30 単位以上、専門教育科目（B類）96 単位以上、計 126 単位以上です。
- ② 社会福祉コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
31	65	96

- ③ 社会福祉コースの専門教育科目（B類）については別表Ⅲ－10 の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 31 単位と選択科目から 65 単位以上を履修してください。
- ④ 高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅲ－13、14 に記載の通り履修してください（Ⅲ－14 の科目は卒業要件に算入できません）。
- ⑤ 養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅲ－15、16 に記載の通り履修してください（Ⅲ－16 の科目は卒業要件に算入できません）。
- ⑥ 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑦ 精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑧ 保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。
- なお、△印の付いている科目については、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）あるいは保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）いずれかの組合せを選択し履修してください。
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ－1、2、3、4、5 により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑪ 単位を修得した場合（成績表に S・A・B・C・N と表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考		
										1		2		3		4				
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	法学		2	○								○								
<input type="checkbox"/>	社会学		2	○	○	○							○							
<input type="checkbox"/>	倫理学		2	○								○								
<input type="checkbox"/>	環境論		2																	○
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅰ		2	○	○	○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅱ		2		○	○	○					○								
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅰ		2		○	○							○							
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅱ		2		○	○							○							
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅰ		2	○			○						○							
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅱ		2	○			○						○							
<input type="checkbox"/>	社会福祉演習	演	2	○										○	○					
<input type="checkbox"/>	卒業論文		3	○														○	○	
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅰ		2	○	○	○							○							
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅱ		2	○	○	○							○							
<input type="checkbox"/>	保健医療制度論		2		○															○
<input type="checkbox"/>	医療ソーシャルワーク論		2																	○
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職		2		○	○	○					○								
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)		2		○	○	○						○							
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2		○	○	○						○							
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2		○	○							○							
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2		○	○								○						
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2		○	○									○					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅰ		2										○							
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2										○							
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅠ	演	1	○									○							
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅡ	演	1	○									○							
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅰ		2					○					○							
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅱ		2										○							
<input type="checkbox"/>	保育者論		2						○				○							
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅰ	演	2					○					○							
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅱ	演	1						○				○							
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅰ		2											○						
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅱ	演	1											○						
<input type="checkbox"/>	福祉計画論		2																	○
<input type="checkbox"/>	社会福祉運営管理論		2		○									○						
<input type="checkbox"/>	社会福祉行財政論		2											○						
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅰ		2				○						○							
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅱ		2										○							
<input type="checkbox"/>	介護技術	演	1				○													○
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅰ		2	○	○	○	○	○					○							
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅱ		2		○								○							
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅰ		2		○	○									○					
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅱ		2		○	○										○				
<input type="checkbox"/>	公的扶助論		2		○										○					
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅰ		2		○	○	○						○							
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅱ		2		○	○								○						
<input type="checkbox"/>	障害児保育	演	2					○							○					
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅰ		2		○		○						○							
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅱ		2		○									○						
<input type="checkbox"/>	就労支援論		2												○					
<input type="checkbox"/>	更生保護制度論		2		○	○										○				
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅰ		2				○						○							
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅱ		2				○							○						
<input type="checkbox"/>	精神障害リハビリテーション論		2				○								○					
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉制度論		2				○									○				
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワーク演習	演	1		○										○					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅰ	演	1		○											○				
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅱ	演	2		○												○			
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1		○															○
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習	実	6		○		○										○	○		
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1		○		○									○				
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1		○		○										○			
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1		○		○													○

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1			○								○					
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅰ	演	1			○									○				
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅱ	演	1			○										○			
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅲ	演	1			○											○		
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1			○									○				
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1			○										○			
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1			○											○		
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習	実	5			○									○	○			
<input type="checkbox"/>	保育内容総論	演	1					○											健康
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅰ	演	1					○											健康
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅱ	演	1					○											人間関係
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅲ	演	1					○											人間関係
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅳ	演	1					○											環境
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅴ	演	1					○											環境
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅵ	演	1					○											環境
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅶ	演	1					○											言葉
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅷ	演	1					○											言葉
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅸ	演	1					○											音楽
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法Ⅹ	演	1					○											音楽
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法ⅩⅠ	演	1					○											造形
<input type="checkbox"/>	保育内容指導法ⅩⅡ	演	1					○											造形
<input type="checkbox"/>	保育課程論		2					○											
<input type="checkbox"/>	子育て支援	演	1					○											
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2					○											保育所実習(必修)
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅰ(施設)	実	2					○											施設実習(必修)
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2					△											保育所実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習Ⅲ(施設)	実	2					△											施設実習(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅰ	演	2					○											事前・事後指導(必修)
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1					△											事前・事後指導(選択)
<input type="checkbox"/>	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1					△											事前・事後指導(選択)
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅰ	実	2					○	○	○	○								音楽実技
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅱ	実	2					○											音楽実技
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅲ	演	1					○											音楽理論
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅳ	演	1					○											音楽理論
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅴ	演	1					○											図画工作
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅵ	演	1					○											図画工作
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅶ	演	1					○											専門体育
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅷ	演	1					○											専門体育
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅸ	演	1					○											児童文化
<input type="checkbox"/>	保育技能Ⅹ	演	1					○											児童文化
<input type="checkbox"/>	保育技能ⅩⅠ	演	1					○											児童文化
<input type="checkbox"/>	保育実践演習	演	2					○											児童文化
<input type="checkbox"/>	介護実習Ⅰ	実	2																
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅰ		2	○	○	○	○			○									
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅱ		2	○	○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅠ		2				○					○							
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅡ		2				○						○						
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅰ		2			○							○						
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅱ		2			○								○					
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅰ		2			○									○				
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅱ		2			○										○			
<input type="checkbox"/>	子どもの保健		2					○											
<input type="checkbox"/>	子どもの健康と安全	実	1					○											
<input type="checkbox"/>	養護概説		2							○									
<input type="checkbox"/>	学校保健Ⅰ		2							○									
<input type="checkbox"/>	学校保健Ⅱ		2							○									
<input type="checkbox"/>	健康相談活動		2							○									
<input type="checkbox"/>	健康科学		2							○									
<input type="checkbox"/>	衛生学		2							○									
<input type="checkbox"/>	公衆衛生学		2							○									
<input type="checkbox"/>	免疫学		2							○									
<input type="checkbox"/>	解剖生理学		2						○	○									

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	養護教諭	履修年次								備考
										1		2		3		4		
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	基礎看護		2						○	○								
<input type="checkbox"/>	小児看護		2						○	○								
<input type="checkbox"/>	成人看護		2						○	○								
<input type="checkbox"/>	学校救急看護		2						○		○							
<input type="checkbox"/>	精神看護		2						○			○						
<input type="checkbox"/>	看護実習	実	1						○				○					
<input type="checkbox"/>	精神保健		2						○			○						
<input type="checkbox"/>	母性保健		2						○					○				
<input type="checkbox"/>	心理学		2	○	○	○	○		○									
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2					○		○								
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援の心理学	演	2					○			○							
<input type="checkbox"/>	子どもの理解と援助	演	1					○				○						
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅰ		2							○								★
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅱ		2								○							★
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2									○						
<input type="checkbox"/>	家族援助論		2					○							○			
<input type="checkbox"/>	栄養学		2						○				○					
<input type="checkbox"/>	食品学		2						○				○					
<input type="checkbox"/>	子どもの食と栄養		2					○						○				
<input type="checkbox"/>	権利擁護と成年後見制度		2		○	○						○						
<input type="checkbox"/>	教育原理		2					○			○							★
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅰ		2												○			
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅱ		2													○		
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅲ		2													○		
	計			31	72	70	44	70	37									

備考欄の★の科目は、発達心理学Ⅰ＝発達心理学、教育心理学＝教育心理学、教育原理＝教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することが出来ます。

保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育士)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 社会福祉コース カリキュラムマップ

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
福祉の世界をのぞいてみよう	福祉の専門的知識を身につけよう	福祉の専門的知識を身につけよう	福祉の専門性を理解しよう	福祉の専門性を理解しよう	福祉の専門性を理解しよう	福祉の実践者としての総合力を高めよう	福祉の実践者としての総合力を高めよう
実践能力を養う							
社会福祉援助技術総論Ⅰ 保育技能Ⅰ 保育技能Ⅲ 保育内容総論	社会福祉援助技術総論Ⅱ 保育技能Ⅰ 保育技能Ⅳ 介護技術	ソーシャルワーク論Ⅰ 精神保健福祉相談援助の基礎(基礎) 保育技能Ⅰ 保育技能Ⅶ 保育内容指導法Ⅰ 保育内容指導法Ⅲ 保育内容指導法Ⅴ 保育内容指導法Ⅶ 保育の心理学Ⅱ	ソーシャルワーク論Ⅱ 精神保健福祉相談援助の基礎(専門) 保育技能Ⅰ 保育技能Ⅷ 保育内容指導法Ⅱ 保育内容指導法Ⅳ 保育内容指導法Ⅵ 保育内容指導法Ⅷ 保育の心理学Ⅱ	ソーシャルワーク論Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 児童児保育Ⅰ 保育技能Ⅱ、Ⅴ、Ⅹ 保育内容指導法Ⅷ、Ⅺ 子どもの食と栄養Ⅰ 子どもの保健Ⅲ	ソーシャルワーク論Ⅳ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助技術演習Ⅰ 障害児保育Ⅱ 保育技能Ⅱ、Ⅹ 保育相談支援 保育内容指導法Ⅹ、Ⅺ 子どもの食と栄養Ⅱ 社会福祉特論Ⅰ	卒業論文 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	卒業論文 社会福祉援助技術 現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ
学校保健Ⅰ 保育者論	看護概論 社会福祉学Ⅱ 介護概論Ⅱ 保健師論Ⅰ 保健師論Ⅱ 児童保育Ⅰ 保育の心理学Ⅰ	社会保健論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅰ 児童福祉論 乳児保育Ⅱ 学校給食と養育 障害福祉概論 社会福祉論 社会福祉行政論 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ 生徒指導論	社会保健論Ⅱ 高齢者福祉論Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 精神保健学Ⅱ 社会的養護 教育相談 障害福祉論Ⅱ 社会福祉運営管理論 精神保健福祉論Ⅱ 子どもの保健Ⅱ 障害児心理学 ここからからだのしくみⅡ	社会的養護内容 地域福祉論Ⅱ 福祉計画論 幼少児童論 母性保健 精神障害者の生活支援システム 保健医療制度論	更生保護制度論 地域福祉論Ⅱ 福祉計画論 母性保健 保健医療制度論		
社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ							
社会福祉学Ⅰ 心理学Ⅰ 医学一般Ⅰ 解剖生理学Ⅰ 基礎看護 健康科学	法学 心理学 倫理学 成人看護 医学一般Ⅱ 介護概論Ⅰ 発達心理学Ⅰ 教育原理 社会学 発達心理学Ⅱ	諸外国の社会福祉Ⅰ 児童福祉学Ⅰ 精神医学Ⅰ 教育心理学 食食品学 特別活動の指導法 精神看護 精神保健Ⅱ 社会調査Ⅱ 精神医学Ⅱ 公衆衛生学 教育課程論 衛生学	諸外国の社会福祉Ⅱ 児童福祉学Ⅱ 教育心理学 食食品学 特別活動の指導法 精神看護 精神保健Ⅱ 社会調査Ⅱ 精神医学Ⅱ 公衆衛生学 教育課程論 衛生学	連徳教育の指導法 栄養学	家族援助論 教育社会学	免疫学	環境論
学びの基礎を身につける	英語Ⅰ 情報活用演習(基礎) 基礎専門体育Ⅱ スポーツと健康Ⅰ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ
人間性を高める	SEITOKU Academic LiteracyⅠ 聖徳教育Ⅰ SEITOKU Academic LiteracyⅡ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 聖徳教育Ⅲ キャリアデザインⅠ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ
教育目標	1年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ	2年次 社会福祉の専門的知識を学ぶ	3年次 演習・実習を通して社会福祉専門職としての実践力を身につける	4年次 社会福祉専門職としての資質・能力を高める			

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 社会福祉コース SEITOKU Learning Outcomes

		1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
		福祉の世界をのぞいてみよう		福祉の専門的知識を身につけよう		福祉の専門性を理解しよう		福祉実践者としての総合力を高めよう	
実践能力を養う						他者と協働してより良い共生社会を築くための役割を示している	社会福祉実践等と政策の連関的な取り組みを説明できる		
対人援助・学校保健等の理論を学び、技能を身につける		対人援助等の基本的な支援方法を説明できる		福祉ニーズ等に応じた支援方法を説明できる		個人の尊厳を重視した支援ができる能力を示している	支援の展開にあたって多機関・多職種とのチームアプローチを理解し実践する能力を示している		
社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ		社会福祉実践に関わる理論・方法を説明できる		差別や社会的排除等の社会的問題を説明できる		福祉課題について解決策をブレイクセッションで示している			
社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ		社会福祉実践に関わる価値・倫理を説明できる		利用者・住民の特性をふまえた福祉課題を発見することができる					
学びの基礎を身につける		社会福祉の基礎的な基礎的な知識を有している		社会福祉実践に必要な教養を身につけている					
人間性を高める		建学の精神「和」について、説明することができる		社会の多様性を受け入れ、尊重することができる		情操豊かで円満な女性として振舞うことができる	あらゆる場面において「和」の精神を発揮することができる		
教育目標		1年次	2年次	3年次	4年次				
		社会福祉に関する基礎を学ぶ	社会福祉の専門的知識を学ぶ	演習・実習を通して社会福祉専門職としての実践力を身につける	社会福祉専門職としての資質・能力を高める				

学位授与の方針に掲げる学修成果

他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる

福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点をもち、個人としての福祉・教育ニーズにに応じたサービス提供を実践することができる

社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳を基本的な人権を尊重しながら福祉・教育課題を探求し課題解決策を提示することができる

確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉、精神保健福祉	ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	1	2	7	10
科目数計	9	11	16	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉、精神保健福祉	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I 地域福祉論 I 公的扶助論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーク演習 社会福祉援助技術演習 I 精神保健福祉援助演習 (基礎)	ソーシャルワークの理論と方法 (専門) II 地域福祉論 II 更生保護制度論 精神保健福祉制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III
科目数	8	9	6	5
科目数計	10	10	7	6

社会福祉学科 社会福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(社会福祉士・保育士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 幼保基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I 幼保基礎専門体育 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉士、 保育士	ソーシャルワークの基盤と専門職 保育原理 I 保育者論 保育内容総論 保育技能 I 保育技能 III	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) 乳児保育 I 保育技能 I 保育技能 IV 保育の心理学 I 教育原理	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 乳児保育 II 保育内容指導演法 I 保育内容指導演法 III 保育内容指導演法 V 保育内容指導演法 VII 保育課程論 保育技能 I 保育技能 V 保育技能 VII 子どもの保健 子ども家庭支援の心理学	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度 社会的養護 保育内容指導演法 II 保育内容指導演法 IV 保育内容指導演法 VI 保育内容指導演法 VIII 保育技能 I 保育技能 VI 保育技能 VIII 子どもの理解と援助
科目数	6	7	15	16
科目数計	14	16	23	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉士、 保育士	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I 地域福祉論 I 公的扶助論 社会福祉援助技術演習 I 社会的養護内容 障害児保育 I 保育内容指導演法 IX 保育内容指導演法 X I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習指導 I 保育技能 II 保育技能 IX 子どもの食と栄養 家族援助論 子どもの健康と安全	ソーシャルワークの理論と方法 (専門) II 地域福祉論 II 更正保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 障害児保育 II 保育内容指導演法 X 保育内容指導演法 X II 保育相談支援 保育実習 II または III 保育実習指導 II または III 保育技能 II 保育技能 X	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 保育技能 II 保育技能 X I	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 保育技能 II 保育実践演習
科目数	17	13	5	5
科目数計	19	14	6	6

社会福祉学科 社会福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(社会福祉士・養護教諭 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
社会福祉士、 養護教諭	ソーシャルワークの基盤と専門職 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) 養護概説 小児看護 成人看護	社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 生徒指導論	社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度 学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談
科目数	4	5	13	16
科目数計	12	14	22	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
社会福祉士、 養護教諭	保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習 I 看護実習 発達心理学 道德教育の研究 養護実習	ソーシャルワークの理論と方法 (専門) II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I 母性保健 教育社会学	社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 免疫学	社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 教職実践演習 (養護教諭)
科目数	9	7	4	4
科目数計	11	8	5	5

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目 履修要項

- ① **卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30 単位以上、専門教育科目（B類）96 単位以上、計 126 単位以上です。**
- ② 介護福祉コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
31	65	96

- ③ 介護福祉コースの専門教育科目（B類）については別表Ⅲ－11 の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 31 単位と選択科目から 65 単位以上を履修してください。
- ④ 介護福祉士受験資格を取得しようとする者は、介護福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑤ 高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅲ－13、14 に記載の通り履修してください（Ⅲ－14 の科目は卒業要件に算入できません）。
- ⑥ 養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅲ－15、16 に記載の通り履修してください（Ⅲ－16 の科目は卒業要件に算入できません）。
- ⑦ 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑧ 精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ－1、2、3、4、5 により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑪ 単位を修得した場合（成績表に S・A・B・C・N と表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	介護福祉士	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	養護教諭	履修年次								備考		
										1		2		3		4				
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	法学		2	○	○						○									
<input type="checkbox"/>	社会学		2	○	○	○	○					○								
<input type="checkbox"/>	倫理学		2	○	○						○									
<input type="checkbox"/>	環境論		2																	○
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅰ		2	○	○	○	○	○		○										
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅱ		2			○	○	○			○									
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅰ		2			○	○					○								
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅱ		2			○	○					○								
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅰ		2	○				○				○								
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅱ		2	○				○					○							
<input type="checkbox"/>	社会福祉演習	演	2	○										○	○					
<input type="checkbox"/>	卒業論文		3	○															○	○
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅰ		2	○	○	○	○					○								
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅱ		2	○		○	○						○							
<input type="checkbox"/>	保健医療制度論		2			○								○						
<input type="checkbox"/>	医療ソーシャルワーク論		2																	○
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職		2			○	○	○		○										
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)		2			○		○			○									
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2			○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2			○	○						○							
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2			○	○							○						
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2			○	○								○					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅰ		2		○					○										
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2								○									
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅠ	演	1	○						○										
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅡ	演	1	○							○									
<input type="checkbox"/>	福祉計画論		2																	○
<input type="checkbox"/>	社会福祉運営管理論		2			○								○						
<input type="checkbox"/>	社会福祉行財政論		2										○							
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅰ		2		○			○		○										
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅱ		2		○					○										
<input type="checkbox"/>	介護福祉専門職論Ⅰ		2		○														○	
<input type="checkbox"/>	介護福祉専門職論Ⅱ		2		○								○							
<input type="checkbox"/>	介護福祉専門職論Ⅲ		2		○									○						
<input type="checkbox"/>	セーフティマネジメント論		2		○								○							
<input type="checkbox"/>	介護技術	演	1					○												○
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅰ	演	1		○					○										
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅱ	演	1		○						○									
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅲ	演	1		○					○										
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅳ	演	1		○						○									
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅴ	演	1		○							○								
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅵ	演	1		○								○							
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅶ	演	1		○							○								
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅷ	演	1		○								○							
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅸ	演	1		○									○						
<input type="checkbox"/>	生活支援技術Ⅹ	演	1		○										○					
<input type="checkbox"/>	介護におけるコミュニケーションの基本Ⅰ	演	1		○					○										
<input type="checkbox"/>	介護におけるコミュニケーションの基本Ⅱ	演	1		○						○									
<input type="checkbox"/>	介護過程Ⅰ	演	1		○								○							
<input type="checkbox"/>	介護過程Ⅱ	演	1		○									○						
<input type="checkbox"/>	介護過程Ⅲ	演	1		○										○					
<input type="checkbox"/>	介護事例研究Ⅰ	演	1		○											○				
<input type="checkbox"/>	介護事例研究Ⅱ	演	1		○												○			
<input type="checkbox"/>	介護福祉管理論	演	1		○												○			
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅰ		2	○	○	○		○					○							
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅱ		2			○	○						○							
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅰ		2			○	○							○						
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅱ		2			○	○								○					
<input type="checkbox"/>	公的扶助論		2		※	○	○							○						※下記参照
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅰ		2		○	○	○	○					○							
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅱ		2		○	○	○						○							
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅰ		2		○	○		○					○							
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅱ		2		○	○							○							
<input type="checkbox"/>	就労支援論		2											○						
<input type="checkbox"/>	更生保護制度論		2			○	○								○					
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅰ		2				○						○							
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅱ		2				○							○						
<input type="checkbox"/>	精神障害リハビリテーション論		2				○								○					
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉制度論		2				○									○				
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワーク演習	演	1			○								○						

社会福祉学科 介護福祉コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-11

チ エ ッ ク 欄	授業科目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	介 護 福 祉 士	社 会 福 祉 士	精 神 保 健	高 一 免 (福 祉)	養 護 教 諭	履修年次								備 考				
										1		2		3		4						
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅰ	演	1			○																
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅱ	演	2			○																◎
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1			○																○
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習	実	6			○		○														○
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1			○		○														
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1			○		○														○
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1			○		○														○
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習(基礎)	演	1				○				○											
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅰ	演	1				○					○										
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅱ	演	1				○															○
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助演習Ⅲ	演	1				○															○
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1				○						○									
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1				○															○
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1				○															○
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉援助実習	実	5				○															○
<input type="checkbox"/>	介護実習Ⅰ	実	2		○				○													
<input type="checkbox"/>	介護実習Ⅱ	実	2		○					○	○											
<input type="checkbox"/>	介護実習Ⅲ	実	2		○						○	○										
<input type="checkbox"/>	介護実習Ⅳ	実	4		○							○										
<input type="checkbox"/>	介護総合演習Ⅰ	演	1		○							○										
<input type="checkbox"/>	介護総合演習Ⅱ	演	1		○							○										
<input type="checkbox"/>	介護総合演習Ⅲ	演	1		○								○									
<input type="checkbox"/>	介護総合演習Ⅳ	演	1		○									○								
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅰ		2	○	○	○	○	○		○												
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅱ		2	○	○	○	○	○			○											
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅠ		2		○	○		○				○										
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅡ		2		○	○		○					○									
<input type="checkbox"/>	医療的ケアⅠ		2		○	○							○									
<input type="checkbox"/>	医療的ケアⅡ		2		○	○							○									
<input type="checkbox"/>	医療的ケアⅢ		2		○	○								○								
<input type="checkbox"/>	医療的ケアⅣ	演	1		○									○								
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅰ		2				○						○									
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅱ		2				○						○									
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅰ		2				○						○									
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅱ		2				○						○									
<input type="checkbox"/>	養護概説		2						○			○										
<input type="checkbox"/>	学校保健Ⅰ		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	学校保健Ⅱ		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	健康相談活動		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	健康科学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	衛生学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	公衆衛生学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	免疫学		2						○	○												○
<input type="checkbox"/>	解剖生理学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	基礎看護		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	小児看護		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	成人看護		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	学校救急看護		2						○	○				○								
<input type="checkbox"/>	精神看護		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	看護実習	実	1						○	○				○	○							
<input type="checkbox"/>	精神保健		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	母性保健		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	心理学		2	○	○	○	○	○		○												
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅰ		2								○											★
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅱ		2									○										★
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2										○									★
<input type="checkbox"/>	高齢者の心理		2			○							○									
<input type="checkbox"/>	障害者の心理		2			○							○									
<input type="checkbox"/>	家族援助論		2			○																
<input type="checkbox"/>	栄養学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	食品学		2						○	○												
<input type="checkbox"/>	権利擁護と成年後見制度		2				○	○					○									
<input type="checkbox"/>	教育原理		2																			★
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅰ		2																			
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅱ		2																			○
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅲ		2																			○
	計				31	87	72	70	44	37												

I ~1 デイサービス
I ~2 特別養護老人ホーム
II 障害者支援施設
III 介護老人保健施設
IV 特別養護老人ホーム

備考欄の★の科目は、発達心理学Ⅰ＝発達心理学、教育心理学＝教育心理学、教育原理＝教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することができます。

※「公的扶助論」生活保護法等重要な法案を学ぶ必要があるため、可能な限り履修してください。

【授業の方法】演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース カリキュラムマップ

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
福祉・介護の世界をのぞいてみよう		福祉・介護の専門的知識を身につけよう		福祉・介護の専門性を理解しよう		福祉・介護教職実践者としての総合力を高めよう	
実践能力を養う	介護におけるコミュニケーションの基本Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 介護技術	介護総合演習Ⅰ 介護実習Ⅰ～1 (デイサービス) 介護実習Ⅰ～2 (特別養護老人ホーム)	介護総合演習Ⅱ 介護実習Ⅱ (障害者支援施設) 介護実習Ⅲ (介護老人保健施設)	社会福祉演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅳ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅴ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅵ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅶ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅷ (特別養護老人ホーム)	社会福祉演習Ⅳ 介護総合演習Ⅴ 介護実習Ⅴ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅵ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅶ (特別養護老人ホーム) 介護実習Ⅷ (特別養護老人ホーム)	卒業論文 社会福祉援助技術 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習Ⅳ 社会福祉援助技術現場実習Ⅴ 社会福祉援助技術現場実習Ⅵ 社会福祉援助技術現場実習Ⅶ	卒業論文 社会福祉援助技術 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習Ⅳ 社会福祉援助技術現場実習Ⅴ 社会福祉援助技術現場実習Ⅵ 社会福祉援助技術現場実習Ⅶ
対人援助・学校保健等の理論を教ける技能を身につける	介護におけるコミュニケーションの基本Ⅱ 社会福祉援助技術総論Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ 生活支援技術Ⅴ 介護技術	ソーシャルワーク論Ⅰ 精神保健福祉相談援助の基礎 (基礎) 生活支援技術Ⅴ 生活支援技術Ⅵ 生活支援技術Ⅶ 生活支援技術Ⅷ	介護過程Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 精神保健福祉相談援助の基礎 (専門) 生活支援技術Ⅵ 生活支援技術Ⅶ 生活支援技術Ⅷ	介護過程Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基礎 (実践) 生活支援技術Ⅵ 生活支援技術Ⅶ 生活支援技術Ⅷ	介護過程Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ 精神保健福祉相談援助の基礎 (発展) 生活支援技術Ⅵ 生活支援技術Ⅶ 生活支援技術Ⅷ	介護事例研究Ⅰ 介護事例研究Ⅱ	介護事例研究Ⅰ 介護事例研究Ⅱ
社会福祉・学校保健の専門的知識を学ぶ	介護福祉専門論Ⅰ 学校保健Ⅰ 養護概説	介護福祉専門論Ⅱ 学校保健Ⅱ 社会福祉学Ⅱ	ヤープティマネシステム論 社会保健論Ⅱ 高齢者福祉論Ⅱ 精神保健学Ⅱ 教育相談 学校救急看護 精神保健学Ⅱ 社会福祉運営管理論 精神保健福祉論Ⅱ 学校保健Ⅱ 障害児心理学	医療的ケアⅠ～1, 2 医療的ケアⅡ 地域福祉論Ⅰ 公的扶助論 労務支援論 精神障害者の生活支援システム	保健医療制度論 更生保護制度論 地域福祉論Ⅱ 福祉計画論 母性保健		
社会福祉・学校保健の基礎となる知識を学ぶ	介護福祉論Ⅰ 心理学 倫理学 医学一般Ⅰ 社会福祉学Ⅰ 基礎看護 基礎心理学 健康科学	法學 精神医学Ⅰ 教育心理学 食品学 特別活動の指導法 精神看護 精神保健 社会調査法Ⅱ 精神医学Ⅱ 公衆衛生学 教育課程論 障害者の心理 衛生学	諸外国の社会福祉Ⅱ 児童福祉学Ⅱ 児童心理学 教育心理学 食品学 特別活動の指導法 精神看護 精神保健 社会調査法Ⅱ 精神医学Ⅱ 公衆衛生学 教育課程論 障害者の心理 衛生学	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ
学びの基礎を身につける	英語Ⅰ 情報活用演習 (基礎) スポーツと健康Ⅰ	英語Ⅱ 情報活用演習 (教職) スポーツと健康Ⅱ	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ 英語Ⅷ
人間性を高める	SEITOKU Academic LiteracyⅠ SEITOKU Academic LiteracyⅡ 聖徳教育Ⅲ～2 キャリアデザインⅠ	聖徳教育Ⅰ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 聖徳教育Ⅳ～2 キャリアデザインⅡ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ 聖徳教育Ⅴ 聖徳教育Ⅵ 聖徳教育Ⅶ 聖徳教育Ⅷ 聖徳教育Ⅸ 聖徳教育Ⅹ 聖徳教育Ⅺ 聖徳教育Ⅻ 聖徳教育Ⅼ 聖徳教育Ⅽ 聖徳教育Ⅾ 聖徳教育Ⅿ 聖徳教育ⅰ 聖徳教育ⅱ 聖徳教育ⅲ 聖徳教育ⅴ 聖徳教育ⅵ 聖徳教育ⅶ 聖徳教育ⅷ 聖徳教育ⅸ 聖徳教育ⅹ 聖徳教育ⅺ 聖徳教育ⅻ 聖徳教育ⅼ 聖徳教育ⅽ 聖徳教育ⅾ 聖徳教育ⅿ 聖徳教育ⅿ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ 聖徳教育Ⅴ 聖徳教育Ⅵ 聖徳教育Ⅶ 聖徳教育Ⅷ 聖徳教育Ⅸ 聖徳教育Ⅹ 聖徳教育Ⅺ 聖徳教育Ⅻ 聖徳教育Ⅼ 聖徳教育Ⅽ 聖徳教育Ⅾ 聖徳教育Ⅿ 聖徳教育ⅰ 聖徳教育ⅱ 聖徳教育ⅲ 聖徳教育ⅴ 聖徳教育ⅵ 聖徳教育ⅶ 聖徳教育ⅷ 聖徳教育ⅸ 聖徳教育ⅹ 聖徳教育ⅺ 聖徳教育ⅻ 聖徳教育ⅼ 聖徳教育ⅽ 聖徳教育ⅾ 聖徳教育ⅿ 聖徳教育ⅿ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ 聖徳教育Ⅴ 聖徳教育Ⅵ 聖徳教育Ⅶ 聖徳教育Ⅷ 聖徳教育Ⅸ 聖徳教育Ⅹ 聖徳教育Ⅺ 聖徳教育Ⅻ 聖徳教育Ⅼ 聖徳教育Ⅽ 聖徳教育Ⅾ 聖徳教育Ⅿ 聖徳教育ⅰ 聖徳教育ⅱ 聖徳教育ⅲ 聖徳教育ⅴ 聖徳教育ⅵ 聖徳教育ⅶ 聖徳教育ⅷ 聖徳教育ⅸ 聖徳教育ⅹ 聖徳教育ⅺ 聖徳教育ⅻ 聖徳教育ⅼ 聖徳教育ⅽ 聖徳教育ⅾ 聖徳教育ⅿ 聖徳教育ⅿ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ 聖徳教育Ⅴ 聖徳教育Ⅵ 聖徳教育Ⅶ 聖徳教育Ⅷ 聖徳教育Ⅸ 聖徳教育Ⅹ 聖徳教育Ⅺ 聖徳教育Ⅻ 聖徳教育Ⅼ 聖徳教育Ⅽ 聖徳教育Ⅾ 聖徳教育Ⅿ 聖徳教育ⅰ 聖徳教育ⅱ 聖徳教育ⅲ 聖徳教育ⅴ 聖徳教育ⅵ 聖徳教育ⅶ 聖徳教育ⅷ 聖徳教育ⅸ 聖徳教育ⅹ 聖徳教育ⅺ 聖徳教育ⅻ 聖徳教育ⅼ 聖徳教育ⅽ 聖徳教育ⅾ 聖徳教育ⅿ 聖徳教育ⅿ
教育目標	社会福祉・介護福祉に関する基礎を学ぶ	社会福祉・介護福祉の専門的知識を学ぶ	2年次 社会福祉・介護福祉の専門的知識を学ぶ	3年次 演習・実習を通して社会福祉・介護福祉専門職としての実践力を身につける	3年次 演習・実習を通して社会福祉・介護福祉専門職としての実践力を身につける	4年次 社会福祉・介護福祉専門職としての資質・能力を高める	4年次 社会福祉・介護福祉専門職としての資質・能力を高める

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 介護福祉コース SEITOKU Learning Outcomes

	1 年次春学期 福祉の世界をのぞいてみよう	2 年次春学期 福祉の専門的知識を身につけよう	3 年次春学期 福祉の専門性を理解しよう	4 年次春学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	学位授与の方針に 掲げる学修成果
実践能力を養う			他者と協働してより良い共生社会を築くための役割を示している	介護福祉実践と政策の連関的な取組みを説明できる	他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる
対人援助・学校保健等の理論を学び、技能を身につける	対人援助等の基本的な支援方法を説明できる	介護福祉ニーズに応じた支援方法を説明できる	個人の尊厳を重視した支援ができる能力を示している	支援の展開にあたって多機関・多職種とのチームアプローチを理解し実践する能力を示している	福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個人の福祉・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる
社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ	社会福祉実践に関わる理論・方法を説明できる	差別や社会的排除等の社会的問題を説明できる	介護福祉課題について解決策をブレンディングすることができ		社会福祉学の専門的な理論・知識を習得し、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら福祉・教育課題を探索し課題解決策を提示することができる
社会福祉・学校保健の基礎となる知識を学ぶ	介護福祉実践に関わる価値・倫理を説明できる	利用者の特性をふまえた介護福祉課題を発見することができる			確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている
学びの基礎を身につける	介護福祉の基礎的な基礎的な知識を有している	介護福祉実践に必要な教養を身につけている			
人間性を高める	建学の精神「和」について、説明することができる	社会の多様性を受け入れ、尊重することができる	情報豊かで円満な女性として振舞うことができる	あらゆる場面において「和」の精神を発揮することができる	
教育目標	1 年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ	2 年次 社会福祉の専門的知識を学ぶ	3 年次 演習・実習を通して社会福祉専門職としての実践力を身につける	4 年次 社会福祉専門職としての資質・能力を高める	

社会福祉学科 介護福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(介護福祉士・社会福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉士、社会福祉士	介護概論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II ソーシャルワークの基盤と専門職 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 高齢者の心理 社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	6	9	10	15
科目数計	14	18	19	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉士、社会福祉士	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III ソーシャルワークの理論と方法 (専門) II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I	介護事例研究 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III 社会福祉援助技術総論 II
科目数	12	12	5	5
科目数計	14	13	6	6

社会福祉学科 介護福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(介護福祉士・精神保健福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科 必修 科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉士、 精神保健福祉 士	介護概論 I 介護福祉専門職論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II 介護におけるコミュニケーションの基本 I	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII 介護におけるコミュニケーションの基本 II 高齢者の心理 社会福祉学 II	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 社会保障論 II 障害福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	5	8	12	15
科目数計	13	17	21	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉士、 精神保健福祉 士	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 地域福祉論 I 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉援助演習 (基礎)	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III 地域福祉論 II 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I 更生保護制度論	介護事例研究 I 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III 社会福祉援助技術総論 II
科目数	10	13	5	4
科目数計	12	14	6	5

社会福祉学科 介護福祉コース 免許・資格取得履修モデル
(介護福祉士・養護教諭 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
介護福祉士、 養護教諭	介護概論 I 生活支援技術 I 生活支援技術 II <small>介護におけるコミュニケーションの基本 I</small> 社会福祉援助技術総論 I 学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	介護概論 II 介護福祉専門職論 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV 生活支援技術 VII <small>介護におけるコミュニケーションの基本 II</small> 高齢者の心理 養護概説 小児看護 成人看護	障害福祉論 I 高齢者福祉論 I 介護福祉専門職論 III 生活支援技術 V 生活支援技術 VI 介護実習 I 介護総合演習 I こころとからだのしくみ I 社会保障論 I 健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 <small>教育方法・情報通信技術活用論</small> 生徒指導論	セーフティマネジメント論 高齢者福祉論 II 生活支援技術 VIII 生活支援技術 IX 介護過程 I 介護実習 I 介護総合演習 II こころとからだのしくみ II 障害者の心理 学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談
科目数	8	10	18	18
科目数計	16	19	27	25

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
介護福祉士、 養護教諭	生活支援技術 X 介護過程 II 介護実習 II 介護実習 III 介護総合演習 III 医療的ケア I ~ 1 医療的ケア I ~ 2 看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習	介護過程 III 介護実習 II 介護実習 III 介護実習 IV 介護総合演習 IV 医療的ケア II 医療的ケア III 母性保健 教育社会学	介護事例研究 I 免疫学 社会福祉援助技術総論 I	介護事例研究 II 教職実践演習 (養護教諭) 社会福祉援助技術総論 II
科目数	11	9	3	4
科目数計	13	10	4	5

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30 単位以上、専門教育科目（B類）96 単位以上、計 126 単位以上です。
- ② 養護教諭コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
31	65	96

- ③ 養護教諭コースの専門教育科目（B類）については別表Ⅲ-12 の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 31 単位と「養護教諭」欄に○印の付いている科目 37 単位を含み 65 単位以上を履修してください。
- ④ 養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、専門教育科目（B類）に記載の養護教諭欄に○印のある科目と、別表Ⅲ-16 の教職に関する科目を併せて履修してください。さらに、別表Ⅲ-15 に記載のとおり履修してください。なお、別表Ⅲ-16 の教職に関する科目の単位は、専門教育科目（B類）の選択科目の単位に計上することができます。
- ⑤ 高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする者は、高一免（福祉）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅲ-13, 14 に記載の通り履修してください（Ⅲ-14 の科目は卒業要件に算入できません）。
- ⑥ 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑦ 精神保健福祉士受験資格を取得しようとする者は、精神保健欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑧ 保育士の資格を取得しようとする者は、保育士欄に○印と△印の付いている科目を履修してください。
- なお、△印の付いている科目については、保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習指導Ⅱ（保育所）あるいは保育実習Ⅲ（施設）・保育実習指導Ⅲ（施設）いずれかの組合せを選択し履修してください。
- ⑨ 准学校心理士を取得しようとする者は、教員免許または保育士資格を取得のうえ、申請が必要になります。詳細は、別途オリエンテーションで説明します。
- ⑩ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表Ⅷ-1、2、3、4、5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑪ 単位を修得した場合（成績表に S・A・B・C・N と表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-12

チエック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	養護教諭	社会福祉士	精神保健	高一免(福祉)	保育士	履修年次								備考		
										1		2		3		4				
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	法学		2	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	社会学		2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	倫理学		2	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	環境論		2																<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅰ		2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>														
<input type="checkbox"/>	社会福祉学Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	社会保障論Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅰ		2	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	諸外国の社会福祉Ⅱ		2	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	社会福祉演習	演	2	<input type="checkbox"/>									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	卒業論文		3	<input type="checkbox"/>														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅰ		2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	社会調査法Ⅱ		2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	保健医療制度論		2			<input type="checkbox"/>									<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>	医療ソーシャルワーク論		2															<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職		2			<input type="checkbox"/>														
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅰ		2							<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術総論Ⅱ		2								<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅠ		1	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	キャリアデザインⅡ		1	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅰ		2						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	保育原理Ⅱ		2							<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	保育者論		2						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅰ		2						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	乳児保育Ⅱ	演	1						<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅰ		2						<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	社会的養護Ⅱ	演	1						<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	福祉計画論		2												<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>	社会福祉運営管理論		2			<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	社会福祉行財政論		2									<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅰ		2					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
<input type="checkbox"/>	介護概論Ⅱ		2							<input type="checkbox"/>										
<input type="checkbox"/>	介護技術	演	1					<input type="checkbox"/>										<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅰ		2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	児童福祉学Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	地域福祉論Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	公的扶助論		2			<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	障害福祉論Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	障害児保育	演	2						<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅰ		2			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅱ		2			<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	就労支援論		2											<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	更生保護制度論		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅰ		2				<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉の原理Ⅱ		2				<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>	精神障害リハビリテーション論		2				<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>	精神保健福祉制度論		2				<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワーク演習	演	1			<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅰ	演	1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅱ	演	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術演習Ⅲ	演	1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習	実	6			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												<input type="checkbox"/>	

社会福祉学科 養護教諭コース 専門教育科目(B類)

別表Ⅲ-12

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	養護教諭	社会福祉士	精神保健	高1免(福祉)	保育士	履修年次								備考	
										1		2		3		4			
										春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅰ		2	○		○	○	○		○									
<input type="checkbox"/>	医学一般Ⅱ		2	○		○	○	○			○								
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅠ		2					○			○								
<input type="checkbox"/>	こころとからだのしくみⅡ		2					○			○								
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅰ		2				○				○								
<input type="checkbox"/>	精神医学Ⅱ		2				○				○								
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅰ		2				○				○								
<input type="checkbox"/>	精神保健学Ⅱ		2				○				○								
<input type="checkbox"/>	子どもの保健		2						○		○								
<input type="checkbox"/>	子どもの健康と安全	実	1						○			○							
<input type="checkbox"/>	心理学		2	○		○	○	○		○									
<input type="checkbox"/>	保育の心理学		2						○		○								
<input type="checkbox"/>	子ども家庭支援の心理学	演	2						○		○								
<input type="checkbox"/>	子どもの理解と援助	演	1						○			○							
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅰ		2								○								★
<input type="checkbox"/>	発達心理学Ⅱ		2								○								★
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2								○								★
<input type="checkbox"/>	家族援助論		2						○				○						
<input type="checkbox"/>	子どもの食と栄養		2						○			○							
<input type="checkbox"/>	権利擁護と成年後見制度		2			○	○				○								
<input type="checkbox"/>	教育原理		2						○		○								★
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅰ		2											○					
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅱ		2													○			
<input type="checkbox"/>	社会福祉学特論Ⅲ		2													○			
	計			31	37	72	70	44	70										

備考欄の★の科目は、発達心理学Ⅰ＝発達心理学、教育心理学＝教育心理学、教育原理＝教育基礎論の教職関係科目の単位として充当することが出来ます。

保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育士)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組合せを選択すること。

【授業の方法】演:演習、実:実験・実習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。◎印は開講時期に週2コマの授業があることをさす。

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 養護教諭コース SEITOKU Learning Outcomes

		1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
		福祉の世界をのぞいてみよう		福祉の専門的知識を身につけよう		福祉の専門性を理解しよう		福祉実践者としての総合力を高めよう	
実践能力を養う						他者と協働してより良い共生社会を築くための役割を示している		学校保健と政策の連関的な取り組みを説明できる	
対人援助・学校保健等の理論を学び、技能を身につける	学校保健等の基本的な支援方法を説明できる			教育ニーズに応じた支援方法を説明できる		個人の尊厳を重視した支援ができる能力を示している		支援の展開にあたって多機関・多職種とのチームアプローチを理解し実践する能力を示している	
社会福祉・学校保健の専門的な知識を学ぶ	学校保健に関わる理論・方法を説明できる			差別や社会的排除等の社会的問題を説明できる		教育課題について解決策をプロシゼンテーションすることができる			
社会福祉・学校保健の基礎的な知識を学ぶ	学校保健に関わる価値・倫理を説明できる			児童・生徒の特性をふまえた教育課題を発見することができる					
学びの基礎を身につける	教育・福祉の基礎的な知識を有している			学校保健に必要な教養を身につけている					
人間性を高める	建学の精神「和」について、説明することができる			社会の多様性を受け入れ、尊重することができる		情操豊かで円満な女性として振舞うことができる		あらゆる場面において「和」の精神を発揮することができる	
教育目標	1年次 社会福祉に関する基礎を学ぶ	2年次 社会福祉の専門的知識を学ぶ		3年次 演習・実習を通して社会福祉専門職としての実践力を身につける		4年次 社会福祉専門職としての資質・能力を高める			
		1年次春学期 福祉の世界をのぞいてみよう		2年次春学期 福祉の専門的知識を身につけよう		3年次春学期 福祉の専門性を理解しよう		4年次春学期 福祉実践者としての総合力を高めよう	
		学位授与の方針に掲げる学修成果		他業種間の連携を図り、地域社会づくりや福祉社会づくりなど社会貢献ができる		福祉・教育の実践場面で女性の立場から生活の視点を持ち、個人・多職種・教育ニーズに応じたサービス提供を実践することができる		社会福祉学の専門的な理論・知識・態度を習得し、個人の尊厳と基本的人権を尊重しながら福祉・教育課題を探求し課題解決策を提示することができる	
		確かな人間性を有し福祉・教育の実践者としての資質を兼ね備えている							

社会福祉学科 養護教諭コース 免許・資格取得履修モデル
(養護教諭・社会福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
養護教諭、社会福祉士	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護 ソーシャルワークの基盤と専門職	養護概説 小児看護 成人看護 社会福祉学 II ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 生徒指導論 社会保障論 I ソーシャルワークの理論と方法 I 障害福祉論 I 高齢者福祉論 I	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II ソーシャルワークの理論と方法 II 社会福祉運営管理論 児童福祉学 II 障害福祉論 II 高齢者福祉論 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	4	5	13	16
科目数計	12	14	22	23

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
養護教諭、社会福祉士	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 保健医療制度論 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) I 地域福祉論 I 公的扶助論 ソーシャルワーク演習	母性保健 教育社会学 ソーシャルワークの理論と方法 (専門) II 地域福祉論 II 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術現場実習指導 I	免疫学 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 II	教職実践演習 (養護教諭) 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 III
科目数	9	7	4	4
科目数計	11	8	5	5

社会福祉学科 養護教諭コース 免許・資格取得履修モデル
(養護教諭・精神保健福祉士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I スポーツと健康 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
養護教諭、 精神保健福祉士	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護	養護概説 小児看護 成人看護 社会福祉学 II	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 生徒指導論 社会保障論 I 障害福祉論 I 精神保健福祉の原理 I 精神医学 I 精神保健学 I	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II 障害福祉論 II 精神保健福祉の原理 II 精神医学 II 精神保健学 II 権利擁護と成年後見制度
科目数	3	4	14	15
科目数計	11	13	23	22

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
養護教諭、 精神保健福祉士	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 地域福祉論 I 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉援助演習 (基礎)	母性保健 教育社会学 地域福祉論 II 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習 I 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 I 更生保護制度論	免疫学 精神保健福祉援助演習 II 精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導 II	教職実践演習 (養護教諭) 精神保健福祉援助演習 III 精神保健福祉援助実習指導 III
科目数	7	8	4	3
科目数計	9	9	5	4

社会福祉学科 養護教諭コース 免許・資格取得履修モデル
(養護教諭・保育士 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 幼保基礎専門体育 I 情報活用演習 (基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 英語 II 第2外国語 I 幼保基礎専門体育 II 教養科目 教養科目	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 第2外国語 II 教養科目 教養科目	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 第2外国語 III 教養科目 教養科目
科目数	4	6	5	5
学科必修科目	社会福祉学 I キャリアデザイン I 医学一般 I 心理学	法学 キャリアデザイン II 医学一般 II	社会学 諸外国の社会福祉 I 社会調査法 I 児童福祉学 I	諸外国の社会福祉 II 社会調査法 II
科目数	4	3	4	2
養護教諭、 保育士	学校保健 I 解剖生理学 基礎看護 社会福祉援助技術総論 I 保育原理 I 保育者論 保育内容総論 保育技能 I 保育技能 III	養護概説 小児看護 成人看護 乳児保育 I 保育技能 I 保育技能 IV 保育の心理学 教育原理	健康科学 衛生学 学校救急看護 精神保健 栄養学 教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 生徒指導論 乳児保育 II 保育内容指導法 I 保育内容指導法 III 保育内容指導法 V 保育内容指導法 VII 保育課程論 保育技能 I 保育技能 V 保育技能 VII 子どもの保健 子ども家庭支援の心理学	学校保健 II 健康相談活動 公衆衛生学 精神看護 食品学 障害児心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 社会保障論 II 保育内容指導法 II 保育内容指導法 IV 保育内容指導法 VI 保育内容指導法 VIII 保育技能 I 保育技能 VI 保育技能 VIII 子どもの健康と安全 子どもの理解と援助
科目数	9	8	20	19
科目数計	17	17	29	26

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	第2外国語 IV			
科目数	1	0	0	0
学科必修科目	社会福祉演習	社会福祉演習	卒業論文	卒業論文
科目数	1	1	1	1
養護教諭、 保育士	看護実習 発達心理学 道徳教育の研究 養護実習 社会福祉援助技術演習 I 社会的養護内容 障害児保育 I 保育内容指導法 IX 保育内容指導法 X I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設) 保育実習指導 I 保育技能 II 保育技能 IX 子どもの食と栄養 家族援助論 子どもの健康と安全	母性保健 教育社会学 社会福祉援助技術演習 I 障害児保育 II 保育内容指導法 X 保育内容指導法 X II 保育相談支援 保育実習 II または III 保育実習指導 II または III 保育技能 II 保育技能 X	免疫学 保育技能 II 保育技能 X I	教職実践演習 (養護教諭) 保育技能 II 保育実践演習
科目数	17	12	3	3
科目数計	19	13	4	4

教職課程履修について〔高等学校教諭一種免許状 福祉〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅲ－13

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	要 履 な 修 科 目 が 必	履修年次								備 考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●								春学期または秋学期に開講 保育士履修者は「基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ」で充当します。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○									

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の高免(福祉)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表Ⅲ－14

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	要 履 な 修 科 目 が 必	履修年次								備 考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	福祉科教育法Ⅰ	演	2	○					○					
<input type="checkbox"/>	福祉科教育法Ⅱ	演	2	○						○				
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○									○	
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○								○		
	計		31	31										

[注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

教職課程履修について〔養護教諭一種免許状〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許状」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅲ－15

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修な科目が必	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○										保育士履修者は「基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ」で充当します。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○										

2. 「専門教育科目」の履修について

「養護に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別に係わり無く、下記のとおり履修してください。

○養護に関する科目

社会福祉学科各コースの専門教育科目(B類)に記載の養護教諭一種欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の養護に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表Ⅲ－16

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修な科目が必	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○						○					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	道德教育の指導法		2	○					○						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○					○						
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導論		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○					○						
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(養護教諭)	演	2	○										○	
<input type="checkbox"/>	養護実習	実	5	○						○					
	計		31	31											

[注] 1. 養護教諭一種免許状を取得する者は、○印を付された科目全部と△印を付された科目より1科目を履修しなければならない。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

文学部 文学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部文学科は、特色ある複数学科を統合し、2013年に新たな学部として誕生しました。いつの時代においても普遍的な理念である聖徳太子の「和」の精神を建学理念とする女性総合大学の文学部として、円満な人格を備えた社会人・家庭人としての良き女性の育成を教育の根幹としています。したがって、文学部文学科は心豊かな人間性、その表象となる気品、幅広い教養と人文科学に関する各領域の専門性を育むことに重きを置く教育を行っています。

一方、現代社会は多くの問題を抱えています。それらは既成の知や技術のみによって解決を図ることは難しく、なによりも人間性への深い洞察に基づいた多文化社会に関する広い視野と優れた識見を必要としています。

文学部文学科は、そのような現代社会の要請にも応え、人文科学に関する専門領域別に、英語・英文学コース、日本語・日本文学コース、歴史文化コース、書道文化コース、図書館情報コース、教養デザインコースの六コースを設け、専門性の高い人材育成を行っています。そして、さまざまな時代・地域の文学・文化・芸術に関する幅広く奥行きのある教養に基づき、時代や地域を超えて多様な他者の価値観を理解できる柔軟な思考力、社会の各領域において輝き続ける行動力を備えた人材を育成し、多くの問題を抱えた社会に広く貢献していきます。

以上の理念を具現化していくために、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 伝統の本物教育を重視し、女性としての心豊かな教養と日本社会の気品の模範としての礼法を備えた人材を育成する。
2. 現代社会を生きるための総合的な人間力を備えた人材を育成する。
3. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門的な知識を有し、自らの考えを適切に表現できる社会的・職業的に自立した人材を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

【学習成果】

1. 伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、及び日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる。
2. グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる。
3. 文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる。

文学部文学科では、以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

文学部文学科では、学習成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目（全学共通科目）と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 学部共通科目

伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した科目を設置しており、それらの科目をRE(Reality Experience)科目と名付けています。RE科目の他、ゼミ、キャリア論、コミュニケーション技法を学部共通科目として設定することにより、学生自らが課題を発見し自ら主体的に学習成果を高め、課題探求力を身につけます。

2. コース別専門科目群

(1) 英語・英文学コース

英米の文学・文化・言語を学び、英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）の力を着実に身につける教育課程を編成しています。

(2) 日本語・日本文学コース

日本語を専門的に学ぶことによって、日本語の基本的な運用能力を養い、日本の文学作品の鑑賞・批評・創作を通じた自己表現力を育成する教育課程を編成しています。

(3) 歴史文化コース

歴史学・考古学・民俗学・美術史学の知識と専門理論を学び、歴史的に形成された現代社会の課題に多面的に取り組む力を育成する教育課程を編成しています。

(4) 書道文化コース

書道学を学ぶことによって、書の実相を理論と実技を通して理解し、書の真髄を見極め作品を創作する力を育成する教育課程を編成しています。

(5) 図書館情報コース

図書館情報学を学ぶことによって、図書館の機能と情報資源の多様性を理解し、情報技術を身につけて、現代図書館を運営する力を育成する教育課程を編成しています。

(6) 教養デザインコース

人文科学としての教養力の基盤の上に、相手志向で思いやるホスピタリティカと、人・組織・会社・世界と円滑な関係を築き上げるコミュニケーション力を養い、実社会における総合的な人間力を育成する教育課程を編成しています。

【教育課程実施の方針】

文学部文学科では、全学共通科目と専門教育科目の教育課程を編成し、学習成果を効果的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 伝統の本物教育を具現化し、体験型・参加型教育を重視した特別授業を開講し、学生自らが課題を発見し自ら主体的に学習成果を高める方法を重要視しています。それらの科目をRE(Reality Experience)科目と名付けています。
2. 文学・文化・芸術に関する各学問領域の専門科目では、作品・学習対象の鑑賞・批評・創作をチームによるアクティブ・ラーニングやプロジェクト学習等を活用し実施しています。
3. キャリア科目におけるインターンシップやフィールドワークをはじめ、実習など、現地現物主義によって実践的な能力を身につけられるよう実施しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部文学科は、建学の理念である「和」の精神を理解し、文学・文化・芸術に関する学問領域に興味を持ち、将来、心豊かな教養と気品を持った女性として、社会の各分野で活躍したいという基本的資質をもった人を求めています。具体的には以下のような入学者を求めています。

1. 心豊かな女性として、気品ある行動を大切にできる人。
2. 協調性、誠実性、自主性を備え、自分の考えや気持ちを表現するなど、多様な人々と協働する意欲がある人。
3. 文学・文化・芸術に関する特定のテーマを掘り下げ深く学ぼうとする意欲がある人。
4. 高等学校等での学びを通して、文学部文学科での学修に必要な知識、技能、思考力、学ぶ力を身につけている人。

文学部文学科では、このような人を受け入れるために多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

文学部 文学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

文学部学習到達ルーブリック	毎学期末
「人間性を高める」科目群の総合GPA	毎学期末
キャリア・アセスメントテスト	3年春

1. 伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、及び日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる。

文学部学習到達ルーブリック	毎学期末
「学びの基礎を身につける」科目群の総合GPA	毎学期末
「社会人として必要な能力を身につける」科目群の総合GPA	毎学期末
キャリア・アセスメントテスト	3年春

2. グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる。

文学部学習到達ルーブリック	毎学期末
卒業研究ルーブリック	3年・4年学期末
「各学問領域の専門能力を身につける」科目群の総合GPA	毎学期末
各コースの専門・実践力を身につける科目群の総合GPA 【英語・英文学】 「英語の専門知識と4技能を身につける」 【日本語・日本文学】 「日本の言語と文学を理解し、その豊かさを味わい実践できる」 【歴史文化】 「日本の歴史と文化を理解する」 【書道文化】 「理論と技法を学ぶ」 【図書館情報】 「図書館情報学を深く理解し、実践力を見つめる」 【教養デザイン】 「ビジネス社会・グローバル社会で働く上で必要な知識・能力・態度を身につける」	毎学期末
資格免許・検定に関するロードマップの達成状況	各ロードマップに記載

3. 文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる。

文学部 文学科 全学共通科目 履修要項

- ① 文学部文学科各コースの卒業所要単位数は、下表のとおりです。

コース名	全学共通科目 (A類)	専門教育科目 (B類)	計
英語・英文学	30単位	94単位	124単位
日本語・日本文学	30単位	94単位	124単位
歴史文化	30単位	94単位	124単位
書道文化	30単位	94単位	124単位
図書館情報	30単位	94単位	124単位
教養デザイン	30単位	94単位	124単位

- ② 文学部文学科の全学共通科目 (A類) の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

全学共通科目 (A類)				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目及び 外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ③ 文学部の学生は、全学共通科目 (A類) については、別表Ⅳ-1～8のとおり履修してください (同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目 (別表Ⅳ-1) はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目 (別表Ⅳ-2) は外国語科目と併せて14単位以上を修得すること (外国語は8単位以上)。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～D類まで一つの群に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目 (別表Ⅳ-3) はすべて卒業必修です。
- ⑦ 外国語科目 (別表Ⅳ-5) は、英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ (4単位) 及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語、中国語のうち1か国語 (4単位)、計8単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目 (別表Ⅳ-6) 及び情報活用科目 (別表Ⅳ-7) は、備考に記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得 (成績表に S・A・B・C・N と表記される) した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表Ⅳ-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●							● 春学期または秋学期に開講 △ 聖徳教育の詳細については、学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○		○	○							
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅠ)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)	演	1	○		○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅢ)	演	1	○			●	●							
	計		7												

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表Ⅳ-2

	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
A類	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○						△ 教養科目と別表Ⅳ-3の専門基礎科目、別表Ⅳ-5の外国語科目を併せて20単位以上修得すること(外国語は8単位以上)
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域)		2				○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2				○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	2						○	○				
B類	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○					△ 教養科目は表中のA類～D類から選択し、6単位以上を修得すること。	
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○						
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2				○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2				○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2				○	○	○					
C類	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2				○	○	○				△ 同じ科目(領域)を重複履修することはできません。	
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2				○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2				○	○	○					
D類	<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2		●	●							△ 日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必ず修得すること。	

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。又●印の付された授業科目は時間割編成上、春学期又は秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

専門基礎科目

別表Ⅳ-3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーションⅠ		2	○	○									
<input type="checkbox"/>	コンピュータ・コミュニケーションⅠ		1	○	○									
<input type="checkbox"/>	コンピュータ・コミュニケーションⅡ		1	○		○								
<input type="checkbox"/>	異文化コミュニケーション		2	○	○									
	計		6											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※												
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●								いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●							いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2			●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専攻	国際社会問題を考える		2				●	●	●	●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2			●		●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication I		2			○							
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication II		2				○						
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2		●	●							いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	ビジネス・データ サイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2		●	●							いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2		●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2					○					

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

- ①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。
- ②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)
- ③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。
- ④履修する科目はキャップ制の対象外とします。
- ⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

外国語科目配当表

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									△ 別表Ⅳ-2の教養科目と別表Ⅳ-3の専門基礎科目、外国語科目を併せて20単位以上修得すること。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅲ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	英語Ⅳ	演	1	○			○							
<input type="checkbox"/>	英語Ⅴ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	英語Ⅵ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	英語Ⅶ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	英語Ⅷ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅰ	演	1			○								△ 「フランス語」、「ドイツ語」及び「中国語」は各学期に週2回開講されるのでⅠとⅡ、ⅢとⅣを同一学期に履修すること。
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅷ	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅰ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅷ	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅰ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅱ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅲ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅳ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅴ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅵ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅶ	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	中国語Ⅷ	演	1										○	
			32											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表Ⅳ-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	○	○									△ スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを修得すること。
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	○		○								
			2											

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表Ⅳ-7

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									△ 情報活用演習(基礎)が必修です。教育職員免許状を取得しようとする者は、情報活用演習(基礎)・(教職)の両科目とも修得すること。
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1						○					
			5											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

帰国子女科目

別表Ⅳ-8

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○									△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2					○						
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2								○			
			10											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

文学科 英語・英文学コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ②英語・英文学コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	20	25	94

- ③英語・英文学コースの専門教育科目（B類）については、別表Ⅳ－9の通り卒業必修欄に○印の付いている科目49単位と選択必修科目20単位、そして別表Ⅳ－9の選択科目及び別表Ⅳ－12、Ⅳ－15、Ⅳ－20、Ⅳ－23、Ⅳ－24に記載されている科目から25単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（英語）、高一免（英語）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目より8単位以上を選択履修してください。併せて別表Ⅳ－10、11に記載の通り履修してください。
- ⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ－1～5（P.281～P.285）により履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。
- ⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免(英語)	高一免(英語)	履修年次								備考
								1		2		3		4		
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○			○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○			○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○				○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○					○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○						○					
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○							○				
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○								○			
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○									○		
<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○										○		
	(小計)		23	23											学科必修科目 (計23単位)	
コース必修科目	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅠ		2	○			○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅡ		2	○				○							SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のライティングⅠ		2	○					○						
	<input type="checkbox"/>	英語のライティングⅡ		2	○						○					
	<input type="checkbox"/>	基礎英文法Ⅰ		2	○	△	△	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	基礎英文法Ⅱ		2	○	△	△	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅠ		2	○	○	○	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅡ		2	○	△	△	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語の語彙と用法Ⅰ	演	1	○	○	○	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語の語彙と用法Ⅱ	演	1	○	○	○	○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語の語彙と用法Ⅲ	演	1	○	○	○	○			○					SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語の語彙と用法Ⅳ	演	1	○	○	○	○				○				SEEP
<input type="checkbox"/>	英語音声学Ⅰ	演	1	○	○	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語音声学Ⅱ	演	1	○	○	○	○									
<input type="checkbox"/>	海外英語特講		4	○						※	※				※ 海外研修	
	(小計)		26	26											コース必修科目 (計26単位)	
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅢ		2						○						SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅣ		2							○					SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅤ		2								○				
	<input type="checkbox"/>	英語のリーディングⅥ		2									○			
	<input type="checkbox"/>	英語のライティングⅢ		2									○			
	<input type="checkbox"/>	英語のライティングⅣ		2										○		
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅢ		2						○						
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅣ		2							○					
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅤ		2								○				
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅥ		2									○			
	<input type="checkbox"/>	英語のコミュニケーションⅠ		2									○			SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語のコミュニケーションⅡ		2										○		SEEP
	<input type="checkbox"/>	英語学入門Ⅰ		2		○	○	○								
	<input type="checkbox"/>	英語学入門Ⅱ		2		○	○	○								
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1		○	○	○								
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1		○	○	○								
	<input type="checkbox"/>	イギリス文学史Ⅰ		2		○	○	○					●			
	<input type="checkbox"/>	イギリス文学史Ⅱ		2		○	○	○						●		
<input type="checkbox"/>	アメリカ文学史Ⅰ		2		○	○	○						●			
<input type="checkbox"/>	アメリカ文学史Ⅱ		2		○	○	○							●		
<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅠ		2						○						SEEP	
<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅡ		2							○					SEEP	
<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅰ		2							○					SEEP	
<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅱ		2								○				SEEP	
<input type="checkbox"/>	メディア論入門		2									○				
	(小計)		46	20											コース選択必修科目 (計20単位)	
コース選択科目	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅦ		2										○		
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅧ		2											○	
	<input type="checkbox"/>	英文法Ⅰ		2						○		●				
	<input type="checkbox"/>	英文法Ⅱ		2							○		●			
	<input type="checkbox"/>	英語学Ⅰ		2								○				
	<input type="checkbox"/>	英語学Ⅱ		2									○			
	<input type="checkbox"/>	イギリスの歴史		2									○			
	<input type="checkbox"/>	アメリカの歴史		2										○		
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1		△	△			○						
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1		△	△				○					
	<input type="checkbox"/>	英米の詩Ⅰ	演	1		△	△				○		●			
	<input type="checkbox"/>	英米の詩Ⅱ	演	1		△	△					○		●		
<input type="checkbox"/>	英米の戯曲Ⅰ	演	1									○				
<input type="checkbox"/>	英米の戯曲Ⅱ	演	1										○			

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免(英語)	高一免(英語)	履修年次								備考			
								1		2		3		4					
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
コース 選択 科目	<input type="checkbox"/>	英米の小説Ⅰ	演	1		△	△				○		●						
	<input type="checkbox"/>	英米の小説Ⅱ	演	1		△	△				○		●						
	<input type="checkbox"/>	英米の批評・随筆Ⅰ	演	1		△	△					○			●				
	<input type="checkbox"/>	英米の批評・随筆Ⅱ	演	1		△	△						○				●		
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅢ		2							○							SEEP	
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅣ		2								○						SEEP	
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅲ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅳ		2								○						SEEP	
	<input type="checkbox"/>	メディアの英語		2							○								
	<input type="checkbox"/>	国際文化論		2							○								
	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2				○											
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅰ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅱ		2								○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅰ		2				○											
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅱ		2					○										
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅰ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅱ		2								○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学講読Ⅰ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学講読Ⅱ		2								○							
	<input type="checkbox"/>	比較文学Ⅰ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	比較文学Ⅱ		2								○							
	<input type="checkbox"/>	書学入門		2				○											
	<input type="checkbox"/>	図書館概論		2				○											
	<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2					○										
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ概論		2				○											エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅡ		2							○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅠ		2							○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅡ		2								○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅰ		2							○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅱ		2								○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅠ		2							○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅡ		2								○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅲ		2								○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅳ		2									○						エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーションⅡ		2						○									
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅠ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅡ		2								○							
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅢ		2									○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅰ		2							○								
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅱ		2								○							
<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅰ		2							○									
<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅱ		2								○								
<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅰ	演	1							○									
<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅱ	演	1								○								
<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅰ	演	1									○							
<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅱ	演	1										○						
<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅰ		2									○							
<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅱ		2										○						
<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅰ		2							○									
<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅱ		2								○								
<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅠ		2					○	○	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅡ		2					○	○	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅢ		2					○	○	○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	短期インターンシップ		2							○		○							
<input type="checkbox"/>	長期インターンシップ		20								○	○	○	○				(4週～20週/4単位～20単位)	
<input type="checkbox"/>	短期留学		12								○	○	○	○	○	○		(1～12週まで/1単位～12単位)	
<input type="checkbox"/>	長期留学		20								○	○	○	○	○	○		(13週～/13単位～20単位)	
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅰ キャリア・デザインⅠ		2								○								
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅱ キャリア・デザインⅡ		2									○							
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅲ リーダーシップ		2							○	○	○	○						
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅳ 教職実践論Ⅰ		2										○						
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅴ 教職実践論Ⅱ		2											○					
<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅵ～ⅩⅩ																	各2単位	
	(小計)			184	25													コース選択科目 (計25単位)	
	合計			279	94														

【授業の方法】 演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。 ●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

※1 中一免(英語)、高一免(英語) 取得希望者は中一免(英語)欄、高一免(英語)欄の△のうち8単位を修得すること。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 英語〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ－10

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修科目が必	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○										

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

英語・英文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(英語)、高一免(英語)欄にある○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位数は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位数に計上することができます。

別表Ⅳ－11

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	高免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			●	●						△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△			●	●						
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	英語科教育法Ⅰ	演	2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	英語科教育法Ⅱ	演	2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	英語科教育法Ⅲ	演	2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	英語科教育法Ⅳ	演	2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○							●	●		
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3		○					●	●				
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○				●	●						
	計		45	40	31										

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修すること。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に●印を付された通り履修すること。春学期または秋学期に開講する。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 英語・英文学コース カリキュラムマップ

1年次春学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学びの扉を開こう						
専門的知識を身につけよう			考える力・創作力を養おう		実践力を養おう	

各学問領域の専門能力を身につける	教員	日本国憲法 情報活用演習(教職)	教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導 英語科教育法Ⅰ 介護体験実習 教職特別講座	道徳活動の指導法 生徒指導	教育社会学Ⅰ 総合的な学習の時間の指導法	教職実践演習
	教員	基礎英文法Ⅱ 英語の語彙と用法Ⅱ 英語音声学Ⅰ 英語学入門Ⅱ イギリス文学史Ⅱ アメリカ文学史Ⅱ 現代イギリス事情Ⅱ 現代アメリカ事情Ⅱ 英語のリーディングⅠ 英語のスピーキング・リスニングⅠ	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 教育相談 英語科教育法Ⅱ 特別活動の指導法 教職特別講座	英語科教育法Ⅲ (中・高) 教育実習	英語科教育法Ⅳ (中・高) 教育実習	

英語の専門知識と4技能を身につける	専門知識	基礎英文法Ⅰ 英語の語彙と用法Ⅰ 英語音声学Ⅱ 英語学入門Ⅰ イギリス文学史Ⅰ アメリカ文学史Ⅰ 現代イギリス事情Ⅰ 現代アメリカ事情Ⅰ 英語のリーディングⅡ 英語のスピーキング・リスニングⅡ	専門ゼミⅠ 英文法Ⅰ 英語の語彙と用法Ⅲ メディアの英語 英米の小説Ⅰ イギリス文学史Ⅰ アメリカ文学史Ⅰ 現代イギリス事情Ⅰ 現代アメリカ事情Ⅰ 英語のリーディングⅢ 英語のスピーキング・リスニングⅢ 英語のライティングⅠ グローバル コミュニケーションⅠ	専門ゼミⅠ 英語学Ⅰ 英米の戯曲Ⅰ イギリスの歴史	専門ゼミⅡ 英語学Ⅱ 英米の戯曲Ⅱ アメリカの歴史	専門ゼミⅢ 英米の批評・随筆Ⅰ 卒業研究	専門ゼミⅣ 英米の批評・随筆Ⅱ 卒業研究	
	4技能	女性キャリア論Ⅰ ベーシック コミュニケーションⅠ ホスピタリティ コミュニケーションⅠ メディア論入門 ホスピタリティ概論 学内フィールドワークⅠ	キャリア戦略Ⅰ キャリア戦略Ⅱ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅠ プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ	キャリア戦略Ⅲ キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ	英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のライティングⅣ グローバル コミュニケーションⅣ 英語の コミュニケーションⅡ	英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のライティングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のライティングⅣ 英語の コミュニケーションⅡ	英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ 英語のスピーキング・リスニングⅣ

社会人として必要な能力を身につける	基礎	女性キャリア論Ⅱ ベーシック コミュニケーションⅡ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅡ プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ 学内フィールドワークⅡ	キャリア戦略Ⅱ キャリア戦略Ⅲ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅡ プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ		
	企業就職	人文科学入門Ⅰ (RE科目) コミュニケーションⅠ 英語Ⅰ 外国語 情報活用演習(基礎)	キャリア戦略Ⅰ キャリア戦略Ⅱ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅠ プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ英語Ⅱ ホスピタリティ英語Ⅲ 学内フィールドワークⅡ	キャリア戦略Ⅲ キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ		

学びの基礎を身につける	学びの基礎を身につける	人文科学入門Ⅱ (RE科目) コミュニケーションⅡ 英語Ⅱ 外国語 情報活用演習(基礎)	キャリア戦略Ⅱ キャリア戦略Ⅲ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅡ プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ		
	学びの基礎を身につける	人文科学入門Ⅱ (RE科目) コミュニケーションⅡ 英語Ⅱ 外国語 情報活用演習(基礎)	キャリア戦略Ⅱ キャリア戦略Ⅲ ホスピタリティ コミュニケーションⅡ ホスピタリティ マネジメントⅡ プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ		

人間性を高める	人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅠ スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅡ SETOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ
	人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅠ スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅡ SETOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ

教育目標	1年次	2年次	3年次	4年次
	学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 英語・英文学コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)



学位授与の方針に掲げる
学習成果

	1年次	2年次	3年次	4年次
各学問領域の専門能力を身につける	教員として必要な基礎的知識が身につけている	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技能が身につけている	中学・高校の英語科教員として必要な知識・技術を身につけ、それを実習の場で活用することができる	実習における課題を振り返り、自己の課題を発見することができる
英語の専門知識と4技能を身につける	英語の基礎的な知識・技能が見についている	英語の専門的な知識・技能を身につけ、自己の問題意識を発展させることができる。	調査・研究の技能を身につけ、資料を読解し、自己の課題を深く探求することができる	自己の課題探求の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる
社会人として必要な能力を身につける	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身につけている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのために必要な知識・技能について理解している	課題に対する解題を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる	
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる		グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる
人間性を高める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。教養をさらに深め、それをさまざまな分野に活用できる	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本社会の発展の模範としての礼法を身につけ、実践できる

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



教育目標	1年次	2年次	3年次	4年次
学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べ・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する

文学科 英語・英文学コース 教員免許取得履修モデル
 中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（英語）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	6	4	3
1科目必修科目・科目数	人文科学入門I 女性キャリア論I 英語のリーディングI 基礎英文法I 英語のスピーキング・リスニングI 英語の語彙と用法I 英語音声学I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II 英語のリーディングII 基礎英文法II 英語のスピーキング・リスニングII 英語の語彙と用法II 英語音声学II	キャリア戦略I 英語のライティングI 英語の語彙と用法III 海外英語特講	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 英語のライティングII 英語の語彙と用法IV
科目数	7	8	4	4
1科目必修科目	英語学入門I 現代アメリカ事情I 現代イギリス事情I	英語学入門II	英語のリーディングIII 英語のスピーキング・リスニングIII	英語のリーディングIV 英語のスピーキング・リスニングIV
科目数	3	1	2	2
1科目必修科目			教職特別講座	現代アメリカ事情II 教職特別講座
科目数	0	0	1	2
1科目必修科目			教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 英語科教育法I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 英語科教育法II
科目数	0	0	5	6
科目数計	16	15	16	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
1科目必修科目・科目数	専門ゼミI	専門ゼミII	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
1科目必修科目	イギリス文学史I アメリカ文学史I	イギリス文学史II アメリカ文学史II		
科目数	2	2	0	0
1科目必修科目	英文法I 英語学I 英米の詩I	英文法II 英語学II 英米の詩II 教職実践論I	英語のスピーキング・リスニングVII 教職実践論II	英語のスピーキング・リスニングVIII
科目数	3	4	2	1
1科目必修科目	英語科教育法III 道徳活動の指導法 生徒指導（進路指導を含む）	教育社会学I 英語科教育法IV 総合的な学習の時間の指導法 （中・高）教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	3	4	0	1
科目数計	10	12	6	5

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV 外国語科目I II
科目数	6	5	4	5
学部1科必修必修科目目・	人文科学入門I 女性キャリア論I 英語のリーディングI 基礎英文法I 英語のスピーキング・リスニングI 英語の語彙と用法I 英語音声学I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II 英語のリーディングII 基礎英文法II 英語のスピーキング・リスニングII 英語の語彙と用法II 英語音声学II	キャリア戦略I 英語のライティングI 英語の語彙と用法III 海外英語特講	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 英語のライティングII 英語の語彙と用法IV
科目数	7	8	4	4
コース選択科目目	現代アメリカ事情I 現代イギリス事情I	グローバルコミュニケーションI ホスピタリティ英語I	英語のリーディングIII 英語のスピーキング・リスニングIII グローバルコミュニケーションII ホスピタリティ英語II	英語のリーディングIV 英語のスピーキング・リスニングIV
科目数	2	2	4	2
選択科目目	学内フィールドワークI	学内フィールドワークII	英文法I メディアの英語 英米の小説I 英米の詩I	英文法II 現代イギリス事情II 現代アメリカ事情II グローバルコミュニケーションIII ホスピタリティ英語III
科目数	1	1	4	5
教職科目				
科目数	0	0	0	0
科目数計	16	16	16	16

	3年		4年	
	春学期 (英語V)	秋学期 (英語VI)	春学期 (英語VII)	秋学期 (英語VIII)
全学共通科目	外国語科目IIIIV			
科目数	2	0	0	0
学部1科必修必修科目目・	専門ゼミI 英語のコミュニケーションI	専門ゼミII 英語のコミュニケーションII	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
コース選択科目目	英語のリーディングV 英語のライティングIII 英語のスピーキング・リスニングV 英語学入門I キャリア戦略III	英語のリーディングVI 英語のライティングIV 英語のスピーキング・リスニングVI 英語学入門II キャリア戦略IV		
科目数	5	5	0	0
選択科目目	グローバルコミュニケーションIV ホスピタリティ英語IV 英語学I イギリスの歴史 短期インターンシップ	英語学II アメリカの歴史	英語のスピーキング・リスニングVII	英語のスピーキング・リスニングVIII
科目数	5	2	1	1
教職科目				
科目数	0	0	0	0
科目数計	14	9	3	3

習熟度に応じ「グローバルコミュニケーションI・II」は、「ホスピタリティ英語I・II」からの履修を推奨する。

文学科 日本語・日本文学コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ②日本語・日本文学コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
53	18	23	94

- ③日本語・日本文学コースの専門教育科目（B類）については、別表Ⅳ-12の通り卒業必修欄に○印の付いている科目53単位と選択必修科目18単位、そして別表Ⅳ-12の選択科目及び別表Ⅳ-9、Ⅳ-15、Ⅳ-20、Ⅳ-23、Ⅳ-24から23単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（国語）、高一免（国語）欄に○印の付いている科目を全部履修してください。併せて別表Ⅳ-13、14に記載の通り履修してください。
- ⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ-1～5（P.281～P.285）により履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。
- ⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免(国語)	高一免(国語)	履修年次								備考		
								1		2		3		4				
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○			○										
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○			○										
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○					○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○						○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門	演	1	○						○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○							○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○								○					
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○									○				
<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○												○		
<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○													○	
	(小計)			23	23													学科必修科目 (計23単位)
コース必修科目	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2	○			○										
	<input type="checkbox"/>	国際文化論		2	△					○								
	<input type="checkbox"/>	海外英語特講		4	△					○								
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅰ		2	○			○										
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅱ		2	○	○	○		○									
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅰ		2	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅱ		2	○	○	○		○									
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅰ		2	○	○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅱ		2	○	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅰ		2	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅱ		2	○	○	○			○								
<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅰ		2	○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅱ		2	○						○								
<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅰ		2	○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅱ		2	○	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅰ	演	1	○	○	○	○											
<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅱ	演	1	○	○	○			○									
	(小計)			34	30													コース必修科目 (計30単位)
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/>	日本文学特講Ⅰ		2														
	<input type="checkbox"/>	日本文学特講Ⅱ		2														
	<input type="checkbox"/>	古典語の研究Ⅰ	演	1							○							
	<input type="checkbox"/>	古典語の研究Ⅱ	演	1								○						
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究Ⅰ	演	1						○								
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究Ⅱ	演	1							○							
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講Ⅰ		2														
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講Ⅱ		2														
	<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅰ	演	1		○	○	○		●								
	<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅱ	演	1		○	○		○		●							
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅰ	演	1		○	○			○								
<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅱ	演	1		○	○				○								
<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅰ		2							○								
<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅱ		2								○							
<input type="checkbox"/>	日本近現代文学講読Ⅰ		2							○		●						
<input type="checkbox"/>	日本近現代文学講読Ⅱ		2								○		●					
<input type="checkbox"/>	書写・書道Ⅰ	演	1		○		○											
<input type="checkbox"/>	書写・書道Ⅱ	演	1		○			○										
<input type="checkbox"/>	日本語の音声		2		○	○					○							
<input type="checkbox"/>	編集・ジャーナリズム論		2								○							
<input type="checkbox"/>	文芸創作Ⅰ		2									○						
<input type="checkbox"/>	文芸創作Ⅱ		2										○					
	(小計)			34	18													コース選択必修科目 (計18単位)
コース選択科目	<input type="checkbox"/>	日本古典文学特講Ⅰ		2							○							
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学特講Ⅱ		2								○						
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学特講Ⅰ		2								○						
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学特講Ⅱ		2									○					
	<input type="checkbox"/>	比較文学Ⅰ		2						○		●						
	<input type="checkbox"/>	比較文学Ⅱ		2							○		●					
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言Ⅰ		2								○						
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言Ⅱ		2									○					
	<input type="checkbox"/>	メディア論入門		2					○									
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1					○									
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1						○								
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1					○										
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1						○									
<input type="checkbox"/>	イギリス文学史Ⅰ		2					○										
<input type="checkbox"/>	イギリス文学史Ⅱ		2						○									

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免(国語)	高一免(国語)	履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
コース 選択 科目	<input type="checkbox"/>	アメリカ文学史 I		2				○									
	<input type="checkbox"/>	アメリカ文学史 II		2					○								
	<input type="checkbox"/>	英米の詩 I	演	1						○							
	<input type="checkbox"/>	英米の詩 II	演	1							○						
	<input type="checkbox"/>	英米の戯曲 I	演	1							○						
	<input type="checkbox"/>	英米の戯曲 II	演	1								○					
	<input type="checkbox"/>	英米の小説 I	演	1							○						
	<input type="checkbox"/>	英米の小説 II	演	1								○					
	<input type="checkbox"/>	英米の批評・随筆 I	演	1									○				
	<input type="checkbox"/>	英米の批評・随筆 II	演	1										○			
	<input type="checkbox"/>	イギリスの歴史		2									○				
	<input type="checkbox"/>	アメリカの歴史		2										○			
	<input type="checkbox"/>	日本史概説 I		2					○								
	<input type="checkbox"/>	日本史概説 II		2						○							
	<input type="checkbox"/>	日本古代史 I		2					○								
	<input type="checkbox"/>	日本古代史 II		2						○							
	<input type="checkbox"/>	日本中世史 I		2							○						
	<input type="checkbox"/>	日本中世史 II		2								○					
	<input type="checkbox"/>	日本近世史 I		2					○								
	<input type="checkbox"/>	日本近世史 II		2						○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史 I		2							○						
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史 II		2								○					
	<input type="checkbox"/>	古文書学 I		2									○				
	<input type="checkbox"/>	古文書学 II		2										○			
	<input type="checkbox"/>	書学入門		2					○								
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論 II		2								○					
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション I		2							○						
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション II		2									○				
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略 III		2										○			
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略 IV		2											○		
	<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーション II		2					○								
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーション I		2							○						
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーション II		2								○					
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーション III		2									○				
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワーク I		2					○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワーク II		2					○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワーク III		2					○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	短期インターンシップ		2							○		○				
	<input type="checkbox"/>	長期インターンシップ		20							○	○	○	○			(4週～20週/4単位～20単位)
	<input type="checkbox"/>	短期留学		12							○	○	○	○	○	○	(1～12週まで/1単位～12単位)
<input type="checkbox"/>	長期留学		20							○	○	○	○	○	○	(13週～/13単位～20単位)	
<input type="checkbox"/>	特別講義 I キャリア・デザイン I		2								○						
<input type="checkbox"/>	特別講義 II キャリア・デザイン II		2									○					
<input type="checkbox"/>	特別講義 III リーダーシップ		2							○	○	○	○				
<input type="checkbox"/>	特別講義 IV 教職実践論 I		2										○				
<input type="checkbox"/>	特別講義 V 教職実践論 II		2											○			
<input type="checkbox"/>	特別講義 VI～XX															各2単位	
<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要 I		2							○							
<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要 II		2								○						
<input type="checkbox"/>	日本語教授法 I		2							○							
<input type="checkbox"/>	日本語教授法 II		2								○						
<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究 I	演	1							○							
<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究 II	演	1								○						
<input type="checkbox"/>	日本語教育演習 I	演	1									○					
<input type="checkbox"/>	日本語教育演習 II	演	1										○				
<input type="checkbox"/>	日本事情 I		2									○					
<input type="checkbox"/>	日本事情 II		2										○				
<input type="checkbox"/>	言語学概論 I		2							○							
<input type="checkbox"/>	言語学概論 II		2								○						
	(小計)			176	23											コース選択科目 (計23単位)	
	合計			267	94												

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

※国際文化論の代わりに、海外英語特講を履修することができる。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 国語〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ－13

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	必修科目	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○		○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○									

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

日本語・日本文学コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(国語)、高一免(国語)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ－14

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	高免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△			●	●						△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅰ	演	2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅱ	演	2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅲ	演	2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	国語科教育法Ⅳ	演	2	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	道德教育の指導法		2	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○							●	●		
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○						●	●				
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○				●	●						
	計		45	40	33										

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に●印を付された通り履修すること。春学期または秋学期に開講する。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 日本語・日本文学コース カリキュラムマップ

1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	3 年次春学期	3 年次秋学期	4 年次春学期	4 年次秋学期
学びの扉を開こう							
専門的知識を身につけよう							
考える力・創作力を養おう							
実践力を養おう							
各学問領域の専門能力を身につける	教員	書写・書道Ⅰ 日本国憲法 情報活用演習(教職)	教職入門 教育基礎論 教育方法学 生徒指導 国語科教育法Ⅰ 介護体験学習 教職特別講座	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 国語科教育法Ⅱ	教育相談 総合的な学習の時間の指導法(中・高)教育実習 国語科教育法Ⅳ	教育社会学Ⅰ	教職実践演習
	日本語教員	書写・書道Ⅱ 日本国憲法 情報活用演習(教職)	日本語教育の概要Ⅰ 日本語教授法Ⅰ 日本語教育教材研究Ⅰ	日本語教育の概要Ⅱ 日本語教授法Ⅱ 日本語教育教材研究Ⅱ	日本語教育演習Ⅰ 日本事情Ⅰ	日本語教育演習Ⅱ 日本事情Ⅱ	
日本の言語と文学を理解する		日本文化入門 日本文学概説Ⅰ 日本近現代文学史Ⅰ 日本古典文学の基礎Ⅰ 漢文学の基礎Ⅰ	日本近現代文学講読Ⅰ 日本近現代文学史Ⅰ 日本古典文学史Ⅰ 日本古典文学講読Ⅰ 日本語表現法Ⅰ 比較文学Ⅰ	日本近現代文学講読Ⅱ 日本古典文学史Ⅱ 日本古典文学講読Ⅱ 日本語表現法Ⅱ 比較文学Ⅱ	専門ゼミⅠ 文芸創作Ⅰ 日本近現代文学特講Ⅰ 日本古典文学特講Ⅰ	専門ゼミⅡ 文芸創作Ⅱ 日本近現代文学特講Ⅱ 日本古典文学特講Ⅱ	専門ゼミⅢ 卒業研究 日本文学特講Ⅰ
		日本語概説Ⅰ	日本語概説Ⅱ 現代語の研究Ⅰ 日本語の歴史Ⅰ	日本語の語法Ⅰ 現代語の研究Ⅱ 日本語の歴史Ⅱ	古典語の研究Ⅰ 日本語の方言Ⅰ 日本語の音声	古典語の研究Ⅱ 日本語の方言Ⅱ 日本語の音声	日本語学特講Ⅰ 日本語学特講Ⅱ
社会人として必要な能力を身につける	基礎	女性キャリア論Ⅰ ベーシック コミュニケーションⅠ ホスピタリティ コミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅰ 異文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅱ キャリア戦略Ⅱ	キャリア戦略Ⅲ キャリア戦略Ⅳ	キャリア戦略Ⅳ	
	企業就職	メディア輸入門 ホスピタリティ英語Ⅰ 学内フィールドワークⅠ	プレゼンテーションⅠ 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ産業論Ⅱ ホスピタリティ英語Ⅲ	プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅳ ホスピタリティ英語Ⅴ	プレゼンテーションⅢ ホスピタリティ英語Ⅵ ホスピタリティ英語Ⅶ	プレゼンテーションⅣ ホスピタリティ英語Ⅷ ホスピタリティ英語Ⅷ	
学びの基礎を身につける		人文科学入門Ⅰ (RE科目) コンピュータ コミュニケーションⅠ 英語Ⅰ 情報活用演習(基礎)	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅲ 教養科目	英語Ⅳ 教養科目	英語Ⅴ 英語Ⅵ 英語Ⅶ	英語Ⅷ 英語Ⅷ 英語Ⅷ	
		聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅠ スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SETOKU Academic LiteracyⅡ SETOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ
教育目標	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	課題解決のための実践力を修得する		
学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する						

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 日本語・日本文学コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)



学位授与の方針に掲げる
学習成果

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



	1年次	2年次	3年次	4年次
各学問領域の専門能力を身につける	教員として必要な基礎的知識が身につく	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技能が身につく	中学・高校の国語科教員として必要な知識・技術を身につけ、それを教科の指導に活用できる	実習における課題を振り返り、自己の課題を発見することができる
日本語教員	日本語教育に関する基礎的な知識・技能を説明できる	日本語教育に関する基礎的な知識・技能を説明できる	日本語教育の専門的な知識・技能を身につけ、その応用的側面を学び、実践できる	文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる
日本の言語と文学を理解し、その豊かさを味わい実践できる	日本文化の根拠を成す日本語学・日本文学の基本的な概念を学び、説明できる	日本語学・日本文学の基礎を踏まえ、その歴史的観点や異文化との比較の観点から、応用的側面を学び、身につける	日本語学・日本文学の学びの成果のうえに立ち、対話的アプローチや主体的な調査研究を通して、その精髓に迫る	自己の課題探求の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる
社会人として必要な能力を身につける	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身につく	自己のキャリアビジョンを設定し、そのために必要な知識・技能について理解している	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる	グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる
学部の基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる	現代社会の課題を認識し、社会に働きかけることができる
人間性を高める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本文学の規範としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。教養をさらに深め、それをさまざまな分野に活用できる	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本社会の気品の規範としての礼法を身につけ、実践できる
教育目標	1年次 学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 (調べる・考える・議論する) ための 技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を 修得する

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーション I コンピュータ・コミュニケーション I 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III コンピュータ・コミュニケーション II	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	6	6	4	3
コース必修科目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 日本文化入門 日本文学概説 I 日本語概説 I 日本近現代文学史 I 日本古典文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 日本文学概説 II 日本語概説 II 日本近現代文学史 II 日本古典文学の基礎 II	キャリア戦略 I 国際文化論 日本古典文学史 I 日本語の語法 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本古典文学史 II 日本語の語法 II
科目数	7	7	4	4
コース選択必修科目	書写・書道 I メディア論入門	書写・書道 II	日本古典文学講読 I 日本語表現法 I 漢文学の基礎 I 教職特別講座	日本古典文学講読 II 日本語表現法 II 漢文学の基礎 II 教職特別講座
科目数	2	1	4	4
教職科目			教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論 生徒指導（進路指導を含む） 国語科教育法 I 介護体験実習	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育心理学 国語科教育法 II
科目数	0	0	6	5
科目数計	15	14	18	16

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
科目数	1	1	1	1
コース必修科目	専門ゼミ I 日本語の歴史 I	専門ゼミ II 日本語の歴史 II	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
コース選択必修科目	日本古典文学特講 I 古典語の研究 I 日本語の音声 比較文学 I 日本近現代文学講読 I	日本古典文学特講 II 古典語の研究 II 比較文学 II 日本近現代文学講読 II 教職実践論 I	日本文学特講 I 日本語学特講 I 教職実践論 II	日本文学特講 II 日本語学特講 II
科目数	5	5	3	2
教職科目	道德活動の指導法 国語科教育法 III	教育社会学 I 国語科教育法 IV 総合的な学習の時間の指導法 教育相談 (中・高) 教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	2	5	0	1
科目数計	10	13	6	6

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	5	4	3
1科目必修科目目・	人文科学入門I 女性キャリア論I 日本文化入門 日本文学概説I 日本語概説I 日本近現代文学史I 日本古典文学の基礎I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II 日本文学概説II 日本語概説II 日本近現代文学史II 日本古典文学の基礎II	キャリア戦略I 日本古典文学史I 日本語の語法I 日本語の歴史I 国際文化論	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 日本古典文学史II 日本語の語法II 日本語の歴史II
科目数	7	7	5	5
1科目選択科目・必修	メディア論入門 学内フィールドワークI	ベーシックコミュニケーションII 学内フィールドワークII	日本近現代文学講読I 比較文学I 現代語の研究I 日本語表現法I 日本古典文学講読I プレゼンテーションI	日本近現代文学講読II 比較文学II 現代語の研究II 日本語表現法II 日本古典文学講読II 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ産業論II
科目数	2	2	6	7
科目数計	15	14	14	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
1科目必修科目目・	専門ゼミI 日本語の歴史I	専門ゼミII 日本語の歴史II	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	2	2	2	2
1科目選択科目・必修	日本近現代文学特講I 文芸創作I キャリア戦略III プレゼンテーションII 短期インターンシップ	日本近現代文学特講II 文芸創作II キャリア戦略IV	日本文学特講I 日本語学特講I	日本文学特講II 日本語学特講II
科目数	5	3	2	2
科目数計	8	6	5	5

文学科 歴史文化コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ②歴史文化コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
51	16	27	94

- ③歴史文化コースの専門教育科目（B類）については、別表Ⅳ-15の通り卒業必修欄に○印の付いている科目51単位と選択必修科目16単位、そして別表Ⅳ-15の選択科目及び別表Ⅳ-9、Ⅳ-12、Ⅳ-20、Ⅳ-23、Ⅳ-24から27単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④中学校教諭一種免許状（社会）を取得しようとする者は、①に加えて、中一免（社会）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目のうち6単位を選択履修してください。併せて別表Ⅳ-16、17に記載の通り履修してください。
- ⑤高等学校教諭一種免許状（地理歴史）を取得しようとする者は、①に加えて、高一免（地歴）欄に○印の付いている科目を全部と、△印の付いている科目のうち4単位を選択履修してください。併せて別表Ⅳ-18、19に記載の通り履修してください。
- ⑥図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ-1～5（P.281～P.285）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。
- ⑦単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

◎介護等の体験

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に関する法律に基づき、特別支援学校または社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	中一免(社会)	高一免(地歴)	履修年次								備考		
								1		2		3		4				
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○			○										
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○					○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○					○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○						○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○						○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○							○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○								○					
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○									○				
<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○												○		
<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○												○		
	(小計)		23	23														学科必修科目 (計23単位)
コース必修科目	<input type="checkbox"/>	国際文化論		2	△						○							
	<input type="checkbox"/>	海外英語特講		4	△						○							
	<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅰ		2	○				○									
	<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅱ		2	○					○								
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅰ		2	○	○	○	○										
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅱ		2	○	○	○	○		○								
	<input type="checkbox"/>	日本古代史Ⅰ		2	○	△	○	○										
	<input type="checkbox"/>	日本中世史Ⅰ		2	○	△	○	○			○							
	<input type="checkbox"/>	日本近世史Ⅰ		2	○	△	○	○										
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史Ⅰ		2	○	△	○	○			○							
	<input type="checkbox"/>	日本考古学Ⅰ		2	○		○				○							
	<input type="checkbox"/>	民俗文化論Ⅰ		2	○						○							
	<input type="checkbox"/>	日本美術史Ⅰ		2	○		○				○							
<input type="checkbox"/>	西洋史概説		2	○	○	○				○		●						
<input type="checkbox"/>	東洋史概説		2	○	○	○					○		●					
	(小計)		32	28														コース必修科目 (計28単位)
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/>	日本古代史Ⅱ		2		△	△		○									
	<input type="checkbox"/>	日本中世史Ⅱ		2		△	△				○							
	<input type="checkbox"/>	日本近世史Ⅱ		2		△	△		○									
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史Ⅱ		2		△	△				○							
	<input type="checkbox"/>	日本考古学Ⅱ		2			△				○							
	<input type="checkbox"/>	民俗文化論Ⅱ		2							○							
	<input type="checkbox"/>	日本美術史Ⅱ		2			△				○							
	<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅰ		2								○						
	<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅱ		2									○					
	<input type="checkbox"/>	日本史特講Ⅰ		2								○						
	<input type="checkbox"/>	日本史特講Ⅱ		2									○					プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	日本考古学特講		2									○					プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	民俗学特講		2									○					プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	芸術学特講		2									○					
	<input type="checkbox"/>	地理学Ⅰ		2		○	○			○		●						
	<input type="checkbox"/>	地理学Ⅱ		2		○	○				○		●					
	<input type="checkbox"/>	地誌学		2		○	○					○						
<input type="checkbox"/>	社会学入門Ⅰ		2		○			○										
<input type="checkbox"/>	宗教学入門		2		○			○										
<input type="checkbox"/>	倫理学入門		2		○				○		●							
<input type="checkbox"/>	政治学入門		2		○				○		●							
<input type="checkbox"/>	経済学入門		2		○					○		●						
	(小計)		44	16														コース選択必修科目 (計16単位)
コース選択科目	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2					○									
	<input type="checkbox"/>	文化財研究Ⅰ		2									○					プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	文化財研究Ⅱ		2										○				プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1					○									
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1						○								
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1					○									
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1						○								
	<input type="checkbox"/>	イギリスの歴史		2								○						
	<input type="checkbox"/>	アメリカの歴史		2									○					
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅰ		2					○									
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅱ		2						○								
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅰ		2					○									
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅱ		2						○								
<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅰ	演	1					○										
<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅱ	演	1						○									

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状 社会〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ—16

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	要履修科目	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○										

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の中一免(社会)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ—17

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△			●	●							
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△					●	●					
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅰ	演	2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅱ	演	2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	社会科・公民科教育法Ⅰ	演	2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	社会科・公民科教育法Ⅱ	演	2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	道德教育の指導法		2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○							●	●			
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○			●	●							
	計		42	40											

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に●印を付された通り履修すること。春学期または秋学期に開講する。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等体験を行うことが必要です。

教職課程履修について〔高等学校教諭一種免許状 地歴〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表IV—18

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	要履修科目が必	履修年次								備 考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●								春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○									

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

歴史文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(地歴)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表IV—19

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	高免	履修年次								備 考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			●	●						△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△			●	●						
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅰ	演	2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	社会科・地歴科教育法Ⅱ	演	2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●				
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			●	●						
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○							●	●		
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○						●	●			
	計		33	31										

[注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。

2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に●印を付された通り履修すること。春学期または秋学期に開講する。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 歴史文化コース カリキュラムマップ

1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学ひの扉を開こう							
専門的知識を身につけよう							
考える力・創作力を養おう							
実践力を養おう							

各学問領域の専門能力を身につける	教員	日本国憲法 情報活用演習（教職）	教育入門 教育基礎論	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論	道徳教育の指導法 生徒指導 教育相談	教育社会学Ⅰ 総合的な学習の時間の指導法	教職実践演習
	学芸員	社会科 地歴科教育法Ⅰ 介護体験実習 教職特別講座 生涯学習論 博物館概論	社会科 地歴科教育法Ⅱ 特別活動の指導法 社会科・地歴科教育法Ⅱ	教職特別講座 博物館経営論 博物館資料論	社会科・公民科教育法Ⅱ 博物館資料保存論 博物館情報・IT論 博物館実習	社会科・公民科教育法Ⅱ （中・高）教育実習 博物館展示論 博物館教育論	

日本の歴史と文化を理解する	歴史文化入門Ⅰ 日本史概説Ⅰ 日本古代史Ⅰ 日本近世史Ⅰ	歴史文化入門Ⅱ 日本史概説Ⅱ 日本古代史Ⅱ 日本近世史Ⅱ	日本中世史Ⅰ 日本近現代史Ⅰ 日本考古学Ⅰ 民俗文化論Ⅰ 日本美術史Ⅰ 西洋史概説 地理学Ⅰ 倫理学入門 政治学入門	専門ゼミⅠ 文化財研究Ⅰ 古文書学Ⅰ 日本近現代史Ⅱ 日本考古学Ⅱ 民俗文化論Ⅱ 日本美術史Ⅱ 東洋史概説 地理学Ⅱ 経済学入門	専門ゼミⅡ 文化財研究Ⅱ 古文書学Ⅱ 日本史特講Ⅰ 芸術学特講 民俗学特講	専門ゼミⅢ 文化財研究Ⅲ 卒業研究	専門ゼミⅣ 文化財研究Ⅳ 卒業研究
	社会学入門Ⅰ						

社会人として必要な能力を身につける	女性キャリア論Ⅰ ベーシックコミュニケーションⅠ	女性キャリア論Ⅱ 異文化コミュニケーション ホスピタリティコミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅰ	キャリア戦略Ⅱ	キャリア戦略Ⅲ	キャリア戦略Ⅳ	
	メディア入門 ホスピタリティ英語Ⅰ 学内フィールドワークⅠ	ホスピタリティ英語Ⅱ ホスピタリティ英語Ⅲ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	プレゼンテーションⅠ プレゼンテーションⅡ				

学ひの基礎を身につける	人文科学入門Ⅰ （RE科目） コンピュータ コミュニケーションⅠ 英語Ⅰ 外国語	人文科学入門Ⅱ （RE科目） コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅱ 外国語	国際文化論 英語Ⅲ 外国語 教養科目				
	情報活用演習（基礎）						

人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅠ スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅡ スポーツと健康Ⅱ	国際文化論 英語Ⅲ 外国語 教養科目	キャリア戦略Ⅰ キャリア戦略Ⅱ キャリア戦略Ⅲ キャリア戦略Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ 聖徳教育Ⅲ 聖徳教育Ⅳ

教育目標	1年次	2年次	3年次	4年次
	学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 歴史文化コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)



学位授与の方針に掲げる
学習成果

	1年次	2年次	3年次	4年次	
各学問領域の専門能力を身につける	教員	教員として必要な基礎的知識が身に付いている	中学・高校の教員として必要な基礎的知識・技術が身に付いている	中学・高校の社会科教員として必要な知識・技術を身につけ、それを実習の場で活用することができる	実習における課題を振り返り、自己の課題を発見することができる
	学芸員	博物館・美術館に関する基礎的な知識・技能が身に付いている	博物館・美術館に関する基礎的な知識・技能が身に付いている	専門的な知識・技能を身につけ、博物館・美術館における実習で活用することができる	
日本の歴史と文化を理解する	日本史学・考古学・民俗学・美術史学の基礎的な知識・技能が身に付いている	日本史学・考古学・民俗学・美術史学の専門的知識を身につけ、自己の問題意識を発展させることができる	調査・研究の技能を身につけ、資料を踏査し、自己の課題を深く探求することができる	自己の課題探求の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる	文学・文化・芸術に関する学問領域の基礎的な知識及び各領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる
社会人として必要な能力を身につける	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身に付いている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのために必要な知識・技能について理解している	課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる		グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をもつた総合的な人間力を身につけ、実践できる
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる			伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる
人間性を高める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。教養をさらに深め、それをさまざまな分野に活用できる	身につけた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に活用できる	
教育目標	1年次	2年次	3年次	4年次	
	学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べ・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する	

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



文学科 歴史文化コース 免許・資格取得履修モデル
 中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地歴）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 中国語 III 中国語 IV コンピュータ・コミュニケーション II	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	6	8	6	3
学科必修・選択必修科目	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 歴史文化入門 I 日本史概説 I 日本古代史 I 日本近世史 I 社会学入門 I 宗教学入門	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 歴史文化入門 II 日本史概説 II 日本古代史 II 日本近世史 II	キャリア戦略 I 国際文化論 日本中世史 I 日本近現代史 I 日本考古学 I 日本美術史 I 民俗文化論 I	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本考古学 II 日本美術史 II 民俗文化論 II
科目数	8	7	7	5
選択科目			教職特別講座	教職特別講座
科目数	0	0	1	1
教職科目			教職入門 教育基礎論 社会科・地歴科教育法 I 介護体験実習	教育心理学 特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 社会科・地歴科教育法 II
科目数	0	0	4	5
科目数計	14	15	18	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数	0	0	0	0
学科必修・選択必修科目	専門ゼミ I 古文書学 I 西洋史概説 地理学 I 倫理学入門 政治学入門	専門ゼミ II 古文書学 II 東洋史概説 地理学 II 地誌学 経済学入門	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	6	6	2	2
選択科目		教職実践論 I	文化財研究 II（通年） 教職実践論 II	文化財研究 II（通年）
科目数	0	1	2	1
教職科目	社会科・公民科教育法 I 道徳活動の指導法 生徒指導（進路指導を含む） 教育相談 教育方法・情報通信技術活用論	社会科・公民科教育法 II 教育社会学 I 総合的な学習の時間の指導法 （中・高）教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	5	4	0	1
科目数計	11	11	4	4

文学科 書道文化コース 専門教育科目 履修要項

①卒業所要単位数は、全学共通科目（A 類）30 単位以上、専門教育科目（B 類）94 単位以上、計 124 単位以上です。

②書道文化コースの専門教育科目（B 類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B 類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
49	8	37	94

③書道文化コースの専門教育科目（B 類）については、別表Ⅳ-20 の通り卒業必修欄に○印の付いている科目 49 単位と選択必修科目 8 単位、そしてⅣ-20 の選択科目及び別表Ⅳ-9、Ⅳ-12、Ⅳ-15、Ⅳ-23、Ⅳ-24 から 37 単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。

④高等学校教諭一種免許状（書道）を取得しようとする者は、①に加えて、高一免（書道）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表Ⅳ-21、22 に記載の通り履修してください。

⑤図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ-1～5（P.281～P.285）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。

⑥単位を修得（成績表に S・A・B・C・N と表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	高一免(書道)	履修年次								備考		
							1		2		3		4				
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○		○										
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○			○									
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○			○									
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○		○										
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○			○									
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○				○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○					○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○					○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○						○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○							○					
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○								○				
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○									○			
	<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○												○
	(小計)		23	23													学科必修科目 (計23単位)
コース必修科目	<input type="checkbox"/>	国際文化論		2	△				○								※
	<input type="checkbox"/>	海外英語特講		4	△				○								
	<input type="checkbox"/>	書学入門		2	○	○											
	<input type="checkbox"/>	日本書道史概説		2	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	楷書の技法(A)Ⅰ	演	1	○	○	○										
	<input type="checkbox"/>	楷書の技法(A)Ⅱ	演	1	○	○		○									
	<input type="checkbox"/>	楷書の技法(B)Ⅰ	演	1	○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	楷書の技法(B)Ⅱ	演	1	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	行書の技法Ⅰ	演	1	○	○			○								
	<input type="checkbox"/>	行書の技法Ⅱ	演	1	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	草書の技法Ⅰ	演	1	○	○					○						
	<input type="checkbox"/>	草書の技法Ⅱ	演	1	○	○						○					
	<input type="checkbox"/>	隷書の技法	演	1	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	篆書の技法	演	1	○	○					○						
	<input type="checkbox"/>	かなの技法Ⅰ	演	1	○	○				○							
	<input type="checkbox"/>	かなの技法Ⅱ	演	1	○	○					○						
	<input type="checkbox"/>	篆刻の技法Ⅰ	演	1	○	○						○					
<input type="checkbox"/>	篆刻の技法Ⅱ	演	1	○	○							○					
<input type="checkbox"/>	中国書道史概説		2	○	○				○								
<input type="checkbox"/>	書論・鑑賞		2	○	○								○				
<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅰ	演	1	○	○	○											
<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅱ	演	1	○	○		○										
	(小計)		30	26													コース必修科目 (計26単位)
コース選択必修	<input type="checkbox"/>	漢字作品制作法Ⅰ		2							○						コース選択必修科目 (計8単位)
	<input type="checkbox"/>	漢字作品制作法Ⅱ		2								○					
	<input type="checkbox"/>	かな作品制作法Ⅰ		2									○				
	<input type="checkbox"/>	かな作品制作法Ⅱ		2										○			
	<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅰ		2									○				
	<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅱ		2										○			
	<input type="checkbox"/>	漢字かな交じり書法	演	1											○		
	<input type="checkbox"/>	実用書道	演	1												○	
	(小計)		14	8													
コース選択科目	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2				○									
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1					○								
	<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1						○							
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1						○							
	<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1							○						
	<input type="checkbox"/>	イギリスの歴史		2								○					
	<input type="checkbox"/>	アメリカの歴史		2									○				
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅰ		2				○									
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅱ		2					○								
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅰ		2					○								
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅱ		2						○							
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅰ		2		○				○		●					
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅱ		2		○					○		●				
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅰ		2		○	○					●					
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅱ		2		○		○					●				
<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅰ		2					○									
<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅱ		2						○								
<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅰ		2										●				
<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅱ		2							○				●			

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	高一免(書道)	履修年次								備考
							1		2		3		4		
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅰ	演	1			○				●				
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅱ	演	1				○				●			
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅰ	演	1					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅱ	演	1						○					
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学講読Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	書写・書道Ⅰ	演	1		○	○								
	<input type="checkbox"/>	書写・書道Ⅱ	演	1		○		○							
	<input type="checkbox"/>	日本語の音声		2							○				
	<input type="checkbox"/>	漢文講読Ⅰ		2					○		●				
	<input type="checkbox"/>	漢文講読Ⅱ		2						○		●			
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅰ		2			○								
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅱ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本古代史Ⅰ		2			○								
	<input type="checkbox"/>	日本古代史Ⅱ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本中世史Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本中世史Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	日本近世史Ⅰ		2			○								
	<input type="checkbox"/>	日本近世史Ⅱ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本近現代史Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	東洋史概説		2							○		●		
	<input type="checkbox"/>	図書館概論		2			○								
	<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅰ	演	1					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅱ	演	1						○					
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅰ	演	1							○				
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅱ	演	1								○			
	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅰ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅱ		2								○			
	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅰ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅱ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅲ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅳ		2								○			
	<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーションⅡ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅠ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅡ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅠ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅡ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅢ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅠ		2			○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅡ		2			○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅢ		2			○	○	○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	短期インターンシップ		2						○	○				
	<input type="checkbox"/>	長期インターンシップ		20						○	○	○	○		(4週～20週/4単位～20単位)
	<input type="checkbox"/>	短期留学		12						○	○	○	○	○	(1～12週まで/1単位～12単位)
	<input type="checkbox"/>	長期留学		20						○	○	○	○	○	(13週～/13単位～20単位)
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅰ キャリア・デザインⅠ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅱ キャリア・デザインⅡ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅲ リーダーシップ		2					○	○	○	○			
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅳ 教職実践論Ⅰ		2								○			
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅴ 教職実践論Ⅱ		2									○		
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅵ～ⅩⅩ													
		(小計)		182	37	10									各2単位 コース選択科目 (計37単位)
		合計		249	94										

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。●印は教職課程履修者の推奨履修年次を示す。

※国際文化論の代わりに、海外英語特講を履修することができる。

教職課程履修について〔高等学校教諭一種免許状 書道〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件と、教育職員免許状取得のための要件を満たしますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅳ—21

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	要履修科目が必	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○	○										

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の区別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

書道文化コースの専門教育科目(B類)に記載の高一免(書道)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

当該教職に関する科目の単位は、専門教育科目(B類)の選択科目の単位に計上することができます。

別表Ⅳ—22

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位数	高免	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△			●	●							△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△					●	●					
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	書道科教育法Ⅰ	演	2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	書道科教育法Ⅱ	演	2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			●	●							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○							●	●			
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○					●	●					
	計		33	31											

[注] 1. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。

2. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に●印を付された通り履修すること。春学期または秋学期に開講する。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 書道文化コース カリキュラムマップ

		1年次春学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
各学問領域の専門能力を身につける	教員	学びの扉を開こう						
	書学	日本国憲法 書写・書道Ⅱ 情報活用演習(教職)	教職入門 教育心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 特別支援教育総論 教職特別講座	教育心理学 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 特別支援教育総論 教職特別講座	生活指導 書道科教育法Ⅰ	教育社会学Ⅰ 書道科教育法Ⅱ 総合的な学習の時間の指導法 (高校)教育実習	教育社会学Ⅰ 書道科教育法Ⅱ 総合的な学習の時間の指導法 (高校)教育実習	教職実践演習
理論と技法を学ぶ	技法	書学入門 日本文学概説Ⅱ 日本古典文学の基礎Ⅱ 漢文学の基礎Ⅱ	中国書道史概説 日本近現代文学史Ⅰ 日本語概説Ⅱ 東洋史概説	日本書道史概説 日本近現代文学史Ⅱ 日本語概説Ⅱ 東洋史概説	日本古典文学史Ⅰ 漢文講読Ⅰ 古文書学Ⅰ 漢字作品制作法Ⅰ 草書の技法Ⅰ	日本古典文学史Ⅱ 漢文講読Ⅱ 古文書学Ⅱ 漢字作品制作法Ⅱ 草書の技法Ⅱ	専門ゼミⅢ 卒業制作 日本語の歴史Ⅰ	専門ゼミⅣ 卒業制作 日本語の歴史Ⅱ
	技法	楷書の技法(A)Ⅰ 楷書の技法(A)Ⅱ 行書の技法Ⅰ 隷書の技法 かなの技法Ⅰ	楷書の技法(B)Ⅰ 行書の技法Ⅱ 隷書の技法 かなの技法Ⅱ	楷書の技法(B)Ⅱ 行書の技法Ⅱ 隷書の技法 かなの技法Ⅱ	楷書の技法Ⅰ 行書の技法Ⅰ 隷書の技法 かなの技法Ⅰ	かな作品制作法Ⅰ 篆刻の技法Ⅰ	かな作品制作法Ⅱ 篆刻の技法Ⅱ	かな作品制作法Ⅱ 篆刻の技法Ⅱ
社会人として必要な能力を身につける	基礎	女性キャリア論Ⅰ ベーシック コミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅰ 異文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅱ 異文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーションⅠ	キャリア戦略Ⅲ 異文化 コミュニケーション ホスピタリティ コミュニケーションⅡ	キャリア戦略Ⅳ 異文化 コミュニケーションⅡ ホスピタリティ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	キャリア戦略Ⅳ 異文化 コミュニケーションⅡ ホスピタリティ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	キャリア戦略Ⅳ 異文化 コミュニケーションⅡ ホスピタリティ 英語Ⅳ 外国語 教養科目
	企業就職	メティア論入門 学内フィールドワークⅠ	プレゼンテーションⅠ ホスピタリティ英語Ⅱ	プレゼンテーションⅡ ホスピタリティ英語Ⅲ	プレゼンテーションⅢ ホスピタリティ英語Ⅳ	プレゼンテーションⅣ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	プレゼンテーションⅣ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ	プレゼンテーションⅣ ホスピタリティ英語Ⅳ 短期インターンシップ
学びの基礎を身につける	人文科学入門Ⅰ (RE科目) コンピュータ 英語Ⅰ 情報活用演習(基礎)	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅲ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目	国際文化論 コンピュータ コミュニケーションⅡ 英語Ⅳ 外国語 教養科目
人間性を高める	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅠ スポーツと健康Ⅰ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅡ スポーツと健康Ⅱ	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅰ 聖徳教育Ⅱ SEITOKU Academic LiteracyⅢ 小笠原流礼法基礎講座
教育目標	1年次 学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確率する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 〈調べる・考える・創作する〉ための 技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を 修得する				

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 書道文化コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

各学問領域の専門能力を身につける	実践力を養おう			
	1年次	2年次	3年次	4年次
各学問領域の専門能力を身につける	教員として必要な基礎的知識が身についている	高校の教員として必要な基礎的知識・技術が身についている	高校の国語教員として必要な知識・技術を身につけて、それを教科の指導に活用できる	実習における課題を振り返り、自己の課題を発見することができる
理論と技法を学ぶ	書道の基礎知識及び題材に使用する漢文の基礎知識を理解し習得する	書道史を理解し、古典文学や漢文と書道との関わりを理解することができる	書学と技法を身につけ、多角的な視点で作品を鑑賞・解説できる	書学と技法を身につけ、作品制作に結びつけることができる
社会人として必要な能力を身につける	楷書の技法を理解できる	楷・行・隸・篆の四書体及びかなの特徴と技法を理解し、書くことができる	楷・行・草・隸・篆・かなに加え、篆刻の特徴と技法をも理解し、漢字・かな・篆刻の作品制作法を身につけることができる	書作品及び必要書道の書法を理解し、日常に活用できるようになる
学びの基礎を身に付ける	大学生として必要な教養とコミュニケーション能力が身につける	社会人として必要な教養と国際性を身につけ、その成果を発信できる	社会人として必要な論理的思考力を身につけ、それを表出する能力が養われる	
人間性を高める	建学の精神である「和」を理し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	身についた「礼節」を実践できる教養をさらに深め、それをさまざまな分野に活用できる	身についた「気品」と「礼節」をいかなる場合にも、自由に活用できる
教育目標	1年次 学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確率する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 〈調べる・考える・創作する〉ための 技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を 修得する

学位授与の方針に掲げる
学習成果

実践力を養おう

考える力・創作力を養
おう

専門的知識を
身につけよう

学びの扉を開こう

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



文学・文化・芸術に関する学
問領域の基礎的な知識及び各
領域の専門能力を身につけ、
主体的に課題を解決できる

グローバル社会を生き残るため
の英語コミュニケーション力
をも有した総合的な人間力を
身につけ、実践できる

15前年の本邦教育により又はほ
かしての心豊かな教養を養い、
日本社会の気品の模範として
の礼法を身につけ、実践でき
る

文学科 書道文化コース 教員免許取得履修モデル
 高等学校教諭一種免許状（書道）を取得する場合

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語 II 中国語 I 中国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 中国語 III 中国語 IV コンピュータ・コミュニケーション II	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語 IV
科目数	6	8	6	3
コ ー ス 必 修 科 目 ・	人文科学入門 I 女性キャリア論 I 書学入門 楷書の技法 (A) I 漢文学の基礎 I	人文科学入門 II ホスピタリティコミュニケーション I 女性キャリア論 II 楷書の技法 (A) II 漢文学の基礎 II	キャリア戦略 I 国際文化論 楷書の技法 (B) I 行書の技法 I 隷書の技法 かなの技法 I 中国書道史概説	キャリア戦略 II 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法 (B) II 行書の技法 II 篆書の技法 かなの技法 II
科目数	5	5	7	7
選 択 必 修				
科目数	0	0	0	0
選 択 科 目	書写・書道 I 日本文学概説 I	書写・書道 II 日本文学概説 II	教職特別講座	教職特別講座
科目数	2	2	1	1
教 職 科 目			教職入門 教育基礎論 教育方法・情報通信技術活用論	特別支援教育総論 教育課程論 特別活動の指導法 教育相談 教育心理学
科目数			3	5
科目数計	13	15	17	17

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 共通 科目				
科目数	0	0	0	0
コ ー ス 必 修 科 目 ・	専門ゼミ I 草書の技法 I 篆刻の技法 I	専門ゼミ II 草書の技法 II 篆刻の技法 II 書論・鑑賞	専門ゼミ III 卒業研究	専門ゼミ IV 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選 択 必 修	漢字作品制作法 I かな作品制作法 I	漢字作品制作法 II かな作品制作法 II	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選 択 科 目	日本古典文学の基礎 I 日本語概説 I 日本古典文学史 I 日本近現代文学史 I 漢文講読 I	日本古典文学の基礎 II 日本語概説 II 日本古典文学史 II 日本近現代文学史 II 漢文講読 II 東洋史概説 教職実践論 I	日本語の歴史 I 教職実践論 II	日本語の歴史 II
科目数	5	7	2	1
教 職 科 目	書道科教育法 I 生徒指導（進路指導を含む）	教育社会学 I 書道科教育法 II 総合的な学習の時間の指導法 高等学校教育実習		教職実践演習（中・高）
科目数	2	4	0	1
科目数計	12	17	5	5

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 異文化コミュニケーション 英語II 中国語I 中国語II スポーツと健康II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III 中国語III 中国語IV コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	7	6	3
学科必修科目・	人文科学入門I 女性キャリア論I 書学入門 楷書の技法(A)I 漢文学の基礎I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II 楷書の技法(A)II 漢文学の基礎II	キャリア戦略I 国際文化論 楷書の技法(B)I 行書の技法I 隷書の技法 かなの技法I 中国書道史概説	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 日本書道史概説 楷書の技法(B)II 行書の技法II 篆書の技法 かなの技法II
科目数	5	5	7	7
選択必修				
科目数	0	0	0	0
選択科目	書写・書道I 日本文学概説I 日本文化入門 学内フィールドワークI	書写・書道II 学内フィールドワークII	日本古典文学購読I 日本近現代文学史I 漢文購読I	日本古典文学購読II 日本近現代文学史II 漢文購読II 東洋史概説
科目数	4	2	3	4
教職科目				
科目数	0	0	0	0
科目数計	15	14	16	14

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目				
科目数	0	0	0	0
学科必修科目・	専門ゼミI 草書の技法I 篆刻の技法I	専門ゼミII 草書の技法II 篆刻の技法II 書論・鑑賞	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	3	4	2	2
選択必修	漢字作品制作法I かな作品制作法I	漢字作品制作法II かな作品制作法II	漢字かな交じり書法	実用書道
科目数	2	2	1	1
選択科目	日本古典文学史I 日本語教育の概要I 古文書学I キャリア戦略III 短期インターンシップ	日本古典文学史II 日本語教育の概要II 古文書学II キャリア戦略IV	日本事情I	日本事情II
科目数	5	4	1	1
教職科目				
科目数	0	0	0	0
科目数計	10	10	4	4

文学科 図書館情報コース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ②図書館情報コースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
51	10	33	94

- ③図書館情報コースの専門教育科目（B類）については、別表Ⅳ-23の通り卒業必修欄に○印の付いている科目51単位と選択必修科目10単位、そして別表Ⅳ-23の選択科目及び別表Ⅳ-9、Ⅳ-12、Ⅳ-15、Ⅳ-20、Ⅳ-24から33単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④図書館情報コースは、図書館司書資格取得が卒業必修となっており、卒業要件を満たすことにより図書館司書資格を取得することができます。
- ⑤社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ-2～5（P.282～P.285）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。
- ⑥単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考		
						1		2		3		4				
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○			○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○			○								
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○							○				
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○								○			
	<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○									○		
	(小計)		23	23												学科必修科目 (計23単位)
コース必修科目	<input type="checkbox"/>	国際文化論		2	△			○								※
	<input type="checkbox"/>	海外英語特講		4	△			○								
	<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	○	○										「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織論		2	○	○										「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	図書館情報技術論		2	○	○										「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅰ	演	1	○		○									「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	○			○								「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	○	○										
	<input type="checkbox"/>	図書・図書館史		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	○	○										「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅰ	演	1	○		○									「学校司書」対応科目
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅱ	演	1	○			○								「学校司書」対応科目	
<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	○		○										
<input type="checkbox"/>	図書館サービス特論		2	○			○								プレミアムRE	
<input type="checkbox"/>	図書館制度・経営論		2	○			○									
	(小計)		32	28												コース必修科目 (計28単位)
コース選択必修科目	<input type="checkbox"/>	図書館基礎特論		2					○							
	<input type="checkbox"/>	図書館施設論		2					○							
	<input type="checkbox"/>	図書館情報資源特論		2						○						「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	図書館情報学特論Ⅰ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	図書館情報学特論Ⅱ		2						○						
	<input type="checkbox"/>	未来図書館論		2							○					プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	原典講読		2							○					
	<input type="checkbox"/>	図書館総合演習	演	1	△						○					プレミアムRE ※
	<input type="checkbox"/>	図書館実習	演	1	△						○					
	<input type="checkbox"/>	学校経営と学校図書館		2						○						「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	学習指導と学校図書館		2						○						「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	読書と豊かな人間性		2							○					「学校司書」対応科目
	<input type="checkbox"/>	情報メディアの活用		2							○					
<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅰ		2							○						
<input type="checkbox"/>	古文書学Ⅱ		2								○					
	(小計)		28	10												コース選択必修科目 (計10単位)
コース選択科目	<input type="checkbox"/>	メディア論入門		2		○										
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ概論		2		○										
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅠ		2				○								
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅡ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅰ		2				○								
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅱ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーションⅡ		2		○										
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅡ		2		○										
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅲ		2						○						
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅳ		2							○					
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅠ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅡ		2						○						
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅠ		2		○										
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅡ		2			○									
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅢ		2				○								
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅣ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅠ		2					○							
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅡ		2						○						
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅢ		2							○					
	<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅠ		2		○										
<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅡ		2			○										
<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅢ		2				○									
<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅣ		2					○								
<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅤ		2						○							
<input type="checkbox"/>	英語のスピーキング・リスニングⅥ		2							○						
<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1					○								
<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1						○							
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1						○							
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1							○						

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	<input type="checkbox"/>	イギリスの歴史		2											
	<input type="checkbox"/>	アメリカの歴史		2											
	<input type="checkbox"/>	書学入門		2		○									
	<input type="checkbox"/>	編集・ジャーナリズム論		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅰ	演	1		○									
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅱ	演	1			○								
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅰ	演	1		○									
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学の基礎Ⅱ	演	1			○								
	<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅰ	演	1		○									
	<input type="checkbox"/>	漢文学の基礎Ⅱ	演	1			○								
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本古典文学史Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本近現代文学史Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	民俗文化論Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	民俗文化論Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本美術史Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本美術史Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅰ		2		○									
	<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅱ		2			○								
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅰ		2		○									
	<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅱ		2			○								
	<input type="checkbox"/>	博物館概論		2				○							
	<input type="checkbox"/>	博物館経営論		2					○						
	<input type="checkbox"/>	博物館資料論		2					○						
	<input type="checkbox"/>	博物館資料保存論		2						○					
	<input type="checkbox"/>	博物館展示論		2							○				
	<input type="checkbox"/>	博物館情報・メディア論		2						○					
	<input type="checkbox"/>	博物館教育論		2							○				
	<input type="checkbox"/>	博物館実習	実	3						○	○				
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅱ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅰ	演	1				○							
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅱ	演	1					○						
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅰ	演	1						○					
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅱ	演	1							○				
	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅰ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅱ		2							○				
	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅰ		2				○							
	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅱ		2					○						
		(インターンシップ)													
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅠ		2		○	○	○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅡ		2		○	○	○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	学内フィールドワークⅢ		2		○	○	○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	短期インターンシップ		2				○		○					
	<input type="checkbox"/>	長期インターンシップ		20					○	○	○	○			(4週～20週/4単位～20単位)
		(留学)													
	<input type="checkbox"/>	短期留学		12				○	○	○	○	○	○		(1～12週まで/1単位～12単位)
	<input type="checkbox"/>	長期留学		20				○	○	○	○	○	○		(13週～/13単位～20単位)
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅰ キャリア・デザインⅠ		2					○						
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅱ キャリア・デザインⅡ		2						○					
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅲ リーダーシップ		2				○	○	○	○				
	<input type="checkbox"/>	特別講義Ⅳ～ⅩⅩ													各2単位
		(小計)		201	33										コース選択科目 (計33単位)
		(合計)		284	94										

【授業の方法】 演：演習、実：実験・実習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【「学校司書」対応科目】この表中に表記された科目以外に必要な科目があります。

教職課程論、教育基礎論、発達心理学、教育心理学、特別支援教育総論です。発達心理学と教育心理学については、どちらか1科目を選択して履修してください。必ず、ライブラリーアテンダント・学校司書履修モデルを見てください。

※1 国際文化論の代わりに、海外英語特講を履修することができる。

※2 図書館総合演習・図書館実習は、どちらかを選択して履修すること。

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 図書館情報コース カリキュラムマップ

1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	3 年次春学期	3 年次秋学期	4 年次春学期	4 年次秋学期
学びの扉を開こう							
専門的知識を身につけよう							
考える力・創作力を養おう							
実践力を養おう							

司書資格	図書館情報技術論 図書館概論	図書・図書館中 図書館制度・経営論 児童サービス論 情報サービス演習 I 情報資源組織演習 I	図書館サービス特論 情報サービス演習 II 情報資源組織演習 II	学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 特別支援教育総論 教育課程論 図書館情報学特論 I	専門ゼミ I 図書館基礎特論 図書館実習 図書館情報学特論 II 情報メディアの活用 古文書学 I	専門ゼミ II 未来図書館論 図書館総合演習 原典購読 図書館情報資源特論 古文書学 II	専門ゼミ III	専門ゼミ IV 卒業研究
図書館情報学を深く理解し、実践力を身につける	生涯学習概論 図書館概論	図書・図書館中 図書館制度・経営論 児童サービス論 情報サービス演習 I 情報資源組織演習 I	図書館サービス特論 情報サービス演習 II 情報資源組織演習 II	学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 特別支援教育総論 教育課程論 図書館情報学特論 I	専門ゼミ I 図書館基礎特論 図書館実習 図書館情報学特論 II 情報メディアの活用 古文書学 I	専門ゼミ II 未来図書館論 図書館総合演習 原典購読 図書館情報資源特論 古文書学 II	専門ゼミ III	専門ゼミ IV 卒業研究



学校司書	図書館情報学を深く理解し、実践力を身につける
学校司書	図書館情報学を深く理解し、実践力を身につける

基礎	女性キャリア論 I ベーシックコミュニケーション I	女性キャリア論 II 異文化コミュニケーション ホスピタリティコミュニケーション I	キャリア戦略 I	キャリア戦略 II	キャリア戦略 III	キャリア戦略 IV
社会人として必要な能力を身につける	メディア論入門	女性キャリア論 II 異文化コミュニケーション ホスピタリティコミュニケーション I	キャリア戦略 I	キャリア戦略 II	キャリア戦略 III	キャリア戦略 IV
企業就職	学内フィールドワーク I	ホスピタリティ英語 I 学内フィールドワーク II	ホスピタリティ英語 II ホスピタリティ英語 III	ホスピタリティ英語 II ホスピタリティ英語 III	ホスピタリティ産業論 I ホスピタリティ英語 IV	ホスピタリティ産業論 II ホスピタリティ英語 V

学びの基礎を身につける	人文科学入門 I (RE科目)	国際文化論	英語 I	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII
学びの基礎を身につける	人文科学入門 I (RE科目)	国際文化論	英語 I	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V	英語 VI	英語 VII	英語 VIII

| 人間性を高める | 聖徳教育 I
SETOKU Academic Literacy I | 聖徳教育 II
SETOKU Academic Literacy II | 聖徳教育 I
SETOKU Academic Literacy III |
|---------|--------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 人間性を高める | 聖徳教育 I
SETOKU Academic Literacy I | 聖徳教育 II
SETOKU Academic Literacy II | 聖徳教育 I
SETOKU Academic Literacy III |

教育目標	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
教育目標	学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 図書館情報コース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)



	1年次	2年次	3年次	4年次
各学問領域の専門能力を身につける	図書館に関する基礎的な知識・技能が身についている	図書館に関する専門的な知識・技能が身についている	図書館に関する専門的な知識・技術を深めることができる	
図書館情報学を深く理解し、実践力を身につける	図書館情報学の専門的知識を身につけ、自己の問題意識を醸成させることができる	図書館および図書館情報学に関する専門的な知識・技能を実習で活用することができる。また、調査・研究の技能を身につけ、資料を解釈し、自己の課題を深く探求することができる	これまでの実践を通して自己の課題を再発見することができる。あわせて、自己の課題探求の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる	
社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのために必要な知識・技能について理解している			現代社会の課題を認識し、社会に働きかけることができる
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけ、学際的洞察力を醸成して活用し、表現することができる		グローバル社会を生きるための英語コミュニケーション力をも有した総合的な人間力を身につけ、実践できる
人間性を高める	雑学・精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる。日本女性の権威としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる。教養をさらに深め、それをさまざまな分野に活用できる	伝統の本物教育により女性として心豊かな教養を養い、日本社会の気品の権威としての礼法を身につけ、実践できる
教育目標	1年次 学習の基礎を身につける 学習者の姿勢を確立する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を 修得する

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



文学科 図書館情報コース 履修モデル
ライブラリアテンダント、学校司書履修モデル

(○が司書資格科目、◎が学校司書モデルカリキュラム対応科目)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	5	4	3
コース選択必修科目・ 学科必修科目・ 選択必修科目	人文科学入門I 女性キャリア論I ○図書館概論 ○生涯学習概論 ◎◎情報資源組織論	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II ◎◎図書館情報資源概論 ○図書館サービス概論 ◎◎情報サービス論 ◎◎図書館情報技術論	キャリア戦略I 国際文化論 ◎◎情報サービス演習I ○児童サービス論 ◎◎情報資源組織演習I ○図書館制度・経営論 ○図書・図書館史	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 ◎◎情報資源組織演習II ◎◎情報サービス演習II ◎◎図書館情報学特論I ◎学習指導と学校図書館 ◎学校経営と学校図書館
科目数	5	7	7	7
選択科目	学内フィールドワークI メディア論入門 ホスピタリティ概論	学内フィールドワークII ベーシックコミュニケーションII	民俗文化論I ビジネスコミュニケーションI	民俗文化論II ビジネスコミュニケーションII 編集・ジャーナリズム論
科目数	3	2	2	3
教職科目			◎教育基礎論	◎特別支援教育総論 ◎教育課程論
科目数	0	0	1	2
科目数計	14	14	14	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
コース選択必修科目・ 学科必修科目・ 選択必修科目	専門ゼミI 図書館実習 ◎読書と豊かな人間性 図書館基礎特論 図書館情報学特論II	専門ゼミII 未来図書館論 図書館施設論 ○図書館サービス特論 図書館情報資源特論	専門ゼミIII 卒業研究 情報メディアの活用	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	5	5	3	2
選択科目	ビジネスコミュニケーションIII プレゼンテーションI 短期インターンシップ			
科目数	3	1	0	0
教職科目	◎発達心理学			
科目数	1	0	0	0
科目数計	10	7	4	3

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II 日本国憲法	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	5	4	3
コース選択必修科目・ 選択必修科目	人文科学入門I 女性キャリア論I ○図書館概論 ○生涯学習概論 ○情報資源組織論	人文科学入門II 女性キャリア論II ホスピタリティコミュニケーションI ○図書館情報資源概論 ○図書館サービス概論 ○情報サービス論 ○図書館情報技術論	キャリア戦略I 国際文化論 ○情報サービス演習I ○児童サービス論 ○情報資源組織演習I ○図書館制度・経営論 ○図書・図書館史	キャリア戦略II 専門ゼミ入門 ○情報資源組織演習II ○情報サービス演習II ○図書館サービス特論
科目数	5	7	7	5
選択科目	学内フィールドワークI 英語のスピーキング・リスニングI ホスピタリティ概論	学内フィールドワークII 英語のスピーキング・リスニングII ホスピタリティ英語I	英語のスピーキング・リスニングIII メディア論入門 ビジネスコミュニケーションI ホスピタリティ英語II	英語のスピーキング・リスニングIV ベーシックコミュニケーションII ビジネスコミュニケーションII 編集・ジャーナリズム論 ホスピタリティ英語III
科目数	3	3	4	5
科目数計	14	15	15	13

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
コース選択必修科目・ 選択必修科目	専門ゼミI 図書館情報学特論II 図書館実習	専門ゼミII 未来図書館論 原典購読 図書館情報資源特論 図書館施設論	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	3	5	2	2
選択科目	キャリア戦略III ビジネスコミュニケーションIII 短期インターンシップ プレゼンテーションI ホスピタリティ産業論I	キャリア戦略IV ホスピタリティ産業論II		
科目数	5	2	0	0
科目数計	9	8	3	3

文学科 教養デザインコース 専門教育科目 履修要項

- ①卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）94単位以上、計124単位以上です。
- ②教養デザインコースの専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）			
必修科目	選択必修科目	選択科目	計
23	40	31	94

- ③教養デザインコースの専門教育科目（B類）については、別表Ⅳ-24の通り卒業必修欄に○印の付いている科目23単位、ホスピタリティ・ヒューマン・ビジネス・グローバル・人文科学基礎の科目より40単位、そして別表Ⅳ-24の選択科目及び別表Ⅳ-9、Ⅳ-12、Ⅳ-15、Ⅳ-20、Ⅳ-23から31単位以上を履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ④図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関連、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて、別表Ⅷ-1～5（P.281～P.285）により、履修してください（一部、卒業要件に算入できない科目があります）。
- ⑤単位を修得（成績表にS・A・B・C・Nと表記）した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学科必修科目	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅰ (RE科目)		2	○	○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	人文科学入門Ⅱ (RE科目)		2	○		○								
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅠ		2	○		○								
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅰ		2	○	○									
	<input type="checkbox"/>	女性キャリア論Ⅱ		2	○		○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅰ		2	○		○								
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅱ		2	○			○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミ入門 (2年次秋)	演	1	○			○							
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅠ (3年次ゼミⅠ)	演	1	○				○						
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅡ (3年次ゼミⅡ)	演	1	○					○					
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅢ (4年次ゼミⅠ)	演	1	○						○				
	<input type="checkbox"/>	専門ゼミⅣ (4年次ゼミⅡ)	演	1	○							○			
	<input type="checkbox"/>	卒業研究		4	○									○	
	(小計)			23	23									学科必修科目 (計23単位)	
コース選択必修科目		(ホスピタリティ)													
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ概論		2	△	○									エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティコミュニケーションⅡ		2	△		○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅠ		2	△		○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティマネジメントⅡ		2	△			○							エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅰ		2	△		○								エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ産業論Ⅱ		2	△			○							
				12											
		(ヒューマン・コミュニケーション)													
	<input type="checkbox"/>	ベーシックコミュニケーションⅡ		2	△		○								
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅠ		2	△			○							プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションⅡ		2	△				○						エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ロジカルコミュニケーションⅠ		2	△			○							
	<input type="checkbox"/>	ロジカルコミュニケーションⅡ		2	△					○					
				10											
		(ビジネス・コミュニケーション)													
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅲ		2	△				○						エアラインプラチナP/プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	キャリア戦略Ⅳ		2	△						○				エアラインプラチナP
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅠ		2	△			○							プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅡ		2	△				○						プレミアムRE
	<input type="checkbox"/>	ビジネスコミュニケーションⅢ		2	△					○					プレミアムRE
				10											
		(グローバル・コミュニケーション)													
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅰ		2	△		○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅱ		2	△			○							SEEP
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅲ		2	△				○						
	<input type="checkbox"/>	ホスピタリティ英語Ⅳ		2	△					○					
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅠ		2	△		○								SEEP
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅡ		2	△			○							SEEP
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅢ		2	△				○						SEEP
	<input type="checkbox"/>	グローバルコミュニケーションⅣ		2	△					○					SEEP
				16											
		(人文科学基礎科目)													
<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅰ	演	1	△	○										
<input type="checkbox"/>	現代イギリス事情Ⅱ	演	1	△		○									
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅰ	演	1	△	○										
<input type="checkbox"/>	現代アメリカ事情Ⅱ	演	1	△		○									
<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅰ		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅱ		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅰ		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅱ		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅰ		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	歴史文化入門Ⅱ		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅰ		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	日本史概説Ⅱ		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	書学入門		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	日本書道史概説		2	△			○								
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	メディア論入門		2	△	○										
<input type="checkbox"/>	編集・ジャーナリズム論		2	△			○								
<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	△		○									
<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	△			○								
	(小計)			86	40									△ (ホスピタリティ、ヒューマン、ビジネス、グローバル、人文科学基礎) から40単位以上必修	

令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース カリキュラムマップ

1年次春学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
学ひの扉を開こう						
専門的知識を身につけよう						
考える力・創作力を養おう						
実践力を養おう						

ベーシック コミュニケーションⅠ 学内 ワールドワークⅠ	ベーシック コミュニケーションⅡ 学内 ワールドワークⅡ インターンシップ短期	フィアールドワークⅢ 海外英語特講	キャリア戦略Ⅲ 特別講義Ⅱ	キャリア戦略Ⅳ 特別講義Ⅲ	特別講義Ⅳ	
現代イギリス事情Ⅰ 現代アメリカ事情Ⅰ	現代イギリス事情Ⅱ 現代アメリカ事情Ⅱ	日本語表現法Ⅰ	日本語表現法Ⅱ			

ホスピタリティ概論	興文化 コミュニケーション コミュニケーションⅠ ビジネス コミュニケーションⅠ プレゼンテーションⅠ	ロジカル コミュニケーションⅠ ビジネス コミュニケーションⅡ プレゼンテーションⅡ	専門ゼミⅠ ロジカル コミュニケーションⅡ ビジネス コミュニケーションⅢ プレゼンテーションⅡ	専門ゼミⅡ	専門ゼミⅢ	専門ゼミⅣ 卒業研究
ホスピタリティ概論	ホスピタリティ コミュニケーションⅠ	ホスピタリティ コミュニケーションⅡ	ホスピタリティ コミュニケーションⅢ	ホスピタリティ コミュニケーションⅣ	ホスピタリティ コミュニケーションⅤ	ホスピタリティ コミュニケーションⅥ
英語のスピーキング・リスニングⅠ	英語のスピーキング・リスニングⅡ	英語のスピーキング・リスニングⅢ	英語のスピーキング・リスニングⅣ	英語のスピーキング・リスニングⅤ	英語のスピーキング・リスニングⅥ	
英語の語彙と用法Ⅰ	英語の語彙と用法Ⅱ	英語の語彙と用法Ⅲ	英語の語彙と用法Ⅳ			

女性キャリア論Ⅰ	女性キャリア論Ⅱ	キャリア戦略Ⅰ	キャリア戦略Ⅱ			
----------	----------	---------	---------	--	--	--

人文科学入門Ⅰ 英語Ⅰ	人文科学入門Ⅱ 英語Ⅱ	英米の小説Ⅰ 英語Ⅲ メディアの英語	英米の小説Ⅱ 英語Ⅳ	文芸創作Ⅰ 英語のコミュニケーションⅠ	文芸創作Ⅱ 英語のコミュニケーションⅡ	
コンピュータ コミュニケーションⅠ	コンピュータ コミュニケーションⅡ					
日本文学概説Ⅰ	日本文学概説Ⅱ					
日本近現代文学史Ⅰ	日本近現代文学史Ⅱ					
基礎英文法Ⅰ	基礎英文法Ⅱ	英文法Ⅰ	英文法Ⅱ			
メディア入門	外国語					
情報活用演習(基礎)	教養科目					

聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	SETOKU Academic LiteracyⅠ	SETOKU Academic LiteracyⅡ	SETOKU Academic LiteracyⅢ	小笠原流礼法基礎講座	
聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅲ

1年次	2年次	3年次	4年次
学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	専門分野の基礎を理解する	〈調べる・考える・議論する〉ための 技能を修得する	課題解決のための実践力を 修得する

各学問領域の
専門能力を身につける

ビジネス社
会・グローバ
ル社会で働く
上で必要な和
識・能力・態
度を身につけ
る

グロー
バル

社会人として必要な
能力を身につける

学ひの基礎を
身につける

人間性を高める

教育目標

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる



令和5年度 聖徳大学 文学部 文学科 教養デザインコース 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)



学位授与の方針に掲げる学習成果

各学問領域の専門能力を身につけ、主体的に課題を解決できる

	1年次	2年次	3年次	4年次
各学問領域の専門能力を身につける	社会人としての基礎的知識が身についている	業界、業種、職種など働く上で必要な社会科学領域の基礎的な知識・技術が身についている	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する解答を論理的に導き出し、わかりやすく伝えることができる 企業や団体での就業を通して職業意識を醸成し、企業、団体で働く上で必要な知識・技能・態度が身についている 	現代社会の課題を認識し、主体的に社会に働きかける社会人基礎力が身についている
ビジネス	ビジネス社会で必要なコミュニケーション能力の基礎が身についている	諸課題について個人で考え発信し、チーム内議論を通して合意形成するために必要な技能・態度を身につけている	ビジネス社会における調査・研究の技能を身につけ、資料を読解し、自己の課題を深く探求することができる	調査・研究の成果を、論文としてまとめ、わかりやすく伝えることができる
グローバル	グローバル社会で必要なコミュニケーション能力の基礎が身についている	グローバル社会に必要な基礎的な英語力・コミュニケーション力及び多様な価値観を受け入れ円滑な対人関係を構築する技術・態度が身についている	グローバル社会における調査・研究の技能を身につけ、資料を読解し、自己の課題を深く探求することができる	グローバル社会を生きるために必要な異文化対峙力・英語力・コミュニケーション力を身につけ、常に顧客思考とチームワークを意識して課題解決に取り組み、国際社会に貢献できる社会人基礎力の高い人材を育成する
社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	社会人として必要な資質を理解し、基礎的な知識・技能が身についている	自己のキャリアビジョンを設定し、そのために必要な知識・技能について理解している		グローバル社会を生きるために必要な異文化対峙力・英語力・コミュニケーション力を身につけ、常に顧客思考とチームワークを意識して課題解決に取り組み、国際社会に貢献できる社会人基礎力の高い人材を育成する
学びの基礎を身につける	大学生として必要な教養を養うための学びの基礎を身につける	教養を深め、高めるために必要な知識を身につけ、学際的洞察力を踏まえて応用し、表現できる	身につけた教養を応用し、課題に対する解答を導き出し、わかりやすく伝えることができる	
人間性を高める	建学の精神である「和」を理解し、「礼節」をもって行動できる	「礼節」の基本を身につけ、実践できる、日本女性の模範としての「気品」とは何かを理解できる	身につけた「礼節」を応用し、実践できる、教養をさらに深め、それをさまざまな分野に適用できる	伝統の本物教育により女性としての心豊かな教養を養い、日本社会の気品の模範としての礼法を身につけ、実践できる人材を育成する
教育目標	1年次 学習の基礎を身につける 学習への姿勢を確立する	2年次 専門分野の基礎を理解する	3年次 〈調べ・考える・議論する〉ための技能を修得する	4年次 課題解決のための実践力を修得する

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	4	5	3
選択必修科目	人文科学入門I 女性キャリア論I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II	キャリア戦略I	キャリア戦略II 専門ゼミ入門
科目数	2	3	1	2
コース選択必修科目	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情I 歴史文化入門I メディア論入門	ベーシックコミュニケーションII ホスピタリティ英語I グローバルコミュニケーションI 歴史文化入門II	ホスピタリティコミュニケーションII ホスピタリティ産業論I ホスピタリティマネジメントI プレゼンテーションI ホスピタリティ英語II グローバルコミュニケーションII	ホスピタリティ産業論II ホスピタリティマネジメントII グローバルコミュニケーションIII
科目数	4	4	6	3
選択科目	英語の語彙と用法I 英語のリーディングI 基礎英文法I 英語のスピーキング・リスニングI 学内フィールドワークI	英語の語彙と用法II 英語のリーディングII 基礎英文法II 英語のスピーキング・リスニングII 学内フィールドワークII	英語の語彙と用法III 英語のリーディングIII 英語のスピーキング・リスニングIII 海外英語特講	英語の語彙と用法IV 英語のリーディングIV 英語のスピーキング・リスニングIV
科目数	5	5	4	3
科目数計	17	16	16	11

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
選択必修科目	専門ゼミI	専門ゼミII	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
コース選択必修科目	キャリア戦略III グローバルコミュニケーションIV 日本史概説I	キャリア戦略IV 日本史概説II		
科目数	3	2	0	0
選択科目	英語のスピーキング・リスニングV 短期インターンシップ 短期留学	英語のスピーキング・リスニングVI		
科目数	3	1	0	0
科目数計	8	5	3	3

文学科 教養デザインコース：国内企業履修モデル

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I ベーシックコミュニケーションI コンピュータ・コミュニケーションI 英語I スポーツと健康I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 異文化コミュニケーション 英語II スポーツと健康II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 教養科目 英語III コンピュータ・コミュニケーションII	小笠原流礼法基礎講座 教養科目 英語IV
科目数	6	4	5	3
学科必修科目・ 選択必修科目	人文科学入門I 女性キャリア論I	人文科学入門II ホスピタリティコミュニケーションI 女性キャリア論II	キャリア戦略I	キャリア戦略II 専門ゼミ入門
科目数	2	3	1	2
コース選択 必修科目	ホスピタリティ概論 現代アメリカ事情I 日本史概説I 歴史文化入門I メディア論入門	現代アメリカ事情II ベーシックコミュニケーションII ホスピタリティ英語I 日本史概説II 歴史文化入門II 図書館情報資源概論	ホスピタリティコミュニケーションII ホスピタリティマネジメントI ホスピタリティ産業論I プレゼンテーションI ビジネスコミュニケーションI ホスピタリティ英語II	ホスピタリティマネジメントII ホスピタリティ産業論II ビジネスコミュニケーションII 編集ジャーナリズム論 情報サービス論
科目数	5	6	6	5
選択 コース 科目	日本語表現法I 英語のスピーキング・リスニングI 学内フィールドワークI	日本語表現法II 英語のスピーキング・リスニングII 学内フィールドワークII	日本近現代文学史I 現代語の研究I 英語のスピーキング・リスニングIII	日本近現代文学史II 英語のスピーキング・リスニングIV 現代語の研究II
科目数	3	3	3	3
科目数計	16	16	15	13

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII
科目数	1	1	1	1
学科必修科目・ 選択必修科目	専門ゼミI	専門ゼミII	専門ゼミIII 卒業研究	専門ゼミIV 卒業研究
科目数	1	1	2	2
コース選択 必修科目	キャリア戦略III 日本語の歴史I	キャリア戦略IV 日本語の歴史II		
科目数	2	2	0	0
選択 コース 科目	英語のスピーキング・リスニングV 短期インターンシップ	英語のスピーキング・リスニングV 特別講義I		
科目数	2	2	0	0
科目数計	6	6	3	3

人間栄養学部 人間栄養学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人間栄養学部人間栄養学科は、人間の身体と心と社会的存在という三つの側面を支える食生活を健全に保つための人間栄養学を教授し、豊かな人間性と実践力をかね備えた、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を養成してきました。

現代社会は、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、国民の健康の維持・増進、生活習慣病の発症及び重症化の予防に重点を置いた対策が推進され、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に貢献する人材の育成が求められています。

このような社会の要請に応えるため、人間栄養学科は、保健・医療・福祉・産業・教育の分野において個人並びに集団に対する食事管理、栄養教育、栄養管理を実践する能力を備えた「人に頼られ、喜ばれ、愛される管理栄養士」を育成し、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に貢献しています。

以上の理念を具現化するために、以下の四つの教育目標を設定します。

【教育目標】

1. 管理栄養士としての専門職業人の自覚と使命感、並びに他者を思いやる人間性を育成する。
2. 食生活上の課題や問題の本質を洞察し、適切な解決策を提案できる創造的思考力と、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成する。
3. 管理栄養士に必要な知識と技能を修得し、それに基づいた適切な「栄養の指導」を行うことができる能力を育成する。
4. グローバルな視野を備え、自らの意思で実践活動を起こすことができる高い実践力を育成する。

上記の教育目標に基づき、以下の学習成果を設定します。

【学習成果】

1. 管理栄養士としての自覚と誇り、並びに使命感をもち、他者と連携、協調して責任ある行動をすることができる。
2. 自己を客観的に分析・表現し、自己成長の素となる持続的、自律的な学びをデザインすることができる。
3. 食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察することができ、アイデアや洞察力を生かし、多面的に問題にアプローチすることができる。
4. 目的に応じた食事を設計し、幼児から高齢者までのすべての人から喜ばれる食事を提供するとともに、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献することができる。
5. 人間栄養学に関する科学的根拠を理解し、その根拠に基づいた実践活動ができるとともに、その根拠を構築するための研究計画を提案することができる。
6. グローバル社会が求める人間栄養学を理解する論理的並びに創造的思考力が身につけており、多様な実践活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

以上の学習成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、学士（栄養学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人間栄養学科では、学習成果を体系的に達成するために、建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育等を目的とする全学共通科目と専門教育科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

1. 学びの基礎力を身につける「人間栄養学基礎分野科目」を設定し、全学共通科目の学修と共に、管理栄養士としての専門職業人意識と基礎力を育成します。
2. 専門教育科目群には多くの実習・演習科目を設け、情報活用力、生涯学習力、問題解決能力を涵養し、問題解決に向けた行動をとる実践力を育成します。
3. 管理栄養士指定科目の他、人間栄養学調理実習を設定し、適切な「栄養の指導」を実践現場で行うことができる知識と技能を育てます。
4. 多種多様な資格免許取得のための科目群を専門選択科目として設け、社会が求める多様な分野の知識・能力並びに実践力を育てます。

【教育課程実施の方針】

人間栄養学科では、学習成果を効果的に達成するために、授業計画（シラバス）に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

1. 専門教育科目群は、「食品と調理」を学ぶ科目群と、「栄養・代謝と疾患」を学ぶ科目群、「社会と健康」を学ぶ科目群に分けて、授業科目の関連がわかるように配慮し学習の成果を高めています。
2. すべての授業、実習において、授業方法としてアクティブ・ラーニングを導入し、セルフ・アセスメントに基づいた自律的な学びを促進しています。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人間栄養学科は、建学の精神「和」を尊ぶ人間性教育の環境のもと、食生活上の課題や問題の本質を洞察する力、並びに創造的思考力と実践力、自律力を身につけ、科学的根拠に基づいた「栄養の指導」を実践できる管理栄養士を目指す基本的な資質を持った人を求めています。具体的には次のような入学者を求めています。

1. 食と健康に強い関心を持ち、管理栄養士として社会に貢献したいという強い意欲と決意を持っている人。
2. 自然科学が好きで、科学的なものの考え方ができる基本的な能力を身につけている人。
3. 知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって努力できる人。
4. 明朗活発で人との交流を大切にし、人間性豊かで、礼節を重んじる人。

人間栄養学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要な科学的な知識・技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

人間栄養学部 人間栄養学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	1. グローバル社会が求める人間栄養学を理解する論理的並びに創造的思考力が身についており、多様な実践活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
社会と健康を学ぶ科目群のGPA	毎学期末		
人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	2. 目的に応じた食事を設計し、幼児から高齢者までのすべての人から喜ばれる食事を提供するとともに、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献することができる。
臨地実習ⅢⅣ 自己評価	実習録に記載		
栄養・代謝と疾患を学ぶ科目群のGPA	毎学期末		
人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	3. 食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察することができ、アイデアや洞察力を生かし、多面的に問題にアプローチすることができる。
臨地実習ⅠⅡ 自己評価	実習録に記載		
食品と調理を学ぶ科目群のGPA	毎学期末		
人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	4. 自己を客観的に分析・表現し、自己成長の素となる持続的、自律的な学びをデザインすることができる。
学びの基礎学力をつける科目群のGPA	毎学期末		
キャリア・アセスメントテスト	3春		
人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	5. 管理栄養士としての自覚と誇り、並びに使命感をもち、他者と連携、協調して責任ある行動をすることができる。
人間性を高める科目群のGPA	毎学期末		
人間栄養学科ルーブリック	毎学年末	➔	6. 人間栄養学に関する科学的根拠を理解し、その根拠に基づいた実践活動ができるとともに、その根拠を構築するための研究計画を提案することができる。
総合演習Ⅰ～Ⅳ外部模試成績	4年春秋		
卒業論文・卒業ゼミのGPA	4年秋		

人間栄養学部 人間栄養学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）105単位以上、計135単位以上です。
- ② 全学共通科目（A類）については、別表V-1、2、3、4、5、6、7、8のとおり履修してください（同一科目を重複して履修することはできません）。
- ③ 全学共通科目（A類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

全学共通科目（A類）				
聖徳教育 科目	教養科目、専門基礎科目及び 外国語科目	健康教育 科目	情報活用 科目	計
7	20	2	1	30

- ④ 聖徳教育科目（別表V-1）は、すべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目（別表V-2）は、外国語科目と併せて12単位以上（外国語は8単位以上）が必修ですので、卒業までに4単位以上修得してください。
また、D類の「日本国憲法」は、教育職員免許状を取得しようとする者は必修です。
- ⑥ 専門基礎科目（別表V-4）は、「化学入門Ⅰ」、「化学入門Ⅱ」、「生物学入門Ⅰ」及び「生物学入門Ⅱ」の計8単位が必修です。
- ⑦ 外国語科目（別表V-5）は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、英語Ⅴ、英語Ⅵ、英語Ⅶ及び英語Ⅷの計8単位が必修です。
- ⑧ 健康教育科目（別表V-6）及び情報活用科目（別表V-7）は、備考の記載のとおり履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表V-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●						● 春学期または秋学期に開講 △ 聖徳教育の詳細については、 学生便覧を参照すること。
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅰ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅲ)	演	1	○		●	●							
	計		7											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。
【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表V-2

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	A類 自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域) 自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ) 自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターシップ) 自分を見つめ・広げ・伝える(看護領域)		2			○	○	○					△ 2科目以上(4単位)を履修すること (B類、C類から履修することが望ましい)	
<input type="checkbox"/>			2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>	B類 自然・社会・科学技術を考える(自然領域) 自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域) 自然・社会・科学技術を考える(社会領域) 自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 自然・社会・科学技術を考える(健康領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>	C類 心とからだの美的本質を追求する(心の領域) 心とからだの美的本質を追求する(からだの領域) 心とからだの美的本質を追求する(栄養領域) 心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域) 心とからだの美的本質を追求する(ケア領域)		2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2			○	○	○						
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>			2				○	○	○					
<input type="checkbox"/>	D類 日本国憲法		2		●	●							△ 日本国憲法は教育職員免許状を 取得しようとする者は必ず修得すること。	

Business Field Linkageプログラム

別表V-3

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※												
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専攻	国際社会問題を考える		2				●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2				●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication I		2			○							
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication II		2				○						
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication III		2					○					
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2				●	●	●	●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	ビジネス・データ サイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2				●	●	●	●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2			●	●	●	●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2					○					

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。
※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

- ①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。
- ②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)
- ③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。
- ④履修する科目はキャップ制の対象外とします。
- ⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

専門基礎科目

別表V-4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考											
					1		2			3		4								
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋							
<input type="checkbox"/>	化学入門Ⅰ		2	○	○															
<input type="checkbox"/>	化学入門Ⅱ		2	○	○															
<input type="checkbox"/>	生物学入門Ⅰ		2	○	○															
<input type="checkbox"/>	生物学入門Ⅱ		2	○	○															
	計		8																	

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。
 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。
 【受講区分】注:化学入門Ⅰ・Ⅱ、生物学入門Ⅰ・Ⅱすべて履修すること。

外国語科目

別表V-5

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考												
					1		2			3		4									
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋								
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○																△ 別表V-2の教養科目と外国語科目を併せて12単位以上修得すること。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○															
<input type="checkbox"/>	英語Ⅲ	演	1	○	○																
<input type="checkbox"/>	英語Ⅳ	演	1	○		○															
<input type="checkbox"/>	英語Ⅴ	演	1	○			○														
<input type="checkbox"/>	英語Ⅵ	演	1	○				○													
<input type="checkbox"/>	英語Ⅶ	演	1	○					○												
<input type="checkbox"/>	英語Ⅷ	演	1	○						○											
	計		8																		

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。
 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表V-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考												
					1		2			3		4									
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1	○	○																
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1	○		○															
	計		2																		

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。
 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。
 【受講区分】注:スポーツと健康Ⅰ・Ⅱいずれも履修すること。

情報活用科目

別表V-7

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次				備考												
					1		2			3		4									
					春	秋	春	秋		春	秋	春	秋								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○																△ 情報活用科目の受講区分は注のとおり
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1		○																
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1							○											
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1								○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1									○									
	計		5																		

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。
 【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。
 【受講区分】
 注: 1) (基礎)必修。
 2) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。
 3) 情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表V-8

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○									△ 帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2						○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2							○				
	計		10											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

人間栄養学部 人間栄養学科 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目（A類）30単位以上、専門教育科目（B類）105単位以上、計135単位以上です。
- ② 専門教育科目（B類）の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

専門教育科目（B類）		
必修科目	選択科目	計
105	—	105

- ③ 専門教育科目（B類）については、別表V-9の卒業必修欄に○印の付いている科目105単位を履修してください。
- ④ 中学校、高等学校教諭一種免許状（家庭）を取得しようとする者は、①に加えて別表V-9の教免（家庭）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-10、11に記載のとおり履修してください（別表V-11の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑤ 中学校、高等学校教諭一種免許状（保健）を取得しようとする者は、①に加えて別表V-9の教免（保健）欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-12、13に記載のとおり履修してください（別表V-13の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑥ フードスペシャリスト受験資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V-9のFS欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑦ 栄養教諭一種免許状を取得しようとする者は、①に加えて別表V-9の栄養教諭欄に○印の付いている科目を履修してください。併せて別表V-14、15に記載のとおり履修してください（別表V-15の科目は卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑧ 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表V-9の食品衛生欄に○印の付いている科目を履修してください。
- ⑨ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は、①に加えて別表VIII-1～5により、履修してください（卒業要件に算入することは出来ません）。
- ⑩ 単位を修得した場合（成績表にS・A・B・C・Nと表記される）には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

区分	チェック欄	科目名	授業の方法	単位数	卒業必修	教免(家庭)	教免(保健)	栄養教諭	F	食品衛生	履修年次								備考
											1		2		3		4		
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
人間栄養学 基礎分野	<input type="checkbox"/>	人間と栄養Ⅰ	演	1	○				S	○									
	<input type="checkbox"/>	人間と栄養Ⅱ	演	1	○					○									
	<input type="checkbox"/>	基礎化学実験	実	1	○					○	○								
	<input type="checkbox"/>	統計学演習Ⅰ	演	1	○						○								
	<input type="checkbox"/>	統計学演習Ⅱ	演	1	○							○							
	<input type="checkbox"/>	キャリアプランニング	演	1	○							○							
	<input type="checkbox"/>	管理栄養士活動論	演	1	○												○		
人間栄養学 調理実習	<input type="checkbox"/>	調理学実習Ⅰ	実	1	○	○			○	○									
	<input type="checkbox"/>	調理学実習Ⅱ	実	1	○	○					○								
	<input type="checkbox"/>	調理学実習Ⅲ	実	1	○							○							
	<input type="checkbox"/>	調理学実習Ⅳ	実	1	○				○			○							
専門 基礎分野	社会・環境 と健康	<input type="checkbox"/>	社会・環境と健康Ⅰ		2	○		○		○		○							
		<input type="checkbox"/>	社会・環境と健康Ⅱ		2	○		○		○				○					
		<input type="checkbox"/>	社会・環境と健康Ⅲ		2	○		○								○			
		<input type="checkbox"/>	公衆衛生学実習	実	1	○										○			
	人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち	<input type="checkbox"/>	解剖学・生理学Ⅰ		2	○		○			○	○							
		<input type="checkbox"/>	解剖学・生理学Ⅱ		2	○		○			○	○							
		<input type="checkbox"/>	生化学Ⅰ		2	○					○		○						
		<input type="checkbox"/>	生化学Ⅱ		2	○					○			○					
		<input type="checkbox"/>	免疫学		2	○		○			○						○		
		<input type="checkbox"/>	臨床医学入門Ⅰ		2	○					○								
		<input type="checkbox"/>	臨床医学入門Ⅱ		2	○		○			○								
		<input type="checkbox"/>	臨床医学入門Ⅲ		2	○					○						○		
		<input type="checkbox"/>	解剖学・病理学実習	実	1	○					○		○						
		<input type="checkbox"/>	生理学実習Ⅰ	実	1	○						○							
	<input type="checkbox"/>	生理学実習Ⅱ	実	1	○										○				
	<input type="checkbox"/>	生化学実験Ⅰ	実	1	○					○		○							
	<input type="checkbox"/>	生化学実験Ⅱ	実	1	○							○							
	食べ物と 健康	<input type="checkbox"/>	食べ物と健康Ⅰ		2	○	○			○	○		○						
		<input type="checkbox"/>	食べ物と健康Ⅱ		2	○	○			○	○		○						
		<input type="checkbox"/>	食べ物と健康Ⅲ		2	○		○		○	○		○						
<input type="checkbox"/>		食べ物と健康Ⅳ		2	○	○			○	○		○							
<input type="checkbox"/>		食品科学実験Ⅰ	実	1	○				○	○		○							
<input type="checkbox"/>		食品科学実験Ⅱ	実	1	○				○	○			○						
<input type="checkbox"/>		食品衛生学実験	実	1	○					○		○							
<input type="checkbox"/>		食事設計実習	実	1	○						○								
専門 分野	基礎 栄養学	<input type="checkbox"/>	基礎栄養学Ⅰ		2	○	○		○	○		○							
		<input type="checkbox"/>	基礎栄養学Ⅱ		2	○	○			○	○		○						
		<input type="checkbox"/>	基礎栄養学実験	実	1	○					○		○						
	応用 栄養学	<input type="checkbox"/>	応用栄養学Ⅰ		2	○	○				○		○						
		<input type="checkbox"/>	応用栄養学Ⅱ		2	○	○							○					
		<input type="checkbox"/>	応用栄養学Ⅲ		2	○								○					
		<input type="checkbox"/>	応用栄養学実習	実	1	○									○				
	栄養 教育論	<input type="checkbox"/>	栄養教育論Ⅰ		2	○		○						○					
		<input type="checkbox"/>	栄養教育論Ⅱ		2	○									○				
		<input type="checkbox"/>	栄養教育論Ⅲ		2	○										○			
		<input type="checkbox"/>	栄養教育論実習	実	1	○		○								○			
	臨床 栄養学	<input type="checkbox"/>	臨床栄養学Ⅰ		2	○		○			○			○					
<input type="checkbox"/>		臨床栄養学Ⅱ		2	○		○							○					
<input type="checkbox"/>		臨床栄養学Ⅲ		2	○		○								○				
<input type="checkbox"/>		臨床栄養学Ⅳ		2	○											○			
<input type="checkbox"/>		臨床栄養学実習Ⅰ	実	1	○		○								○				
<input type="checkbox"/>		臨床栄養学実習Ⅱ	実	1	○											○			
公衆 栄養学	<input type="checkbox"/>	公衆栄養学Ⅰ		2	○	○				○			○						
	<input type="checkbox"/>	公衆栄養学Ⅱ		2	○										○				
	<input type="checkbox"/>	公衆栄養学実習	実	1	○											○			
給食 経営 管理論	<input type="checkbox"/>	給食経営管理論Ⅰ		2	○							○							
	<input type="checkbox"/>	給食経営管理論Ⅱ		2	○								○						
	<input type="checkbox"/>	給食マネジメント実習	実	1	○										○				
	<input type="checkbox"/>	給食運営管理実習	実	1	○								○						

区分	チェック欄	科目名	授業の方法	単位数	卒業必修	教免(家庭)	教免(保健)	栄養教諭	F S	食品衛生	履修年次								備考					
											1		2		3		4							
											春	秋	春	秋	春	秋	春	秋						
専門分野	臨地実習	<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅰ	実	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅱ	実	1	○										○									
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅲ	実	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅳ	実	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅴ	実	1																				
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅰ・Ⅱ事前事後指導	演	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅲ・Ⅳ事前事後指導	演	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 臨地実習Ⅴ事前事後指導	演	1																				
	総合演習	<input type="checkbox"/> 総合演習Ⅰ	演	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 総合演習Ⅱ	演	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 総合演習Ⅲ	演	1	○																			
		<input type="checkbox"/> 総合演習Ⅳ	演	1	○																			
	人間栄養学 専門研究	<input type="checkbox"/> 卒業研究	演	4	○																			
		<input type="checkbox"/> 卒業論文	演	4																				
	資格取得 関連科目	<input type="checkbox"/> フードスペシャリスト論		2							○													
		<input type="checkbox"/> 食品官能評価・識別論		2							○													
		<input type="checkbox"/> 食品産業マーケティング論		2							○													
		<input type="checkbox"/> フードコーディネータ論		2							○													
		<input type="checkbox"/> 食教育法Ⅰ		2								○												
		<input type="checkbox"/> 食教育法Ⅱ		2									○											
<input type="checkbox"/> 家庭経営学(含家族関係学)			2		○																			
<input type="checkbox"/> 生活経済学			2		○																			
<input type="checkbox"/> 被服学(含被服製作実習)			2		○																			
<input type="checkbox"/> 住居学(含製図)			2		○																			
<input type="checkbox"/> 保育学(含実習)			2		○																			
<input type="checkbox"/> 家庭看護学			2																					
<input type="checkbox"/> 家庭電気・機械および生活情報			2				高免																	
<input type="checkbox"/> 小児保健学			2				○																	
<input type="checkbox"/> 児童保健学(学校保健)			2				○																	
<input type="checkbox"/> 健康心理学・精神衛生		2				○																		
計				143																				

【授業の方法】演:演習、実:実習、無印:講義をさす。

◎別表V-8に記載されている科目で、太字(ゴシック)になっている科目は管理栄養士指定科目です。

この科目が進級基準の「管理栄養士指定科目の修得」要件の科目となります。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 家庭〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足すること、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-10

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	科目 必修 履修 必要 が	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●									春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語 I	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	英語 II	演	1	○		○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 I	講、実	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 II	講、実	1	○		○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○									

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(家庭)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-11

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	高免	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△			○							△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△			○							
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	家庭科教育法 I	演	2	○	○				○						
<input type="checkbox"/>	家庭科教育法 II	演	2	○	○					○					
<input type="checkbox"/>	家庭科教育法 III	演	2	○	○					○					
<input type="checkbox"/>	家庭科教育法 IV	演	2	○	○						○				
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○	○				○						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○				●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○									○	
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○											
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3		○										
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○											
	計		45	40	31										

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状 保健〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足すること、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-12

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	科目 必要履修が	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●								春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の教免(保健)欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-13

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	中免	高免	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育心理学		2	△	△			○						△はいずれか1科目必修
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	△	△			○						
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育社会学		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	保健科教育法Ⅰ	演	2	○	○				○					
<input type="checkbox"/>	保健科教育法Ⅱ	演	2	○	○					○				
<input type="checkbox"/>	保健科教育法Ⅲ	演	2	○	○						○			
<input type="checkbox"/>	保健科教育法Ⅳ	演	2	○	○							○		
<input type="checkbox"/>	道徳教育の指導法		2	○	○					○				
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○					●	●			
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○								○	
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○	○									
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3	○	○									
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○	○									
	計		45	40	31									

[注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部と△印を付された科目のうち1科目以上を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
 4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護等の体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特別支援学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

教職課程履修について〔栄養教諭一種免許状〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足すること、教育職員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになります。下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表V-14

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	必修科目 履修が	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	○	●	●								春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1	○		○								

2. 「専門教育科目」の履修について

「栄養に係る教育に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○栄養に係る教育に関する科目

人間栄養学科の専門教育科目(B類)に記載の栄養教諭欄に○印のある科目を履修してください。

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、次表のとおり履修してください。

別表V-15

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	栄養教諭	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育課程・方法論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	道徳・特別活動論		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○				●	●					
<input type="checkbox"/>	生徒指導論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(栄養教諭)	演	2	○								○		
<input type="checkbox"/>	栄養教育実習	実	2	○										
	計		22	22										

[注] 1. 栄養教諭一種免許状を取得する者は、栄養教諭欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。

2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。

3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。

4. 履修年次欄に○印を付されたとおり履修すること。

5. 栄養教諭一種免許状の課程履修は、人間栄養学科の学生のみを対象とする。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

聖徳大学 人間栄養学部 人間栄養科 キャリア形成カリキュラムマップ

人に頼られ、人に喜ばれ、人に愛される管理栄養士を目指して！

健康な生活を栄養管理でサポートする信頼される管理栄養士

人に頼られる ↓ 科学的根拠に基づいた「栄養の指導」ができる
 人に喜ばれる ↓ 個人のニーズに寄り添うしついで食事を提供できる
 人に愛される ↓ すべての人々とコミュニケーションをとることにできる

	1 年次春学期	1 年次秋学期	2 年次春学期	2 年次秋学期	3 年次春学期	3 年次秋学期	4 年次春学期	4 年次秋学期
●印は管理栄養士指定 ○印は学科指定 無印は全学共通	学部の基礎を身につけよう	管理栄養士に必要な知識を身につけよう	専門職業人としての自分の 実力（知識・技能）を現場で確かめよう	卒業論文（選択）	卒業論文（選択）	卒業論文（選択）	卒業論文（選択）	卒業論文（選択）
Public Health Nutrition (社会と健康) を学ぶ		●社会・環境と健康 I	●社会・環境と健康 II	●社会・環境と健康 II	●社会・環境と健康 II	●社会・環境と健康 II	●社会・環境と健康 II	●社会・環境と健康 II
Clinical Nutrition and Dietetics (栄養・代謝と疾病) を学ぶ	●基礎栄養学 I ●基礎栄養学実験 ●生理学実習 I ●解剖学・生理学 II	●臨床栄養学 I ●応用栄養学 II ●基礎栄養学 II ●生化学実験 I ●生化学 II ●解剖学・病理学実習	●臨床栄養学 I ●臨床栄養学 II ●応用栄養学 II ●基礎栄養学 II ●生化学実験 I ●生化学 II ●解剖学・病理学実習	●臨床栄養学 I ●臨床栄養学 II ●応用栄養学 II ●基礎栄養学 II ●生化学実験 I ●生化学 II ●解剖学・病理学実習	●臨床栄養学実習 I ●臨床栄養学 II ●臨床栄養学 III ●臨床栄養学 IV ●臨床栄養学 V (選択) ●公衆栄養学実習 ●公衆栄養学 II ●栄養教育論 I ●栄養教育論 II ●栄養教育論 III ●栄養教育論 IV (特別講習含む)	●臨床栄養学実習 I ●臨床栄養学 II ●臨床栄養学 III ●臨床栄養学 IV ●臨床栄養学 V (選択) ●公衆栄養学実習 ●公衆栄養学 II ●栄養教育論 I ●栄養教育論 II ●栄養教育論 III ●栄養教育論 IV (特別講習含む)	●臨床栄養学実習 I ●臨床栄養学 II ●臨床栄養学 III ●臨床栄養学 IV ●臨床栄養学 V (選択) ●公衆栄養学実習 ●公衆栄養学 II ●栄養教育論 I ●栄養教育論 II ●栄養教育論 III ●栄養教育論 IV (特別講習含む)	●臨床栄養学実習 I ●臨床栄養学 II ●臨床栄養学 III ●臨床栄養学 IV ●臨床栄養学 V (選択) ●公衆栄養学実習 ●公衆栄養学 II ●栄養教育論 I ●栄養教育論 II ●栄養教育論 III ●栄養教育論 IV (特別講習含む)
Food Science and Food Service Management (食品と調理) を学ぶ	●食事設計実習 ●食バ物と健康 III ●食品科学実験 I ●食バ物と健康 I ●食バ物と健康 II ●食バ物と健康 IV ○調理学実習 I ○調理学実習 II	●給食経営管理論 I ●食品衛生学実験 ●食品科学実験 I ●食バ物と健康 I ●食バ物と健康 II ○調理学実習 I ○調理学実習 II	●給食経営管理論 I ●食品衛生学実験 ●食品科学実験 I ●食バ物と健康 I ●食バ物と健康 II ○調理学実習 I ○調理学実習 II	●給食経営管理論 I ●食品衛生学実験 ●食品科学実験 I ●食バ物と健康 I ●食バ物と健康 II ○調理学実習 I ○調理学実習 II	●給食経営管理論 I ●食品衛生学実験 ●食品科学実験 I ●食バ物と健康 I ●食バ物と健康 II ○調理学実習 I ○調理学実習 II			
Basic Ability (学びの基礎力) を身につける	英語 I・II ○統計学演習 I 情報活用演習 ○基礎化学実験 ○化学入門 I・II ○生物学入門 I・II ○人間と栄養 I ○人間と栄養 II	英語 II・III ○統計学演習 II ○基礎化学実験 ○化学入門 I・II ○生物学入門 I・II ○人間と栄養 I ○人間と栄養 II	英語 V・VI 英語 VI・VII	英語 V・VI 英語 VI・VII	英語 V・VI 英語 VI・VII	英語 V・VI 英語 VI・VII	英語 V・VI 英語 VI・VII	英語 V・VI 英語 VI・VII
Humanity (人間性) を高める	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I	○キャリアプランニング 教養科目 聖徳教育 III~2 聖徳教育 III~1 聖徳教育 II 聖徳教育 I スポーツと健康 I
教育目標	食に興味関心をもち、自主的学習態度を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける	科学的根拠を活用するための知識を身につける
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次				

☆選択科目として、栄養教諭等の教職、フードスペシャリストなどの資格取得のための履修科目がある
 ☆「栄養の指導」とは、栄養士法上で定議されている管理栄養士の業務であり、内容的には「食事の提供（給食管理）」と「栄養指導」と「栄養状態の管理（栄養管理）」を意味する
 * 時間割上春学期・秋学期が入れ替わり開講される場合もある

聖徳大学 人間栄養学部人間栄養学科 学びで得られる成果 (Seitoku Learning Outcomes)

食に興味関心を持ち、自主的学習習慣を身につける。

科学的根拠を活用するため
の知識を「身に付ける」

科学的根拠を活用するた
めの技能を身に着ける。

科学的根拠を構築する
活動をスタートする。

学位授与の方針で掲げる学
習成果

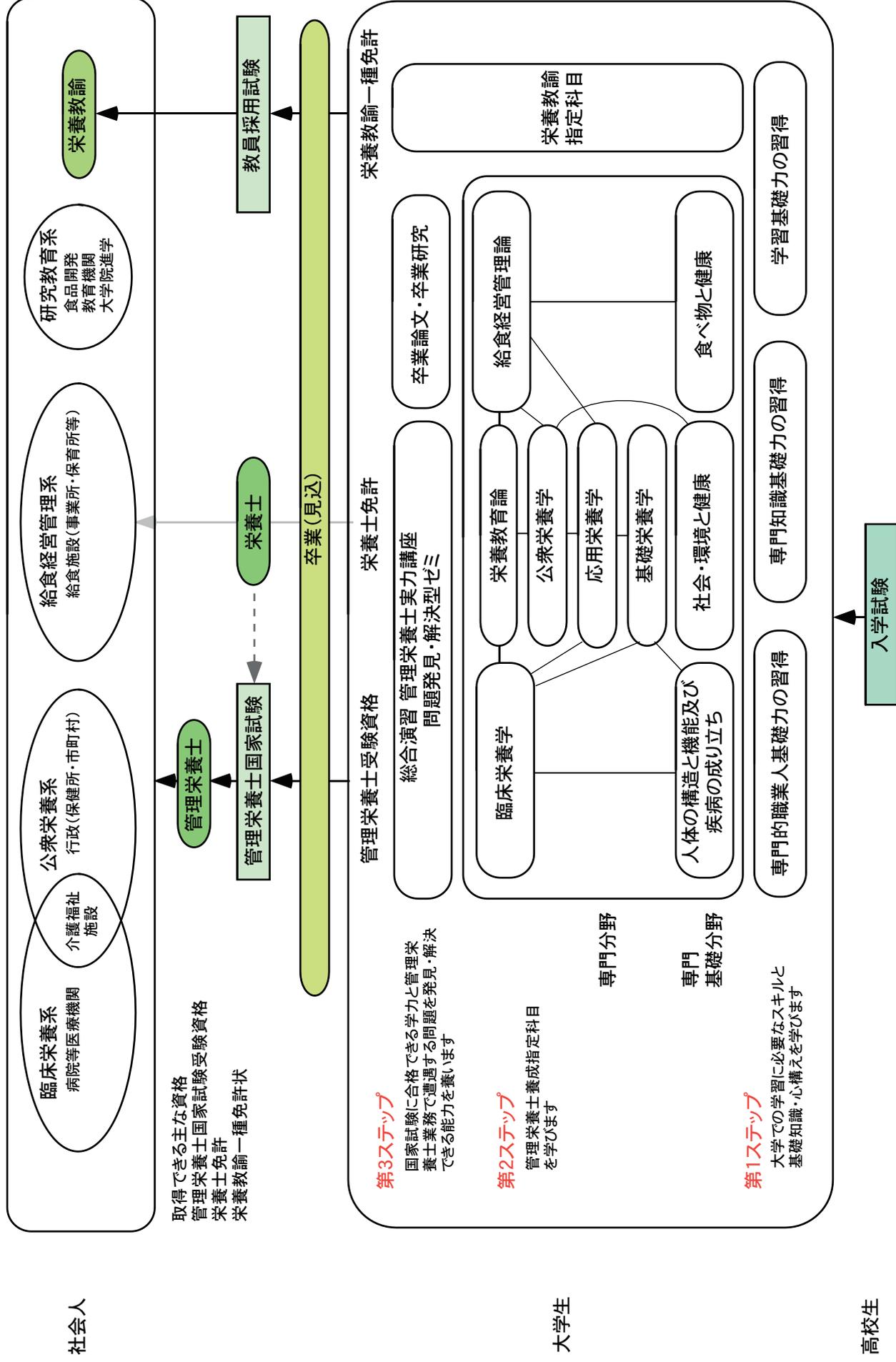
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学習成果
●印は管理栄養士指定 ○印は学科指定 無印は全学共通					
Public Health Nutrition (社会と健康) を学ぶ	●社会・環境と健康 I		●社会・環境と健康 II ●公衆衛生学実習* ●臨地実習 V (選 択) ●公衆栄養学実習 ●栄養教育論 III ●栄養教育論実習		1. グローバル社会が求める人間栄養学を理解する論理的並びに創造的的思考力が身に付いており、多様な実践活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
Clinical Nutrition and Dietetics (栄養・代謝と疾病) を学ぶ	●解剖学・生理学 I ●基礎栄養学 I ●基礎栄養学実習 ●生理学実習 I ●解剖学・生理学 II	●臨床医学入門 I ●応用栄養学 II ●基礎栄養学 II ●生化学実習 I ●生化学 II ●解剖学・生理学実習	●臨床実習 III・IV 事前事後指導 ●臨床栄養学実習 I ●臨床栄養学 II ●応用栄養学実習 ●生理実習 II* ●臨地実習 III・IV ●臨床栄養学実習 II ●臨床栄養学 III ●臨床医学入門 II ●免疫学 ●臨床実習 IV ●臨床栄養学実習 II ●臨床栄養学 III ●免疫学	●卒業論文・卒業ゼミ ●総合演習 I II III IV ●特別講習	2. 目的に応じた食事設計し、幼児から高齢者までのすべての人から喜ばれる食事を提供するとともに、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献することができる。
Food Science and Food Service Management (食品と調理) を学ぶ	●食事設計実習 ●食へ物と健康 III ●食品科学実習 I ●食へ物と健康 I ●食へ物と健康 II ●調理学実習 I ○調理学実習 II	●給食経営管理論 I ●食品衛生学実習 ●食へ物と健康 II ●食へ物と健康 III ○調理学実習 III	●臨床実習 I・II ●臨地実習 I・II 事前事後指導 ●給食マネジメント実習		3. 食生活上の課題や問題を数理的・論理的に考察することができ、アイディアや洞察を生かし、多面的に問題をアプローチすることができる。 2. 上記の通り
Basic Ability (学びの基礎力) を身につける	英語 I・III ○統計学実習 I 情報活用演習 ○基礎化学実習 ○化学入門 I・II ○生物学入門 I・II ○人間と栄養 I ○人間と栄養 II	英語 V・VII 英語 VI・VIII			4. 自己を客観的に分析・表現でき、持続的・自律的学びを表現できる。
Humanity (人間性) を高める	キャリアプランニング Seitoku Academic Literacy	アメリカ研修旅行	管理栄養士活動論	テーブルマナー	5. 管理栄養士としての自覚と誇り、並びに使命感をもち、他者と連携、協働して責任ある行動をすることができる。

人に頼られる
人に喜ばれる
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
科学的根拠に基づく「栄養の管理」ができる
すべての人々に応じた良しい食事を提供できる
すべての人々に応じた「サービス」を提供できる

健康な生活を栄養管理でサポートする信頼される管理栄養士

人間栄養学部人間栄養学科における教育概念図

乳児から高齢者までの様々な人の健康状態のアセスメントを行い、適切な栄養管理ができる人材を育成する。



人間栄養学科 免許・資格取得履修モデル
 (管理栄養士・食品衛生管理者及び食品衛生監視員・栄養教諭 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎) 化学入門 I 化学入門 II 生物学入門 I 生物学入門 II	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目 英語 II 英語 VI スポーツと健康 II 情報活用演習 (教職)	SEITOKU Academic Literacy III 英語 III 英語 VII	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 英語 VIII
科目数	9	7	3	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学演習 II 調理学実習 II 解剖学・生理学 II 生理学実習 I 食べ物と健康 I 食べ物と健康 III 食べ物と健康 IV 食品科学実験 I 食事設計実習 基礎栄養学 I 基礎栄養学実験	調理学実習 III 社会・環境と健康 I 生化学 I 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実習 生化学実験 I 食べ物と健康 II 食品衛生学実験 基礎栄養学 II 応用栄養学 I 給食経営管理論 I	調理学実習 IV 生化学 II 臨床医学入門 II 生化学実験 II 食品科学実験 II 応用栄養学 II 応用栄養学 III 栄養教育論 I 臨床栄養学 I 公衆栄養学 I 給食経営管理論 II 給食運営管理論
科目数	7	11	11	12
栄養教諭科目	食教育法 I	食教育法 II	教職入門 教育基礎論 教育課程・方法論 生徒指導論	発達心理学 教育相談 特別支援教育総論
科目数	1	1	4	3
科目数計	17	19	18	18

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康 II 公衆衛生学実習 生理学実習 II 応用栄養学実習 栄養教育論 II 臨床栄養学 II 臨床栄養学実習 I 公衆栄養学 II 給食マネジメント実習	管理栄養士活動論 社会・環境と健康 III 免疫学 臨床医学入門 III 栄養教育論 III 栄養教育論実習 臨床栄養学 III 臨床栄養学実習 II 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 卒業研究	臨床栄養学 IV 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習 III 総合演習 IV 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科選択科目		卒業論文	卒業論文	卒業論文
科目数		1	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II 事前事後指導 臨地実習 III・IV 事前事後指導 臨地実習 V 事前事後指導	臨地実習 III 臨地実習 IV 臨地実習 V		
科目数	5	3		
栄養教諭科目	道徳・特別活動論	総合的な学習の時間の指導法		栄養教育実習 教職実践演習 (栄養教諭)
科目数	1	1		2
科目数計	15	16	5	6

人間栄養学科 免許・資格取得履修モデル
 (管理栄養士・食品衛生管理者及び食品衛生監視員・フードスペシャリスト 履修モデル)

	1年		2年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 英語 V スポーツと健康 I 情報活用演習 (基礎) 化学入門 I 化学入門 II 生物学入門 I 生物学入門 II	SEITOKU Academic Literacy II 教養科目 英語 II 英語 VI スポーツと健康 II	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目 英語 III 英語 VII	小笠原流礼法基礎講座 英語 IV 英語 VIII
科目数	9	5	4	3
学科必修科目	人間と栄養 I 人間と栄養 II 基礎化学実験 統計学演習 I キャリアプランニング 調理学実習 I 解剖学・生理学 I	統計学演習 II 調理学実習 II 解剖学・生理学 II 生理学実習 I 食べ物と健康 I 食べ物と健康 III 食べ物と健康 IV 食品科学実験 I 食事設計実習 基礎栄養学 I 基礎栄養学実験	調理学実習 III 社会・環境と健康 I 生化学 I 臨床医学入門 I 解剖学・病理学実習 生化学実験 I 食べ物と健康 II 食品衛生学実験 基礎栄養学 II 応用栄養学 I 給食経営管理論 I	調理学実習 IV 生化学 II 臨床医学入門 II 生化学実験 II 食品科学実験 II 応用栄養学 II 応用栄養学 III 栄養教育論 I 臨床栄養学 I 公衆栄養学 I 給食経営管理論 II 給食運営管理論
科目数	7	11	11	12
学科科目選択			フードコーディネータ論	
科目数			1	
科目数計	16	16	16	15

	3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
学科必修科目	社会・環境と健康 II 公衆衛生学実習 生理学実習 II 応用栄養学実習 栄養教育論 II 臨床栄養学 II 臨床栄養学実習 I 公衆栄養学 II 給食マネジメント実習	管理栄養士活動論 社会・環境と健康 III 免疫学 臨床医学入門 III 栄養教育論 III 栄養教育論実習 臨床栄養学 III 臨床栄養学実習 II 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 卒業研究	臨床栄養学 IV 総合演習 I 総合演習 II 卒業研究	総合演習 III 総合演習 IV 卒業研究
科目数	9	11	4	3
学科科目選択	フードスペシャリスト論	卒業論文 食品官能評価・識別論 食品産業マーケティング論	卒業論文	卒業論文
科目数	1	3	1	1
実習	臨地実習 I 臨地実習 II 臨地実習 I・II 事前事後指導 臨地実習 III・IV 事前事後指導 臨地実習 V 事前事後指導	臨地実習 III 臨地実習 IV 臨地実習 V		
科目数	5	3		
科目数計	15	17	5	4

看護学部 看護学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学部看護学科は、本学の理念である「確かな人間性と洞察力を備えた専門性の高い実践力を有する自立した女性の育成」のもと、保健医療福祉分野における人材育成を目的に、2014年に設置されました。

看護学部看護学科は、本学の人間教育に基づき、自らを律し、自立した女性としてチームの中で主体的に考え実践できる、凛とした看護専門職を育成し、地域社会へ貢献します。

看護学部看護学科は、本学教育理念に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

1. 高い人間的資質と倫理性を備え、高度な医療と地域の看護に従事できる凛とした看護専門職女性を育成する。
2. 地域医療体制の向上に寄与する。
3. 保健・医療・福祉に貢献できる実践的な教育研究を推進する。

【学習成果】

1. 看護専門職に必要な気品と実践力を備えている。
2. 看護実践に必要な専門的知識・技術を修得し、それに基づいた総合的な判断力と課題解決力を有し、対話による合意形成を行うことができる。
3. 保健・医療・福祉・教育などの多職種との連携を図り、どんな時代にも、どんな場所でも、寛容に対応でき、必要とされるケアが提供できる。
4. 地域の特性を踏まえて健康課題を探求し、実践できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護学部看護学科では、建学の精神を具現化する核となる科目として全学共通科目と学部共通科目を配置し、その上に専門性の高い実践力を育む専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）による教育課程を編成しています。

学部共通科目と専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

1. 看護学部看護学科の教育課程のうち、学部共通科目、専門教育科目（専門基礎科目、専門科目）は、四年間の教育を通じて看護専門職に必要な基礎的能力から看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識と技能が修得できるように編成する。
2. 学部共通科目には、自己教育力の醸成や専門職としての基盤をつくるための1年次生から4年次生混合の少人数ゼミを配置する。
3. 専門教育科目：専門基礎科目には、根拠に基づく看護を展開するために必要な能力を身につける科目を配置する。
4. 専門教育科目：専門科目には、講義、演習、実習科目をおき、それらが有機的に連動する内容とする。

5. 専門科目には、看護学を学ぶ基礎としての「看護学原論」を置き、其々の専門分野の特性を理解するための各『総論』とのつながりを明確にする。さらに、一年次から四年次まで段階的に『看護実践シミュレーション演習』を配置し、『方法論』と連動させながら多様な場での看護実践力を身につける。さらに、『看護学実習』では、1年次の実習で地域や病院の理解を促し、2年次・3年次と多様な臨地での実習を行うことで、人々の健康や健康障害への理解と看護過程の展開を学べるような配置にする。加えて、1年次から4年次に実習の事前・事後に『実践演習』を配置し実習での体験を深める。
6. 保健師課程では、保健行政やヘルスマネジメント、ヘルスデータサイエンスを学び、公衆衛生看護活動を科学的根拠に基づき展開できるようにする。

【教育課程実施の方針】

1. 講義科目はアクティブ・ラーニングを取り入れて、学生が主体的に学べるように工夫し実施する。
2. 演習科目は『看護実践シミュレーション演習』と『方法論』及び『実践演習』を連動させて実施する。
3. 実習科目は、＜ライフステージ＞と＜場＞を意識した内容とし、事前事後の学びの評価を充実する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

看護学部看護学科では、本学の人間教育の実績を活かして、保健医療福祉分野に貢献できる看護専門職を育成するため、高い人間的資質と倫理性を備え、高度な医療と地域の看護に従事するために、看護への意欲を持つ人、他者と協働しながら課題に取り組むことを大切にする人、物事を冷静に論理的に捉えようと努力できる人の入学を求めています。具体的には以下の通りです。

1. 看護への意欲をもつ人
 - 1) 看護に関心があり、保健・医療・福祉分野に貢献したい人
 - 2) 看護師・保健師の資格取得に向けて努力できる人
2. 他者と協働しながら課題に取り組むことを大切にする人
 - 1) 他者への思いやりがあり、人間の弱さを共感的に理解できる人
 - 2) 他者の言葉に耳を傾け、気配りが行き届く優しい関係を築ける人
3. 物事を冷静に論理的に捉えようと努力できる人
 - 1) 生命の大切さ、人間の尊厳を理解できる人
 - 2) 文章読解力と冷静で的確な判断力をもった人

看護学部看護学科では、このような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しています。具体的には、書類審査（調査書、推薦書など）、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

看護学部 看護学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

学外研修ルーブリック	毎学年末
課題探究学習セミナー I～IV 自己評価	毎学年末
小笠原流礼法基礎講座評価	1学年末
キャリア・アセスメントテスト	3学年末
看護研究科目のGPA (看護研究の基礎、 看護研究方法論、看護研究ゼミナール)	毎学年末
人間を全人的に理解する能力に関する 科目のGPA	毎学年末

卒業時看護技術到達度チェック 自己評価	毎学年末
看護実践シミュレーション I～IV 自己評価	毎学年末
看護実践シミュレーション I～IV GPA	毎学年末
1,2,3年次 各実習 臨地実習評価	毎学年末
人・ヒトを総合的に理解する能力に関 する科目のGPA	毎学年末
根拠に基づく看護を計画的に実践する 基礎的能力に関する科目のGPA	毎学年末
発達課題対応する看護実践能力に 関する科目のGPA	毎学年末

看護統合実習 臨地実習評価	4学年末
多様なケア環境とチーム体制に関する 実践能力に関する科目のGPA	毎学年末
専門職として研鑽し続ける基本的能 力に関する科目のGPA	毎学年末

地域・在宅看護実習、健康増進訪 問実習 臨地実習評価	4学年末
-------------------------------	------

1. 看護専門職に必要な気品と
実践力を備えている

2. 看護実践に必要な専門的
知識・技術を習得し、それに基づいた総合的な判断力と課題
解決力を有し、対話による合意
形成を行うことができる

3. 保健・医療・福祉・教育など
の多職種との連携を図り、どん
な時代にも、どんな場所でも、
寛容に対応でき、必要とされる
ケアが提供できる

4. 地域の特性を踏まえて健康
課題を探求し、実践できる

看護学部 看護学科 履修要項

- (1) 看護学部看護学科の卒業所要単位数は、次表のとおり全学共通科目は18単位、学部共通科目は4単位、専門教育科目は109単位、合計131単位以上です。

全学共通科目					学部共通科目		専門教育科目				合計
聖徳教育	外国語	情報活用	教養	小計	課題探究学習セミナー	小計	必修科目		選択科目	計	
							専門基礎科目	専門科目			
7	4	1	6	18	4	4	29	80	—	109	131

- (2) 看護学部看護学科の学生は、全学共通科目については、別表Ⅳ-1、Ⅳ-2、Ⅳ-3、Ⅳ-4、Ⅳ-5のとおり履修してください。

- ① 聖徳教育科目(別表Ⅵ-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ② 外国語科目(別表Ⅵ-2)は英語Ⅰ～Ⅳの4単位が必修です。
- ③ 情報活用科目(別表Ⅵ-3)は情報活用演習(基礎)の1単位が必修です。
- ④ 教養科目(別表Ⅵ-5)は、6単位以上選択必修です。

- (3) 学部共通科目(別表Ⅳ-6)は、課題探究学習セミナーⅠ～Ⅳの4単位が卒業必修です。

- (4) 専門教育科目については、別表Ⅵ-8のとおり卒業必修に○の付された専門基礎科目29単位と専門科目80単位の合計109単位が卒業必修となります。

- (5) 保健師国家試験受験資格取得希望者の選択については、選抜試験によって決定します。選抜試験は2年次の講義が終了した以降に実施する予定です。なお、選抜試験詳細はガイダンスで説明します。

- (6) 単位を取得(成績表にS/A/B/C/Nと表記)した場合には、各別表の履修チェック欄に印をつけ、履修漏れの防止に努めてください。

※ 保健師課程履修希望者のうち、保健師資格取得後に養護教諭二種免許状の申請を予定している学生は、下記の4科目について、必ず在学中に履修し取得しておくこと。

スポーツと健康Ⅰ
 スポーツと健康Ⅱ
 情報活用演習(教職)
 日本国憲法

※ 卒業後に社会福祉主事任用資格の取得を希望する学生は、下記の3科目を在学中に履修し取得しておくこと。
 公衆衛生学
 社会保障論
 看護学原論

- (7) 2年次から3年次へ進級基準については、卒業要件単位数のうち、進級基準要件の科目を修得しなければなりません。詳細は2ページに記載されている⑧進級基準についてを確認してください。

[全学共通科目]

聖徳教育科目

別表VI-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 I	演	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	聖徳教育の詳細については、学生便覧、シラバスを参照すること。(通年履修)
<input type="checkbox"/>	聖徳教育 II	演	1	○	○			○					
<input type="checkbox"/>	SEITOKU Academic Literacy I	演	1	○	○								
<input type="checkbox"/>	SEITOKU Academic Literacy II	演	1	○	○	○							
<input type="checkbox"/>	SEITOKU Academic Literacy III	演	1	○			●	●					
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○		○							
	計		7										

外国語科目

別表VI-2

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	英語 I	演	1	○	○								外国語科目については、卒業必修科目として英語 I、II、III、IV (4単位) 必修。
<input type="checkbox"/>	英語 II	演	1	○		○							
<input type="checkbox"/>	英語 III	演	1	○			○						
<input type="checkbox"/>	英語 IV	演	1	○				○					
<input type="checkbox"/>	英語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	英語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	英語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	英語 VIII	演	1									○	
<input type="checkbox"/>	フランス語 I	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	フランス語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	フランス語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	フランス語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	フランス語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	フランス語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	フランス語 VIII	演	1									○	
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 I	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	ドイツ語 VIII	演	1									○	
<input type="checkbox"/>	イタリア語 I	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	イタリア語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	イタリア語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	イタリア語 VIII	演	1									○	
<input type="checkbox"/>	中国語 I	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	中国語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	中国語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	中国語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	中国語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	中国語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	中国語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	中国語 VIII	演	1									○	
<input type="checkbox"/>	韓国語 I	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	韓国語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	韓国語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	韓国語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	韓国語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	韓国語 VII	演	1								○		
<input type="checkbox"/>	韓国語 VIII	演	1									○	
	計		48										

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

情報活用科目

別表VI-3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									(*)保健師課程で養護教諭二種免許取得希望者は、情報活用演習(教職)を必ず履修すること。
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職) (※)	演	1		○									
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1				○							
計			5											

帰国子女科目

別表VI-4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	日本語 I	演	1		○								
<input type="checkbox"/>	日本語 II	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	日本語 III	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	日本語 IV	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	日本語 V	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	日本語 VI	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史 I		2					○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史 II		2							○			
計			10										

教養科目

別表VI-5

	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
A類	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域)		2	☆	○								☆印を付した教養科目より6単位以上選択必修
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域 I)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(看護領域)		2	☆	○								
B類	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(健康領域)		2	☆	○								
C類	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2	☆	○								
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(ケア領域)		2	☆	○								
D類	<input type="checkbox"/>	日本国憲法 (※)		2		○							(*)保健師課程で養護教諭二種免許取得希望者は必ず履修すること。	
	<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 I (※)	※	1		○								
	<input type="checkbox"/>	スポーツと健康 II (※)	※	1			○							
計			46											

[学部共通科目]

別表VI-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	課題探究学習セミナー I(自己教育力の基盤)	演	1	○	○								4単位必修
<input type="checkbox"/>	課題探究学習セミナー II(自己研鑽の方法)	演	1	○		○							
<input type="checkbox"/>	課題探究学習セミナー III(キャリアデザインの構想)	演	1	○				○					
<input type="checkbox"/>	課題探究学習セミナー IV(専門性の探究)	演	1	○						○			
計			4										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

Business Field Linkageプログラム

別表VI-7

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※													
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント副 専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2			●	●							いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●		●							いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2				●		●		●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副専 攻	国際社会問題を考える		2					●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2				●		●		●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication I		2			○								
<input type="checkbox"/>		Practical English Communication II		2					○						
<input type="checkbox"/>	ビジネス再生・ 創生 副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2			●		●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2				●		●		●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2					●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	ビジネス・ データ サイエンス 副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2			●		●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンス I		2		●		●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンス II		2			●		●		●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンス III		2					●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副専 攻	地域社会の価値を創造する実践論		2			●		●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2				●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2							○				

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

- ①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。
- ②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次のとおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。(但し「ビジネス・データサイエンス I、II、III」及び「Practical English Communication I、II、III」は除く)
- ③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。
- ④履修する科目はキャップ制の対象外とします。
- ⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

[専門教育科目]

別表Ⅵ-8

	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	②保健師	履修年次								備考	
							1		2		3		4			
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	<input type="checkbox"/>	形態機能学Ⅰ(呼吸器・循環器他)		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	形態機能学Ⅱ(消化器・神経他)		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	形態機能学Ⅲ(内分泌・泌尿器他)		2	○			○								
	<input type="checkbox"/>	看護のための生化学		1	○		○									
	<input type="checkbox"/>	看護のための薬理学		2	○			○								
	<input type="checkbox"/>	看護のための病理学		1	○			○								
	<input type="checkbox"/>	看護のための感染症学		1	○		○									
	<input type="checkbox"/>	生物入門		1			○									
	<input type="checkbox"/>	疾病治療論Ⅰ(呼吸器・循環器他)		2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	疾病治療論Ⅱ(消化器・内分泌他)		2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	疾病治療論Ⅲ(神経・運動器他)		2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	疾病治療論Ⅳ(精神・老年)		1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	疾病治療論Ⅴ(母子)		1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	臨床栄養学		2	○					○						
	<input type="checkbox"/>	疫学 ※		2		○				○						※看護師課程のみの学生も選択可。
	<input type="checkbox"/>	保健統計と健康		2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/>	公衆衛生学		1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	臨床心理学		1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	臨床検査法		1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	社会保障論		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	保健医療福祉システム論Ⅰ(保健・医療行政) ※		2		○			○							※看護師課程のみの学生も選択可。
	<input type="checkbox"/>	保健医療福祉システム論Ⅱ(福祉行政) ※		1		○				○						
	<input type="checkbox"/>	医療安全学		1	○					○						
		計		35												

	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	①卒業必修	②保健師	履修年次								備考	
							1		2		3		4			
							春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	<input type="checkbox"/>	看護学原論		2	○		○									
	<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護学総論		2	○	○			○							
	<input type="checkbox"/>	基礎看護技術Ⅰ(共通技術)	演	1	○		○									
	<input type="checkbox"/>	基礎看護技術Ⅱ(生活援助技術)	演	2	○			○								
	<input type="checkbox"/>	基礎看護技術Ⅲ(診療の補助技術)	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	ヘルスアセスメント	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	看護過程論	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	コミュニケーション論	演	1				○								
	<input type="checkbox"/>	看護史と看護理論概説		1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅠ(対象の捉え方)	演	1	○			○								
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅡ-1(計画に基づいた看護実践)	演	1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅡ-2(健康課題への看護実践)	演	1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅢ-1(課題別看護実践)	演	1	○						○					
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅢ-2(看護実践と評価)	演	1	○							○				
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅣ-1(チーム医療における看護実践)	演	1	○								○			
	<input type="checkbox"/>	看護実践シミュレーションⅣ-2(看護学・専門職としての学びの統合)	演	1	○										○	
	<input type="checkbox"/>	成人看護学総論		1	○				○							
	<input type="checkbox"/>	成人・老年看護学方法論Ⅰ(急性・回復期)	演	2	○				○							
	<input type="checkbox"/>	成人・老年看護学方法論Ⅱ(慢性・終末期)	演	2	○					○						
	<input type="checkbox"/>	地域・在宅看護総論		2	○	○				○						
	<input type="checkbox"/>	地域・在宅看護方法論	演	2	○	○					○					
	<input type="checkbox"/>	健康行動・健康教育論		2	○	○				○						
	<input type="checkbox"/>	家族看護学の基礎		1	○	○				○						
	<input type="checkbox"/>	母性看護学総論		1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	母性看護学方法論	演	2	○						○					
	<input type="checkbox"/>	小児看護学総論		1	○					○						
	<input type="checkbox"/>	小児看護学方法論	演	2	○						○					

チ エ ン ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	① 卒 業 必 修	② 保 健 師	履修年次								備 考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	精神看護学総論		1	○					○						
<input type="checkbox"/>	精神看護学方法論	演	2	○						○					
<input type="checkbox"/>	老年看護学総論		1	○				○							
<input type="checkbox"/>	成人・老年看護学方法論Ⅲ(QOL維持期)	演	2	○						○					
<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護活動論Ⅰ(対象別の支援)		2		○										
<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護活動論Ⅱ(保健指導の技術)	演	2		○					○					
<input type="checkbox"/>	データヘルスプロモーション理論・実践論		2		○					○					
<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護政策論		2		○								○		
<input type="checkbox"/>	クリティカルケア論		1											○	
<input type="checkbox"/>	災害看護論		1	○									○		
<input type="checkbox"/>	専門職連携活動論		1	○									○		
<input type="checkbox"/>	国際看護論		1										○		
<input type="checkbox"/>	看護倫理学		1	○						○					
<input type="checkbox"/>	看護マネジメント論		2	○										○	
<input type="checkbox"/>	感染看護学		1	○						○					
<input type="checkbox"/>	看護情報学		1										○		
<input type="checkbox"/>	看護研究の基礎		1	○			○								
<input type="checkbox"/>	看護研究方法論	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	看護研究ゼミナールⅠ(研究計画)	演	1	○						○					
<input type="checkbox"/>	看護研究ゼミナールⅡ(卒業研究)	演	1	○									○		
<input type="checkbox"/>	実践演習Ⅰ(看護実践の基礎)	演	1	○			○								
<input type="checkbox"/>	実践演習Ⅱ(根拠に基づいた看護実践)	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	実践演習Ⅲ(看護実践への準備・まとめ)	演	2	○						○					
<input type="checkbox"/>	実践演習Ⅳ(多様なケア環境への実践)	演	1	○										○	
<input type="checkbox"/>	看護入門実習	実	1	○			○								
<input type="checkbox"/>	コミュニティ看護実習Ⅰ(生活者)	実	1	○			○								
<input type="checkbox"/>	コミュニティ看護実習Ⅱ(要支援者)	実	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	看護基盤実習	実	2	○				○							
<input type="checkbox"/>	療養生活看護実習Ⅰ(急性期)	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	療養生活看護実習Ⅱ(回復期)	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	療養生活看護実習Ⅲ(慢性期)	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	精神保健看護実習	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	地域・在宅看護実習	実	2	○										○	
<input type="checkbox"/>	育成看護実習Ⅰ(小児)	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	育成看護実習Ⅱ(母性)	実	2	○								○			
<input type="checkbox"/>	外来看護実習	実	1	○								○			
<input type="checkbox"/>	健康増進訪問実習	実	1	○										○	
<input type="checkbox"/>	看護統合実習	実	2	○										○	
<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護コミュニティ実習	実	2		○									○	
<input type="checkbox"/>	公衆衛生看護マネジメント実習	実	3		○									○	
	単 位 計		97												

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の○印は開講時期をさす。

◎別表Ⅵ-7に記載されている科目で、太字(ゴシック)になっている科目は、進級基準要件の科目となります。

地域に貢献する凛とした看護専門職者

令和5年度入学生 聖徳大学 看護学部看護学科 カリキュラムマップ (看護師+保健師資格)

人への理解を深め、円滑な人間関係を築く能力を強化しよう

アセスメントを重点的に高めよう

アセスメントに基づいた看護の実践力を高めよう

地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめざそう

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期	
根拠に基づいた判断・看護実践能力	看護入門実習		看護基礎実習				健康増進訪問実習		
	コミュニケーション看護実習Ⅰ		コミュニケーション看護実習Ⅱ				看護総合実習		
公衆衛生看護の実践能力				保健統計と健康	健康行動・健康教育論	データヘルスプロモーション理論・実践論	公衆衛生看護政策論		
				公衆衛生看護学総論Ⅰ	公衆衛生看護活動論Ⅰ	公衆衛生看護活動論Ⅱ			
				保健医療福祉システム論Ⅰ	疫学				
				公衆衛生看護学総論	地域・在宅看護総論	地域・在宅看護方法論		クリティカルケア論	
				成人・老年看護学方法論Ⅰ (急性・回復期)	成人・老年看護学方法論Ⅱ (慢性・終末期)	成人・老年看護学方法論Ⅲ (GOL 維持期)		災害看護論	
				コミュニケーション論				国際看護論	
				成人看護学総論	小児看護学総論	小児看護学方法論			
				臨床心理学	母性看護学総論	母性看護学方法論			
				公衆衛生学	保健統計と健康	疫学			
				基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ	基礎看護技術Ⅲ			
根拠に基づいた看護を計画的に実践する基礎的能力				看護学原論					
				看護実践シミュレーションⅠ	看護実践シミュレーションⅡ	看護実践シミュレーションⅢ	看護実践シミュレーションⅣ	看護実践シミュレーションⅤ	
専門職として研鑽し続ける基本的能力	実践演習Ⅰ		実践演習Ⅱ	看護史と看護理論概説	医療安全学	実践演習Ⅲ	実践演習Ⅳ	看護マネジメント論	
					看護倫理学		看護情報学		
人・ヒトを総合的に理解する能力	課題探究学習セミナーⅠ		看護研究の基礎	看護研究方法論	看護研究セミナーⅠ	看護研究セミナーⅡ	看護研究セミナーⅢ	看護研究セミナーⅣ	
	形態機能学Ⅰ		形態機能学Ⅱ	疾病治療論Ⅰ	疾病治療論Ⅱ	疾病治療論Ⅲ			
	形態機能学Ⅱ		看護のための病理学	看護のための薬理学	看護のための感染症学				
	看護のための生化学		看護のための感染症学						
	生物入門								
				全学共通科目 (A 領域：自分を学ぶ・拓げ、広げる領域、B 領域：自然・社会・科学技術を考える領域、C 領域：心とからだの美的本質を追求する領域) から6単位以上選択必修					
				英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ		
				情報活用演習 (基礎)	情報活用演習 (教職)				
				聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ	聖徳教育Ⅲ	聖徳教育Ⅳ	聖徳教育Ⅰ	
				聖徳教育Ⅱ	小笠原流礼法基礎講座	SETOKU Academic Literacy Ⅰ	SETOKU Academic Literacy Ⅱ	SETOKU Academic Literacy Ⅲ	
人間を全人的に理解する能力									

人への理解を深め、円滑な人間関係を築く能力を強化しよう

アセスメント力を重点的に高めよう

アセスメントに基づいた看護の実践力を高めよう

地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめそう

学位授与の方針で掲げる学習成果

地域に貢献する凛とした看護専門職者

	1年次	2年次	3年次	4年次	学習成果
根拠に基づく判断・看護実践能力	病院・施設等での看護の機能と役割が説明できる	病院や施設における対象の看護の必要性を説明できる	病院や施設において対象の発達段階および健康の段階に応じた看護を実践できる	地域の特性と健康課題を探求し、看護の実際の場面の課題解決ができる実践力が身についている	1.看護専門職に必要な気品と実践力を備えている
公衆衛生看護の実践能力		保健医療福祉システム等について説明できる	地域ケアの質の管理を説明できる	公衆衛生看護の展開方法を説明できる	
多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度の一部が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度の一部が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度が身についている	2.看護実践に必要な専門的知識・技術を修得し、それに基づいた総合的な判断力と課題解決力を有し、対話による合意形成を行うことができる
発達課題に対応する看護実践能力	成人期の発達課題、人の心理について説明できる	各期の発達課題等について説明できる	看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識・技術・態度が身についている		
根拠に基づく看護を計画的に実践する基礎的能力	看護実践に必要な基礎的な知識・技術・態度の一部が身についている	看護実践に必要な基礎的な知識・技術・態度が身についている	看護実践に必要な課題別の知識・技術・態度が身についている	多様な環境に合わせた看護実践に必要な知識・技術・態度が身についている	3.保健・医療・福祉・教育などの多職種との連携を図り、どんな時代にも、どんな場所でも、寛容に対応でき、必要とされるケアが提供できる
専門職として研鑽し続ける基本的能力	看護を実践的・研究的に学ぶための準備ができる	看護を実践的・研究的に学び、多面的な視点から説明できる	看護を実践的・研究的に学び、具体的な方法が身についている	看護職としての看護管理の視点をもち、看護ケアの質の向上のための研究の基礎が身についている	
人・ヒトを総合的に理解する能力	人体の構造と機能、主な疾患について説明できる	主な疾患と対象の病態生理について説明できる			4.地域の特性を踏まえて健康課題を探究し、実践できる
人間を全人的に理解する能力	人間理解のための知識が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	

地域に貢献する凛とした看護専門職者

令和5年度入学生 聖徳大学 看護学部看護学科 カリキュラムマップ(看護師資格)

人への理解を深め、円滑な人間関係を築く能力を強化しよう

アセスメント力を重点的に高めよう

アセスメントに基づいた看護の実践力を高めよう

地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめざそう

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
根拠に基づく判断・看護実践能力	看護入門実習		看護基礎実習			外来看護実習	健康増進訪問実習	
	コミュニティ看護実習Ⅰ		コミュニティ看護実習Ⅱ			精神保健看護実習	看護統合実習	
						療養生活看護実習Ⅰ(急性期)	地域・在宅看護実習	
						療養生活看護実習Ⅱ(回復期)		
						療養生活看護実習Ⅲ(慢性期)		
						育成看護実習Ⅰ(小児)		
						育成看護実習Ⅱ(母性)		
多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力	社会保障論		公衆衛生看護学総論	地域・在宅看護総論	地域・在宅看護方法論		専門関連活動論	クリティカルケア論
			成人・老年看護学方法論Ⅰ(急性・回復期)	成人・老年看護学方法論Ⅱ(慢性・終末期)	成人・老年看護学方法論Ⅲ(QOL維持期)		災害看護論	
							国際看護論	
発達課題に対処する看護実践能力	看護学原論		保健統計と健康	疫学				
	基礎看護技術Ⅰ		保健医療福祉システム論Ⅰ	保健医療福祉システム論Ⅱ				
			基礎看護技術Ⅱ	健康行動・健康教育論				
			ハルスアセスメント	臨床検査法				
			看護過程論					
			看護実践シミュレーションⅠ	看護実践シミュレーションⅡ	看護実践シミュレーションⅢ-1	看護実践シミュレーションⅢ-2	看護実践シミュレーションⅣ-1	看護実践シミュレーションⅣ-2
根拠に基づく看護を計画的に実践する基礎的能力	実践演習Ⅰ		実践演習Ⅱ	医療安全学	実践演習Ⅲ	実践演習Ⅳ	看護マネジメント論	
			看護史と看護理論概説	看護倫理学			看護情報学	
				感染看護学				
			看護研究の基礎	看護研究方法論	看護研究セミナーⅠ	看護研究セミナーⅡ	看護研究セミナーⅢ	看護研究セミナーⅣ
			課題探究学習セミナーⅠ	課題探究学習セミナーⅡ	課題探究学習セミナーⅢ	課題探究学習セミナーⅣ		
			形態機能学Ⅰ	疾病治療論Ⅰ	疾病治療論Ⅳ			
			形態機能学Ⅱ	看護のための病理学	疾病治療論Ⅴ			
			看護のための生化学	看護のための薬理学	臨床栄養学			
			看護のための感染症学	看護のための感染症学				
			生物入門					
人・ヒトを総合的に理解する能力	全学共通科目 (A領域：自分をみつめ・拡げ・伝える領域、B領域：自然・社会・科学技術を考える領域、C領域：心とからだの美的本質を追求する領域) から6単位以上選択必修		全学共通科目 (D領域：スポーツと健康Ⅰ、スポーツと健康Ⅱ、日本国憲法、Business Field Linkag)					
	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ				
	情報活用演習(基礎)	情報活用演習(教職)						
	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ
	聖徳教育Ⅱ	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育Ⅱ-1	聖徳教育Ⅱ-1	聖徳教育Ⅱ-1	聖徳教育Ⅱ-1	聖徳教育Ⅱ-1	聖徳教育Ⅱ-1
	SETOKU Academic Literacy Ⅰ		SETOKU Academic Literacy Ⅲ					
	SETOKU Academic Literacy Ⅱ		SETOKU Academic Literacy Ⅱ					

人への理解を深め、円滑な人間関係を築く能力を強化しよう

アセスメント力を重点的に高めよう

アセスメントに基づいた看護の実践力を高めよう

地域に目を向け感性豊かな看護実践者をめざそう

学位授与の方針で掲げる学習成果

地域に貢献する凛とした看護専門職者

	1年次	2年次	3年次	4年次	学習成果
根拠に基づく判断・看護実践能力	病院・施設等での看護の機能と役割が説明できる	病院や施設における対象の看護の必要性を説明できる	病院や施設において対象の発達段階および健康の段階に応じた看護を実践できる	地域の特性と健康課題を探究し、看護の実際の場面の課題解決ができる実践力が身についている	1.看護専門職に必要な気品と実践力を備えている
多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度の一部が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度の一部が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度が身についている	多様なケア環境で多職種と連携できる知識・技術・態度が身についている	2.看護実践に必要な専門的知識・技術を修得し、それに基づいた総合的な判断力と課題解決力を有し、対話による合意形成を行うことができる
発達課題に対応する看護実践能力	成人期の発達課題、人の心理について説明できる	各期の発達課題等について説明できる	看護実践に必要な総合的かつ専門的な知識・技術・態度が身についている		3.保健・医療・福祉・教育などの多職種との連携を図り、どんな時代にも、どんな場所でも、寛容に対応でき、必要とされるケアが提供できる
根拠に基づく看護を計画的に実践する基礎的能力	看護実践に必要な基礎的な知識・技術・態度の一部が身についている	看護実践に必要な基礎的な知識・技術・態度が身についている	看護実践に必要な課題別の知識・技術・態度が身についている	多様な環境に合わせた看護実践に必要な知識・技術・態度が身についている	
専門職として研鑽し続ける基本的能力	看護を実践的・研究的に学ぶための準備ができる	看護を実践的・研究的に学び、多面的な視点から説明できる	看護を実践的・研究的に学び、具体的方法が身についている	看護職としての看護管理の視点をもち、看護ケアの質の向上のための研究の基礎が身についている	
人・ヒトを総合的に理解する能力	人体の構造と機能、主な疾患について説明できる	主な疾患と対象の病態生理について説明できる			4.地域の特性を踏まえて健康課題を探究し、実践できる
人間を全人的に理解する能力	人間理解のための知識が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	グローバル社会におけるコミュニケーション力が身についている	

音楽学部 音楽学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

音楽学部にあつては、これまでにすぐれた音楽家や質の高い音楽教員、音楽療法士、音楽指導員など音楽にかかわる専門的職業人を中心とした多くの人材を輩出し、音楽文化の発展に寄与してきました。

音楽は社会や人々をつなぎ生活を豊かにする重要な文化であり、その発展に貢献できる人材の育成に社会の期待が寄せられています。音楽学科では、総合大学の中にある音楽学部音楽学科という他にはない学科の特質を活かし、優れた感性と表現能力をもち音楽文化の発展に貢献できる音楽家や、音楽を広く総合的視野からとらえ専門的職業人に必要な理論と能力、人間力をもった音楽教員などの指導者、音楽療法士、音楽関連企業人の育成を目指し、次のような目標を掲げ教育を行います。

【教育目標】

1. 音楽や音楽キャリアに関わる豊かで専門的な知識や技能を身につけた人材の育成。
2. 自己の音楽的課題を明確にし、主体的、創造的、協働的に学ぶことができる人材の育成。
3. 音楽家や音楽教育者、音楽療法士、音楽関連企業人などの専門的職業人を目指し生涯にわたって学び続ける使命感、責任感を有した人材の育成。
4. 社会を生きる総合的な人間力を備えている人材の育成。

こうした教育目標に基づき、以下のような学習成果を設定します。

【学習成果】

1. 豊かな音楽表現力や音楽キャリアに関わる専門的能力をもつことができる。
2. 主体的、創造的、協働的に学ぶことができる。
3. 専門的職業人としての使命感、責任感をもちことができる。
4. 音楽活動に関する英語コミュニケーション力をも有した総合的人間力をもつことができる。

以上のような学習成果に基づいて編成された教育課程を履修し、修了した人に学士（音楽）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程編成の方針】

学位授与の方針に則して、音楽学部音楽学科においては、ディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果の達成のために次の科目群を設定します。

1. 専門的な知識、理論、技能を高める科目群や音楽キャリアにかかわる科目群
2. 主体的、創造的、協働的に学ぶ科目群
3. 専門的職業人としての使命感、責任感を高める科目群
4. 人間力を高める科目群

これらの科目群に沿って配置された次のような授業により教育課程を編成し、学習成果及び教育目標を達成します。

1. 音楽専門実技や理論、音楽教育関連科目、音楽療法関連科目を学習することにより、自らの目指す音楽キャリアに関する専門的な能力を身につける。
2. 音楽の専門実技及び演習、音楽教育、音楽療法にかかわる演習・実技関連科目の学習を通して、主体的、創造的、協働的に学ぶ力を身につける。
3. 学内発表、卒業研究、教育実習、音楽療法実習、インターシップなどの学習を通して、専門的職業人としての使命感、責任感を身につける。
4. 聖徳教育科目、教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報活用科目、及び音楽キャリア教育関連科目の学習を通して、社会を生きる総合的な人間力を養う。

専門科目を中心としたこれらの教育課程は、初年次教育、教養教育、キャリア教育とも密接な関係をもって編成されます。人間力の基礎ともなる学外研修を含んだ「聖徳教育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を中心とした初年次教育や教養教育の学習、コミュニケーション力を養う英語や演奏に必要なイタリア語等の外国語の学習、専門的職業人へ向けた使命感形成の基礎となる音楽キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲを中心とした音楽キャリア教育関連科目等が音楽専門科目と緊密な関係を持ちつつ編成されます。

【教育課程実施の方針】

教育課程については、自ら課題を発見し解決を図るという主体的、創造的な方法で実施します。また、演奏や舞台を協働してつくるチーム基盤的な学習などのアクティブ・ラーニング的手法も取り入れながら教育課程を実施します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

音楽が社会や人をつなぐ豊かな絆であるということが再認識されています。音楽学部音楽学科では、そうした音楽の発展に音楽家として貢献できる人材を育成しています。そのような人材に必要な力はディプロマ・ポリシーで示しています。

こうした目的を理解し、目的を達成できる資質をもった人を音楽学部音楽学科では求めています。具体的には、次のような入学者を求めています。

1. 音楽が好きで、音楽家、音楽教員や音楽療法士、音楽関連企業人として社会に貢献する夢をもっている人。
2. 音楽実技や理論など音楽に関する授業や音楽キャリアに関する授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことのできる人。
3. 学内外での音楽活動や実習などで必要となるコミュニケーション力など基礎的な力をもっている人。

音楽学部音楽学科では、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、本学科での学習に必要な音楽的な知識、技能、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的に考え表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

音楽学部 音楽学科

学習成果の修得状況を測る手法と時期

あなたの学習成果の修得状況を測る
手法と測定時期

卒業時に身に付く学習成果

自己評価

他者評価

レッスン記録票

毎レッスン時

卒業研究ルーブリック

4年次末

「音楽の専門的な知識・理論を身につける」科目群総合GPA

毎学期末

「演奏表現・創作のスキルを身につける」科目群総合GPA

毎学期末

「音楽教育の知識とスキルを身につける」総合GPA

毎学期末

「音楽療法の知識とスキルを身につける」総合GPA

毎学期末

1. 豊かな音楽表現力や音楽キャリアに関わる専門的能力を持つ。

新入生オリエンテーションルーブリック

新オリ直後

学びの達成度実感調査(在学生)

1,2,3春

学外研修ルーブリック

学外研修直後

「音楽を主体的・創造的・協働的に学ぶ」科目群総合GPA

毎学期末

キャリア・アセスメントテスト

3春

2. 主体的、創造的、協働的に学ぶことができる。

「専門的職業人としての使命感・責任感を高める」科目群総合GPA

毎学期末

実習録

実習後

3. 専門的職業人としての使命感、責任感を持つ。

学びの達成度実感調査(卒年生)

4年次末

学びの記録

主に面談時

「人間力を高める」科目群総合GPA

毎学期末

4. 音楽活動に関する総合的な人間力を持つ。

音楽学部 音楽学科 全学共通科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)94単位以上、計124単位以上です。
- ② 音楽学部の全学共通科目(A類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

全学共通科目 (A類)				
聖徳教育	教養科目と 外国語	健康教育	情報活用	計
7	20	2	1	30

- ③ 音楽学部の学生は、全学共通科目(A類)については、別表Ⅶ-1、2、3、4、5、6のとおり履修してください(同一科目を重複して履修することはできません)。
- ④ 聖徳教育科目(別表Ⅶ-1)はすべて卒業必修です。授業内容の詳細については、学生便覧及びシラバスを参照してください。
- ⑤ 教養科目(別表Ⅶ-2)は外国語科目と併せて20単位以上が必修です(外国語は8単位以上必修)。1年次秋学期から開講しますので、各学期2科目程度を、A類～C類まで一つの類に集中することなくバランスよく履修してください。
D類の「日本国憲法」は教育職員免許状を取得する者は必修です。
- ⑥ 外国語科目(別表Ⅶ-3)は、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ(4単位)及び選択外国語として、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のうち1か国語(4単位)、計8単位以上が必修です。
- ⑦ 健康教育科目(別表Ⅶ-4)は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑧ 情報活用科目(別表Ⅶ-5)は欄外の受講区分に従い履修してください。
- ⑨ 単位を修得した場合(成績表にS・A・B・Cと表記される)には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

全学共通科目(A類)

聖徳教育科目

別表Ⅶ-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	小笠原流礼法基礎講座		2	○			●	●						●春学期または秋学期に開講
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅰ	演	1	○	○	○			○	○				△聖徳教育の詳細については、学生便覧、シラバスを参照すること。
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅱ	演	1	○	○				○					
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅠ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅡ)	演	1	○	○									
<input type="checkbox"/>	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic LiteracyⅢ)	演	1	○		●	●							
	計		7											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

教養科目

別表Ⅶ-2

区分	チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
A類	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(芸術領域)		2			○	○	○					△教養科目と別表Ⅶ-3外国語科目を併せて20単位以上を修得すること(外国語は8単位以上を修得すること) △教養科目は表中のA類、B類及びC類から1科目以上選択し、12単位以上修得すること。また同じ科目(領域)を重複履修することはできません。 △日本国憲法は、教育職員免許状を取得する者は必ず修得すること。
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文学領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(歴史領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅰ)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自分を見つめ・広げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1										
B類	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			○	○	○					
C類	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			○	○	○					
	<input type="checkbox"/>	心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			○	○	○					
D類	<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2	●	●								
				27										

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

また●印を付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。

Business Field Linkageプログラム

チェック欄	区分	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
						1		2		3		4		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論		1		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		キャリア教育関連科目※												
<input type="checkbox"/>	価値増幅型 マネジメント 副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー		2		●	●	●	●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント		2			●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		就活にも役立つメディアリテラシー		2		●		●						いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスマネジメント		2				●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	グローバル 人材育成副 専攻	国際社会問題を考える		2				●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		グローバルコミュニケーション		2				●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		Practical English CommunicationⅠ		2			○							
<input type="checkbox"/>		Practical English CommunicationⅡ		2					○					
<input type="checkbox"/>		Practical English CommunicationⅢ		2						○				
<input type="checkbox"/>	ビジネス 再生・創生 副専攻	新時代のリーダーシップデザイン		2			●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		戦略的ビジネスプランニング		2				●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		顧客価値を創出するマーケティング		2					●		●		●	いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	ビジネス・ データ サイエンス 副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー		2			●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅠ		2		●		●		●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅡ		2			●		●		●			いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		ビジネス・データサイエンスⅢ		2				●		●		●		いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>	地域活性化・ 価値創造副 専攻	地域社会の価値を創造する実践論		2			●		●					いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の役割を体験するインターンシップ		2				●		●				いずれかの学期で履修
<input type="checkbox"/>		行政の理解と試験対策		2						○				

※キャリア教育関連科目は各学部学科教育課程の設定による。

※○は配当年次を示す。●はいずれかの学期で履修することを示す。なお、配当年次・学期の上位学年についてはいずれの科目も任意に履修できます。

<副専攻履修について>

Business Field Linkageプログラムの科目から20単位以上修得すると学んだことを認証する「修了証」を授与します。必要な要件は下記の通りです。

①自分の目標とするキャリアに合わせた副専攻を上記5つの副専攻から選択し、その副専攻に該当する必修科目と共通必修科目「ビジネス・フィールド・リンケージ原論」、他の副専攻の科目と併せて20単位を修得すること。

②修得単位(共通区分を除く)の取り扱いについては、次とおり教養科目の単位に6単位まで充当することができます。

(但し「ビジネス・データサイエンスⅠ、Ⅱ、Ⅲ」及び「Practical English CommunicationⅠ、Ⅱ、Ⅲ」は除く)

③副専攻を申請しなくても必要な科目を履修することができます。

④履修する科目はキャップ制の対象外とします。

⑤履修状況については、各学期の成績通知票において履修済みの科目の成績を確認することができます。

外国語科目

別表Ⅶ-3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○	○									△別表Ⅶ-2教養科目と外国語科目を併せて20単位以上を修得すること。 △外国語科目は、8単位以上を修得すること。英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ(各1単位)は必修です。また、選択外国語として【英語(V～Ⅷ)、フランス語(I～Ⅳ)、ドイツ語(I～Ⅳ)、イタリア語(I～Ⅳ)】のうち1か国語(4単位)を修得すること。 △各学科で指定している外国語科目については、指示のとおり履修すること。 △英語・イタリア語以外の外国語のⅠ～Ⅳは、ⅠとⅡ、ⅢとⅣで週2コマ開講されるので同時に履修すること。
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1	○		○								
<input type="checkbox"/>	英語Ⅲ	演	1	○			○							
<input type="checkbox"/>	英語Ⅳ	演	1	○				○						
<input type="checkbox"/>	英語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	英語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	英語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	英語Ⅷ	演	1									○		
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅰ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅳ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅴ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅵ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅶ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	フランス語Ⅷ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅰ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅳ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅴ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅵ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅶ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	ドイツ語Ⅷ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅰ	演	1		○									
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅱ	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅲ	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅳ	演	1					○						
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅴ	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅵ	演	1							○				
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅶ	演	1								○			
<input type="checkbox"/>	イタリア語Ⅷ	演	1									○		
	計		32											

【授業の方法】演：演習、無印：講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

健康教育科目

別表Ⅶ-4

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	※	1		○									△健康教育科目の受講区分は注のとおり。
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	※	1			○								
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ(小免)	※	1		○									
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ(小免)	※	1			○								
	計		4											

【授業の方法】無印:講義をさす。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【受講区分】【注】 1) 小学校教諭免許状を取得しようとする学生は、スポーツと健康Ⅰ・Ⅱ(小免)を履修すること。
2) 上記以外の学生は、スポーツと健康Ⅰ・Ⅱを履修すること。

情報活用科目

別表Ⅶ-5

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○	○									△情報活用科目の受講区分は注のとおり。
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1			○								
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(応用)	演	1						○					
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(統計)	演	1				○							
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(表現)	演	1					○						
	計		5											

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

【受講区分】【注】 1) 教育職員免許状または音楽療法士(1種)を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)両科目とも必修です。
2) 情報活用科目を2単位以上修得した場合の1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表Ⅶ-6

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	卒業必修	履修年次								備考
					1		2		3		4		
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅰ	演	1		○								△帰国子女科目は、教養科目または外国語の単位に替えることができる。
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅱ	演	1			○							
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅲ	演	1				○						
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅳ	演	1					○					
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅴ	演	1						○				
<input type="checkbox"/>	日本語Ⅵ	演	1							○			
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅰ		2					○					
<input type="checkbox"/>	日本の社会と歴史Ⅱ		2							○			
	計		10										

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期をさす。

音楽学部 音楽学科 専門教育科目 履修要項

- ① 卒業所要単位数は、全学共通科目(A類)30単位以上、専門教育科目(B類)94単位以上、計124単位以上です。
- ② 音楽学部の専門教育科目(B類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下記のとおりとします。

専門教育科目 (B類)		
必修科目	選択科目	計
30	64	94

- ③ 音楽療法士(1種)を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び音楽療法士(1種)欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。また、認定音楽療法士受験資格を取得しようとする者は、別表VII-7の卒業必修欄に○印のついている科目及び認定音楽療法士受験資格欄に○印のついている科目を加えて、①のとおり履修してください。
- なお、音楽療法士(1種)及び認定音楽療法士受験資格を取得しようとする者は、別表VII-12の教職に関する科目の[注]6に記載の科目も加えて履修してください。
- ④ 中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得しようとする者は、別表VII-10、11、12に記載の科目を含めて、①とおりに履修してください。(別表VII-11の科目は卒業所要単位数に選択科目として算入することができます)
- ⑤ 中学校教諭一種免許状(音楽)及び高等学校教諭一種免許状(音楽)に加えて、小学校教諭免許状(一種・二種)を取得しようとする者は、①④に加えて別途配布する資料のとおり履修してください。音楽学部においては、小学校教諭免許状(一種・二種)のみを取得することはできません。(小学校教諭免許状取得のための科目は卒業所要単位数に算入することはできません)
- ⑥ 図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、学芸員、レクリエーション関係、日本語教員養成講座の資格を取得しようとする者は①に加えて、別表VIII-1、2、3、4、5により、履修してください(これらの科目は卒業要件に算入することはできません)。
- ⑦ 単位を修得した場合(成績表にS・A・B・Cと表記される)には、各別表の履修チェック欄に印をつけ履修漏れの防止に努めてください。

チェック欄	授業科目	単位	授業の方法	卒業必修	音楽療法士1種	認定音楽療法士	教免必修	標準履修年次								備考	
								1		2		3		4			
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-I (ピアノ)	2	演					○									
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-II (ピアノ)	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-III (ピアノ)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-IV (ピアノ)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-V (ピアノ)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習D-VI (ピアノ)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-I (ピアノ)	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-II (ピアノ)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-III (ピアノ)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-IV (ピアノ)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-V (ピアノ)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習E-VI (ピアノ)	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-I (ピアノ)	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-II (ピアノ)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-III (ピアノ)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-IV (ピアノ)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-V (ピアノ)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習F-VI (ピアノ)	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-I (電子オルガン)	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-II (電子オルガン)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-III (電子オルガン)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-IV (電子オルガン)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-V (電子オルガン)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習G-VI (電子オルガン)	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-I (パイプオルガン)	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-II (パイプオルガン)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-III (パイプオルガン)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-IV (パイプオルガン)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-V (パイプオルガン)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習H-VI (パイプオルガン)	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-I (管弦楽)	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-II (管弦楽)	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-III (管弦楽)	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-IV (管弦楽)	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-V (管弦楽)	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	音楽表現演習I-VI (管弦楽)	2	演												○		
<input type="checkbox"/>	音楽表現特別演習	2	演					○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1~4年通年科目
<input type="checkbox"/>	音楽基礎理論 II	2			○	○				○							
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュ II	2	演						○								
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュ III	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュ IV	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュ V	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュ VI	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	和声法 I	2		○		○				○							
<input type="checkbox"/>	和声法 II	2									○						
<input type="checkbox"/>	和声法 III	2										○					
<input type="checkbox"/>	和声法 IV	2											○				
<input type="checkbox"/>	作曲 (含む教材編曲法) I	2	演				○				○						
<input type="checkbox"/>	作曲 (含む教材編曲法) II	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	対位法 I	2	演										○				
<input type="checkbox"/>	対位法 II	2	演											○			
<input type="checkbox"/>	コンピュータ音楽 I	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	コンピュータ音楽 II	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	電子楽譜制作法	2	演									○					
<input type="checkbox"/>	ポピュラー作曲法 (含む編曲法) I	2	演							○							
<input type="checkbox"/>	ポピュラー作曲法 (含む編曲法) II	2	演								○						
<input type="checkbox"/>	管弦楽史	2									○						(隔年開講)
<input type="checkbox"/>	鍵盤音楽史	2									○						(隔年開講)
<input type="checkbox"/>	声楽史	2										○					(隔年開講)
<input type="checkbox"/>	ポピュラー音楽概論	2										○					(隔年開講)
<input type="checkbox"/>	民族音楽学概論 (含む日本の伝統音楽)	2				○	○			○							
<input type="checkbox"/>	音楽療法概論	2			○	○		○									
<input type="checkbox"/>	音楽心理学	2			○	○						○					
<input type="checkbox"/>	楽器と環境	2									○						(隔年開講)

チエック欄	授業科目	単位	授業の方法	卒業必修	音楽療法士1種	認定音楽療法士	教免必修	標準履修年次								備考
								1		2		3		4		
								春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
<input type="checkbox"/>	音楽家のためのリテラシー	2				○					●	●			●印 卒業研究（演奏・作品・論文） において論文を選択する場合は、 春学期または秋学期いずれかで履修 （音声学：隔年開講） ▲c 認定音楽療法士受験資格希望者 はどちらか一つは履修すること （隔年開講） （隔年開講） ピアノ（隔年開講） 吹奏楽（隔年開講） 合唱（隔年開講） ▲d 2年次春学期・秋学期のいずれかに2週間実施	
<input type="checkbox"/>	音声学	2									○					
<input type="checkbox"/>	障害児と音楽	2					○									
<input type="checkbox"/>	成人・高齢者と音楽	2					○									
<input type="checkbox"/>	音楽療法の理論と技法Ⅰ	2			○	○			○							
<input type="checkbox"/>	音楽療法の理論と技法Ⅱ	2			○	○			○							
<input type="checkbox"/>	音楽療法各論A	2			○	○			○							
<input type="checkbox"/>	音楽療法各論B	2			○	○					○					
<input type="checkbox"/>	音楽療法各論C	2			○	○			○							
<input type="checkbox"/>	医学概論	2			○	○		○								
<input type="checkbox"/>	臨床医学各論Ⅰ	2			○	○				○						
<input type="checkbox"/>	臨床医学各論Ⅱ	2			○	○					○					
<input type="checkbox"/>	臨床心理学Ⅰ	2			○	○			○							
<input type="checkbox"/>	臨床心理学Ⅱ	2			○	○				○						
<input type="checkbox"/>	社会福祉概論	2			○	○		○								
<input type="checkbox"/>	ギター演習	2	演			▲c				○						
<input type="checkbox"/>	リトミック	2	演			▲c				○						
<input type="checkbox"/>	バロックダンス	2	演						○							
<input type="checkbox"/>	伴奏法Ⅰ	2	演				○				○					
<input type="checkbox"/>	伴奏法Ⅱ	2	演									○				
<input type="checkbox"/>	即興演奏	2	演						○							
<input type="checkbox"/>	指揮法	2	演		○	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習A（歌唱）	2	演		○	○	○				○					
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習B（和楽器）	2	演				○					○				
<input type="checkbox"/>	合奏	2	演		○	○	○			○						
<input type="checkbox"/>	音楽キャリアデザインⅡ	2								○						
<input type="checkbox"/>	音楽キャリアデザインⅢ	2									○					
<input type="checkbox"/>	音楽指導法A	2							○							
<input type="checkbox"/>	音楽指導法B	2							○							
<input type="checkbox"/>	音楽指導法C	2								○						
<input type="checkbox"/>	教職演習Ⅰ	2	演								○					
<input type="checkbox"/>	教職演習Ⅱ	2	演									○				
<input type="checkbox"/>	障害児教育論	2			○	○		○								
<input type="checkbox"/>	介護概論	2			○	○				○						
<input type="checkbox"/>	音楽療法技能A	2	演		○	○		○								
<input type="checkbox"/>	音楽療法技能B	2	演			○				○						
<input type="checkbox"/>	音楽療法技能C	2	演		○	○				○						
<input type="checkbox"/>	音楽療法演習	2	演			○				○						
<input type="checkbox"/>	施設実習	2	実		○	○			▲d	▲d						
<input type="checkbox"/>	音楽療法実習Ⅰ	1	実		○	○					○					
<input type="checkbox"/>	音楽療法実習Ⅱ	1	実		○	○						○				
<input type="checkbox"/>	音楽療法実習Ⅲ	1	実		○	○							○			
<input type="checkbox"/>	音楽療法実習Ⅳ	1	実			○							○			
<input type="checkbox"/>	卒業研究	4	演	○		○							○	○		
	計	344		30												

【授業の方法】 演：演習、実：実習、無印：講義をさす。

【履修年次】 履修年次の○印は開講時期をさす。

音楽療法士(1種)資格取得に関する科目

別表Ⅶ-8

分野		科目例示	授業科目	単位
①音楽分野(30単位)	I.理論 (8単位)	音楽理論	音楽基礎理論I	2
		音楽理論	音楽基礎理論II	2
		音楽心理学	音楽心理学	2
		音楽史	西洋音楽史	2
	II.実技 (22単位)	指揮法	指揮法	2
		合唱	合唱(第九)I	2
		合唱	合唱(第九)II	2
		声楽	日本音楽演習A(歌唱)または音楽実技A、音楽実技B*1	
		ソルフェージュ	ソルフェージュI	2
		アンサンブル	合奏	2
②音楽療法分野(16単位)		音楽療法概論	音楽療法概論	2
		音楽療法各論・演習 (基礎、臨床、技法等)	音楽療法各論A	2
			音楽療法各論B	2
			音楽療法各論C	2
			音楽療法技能A(歌唱・伴奏)	2
			音楽療法技能C(作曲、編曲、アンサンブル、指揮)	2
			音楽療法の理論と技法I	2
			音楽療法の理論と技法II	2
	③音楽療法関連分野(20単位)	教育	音楽科教育法	音楽科教育法I(教職)
障害児教育			障害児教育論	2
福祉		社会福祉概論	社会福祉概論	2
		介護概論・介護実技	介護概論	2
医学・看護		医学概論	医学概論	2
		臨床医学	臨床医学各論I	2
		臨床医学	臨床医学各論II	2
心理		臨床心理学	臨床心理学I	2
		臨床心理学	臨床心理学II	2
		発達心理学	発達心理学(教職)	2
④音楽療法実習(5単位)		施設介護実習	施設実習	2
		音楽療法実習	音楽療法実習I	1
		音楽療法実習	音楽療法実習II	1
		音楽療法実習	音楽療法実習III	1
⑤教養関連科目*2		語学	英語、その他外国語	8
		情報処理	情報活用演習(基礎)	1
		情報処理	情報活用演習(教職)	1
計				81

*1 音楽実技は鍵盤楽器、声楽、管弦打を含む10単位必要である。管弦打にはギター演習を当てることができる。

*2 その他、一般教育科目を上記⑤のものを含めて24単位以上になるよう履修すること。

認定音楽療法士受験資格に関する科目

別表Ⅶ-9

分野	規定科目	単位	授業科目	単位	
①音楽分野 (32単位)	I. 理論	音楽理論／通論	4	音楽基礎理論Ⅰ、Ⅱ	2、2
		和声学	2	和声法Ⅰ	2
		音楽心理学	2	音楽心理学	2
		音楽教育学	2	音楽科教育法Ⅰ(教職)	2
		西洋音楽史	2	西洋音楽史	2
		日本の音楽	2	日本音楽演習A(歌唱)	2
		民族音楽学	2	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)	2
	II. 実技 「副科を含む」	ソルフェージュ	2	ソルフェージュⅠ	2
		ピアノ	2	音楽実技A-Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、音楽実技B-Ⅰ、Ⅱより選択	2
		声楽	2	音楽実技A-Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、音楽実技B-Ⅰ、Ⅱより選択	2
		器楽(管、弦、打楽器)	2	音楽実技A-Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、音楽実技B-Ⅰ、Ⅱより選択	2
		合唱	2	合唱(第九)Ⅰ	2
		合奏	2	合奏	2
		指揮法	2	指揮法	2
ギターまたはリトミック	2	ギター演習またはリトミック	2		
②音楽療法分野 (30単位)	音楽療法概論	2	音楽療法概論	2	
	音楽療法の理論と技法	4	音楽療法の理論と技法Ⅰ、Ⅱ	2、2	
	音楽療法各論Ⅰ	2	音楽療法各論A	2	
	音楽療法各論Ⅱ	2	音楽療法各論B	2	
	音楽療法各論Ⅲ	2	音楽療法各論C	2	
	音楽療法技能Ⅰ	2	音楽療法技能A	2	
	音楽療法技能Ⅱ	2	音楽療法技能B	2	
	音楽療法技能Ⅲ	2	音楽療法技能C	2	
	音楽療法演習	2	音楽療法演習	2	
	音楽療法実習	6	施設実習	2	
			音楽療法実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4	
卒業論文	4	卒業研究	4		
③医学・心理学分野 (10単位)	医学概論	2	医学概論	2	
	臨床医学各論Ⅰ	2	臨床医学各論Ⅰ	2	
	臨床医学各論Ⅱ	2	臨床医学各論Ⅱ	2	
	臨床心理学Ⅰ	2	臨床心理学Ⅰ	2	
	臨床心理学Ⅱ	2	臨床心理学Ⅱ	2	
④福祉・教育分野 (8単位)	社会福祉概論	2	社会福祉概論	2	
	発達心理学	2	発達心理学(教職)	2	
	障害児教育	2	障害児教育論	2	
	介護概論	2	介護概論	2	
⑤語学(8単位)		8	英語、その他外国語	8	
	計	88	計	88	

*1 音楽実技(管弦打楽器)にはギター演習を当てることができる。その場合は、「ギター演習またはリトミック」でリトミックを選択すること。

令和5年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 カリキュラムマップ

*網掛けは必修科目

DPIに対応する科目群	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	3年次春学期	3年次秋学期	4年次春学期	4年次秋学期
音楽の専門的な知識・理論を修習する	音楽文化概論	西洋音楽史	観劇音楽史(隔年開講) 管弦楽史(隔年開講)	声楽史(隔年開講) ポピュラー音楽概論(隔年開講)	作曲法Ⅰ 和声法Ⅰ	作曲法Ⅱ 和声法Ⅱ	対位法Ⅰ 対位法Ⅱ	
	音楽基礎理論Ⅰ	音楽基礎理論Ⅱ	成信音楽概論 (含む日本の伝統音楽)	指揮法 和声法Ⅱ	作曲(含む教材編曲法)Ⅰ ソルフェージュⅤ	作曲(含む教材編曲法)Ⅱ ソルフェージュⅥ		
音楽の専門的な知識・理論を修習する	ソルフェージュⅠ	ソルフェージュⅡ	ソルフェージュⅢ	ソルフェージュⅣ ハノンダンス(隔年開講) リトミック(隔年開講)	ソルフェージュⅤ ギター演習	ソルフェージュⅥ 音楽心理学		
	聴覚育と音楽	成人・高齢者と音楽						
①知識・技能 科目群	応用実技Ⅰ	応用実技Ⅱ	応用実技Ⅲ	応用実技Ⅳ	応用実技Ⅴ	応用実技Ⅵ	応用実技Ⅶ	応用実技Ⅷ
	演奏特論Ⅰ	演奏特論Ⅱ	演奏特論Ⅲ	演奏特論Ⅳ	演奏特論Ⅴ	演奏特論Ⅵ	演奏特論Ⅶ	演奏特論Ⅷ
	音楽実技A-Ⅰ	音楽実技A-Ⅱ	音楽実技B-Ⅰ	音楽実技B-Ⅱ	音楽実技B-Ⅲ	音楽実技B-Ⅳ	音楽実技B-Ⅴ	音楽実技B-Ⅵ
	音楽実技B-Ⅰ	音楽実技B-Ⅱ	音楽実技B-Ⅲ	音楽実技B-Ⅳ	音楽実技B-Ⅴ	音楽実技B-Ⅵ	音楽実技B-Ⅶ	音楽実技B-Ⅷ
	音楽実技演奏A-Ⅰ (伊歌曲)	音楽実技演奏A-Ⅱ (伊歌曲)	音楽実技演奏B (ダンス)Ⅰ-Ⅰ	音楽実技演奏B (ダンス)Ⅰ-Ⅱ	音楽実技演奏C (バリエーション)Ⅰ	音楽実技演奏C (バリエーション)Ⅱ	音楽実技演奏D (ピアノ)Ⅰ	音楽実技演奏D (ピアノ)Ⅱ
	音楽実技演奏B-Ⅰ (伊歌曲)	音楽実技演奏B-Ⅱ (伊歌曲)	音楽実技演奏C (バリエーション)Ⅰ	音楽実技演奏C (バリエーション)Ⅱ	音楽実技演奏D (ピアノ)Ⅰ	音楽実技演奏D (ピアノ)Ⅱ	音楽実技演奏E (ピアノ)Ⅰ	音楽実技演奏E (ピアノ)Ⅱ
	音楽実技演奏F (ピアノ)Ⅰ	音楽実技演奏F (ピアノ)Ⅱ	音楽実技演奏G (EO)Ⅰ	音楽実技演奏G (EO)Ⅱ	音楽実技演奏H (PO)Ⅰ	音楽実技演奏H (PO)Ⅱ	音楽実技演奏I (コンピ्यूタ音楽)	音楽実技演奏I (コンピ्यूタ音楽)
	音楽実技演奏J (コンピ्यूタ音楽)	音楽実技演奏J (コンピ्यूタ音楽)	音楽実技演奏K (電子楽器制作法)	音楽実技演奏K (電子楽器制作法)	音楽実技演奏L (電子楽器制作法)	音楽実技演奏L (電子楽器制作法)	音楽実技演奏M (電子楽器制作法)	音楽実技演奏M (電子楽器制作法)
	音楽実技演奏N (電子楽器制作法)	音楽実技演奏N (電子楽器制作法)	音楽実技演奏O (電子楽器制作法)	音楽実技演奏O (電子楽器制作法)	音楽実技演奏P (電子楽器制作法)	音楽実技演奏P (電子楽器制作法)	音楽実技演奏Q (電子楽器制作法)	音楽実技演奏Q (電子楽器制作法)
	音楽実技演奏R (電子楽器制作法)	音楽実技演奏R (電子楽器制作法)	音楽実技演奏S (電子楽器制作法)	音楽実技演奏S (電子楽器制作法)	音楽実技演奏T (電子楽器制作法)	音楽実技演奏T (電子楽器制作法)	音楽実技演奏U (電子楽器制作法)	音楽実技演奏U (電子楽器制作法)
	音楽実技演奏V (電子楽器制作法)	音楽実技演奏V (電子楽器制作法)	音楽実技演奏W (電子楽器制作法)	音楽実技演奏W (電子楽器制作法)	音楽実技演奏X (電子楽器制作法)	音楽実技演奏X (電子楽器制作法)	音楽実技演奏Y (電子楽器制作法)	音楽実技演奏Y (電子楽器制作法)
	音楽実技演奏Z (電子楽器制作法)	音楽実技演奏Z (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AA (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AA (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AB (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AB (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AC (電子楽器制作法)	音楽実技演奏AC (電子楽器制作法)
音楽教育の知識とスキルを身につける	音楽科教育法Ⅰ	音楽科教育法Ⅱ	音楽科教育法Ⅲ	音楽科教育法Ⅳ	音楽科教育法Ⅴ	音楽科教育法Ⅵ	音楽科教育法Ⅶ	音楽科教育法Ⅷ
	音楽実用演習Ⅰ	音楽実用演習Ⅱ	音楽実用演習Ⅲ	音楽実用演習Ⅳ	音楽実用演習Ⅴ	音楽実用演習Ⅵ	音楽実用演習Ⅶ	音楽実用演習Ⅷ
音楽法の知識とスキルを身につける	音楽法概論	音楽法概論Ⅱ	音楽法概論Ⅲ	音楽法概論Ⅳ	音楽法概論Ⅴ	音楽法概論Ⅵ	音楽法概論Ⅶ	音楽法概論Ⅷ
	音楽法実用Ⅰ	音楽法実用Ⅱ	音楽法実用Ⅲ	音楽法実用Ⅳ	音楽法実用Ⅴ	音楽法実用Ⅵ	音楽法実用Ⅶ	音楽法実用Ⅷ
②臨動的に学ぶ 科目群	合唱(第Ⅰ)Ⅰ	合唱(第Ⅰ)Ⅱ	アンサンブル研究Ⅰ	アンサンブル研究Ⅱ	アンサンブル研究Ⅲ	アンサンブル研究Ⅳ	アンサンブル研究Ⅴ	アンサンブル研究Ⅵ
	音楽ワークショップⅠ	音楽ワークショップⅡ	音楽ワークショップⅢ	音楽ワークショップⅣ	音楽ワークショップⅤ	音楽ワークショップⅥ	音楽ワークショップⅦ	音楽ワークショップⅧ
③使命感・責任感 科目群	音楽キャリアデザインⅠ	音楽キャリアデザインⅡ	音楽キャリアデザインⅢ	音楽キャリアデザインⅣ	音楽キャリアデザインⅤ	音楽キャリアデザインⅥ	音楽キャリアデザインⅦ	音楽キャリアデザインⅧ
	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ	音楽キャリアデザインⅧ
④人間力科目群	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ	英語Ⅶ	英語Ⅷ
	外国語Ⅰ	外国語Ⅱ	外国語Ⅲ	外国語Ⅳ	外国語Ⅴ	外国語Ⅵ	外国語Ⅶ	外国語Ⅷ
人間力を高める	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)	音楽実用演習(高専)
	SEITOKU Academic LiteracyⅠ	SEITOKU Academic LiteracyⅡ	SEITOKU Academic LiteracyⅢ	SEITOKU Academic LiteracyⅣ	SEITOKU Academic LiteracyⅤ	SEITOKU Academic LiteracyⅥ	SEITOKU Academic LiteracyⅦ	SEITOKU Academic LiteracyⅧ
教育目標	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する	優れた音楽人に必要な知識と技能を教授する
	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める	優れた音楽人としての使命感・責任感を高める

音楽の発展に貢献できる優れた音楽教育者としての人間力の養成を音楽教育者として自覚し、音楽教育者としての使命感・責任感を高める

令和5年度入学生 聖徳大学 音楽学部 音楽学科 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

年次別学習テーマ	1年次		2年次		3年次		4年次	
	音楽の基本を学ぼう		より専門的な学びに踏み込む		自分の力を試してみよう		自立した音楽職業人へ	
①知識・技能科目群	音楽の専門的な知識・理論を修得している	音楽の専門的な知識・理論の基礎が身に付いている	音楽の専門的な知識・理論の基礎的な力を応用することができる	音楽の専門的な知識・理論をさまざまな場面に応用することができる	音楽の専門的な知識・理論をさらに高度な知識・理論を身に付けている	音楽に関するさらに高度な知識・理論を身に付けている	音楽の知識や理論に関わる専門的能力をもつことができる	卒業認定・学位授与の方針に掲げる学習成果
	演奏表現・創作のスキルを身につける	演奏表現・創作スキルの基礎が身に付いている	演奏表現・創作スキルの、より専門的な力が身に付いている	演奏表現・創作スキルの、さらに高度な力が身に付いている	それまでに身に身につけた演奏表現・創作スキルを豊かに活用することができる		音楽表現や音楽制作に関わる専門的能力をもつことができる	
	音楽教育の知識とスキルを身につける	音楽教育者としてのキャリアに関する専門的能力の基礎が身に付いている	音楽教育者としてのキャリアに関する専門的能力の基礎が身に付いている	音楽教育者としてのキャリアに関する専門的能力を持つことができる	音楽教育者としてのキャリアに関する専門的能力をじゅうぶんに身につけている		音楽キャリア(音楽教育関係)に関わる専門的能力をもつことができる	
	音楽療法としての知識とスキルを身につける	音楽療法士としてのキャリアに関する専門的能力の基礎が身に付いている	音楽療法士としてのキャリアに関する専門的能力を持つことができる	音楽療法士としてのキャリアに関する専門的能力をじゅうぶんに身につけている			音楽キャリア(音楽療法医関係)に関わる専門的能力をもつことができる	
②協働的に学ぶ科目群	音楽を主体的・創造的・協働的に学ぶことができる	創造的・協働的な学びに、主体的に関わる	自分の役割を理解し、主体的・協働的な学びを展開することができる	主体的・創造的・協働的な学びのリーダーとして活動することができる	主体的・創造的・協働的な学びから、豊かな成果を上げることができる		②主体的・創造的・協働的に学ぶことができる	
③使命感・責任感科目群	専門的職業人としての使命感・責任感を高める	専門的職業人の使命について理解することができる	専門的職業人の使命について深く理解することともに、現場を知り、責任を自覚することができる	専門的職業人の使命感・責任感について、理論と実践をとおして実感することができる	専門的職業人としての使命感・責任感を持つことができる		③専門的職業人としての使命感・責任感をもつことができる	
④人間力科目群	人間力を高める	音楽職業人に求められる基礎的な理解力、外国語力と健康が身に付いている	音楽職業人に求められる多様な教養や理解力、外国語力と創作法が身に付いている	多様な経験から、音楽職業人にふさわしい総合的な人間力を身につけることができる	多様な経験から、音楽職業人にふさわしい総合的な人間力をじゅうぶんに身につけている		④音楽活動に関する英語コミュニケーション力も育んだ総合的人間力をもつことができる	
教育目標	優れた音楽人に必要な知識と技能の基礎を教授する	1年次	音楽を学ぶ喜びと共に、専門的能力の大切さを教授する	2年次	3年次	4年次	音楽人として自立し、社会に貢献できる実用力を持った人材を育成する	

音楽の発展に貢献できる優れた音楽職業人を育て、音楽的・協働的に学ぶ能力のある人間力を高める

音楽学部 音楽学科（プロ・アーティストメジャー）履修モデル(ピアノを中心に学ぶ場合の例)

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 (A類) 共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 外国語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II 外国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III 外国語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV 外国語 IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科専門教育科目 (B類)	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A-I *音楽実技B-I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-III 和声法 I	音楽実技A-IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	応用実技 I 演奏特論 I 音楽表現演習D-I	応用実技 I 演奏特論 I 音楽表現演習D-II	応用実技 II 演奏特論 II アンサンブル研究 I 音楽表現演習E-I	応用実技 I 演奏特論 II アンサンブル研究 II 音楽表現演習E-II
	科目数	3	3	4	4
科目数		14	15	10	11

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 (A類) 共通科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科専門教育科目 (B類)	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	応用実技 III 演奏特論 II 音楽実技A-V アンサンブル研究 III 音楽表現演習F-I	応用実技 III 演奏特論 II 音楽実技A-VI アンサンブル研究 IV 音楽表現演習F-II	応用実技 IV 演奏特論 II 音楽実技A-VII アンサンブル研究 V	応用実技 IV 演奏特論 II 音楽実技A-VIII アンサンブル研究 VI 音楽表現特別演習
	科目数	5	5	4	5
科目数計		5	5	5	6

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。
外国語はイタリア語・ドイツ語・フランス語から選択します。表の外国語はイタリア語の例です。

音楽学部 音楽学科（音楽表現メジャー）履修モデル

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 （A類） 共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 外国語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II 外国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III 外国語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV 外国語 IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科専門教育科目 （B類）	必修科目	* 音楽文化概論 * 音楽基礎理論 I * ソルフェージュ I * 合唱(第九) I * 音楽実技A-I * 音楽実技B-I	* 音楽キャリアデザイン I * 合唱(第九) II * 西洋音楽史 * 音楽実技A-II * 音楽実技B-II	音楽実技A-III 和声法 I	音楽実技A-IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	音楽ワークショップ I 音楽表現演習A-I	音楽ワークショップ II 音楽表現演習A-II	音楽ワークショップ III 音楽実技B-III アンサンブル研究 I 音楽表現演習A-III コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン II	音楽ワークショップ IV 音楽実技B-IV アンサンブル研究 II 音楽表現演習A-IV リトミック 音楽史
	科目数	2	2	6	6
科目数		13	14	12	13

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 （A類） 共通科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科専門教育科目 （B類）	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	音楽ワークショップ V 音楽実技A-V 音楽実技B-V アンサンブル研究 III 音楽表現演習A-V 電子楽譜制作法	音楽ワークショップ VI 音楽実技A-VI 音楽実技B-VI アンサンブル研究 IV 音楽表現演習A-VI バロックダンス	音楽ワークショップ VII 音楽実技A-VII 音楽実技B-VII アンサンブル研究 V 音楽表現演習A-VII	音楽ワークショップ VIII 音楽実技A-VIII 音楽実技B-VIII アンサンブル研究 VI 音楽表現演習A-VIII 音楽表現特別演習
	科目数	6	6	5	6
科目数計		6	6	6	7

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。
外国語はイタリア語・ドイツ語・フランス語から選択します。表の外国語はイタリア語の例です。

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 (A類) 共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 外国語 I スポーツと健康 I 情報活用演習(基礎)	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II 外国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習(教職)	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III 外国語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV 外国語 IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科専門教育科目 (B類)	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフェージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A-I *音楽実技B-I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-III 和声法 I	音楽実技A-IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	音楽ワークショップ I	音楽ワークショップ II	音楽ワークショップ III 音楽実技B-III コンピュータ音楽 I 音楽キャリアデザイン II ○民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽) ○合奏 ○教職入門 ○教育基礎論 ○音楽科教育法 I ○教育方法学 ○生徒指導(進路指導を含む) ○介護体験実習	音楽ワークショップ IV 音楽実技B-IV 和声法 II ○指揮法 ○教育心理学 ○特別支援教育総論 ○教育課程論 ○音楽科教育法 II ○特別活動の指導法 ○教育相談
科目数	1	1	12	10	
科目数		12	13	18	17

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学 (A類) 共通科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科専門教育科目 (B類)	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	音楽ワークショップ V 音楽実技B-V ○作曲(含む教材編曲法) I ○伴奏法 I ○日本音楽演習A(歌唱) ○音楽科教育法 III ○道德教育の指導法 ○総合的な学習の時間の指導法	音楽ワークショップ VI 音楽実技B-VI 作曲(含む教材編曲法) II 教職演習 I ○日本音楽演習B(和楽器) ○教育社会学 I ○音楽科教育法 IV	音楽ワークショップ VII 音楽実技B-VII 教職演習 II ○教育実習(中・高)	音楽ワークショップ VIII 音楽実技B-VIII ○教職実践演習(中・高)
科目数	8	7	4	3	
科目数計		8	7	5	4

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。

表中の○印は教職(中・高免許)科目です。

外国語はイタリア語・ドイツ語・フランス語から選択します。表の外国語はイタリア語の例です。

音楽学部 音楽学科（音楽療法メジャー）履修モデル

		1年		2年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学（A類） 共通科目	必修科目	SEITOKU Academic Literacy I 英語 I 外国語 I スポーツと健康 I 情報活用演習（基礎）	SEITOKU Academic Literacy II 日本国憲法 教養科目1 英語 II 外国語 II スポーツと健康 II 情報活用演習（教職）	教養科目2 小笠原流礼法基礎講座 英語 III 外国語 III	SEITOKU Academic Literacy III 教養科目3 教養科目4 教養科目5 英語 IV 外国語 IV
	科目数	5	7	4	6
音楽学科専門教育科目（B類）	必修科目	*音楽文化概論 *音楽基礎理論 I *ソルフエージュ I *合唱(第九) I *音楽実技A-I *音楽実技B-I	*音楽キャリアデザイン I *合唱(第九) II *西洋音楽史 *音楽実技A-II *音楽実技B-II	音楽実技A-III 和声法 I	音楽実技A-IV
	科目数	6	5	2	1
	選択科目	音楽ワークショップ I 障害児と音楽 ◎音楽療法概論	音楽ワークショップ II 成人・高齢者と音楽 ◎音楽基礎理論 II ◎医学概論 ◎社会福祉概論 ◎障害児教育論 ◎音楽療法技能A	音楽ワークショップ III 音楽実技B-III 音楽キャリアデザイン II コンピュータ音楽 I ◎音楽療法の理論と技法 I ◎音楽療法各論A ◎合奏 ◎民族音楽学概論（含む日本の伝統音楽） ◎施設実習 ◎音楽科教育法 I ◎教育基礎論	音楽ワークショップ IV 音楽実技B-IV 和声法 II ◎音楽療法の理論と技法 II ◎音楽療法各論C ◎臨床心理学 I ◎リミック ◎指揮法 ◎音楽療法技能C ◎音楽療法演習
科目数	3	7	11	10	
科目数	14	19	17	17	

		3年		4年	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学（A類） 共通科目	必修科目				
	科目数	0	0	0	0
音楽学科専門教育科目（B類）	必修科目			卒業研究	卒業研究
	科目数	0	0	1	1
	選択科目	音楽ワークショップ V 作曲（含む教材編曲法） I 伴奏法 I 音楽キャリアデザイン III ◎臨床医学各論 I ◎臨床心理学 II ◎介護概論 ◎音楽療法技能B ◎音楽療法実習 I ◎日本音楽演習A（歌唱） ◎音楽家のためのリテラシー ◎ギター演習 ◎発達心理学	音楽ワークショップ VI 作曲（含む教材編曲法） II ◎音楽療法各論B ◎臨床医学各論 II ◎音楽療法実習 II ◎音楽心理学	音楽ワークショップ VII ◎音楽療法実習 III	音楽ワークショップ VIII ◎音楽療法実習 IV
科目数	13	6	2	2	
科目数計	13	6	3	3	

表中の*印はスタートアップ・プログラムです。
 表中の◎印は音楽療法士の資格に必要な科目です。
 外国語はイタリア語・ドイツ語・フランス語から選択します。表の外国語はイタリア語の例です。

教職課程履修について〔中学校教諭一種免許状(音楽)、高等学校教諭一種免許状(音楽)〕

教育職員免許状を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定める所定の単位及び本学で定める単位を修得する必要があります。

教育職員免許状の取得に必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

なお、教育職員免許状を取得するための課程を選択履修する学生は、課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程は別途指示があります。

1. 全学共通科目の履修について

教養科目、外国語科目、健康教育科目及び情報活用科目は、卒業要件を充足することと、教員免許状取得のための要件を満たすことを共有することになりますが、下記の科目を必ず含んで履修してください。

別表Ⅶ-10

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	履修年次								備考			
				1		2		3		4					
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
<input type="checkbox"/>	日本国憲法		2		○										
<input type="checkbox"/>	英語Ⅰ	演	1	○											
<input type="checkbox"/>	英語Ⅱ	演	1		○										
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅰ	講、実	1	○											
<input type="checkbox"/>	スポーツと健康Ⅱ	講、実	1		○										
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(基礎)	演	1	○											
<input type="checkbox"/>	情報活用演習(教職)	演	1		○										

2. 「専門教育科目」の履修について

「教科に関する科目」、「教職に関する科目」といった「専門教育科目」については、学則に規定する卒業要件としての必修・選択等の別にかかわらず、下記のとおり履修してください。

○教科に関する科目

教科に関する科目については、下表のとおり履修してください

別表Ⅶ-11

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	履修年次								備考			
				1		2		3		4					
				春	秋	春	秋	春	秋	春	秋				
<input type="checkbox"/>	音楽基礎理論Ⅰ		2	○											
<input type="checkbox"/>	ソルフェージュⅠ	演	2	○											
<input type="checkbox"/>	合唱(第九)Ⅰ	演	2	○											
<input type="checkbox"/>	民族音楽学概論(含む日本の伝統音楽)		2			○									
<input type="checkbox"/>	伴奏法Ⅰ	演	2					○							
<input type="checkbox"/>	作曲(含む教材編曲法)Ⅰ	演	2					○							
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習A(歌唱)	演	2					○							
<input type="checkbox"/>	日本音楽演習B(和楽器)	演	2						○						
<input type="checkbox"/>	音楽実技A-Ⅰ	演	2	▲a											▲a 音楽実技A-ⅠかB-Ⅰを声乐 音楽実技A-ⅡかB-Ⅱを器楽で 履修する。
<input type="checkbox"/>	音楽実技A-Ⅱ	演	2		▲a										
<input type="checkbox"/>	音楽実技B-Ⅰ	演	1	▲a											
<input type="checkbox"/>	音楽実技B-Ⅱ	演	1		▲a										
<input type="checkbox"/>	西洋音楽史		2		○										
<input type="checkbox"/>	合奏	演	2			○									
<input type="checkbox"/>	指揮法	演	2				○								

○教職に関する科目

上記の教科に関する科目に加えて、下表のとおり履修してください。

別表Ⅶ-12

チ エ ク ク 欄	授業科目	方授 業 法 の	単 位	中 免	高 免	履修年次								備考		
						1		2		3		4				
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	教職入門		2	○	○			○								
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2	○	○			○								[注]6.参照
<input type="checkbox"/>	発達心理学		2	○	○					○						[注]6.参照
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	教育社会学 I		2	○	○						○					
<input type="checkbox"/>	教育課程論		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	音楽科教育法 I	演	2	○	○			○								[注]6.参照
<input type="checkbox"/>	音楽科教育法 II	演	2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	音楽科教育法 III	演	2	○	○					○						
<input type="checkbox"/>	音楽科教育法 IV	演	2	○	○						○					
<input type="checkbox"/>	道德教育の指導法		2	○						○						
<input type="checkbox"/>	総合的な学習の時間の指導法		2	○	○					●	●					
<input type="checkbox"/>	特別活動の指導法		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	教育方法・情報通信技術活用論		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	生徒指導(進路指導を含む)		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	教育相談		2	○	○				○							
<input type="checkbox"/>	教職実践演習(中・高)	演	2	○	○										○	
<input type="checkbox"/>	中学校教育実習	実	5	○												
<input type="checkbox"/>	高等学校教育実習	実	3		○											
<input type="checkbox"/>	介護体験実習	実	1	○												
	計		45	40	35											

- [注] 1. 中学校教諭一種免許状を取得する者は、中免欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。
 2. 高等学校教諭一種免許状を取得する者は、高免欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。
 3. 授業の方法欄の「演」は演習、「実」は実習、空欄は講義をさす。
 4. 履修年次欄の○印は開講時期をさす。
 また●印を付された授業科目は時間割編成上、春学期または秋学期いずれかに配当されるので時間割を確認すること。
 5. 教職に関する科目は卒業要件に算入することができる。
 6. 音楽療法士(1種)、**認定音楽療法士**受験資格を取得する者は、「教育基礎論」(**認定音楽療法士**受験資格のみ)、「発達心理学」、「音楽科教育法 I」を必ず履修すること。

3. 教育実習について

教育職員免許状を取得しようとする学生は、大学において、免許状に必要な授業科目の単位を修得するほか、教育実習を行う必要があります。教育実習については別途指示があります。

4. 介護体験について

小学校・中学校教諭の免許状を取得しようとする場合は、教育職員免許法の特例等に基づき、社会福祉施設等及び特殊教育諸学校において、7日間の介護等の体験を行うことが必要です。

各種免許・資格課程の履修について

各種資格を取得するためには、各学科の卒業要件を満たすほか、資格ごとに所定の単位並びに本学で定める科目を履修する必要があります。

資格を取得するために必要な授業科目及び単位数、並びにその履修方法については、下記のとおりです。理解を深めて授業に臨んでください。

1. 「取得できる免許・資格」について

本学で取得できる資格は下記のとおりです。

免許・資格名	履修費	登録できる学部・学科(○印が可能)								備考		
		教育学部		文学部	心理・福祉学部		人間栄養学部	看護学部	音楽学部			
		児童学科	教育学科	文学科	心理学科	社会福祉学科	人間栄養学科	看護学科	音楽学科			
教員免許状	幼稚園教諭一種免許状	40,000	○※	(○)							※幼稚園教員養成コースは必修	
	小学校教諭一種免許状	60,000	(○)	○						○※1	※1 中高免とあわせて取得可能	
	小学校教諭二種免許状	30,000								○※	※中高免とあわせて取得可能	
	中学校教諭一種免許状	60,000	(○)	(○)			(○)	○		○		
	中学校教諭一種免許状	40,000			○	(○)						
	高等学校教諭一種免許状	60,000	(○)	(○)			○	○		○		
	高等学校教諭一種免許状	40,000			○	(○)						
	特別支援学校教諭一種免許状	30,000	(○)	○※								※小免とあわせて取得可能
	養護教諭一種免許状	40,000					○					
栄養教諭一種免許状	20,000						○					
国家資格	社会福祉士(受験資格)	60,000					○					
	精神保健福祉士(受験資格)	60,000					○					
	保育士	60,000	○※2					○※3			※2 保育士養成コースは必修 ※3 社会福祉コースと養護教諭コースは取得可能	
	介護福祉士(受験資格)	100,000					○※				※介護福祉コースのみ取得可能	
	公認心理師(受験資格)	別途指示				○※4						
	社会福祉主事(任用資格)	-	○	○			○		○	○※	※音楽療法士を取得する場合取得可能	
	児童福祉司(任用資格)	-	○	○			○					
	児童指導員(任用資格)	-	○	○			○					
	社会教育主事(任用資格)	50,000	○	○	○	○	○	○		○		
	図書館司書	20,000	○	○	○※	○	○	○		○	※図書館情報コースは必修	
	学校図書館司書教諭	20,000	○	○	○	○	○	○		○		
	学芸員	60,000	○	○	○	○	○	○		○		
	管理栄養士(受験資格)	-						○※			※必修	
	栄養士	-						○※			※必修	
	食品衛生管理者(任用資格)	-						○				
食品衛生監視員(任用資格)	-						○					
看護師(受験資格)	-							○※		※必修		
保健師(受験資格)	60,000							○				
民間資格	フードスペシャリスト(受験資格)	-						○				
	レクリエーションインストラクター	20,000	○	○	○	○	○	○		○		
	キャンプインストラクター	20,000	○	○	○	○	○	○		○		
	認定心理士	-	○				○					
	ピアヘルパー(受験資格)	-	○				○			○		
	音楽療法士(1種)	別途指示								○		
	認定音楽療法士(受験資格)	別途指示								○		
	ジュニアスポーツ指導員(受験資格)	別途指示		○								
	障がい者スポーツ指導員	別途指示		○								
	健康運動実践指導者(受験資格)	別途指示		○								
日本語教員養成講座	60,000	○	○	○	○	○	○		○			

[注] ①学校図書館司書教諭の修了証書は、学校の教諭の免許状を有するものについてその効力が生じる資格です。

②学校図書館司書教諭と図書館司書の両資格取得希望者の履修費は、合わせて20,000円です。

③学芸員の資格については、3年次に実習配属が確定してから別途連絡します。

④小・中学校教諭免許状を取得する場合には、介護等の体験が必要です。

「介護等の体験を要する者」は、別途、介護等体験実習費10,000円が必要になります。

⑤【看護学部】保健師(受験資格)の資格取得については、3年次より履修します。

2年次秋学期に説明会を実施します。

※4 卒業後、大学院において公認心理師法で定められた科目を修めてその課程を修了するか、定められた実習施設にて2年以上の実務経験が必要です。

2. 「他学科開設科目の履修について」
上記の資格を取得するためには、他学科において開設する科目を履修することができます。
3. 「実習」について
一部の資格を取得するためには実習が必要です。実習については別途指示があります。
4. 「免許・資格課程の履修登録」について
各種免許・資格を取得するための課程を履修する学生は、次のとおり課程履修登録をする必要があります。原則として2年次春学期に手続きします。詳しい日程等は別途指示があります。

(1) 手続き方法

指定の期日までに申請手続きをしてください。別途手続きの案内があります。
登録できる免許・資格は、卒業要件となっているものを除き、原則として2種類以内です。
なお、1年次の成績(GPA)が、一定の水準に達した場合は、3種類以上取得可能です。
なお、免許・資格の取得が、所属学科・コースの卒業要件となっている課程は、教育支援課で一括登録を行うので、手続きは必要ありません。

(2) 手続き期間

原則として2年次春学期に手続きしてください。詳しい日程等は、別途掲示で連絡いたします。

(3) その他の注意事項

- ①履修登録の届けをしないうで履修しても、免許・資格は取得できません。
- ②履修途中において課程登録を取り消す場合は、保証人連署の課程履修取り消し願いをクラス担任および科目担当教員の了承を得て指定期日までに教育支援課に提出してください。
- ③希望する全ての免許・資格が卒業までに取得できるとは限りません。
- ④夜間主の学生で、卒業要件とならない免許・資格を取得するには、昼間(9:00～17:55)の時間帯の科目の履修が必要となります。
- ⑤各免許及び資格に必要な科目の受講については、課程の登録にかかわらず授業開始日より受講してください。

[図書館司書 学校図書館司書教諭 科目一覧]

別表Ⅷ-1

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	司書	司教	履修年次								備考	
						1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○		○									
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2	○		○									
<input type="checkbox"/>	図書館情報技術論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	図書館制度・経営論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	図書館サービス概論		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	情報サービス論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	児童サービス論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅰ	演	1	○			○								
<input type="checkbox"/>	情報サービス演習Ⅱ	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源概論		2	○	○		○								
<input type="checkbox"/>	情報資源組織論		2	○	○	○									
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅰ	演	1	○			○								
<input type="checkbox"/>	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	図書館基礎特論		2	△					○						
<input type="checkbox"/>	図書館サービス特論		2	△				○							
<input type="checkbox"/>	図書館情報資源特論		2	△						○					
<input type="checkbox"/>	図書・図書館史		2	△			○								
<input type="checkbox"/>	図書館施設論		2	△					○						
<input type="checkbox"/>	図書館総合演習	演	1	△						○					
<input type="checkbox"/>	学校経営と学校図書館		2		○			○							
<input type="checkbox"/>	学習指導と学校図書館		2		○				○						
<input type="checkbox"/>	読書と豊かな人間性	※	2		○					○					
<input type="checkbox"/>	情報メディアの活用		2		○						○				
	計		41												

【履修上の注意】

1. 図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。
2. 学校図書館司書教諭の資格を取得する者は、司教欄に○印を付された科目を履修しなければならない。なお、司書教諭の修了証書の効力は、学校の教員免許を取得した時点から生じることになる。
3. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。
4. 授業の方法欄の「演」は演習科目、※を付された科目は講義及び実技科目。空欄は講義科目。
5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
6. 図書館司書について、文学科の学生は学科の履修要項のとおり履修してください。

[社会教育主事任用資格関係科目]

別表Ⅷ-2

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	必修	履修年次								備考		
					1		2		3		4				
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
<input type="checkbox"/>	生涯学習論Ⅰ		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	生涯学習論Ⅱ		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	生涯学習支援論Ⅰ		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	生涯学習支援論Ⅱ		2	○				○							
<input type="checkbox"/>	社会教育経営論Ⅰ		2	○					○						
<input type="checkbox"/>	社会教育経営論Ⅱ		2	○						○					
<input type="checkbox"/>	家庭教育と社会教育Ⅰ		2				○							A群:8単位選択必修	
<input type="checkbox"/>	家庭教育と社会教育Ⅱ		2					○							
<input type="checkbox"/>	図書館概論		2				○								
<input type="checkbox"/>	博物館概論		2				○								
<input type="checkbox"/>	教育基礎論		2				○								
<input type="checkbox"/>	教育原理		2		○										
<input type="checkbox"/>	特別支援教育総論		2			○									
<input type="checkbox"/>	教育社会学Ⅰ		2							○					
<input type="checkbox"/>	博物館情報・メディア論		2							○					
<input type="checkbox"/>	文化財の保護		2							○					
<input type="checkbox"/>	社会教育実習Ⅰ	実	1	○					○					B群:3単位選択必修	
<input type="checkbox"/>	社会教育演習Ⅰ	演	1						○						
<input type="checkbox"/>	社会教育演習Ⅱ	演	1							○					
<input type="checkbox"/>	社会教育実習Ⅱ	実	1							○					
<input type="checkbox"/>	社会教育課題研究Ⅰ	演	1								○				
<input type="checkbox"/>	社会教育課題研究Ⅱ	演	1									○			
	計		38												

【履修上の注意】

1. 社会教育主事任用資格を取得する者は、必修欄に○印を付された科目全部とA群より8単位、B群より3単位を含み、24単位を履修すること。
2. 上記の科目は、卒業所要単位数に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合は、この限りではない。
3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

[学芸員関係科目]

別表Ⅷ-3

チェック欄	授業科目	授業の方法	単位	A欄	履修年次								備考	
					1		2		3		4			
					春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	生涯学習概論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	博物館概論		2	○			○							
<input type="checkbox"/>	博物館経営論		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	博物館資料論		2	○				○						
<input type="checkbox"/>	博物館資料保存論		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	博物館展示論		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	博物館情報・メディア論		2	○					○					
<input type="checkbox"/>	博物館教育論		2	○						○				
<input type="checkbox"/>	博物館実習	実	3	○					○	○				
	計		19											

【履修上の注意】

1. 学芸員の資格を取得する者は、A欄に○印を付された科目全部を履修しなければならない。
2. 上記の科目は、卒業所要単位数には算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合この限りではない。
3. 授業の方法欄の「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. ①博物館実習は、博物館の見学、実務実習などを合算して履修する。
 ②博物館実習は次の各号に該当しなければ受講することができない。
 ア. 受講年次以前に配当された科目は、履修済であること。
 イ. 当該年次に配当された科目は、履修見込みであること。
 ③博物館実習の受講許可人員は年20～30名までとする。
5. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。

[レクリエーション関係科目]

別表Ⅷ-4

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	レクリエーション		履修年次								備 考	
				ライ ク ン タ ス ト	キ ャ ン プ	1		2		3		4			
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
<input type="checkbox"/>	野外活動論		2	○	○			○							
<input type="checkbox"/>	レクリエーション概論		2	○			○								
<input type="checkbox"/>	レクリエーション基礎演習Ⅰ	演	1	○				○							
<input type="checkbox"/>	レクリエーション実習Ⅰ	実	1	※	※				○						
<input type="checkbox"/>	レクリエーション実習Ⅱ	実	1	※	※				○						
<input type="checkbox"/>	レクリエーション事業参加	☆	1	○											
	計		8												

【履修上の注意】

1. レクリエーションインストラクター、キャンプインストラクターの資格を取得する者は、各資格該当に○印を付された科目すべてと、※印を付された科目をどちらか1科目履修しなければならない。
2. 上記の科目は、卒業所要単位に算入しない。但し、各学科専門教育科目として履修した場合この限りではない。
3. 授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実習科目、空欄は講義科目。
4. 原則として履修年次欄に○印を付された通り履修すること。
5. ☆印の科目については別途指示があります。

[日本語教員養成講座(全学科)]

この講座は、外国人に対する日本語教員の資質向上を目的として行われる「日本語教育能力検定試験」の出題領域科目を主体として編成する日本語教員志望の養成講座である。

上記の検定試験は、現在資格付与ということはないが合格者には合格証書が交付される。なお、本講座の
本学相当科目は、ほとんどが文学科に開設されているが、他学科の者も履修することができる。
修了した者には修了証明書が交付される。

別表Ⅷ－5

標準教育内容(出題領域)	チ ェ ン ク 欄	本学相当科目			履修要項
		科目名	必要 単位	選択 単位	
日本語の構造に関する体系的・具体的知識	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語概説Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語学特講Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅰ		2	
	<input type="checkbox"/>	日本語の語法Ⅱ		2	
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究Ⅰ	1		
	<input type="checkbox"/>	現代語の研究Ⅱ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅰ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語表現法Ⅱ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語の音声	2		
	<input type="checkbox"/>	小計	(14)		
日本人の言語生活等に関する知識	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の歴史Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
日本事情(古典と文芸を含む)	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本事情Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本文化入門		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅰ		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学概説Ⅱ		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学特講Ⅰ		2	
	<input type="checkbox"/>	日本文学特講Ⅱ		2	
	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
言語学的知識・能力	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	言語学概論Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言Ⅰ		2	
	<input type="checkbox"/>	日本語の方言Ⅱ		2	
	<input type="checkbox"/>	小計	(4)		
日本語の教授に関する知識・能力	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育の概要Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅰ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教授法Ⅱ	2		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅰ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育教材研究Ⅱ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅰ	1		
	<input type="checkbox"/>	日本語教育演習Ⅱ	1		
	<input type="checkbox"/>	小計	(12)		
計		本学所要最低単位	38		



SEITOKU UNIVERSITY

部

科

コース

年

クラス

学籍番号

—

氏名
